

3 出土遺物

(1) 概要

今回の調査で出土した遺物は、平安時代の土器、陶磁器、縄文土器、土製品、石器、石製品、金属製品、銭貨、木質遺物、動物遺存体である。出土した各遺物について概要を示し、個別の観察事項についてはDVD-R収録の出土遺物本文と第4-13表遺物観察表に記載する。

平安時代の土器（1～457）

今回の調査で出土した平安時代の土器は、還元炎焼成の須恵器、酸化炎焼成の土師器、酸化炎焼成の須恵系土器がある。土器分類に際しては、参考文献に挙げた資料を参考にした。

土器については、遺構内出土土器（1～305）、遺構外出土土器（306～457）に大きく分け、遺構外出土土器についてはさらに、須恵器（306～383）、土師器（384～436）、須恵系a（437～448）、須恵系b（449～457）の順で掲載した。

還元炎焼成の須恵器は大半が平安時代に属するが、遺構外出土の中に古墳時代後期の6世紀末～7世紀初め頃と見られる須恵器（382 壺・383 横瓶）2点を含んでいる。須恵器には坏、高台坏、高台皿、長頸瓶、鉢、盤、甕、大甕の器種がある。坏は須恵器の中で8割以上を占めており、甕や大甕は個体が大きいため、破片数は増加する傾向にある。

土師器は酸化炎焼成で黒色処理を施す土器で、器種は坏、高台坏、高台皿、碗、小型鉢、把手付鉢、小型甕、甕、長胴甕、羽釜がある。坏と高台坏、高台皿で土師器の8割以上を占めており、煮炊きに供する甕類（特に長胴甕）はかなり少ない傾向がある。土師器長胴甕はSIB2（105）、SID1（119）、SKB1（131）、SXB1（167）、SXE4（227・228）、SXE5（229）、整地層範囲（ⅡB16p）（431）、整地層範囲（ⅡB17g）（432・433）からのみ出土しており、竪穴建物、土坑、池状遺構から見つかっているが、掘立柱建物周辺では見つかっていない。

須恵系土器は、9世紀後半に出現するロクロ調整され、切り離し後ヘラミガキや黒色処理などの調整を受けず酸化炎焼成されたもの（多賀城研1982）で色調が褐色から明褐色で胎土が微細、坏口縁部の器厚が2～3mm程の薄いものを須恵系a、色調が赤みのある褐色で胎土に粒径0.5～1mmの砂・ガラス鉱物を多量に含み、器厚が坏口縁部で4mm程、底部で4～8mmと厚いものを須恵系bと細分した（多賀城研1993）。器種は、須恵系aが坏、高台坏か皿、球胴甕、長胴甕、須恵系bが坏、高台坏、皿である。須恵系aが出土する遺構はSBB2、SBC3、SBE1、SID1、SKB1、SDB4、SXA2、SXA3、SXB1、PPA25、PPB40、PPE776、B区遺物集中2・3、遺構外B・D区付近、須恵系bが出土する遺構はSBB2、SID1、SKB1、SXB1、SXC1、SXD1、B区遺物集中1-3・2、遺構外B区付近である。比較的まとまりを持って確認されているのは、須恵系aがSBB2、SBE1、SID1、SKB1、SXA2、B区遺物集中2などの掘立柱建物、竪穴建物、土坑、性格不明遺構、遺物集中箇所、須恵系bがSID1、SKB1、SXB1、SXD1、B区遺物集中2などの竪穴建物、土坑、性格不明遺構である。須恵系a・bともに、915年に降下したとされる十和田a火山灰を堆積するSBB2、SID1、SKB1、SXD1の出土状況は火山灰より下層から出土している。これから、須恵系a・bは10世紀前葉以前にはすでに成立し、生産されていたと考えられる。須恵系aの器種は坏類が大半で、煮炊きに供する須恵系a長胴甕は整地層範囲（ⅡB16g）（447）、整地層範囲（ⅡB17q）（448）から2点のみ出土しており、少ない。

今回の調査で出土量の8割以上を占める土師器・須恵器坏類を見ると、すべてロクロ成形で須恵器

坏の大半が底部回転糸切りで底部・体下部が再調整されず、土師器坏は約半数が底部が回転糸切りで、底部・体下部が再調整されないもので、残りが底部または体下部が回転ヘラケズリもしくは手持ちヘラケズリされるものである。

八木が示した土器編年によれば、「2期（9世紀中葉）から、須恵器坏は底径が小形化しやや丸みを持つ器形となり、底部も糸切りが主体となるもヘラ切りもかなり残る。土師器坏も底径がやや小形化し、底部から体部への移行が少しなめらかになる。土師器坏の底部や体部下端はほとんどが再調整される。3期（9世紀後葉）の須恵器坏は口縁部が外傾し、ヘラ切りがほとんどなくなって糸切りとなり、底径がやや小さくなる。底部から体部への移行も緩やかになり、口縁部は直線的に外傾する。土師器坏は底部～体部下端を再調整するものが依然多く、体部は丸みを有する。また、少量ながら赤焼土器坏（須恵系土器）も出現する。4期（9世紀末～10世紀初頭）は、土師器坏は再調整がほとんどなくなり、須恵器坏は大幅に減少し、代わって赤焼土器が一定量を占めるようになる」としている（八木 2014）。これに本遺跡の須恵器坏・土師器坏を当て嵌めれば、まさに2期（9世紀中葉）から3期（9世紀後葉）への過渡期にあり、須恵系土器が主体となる前までの9世紀中葉～10世紀初頭の土器群と見ることが出来よう。

刻書・墨書土器、煮炊具、須恵系土器 a・b については選別の際に意識的に取り上げていることから考えても、長胴甕などの煮炊具の出土量は極端に少ないと考えられる。これは一般集落のような生活の場と異なる遺跡の様子を表していると思われ、官衙的な遺跡の特徴と言えよう。

第 226～229 図に刻書・墨書土器の集成図を掲載した。刻書は土器底部に「×」や「十」、「一」、「＝」を線刻している。墨書は「十万」が最も多いが、「万」は吉祥を表していて、たくさんのものの状態を表しており、豊饒祈願の意を込めて記載されたと考えられる（平川 1991）。このほかに、「八万」、「閨」カ、「加」、「吊」カ、「山□」、「二□」、「平□」があり、種類不明なものが8点ある。

【参考文献】

- 八木光則 2014「第2章 9～11世紀の土器編年構築と竪穴建物跡の集成から見た、北東北の特質 9. 胆沢・江刺・磐井地区（2）土器編年」『9～11世紀の土器編年構築と集落遺跡の特質からみた、北東北世界の実態的研究』2011～2013年度明治大学大久保忠和考古学振興基金奨励研究成果報告書 北東北古代集落遺跡研究会
白鳥良一 1982「第Ⅶ章 2の（2）土器」『多賀城跡 政庁跡本文編』宮城県文化財保護協会 宮城県多賀城跡調査研究所
宮城県多賀城跡調査研究所 1993「4. 考察」『宮城県多賀城跡調査研究所年報 1992 多賀城跡』
古川一明 2006「Ⅳ. 多賀城跡の11世紀～12世紀の土器について」『宮城県多賀城跡調査研究所年報 2006 多賀城跡』宮城県多賀城跡調査研究所
伊藤博幸 2007「陸奥・出羽の須恵系土器・あかやき土器小論 - 王朝国家期における二系統の土器型式 -」『古代蝦夷からアイヌへ』吉川弘文館
平川南 1991「墨書土器とその字形 - 古代村落における文字の実相」『国立歴史民俗博物館研究報告』第35集

陶磁器（458～508）

平安時代の緑釉陶器（458～460）、奥州藤原氏時代の渥美窯産・常滑窯産陶器（461～465）、中世後半～末の陶磁器（466～490）、近世～近代の陶磁器（491～508）を掲載した。

縄文土器（509～519）

SXE3 土器埋設遺構出土の 509 深鉢のほか、縄文時代晩期末葉（大洞 A' 式）と考えられる土器片を少量出土し、掲載した。

土製品（520～522）

SIA1、SKB2、SDB4 から平安時代の丸瓦を出土し、掲載した。

石器（523～547）

平安時代に比定される砥石や被熱礫（523～528）、中世と考えられる砥石や石臼、台石、黒色付着物のある円礫（529～537）、縄文時代晩期に属する石鏃、石錐、石匙、スクレイパー類、二次加工あ

る剥片（538～547）を出土し、掲載した。

石製品（548～550）

16世紀と見られる硯、平安時代の不明石製品、縄文時代晩期の石冠を出土し、掲載した。

金属製品（551～557）

16世紀と考えられる鉄鎌、椀片、金具、釘、鉄鋌、17世紀中葉～後葉の煙管を出土し、掲載した。

銭貨（558～568）

北宋銭の祥符通寶や天聖元寶、皇宋通寶、明銭の洪武通寶、寛永13年（1636年）初鑄の寛永通寶（古寛永）、元禄10年（1697年）初鑄の寛永通寶（新寛永）、明治3年（1870年）鑄造の旭日竜五銭銀貨を出土し、掲載した。

木質遺物（569～1086）

平安時代の木質遺物（569～583）は、曲物底板・側板、籬物の桶底板・側板、下駄の一部か、農具柄の一部か、木錘、机の支脚かとみられる部材、抉り痕のある板材、棒状木製品、板状木製品の一部、樹皮が出土し、掲載した。

戦国時代末の木質遺物（584～654）は、木簡（笹塔婆）、木簡（塔婆）の一部か（近年の混入物の可能性あり）、漆器椀、削物（槽か）、曲物底板・側板、籬物の桶底板・側板、木栓、篋か、杓子、連歯下駄、荷札か、鋏先、農具柄の一部か、木錘、樹皮製籠、弓か、竹製品の一部、樹皮、略半円形の板状木製品、板状木製品、付け木が出土しており、掲載した。

平安時代と戦国時代以降に用いられた建築部材を掲載した。なお、不動沈下防止のために設置された地下礎盤については、板状に整形加工している際は礎板、丸太や半割・大割材をそのまま用いている際は枕木、建築時に木材加工の過程で出た木端を端材と表記している。

平安時代の建築部材（655～782、793、803～805）は、SBA2柱材・礎板、SBA3ab礎板、SBB2礎板、SBB3柱材・礎板、SBC2礎板、SBC3礎板、SBC4柱材、SBC5柱材、SBC6柱材、SBC7礎板、SBD1枕木、SBD2礎板・枕木、SBD3柱材・端材、SBE1柱材・礎板・端材、SBE2柱材、SBE3礎板、SBE4柱材・礎板・枕木、SBE6柱材、SBE7柱材、SBE8礎板、SBE9柱材・礎板、SBE10柱材・礎板・枕木・端材、SBE11柱材・枕木、SXC2柱材、PPC172柱材・端材から出土しており、掲載した。

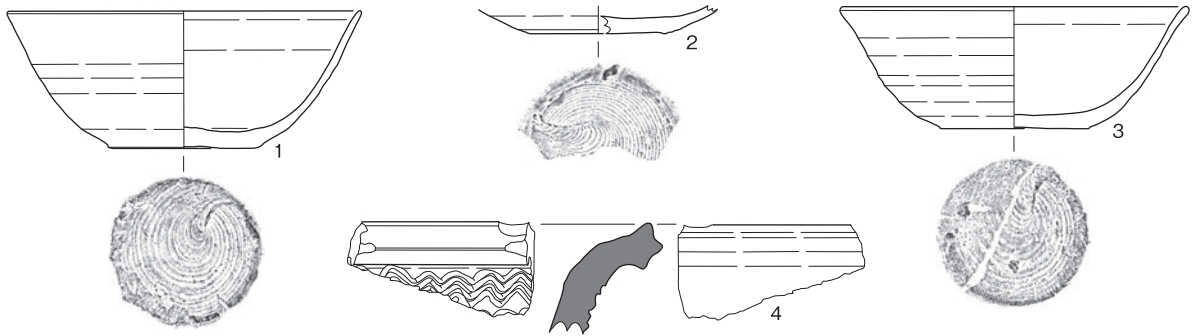
戦国時代以降の建築部材（783～836）は、SBC10柱材、SBC12柱材、SBC15柱材、SBC18枕木、SBC19柱材、SBE21柱材、SBE22柱材、SDD2柱材、PPB343礎板、PPD106礎板、PPB120・PPB249・PPC18・PPC36・PPC108・PPC173・PPC195・PPC243・PPC300・PPC595・PPC596・PPC670・PPC685・PPC727・PPC795・PPC832・PPC859・PPC874・PPC911・PPC948・PPC972・PPD80柱材、PPE26杭材、PPE87・218・223・224・227・443・445柱材、PPE494枕木、PPE571柱材から出土しており、掲載した。

その他に、SKB2は木樋・杭材（837～845）、SDB1は堰横木材・杭材（846～868）、SDC7は杭材（869・870）、SDD2は杭材・護岸横木材（871～1086）が出土し、掲載した。

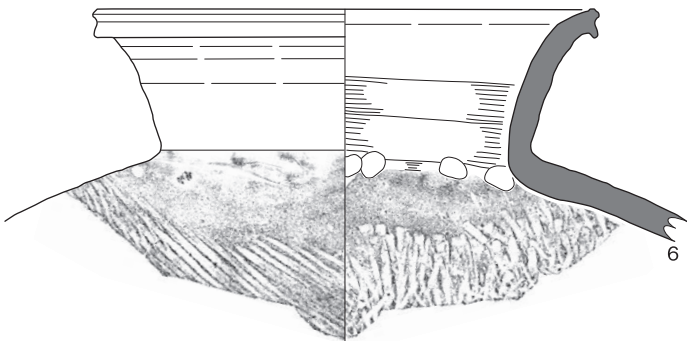
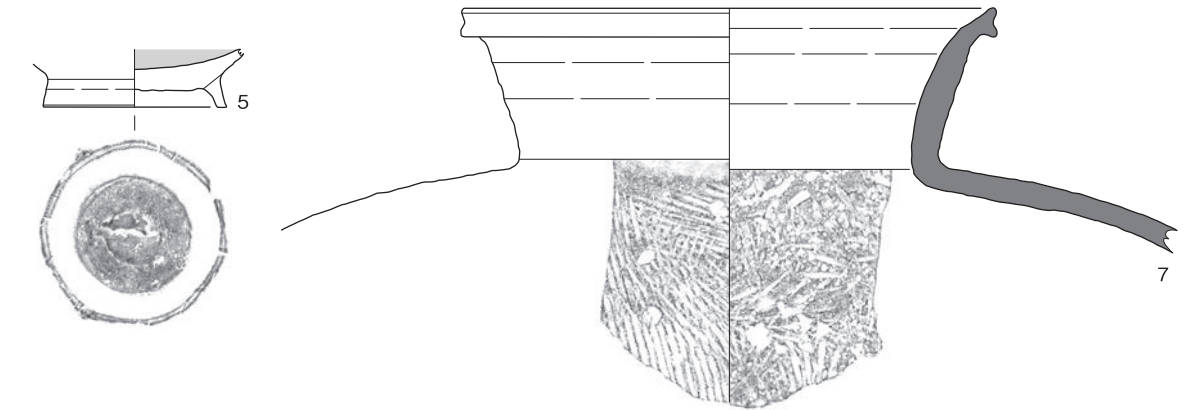
動物遺存体（1087・1088）

戦国時代末と考えられる馬歯2点を出土し、掲載した。

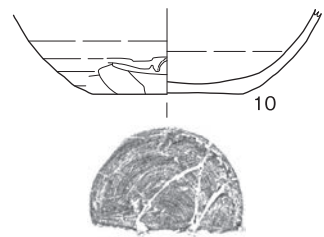
SBB2 (1~4)



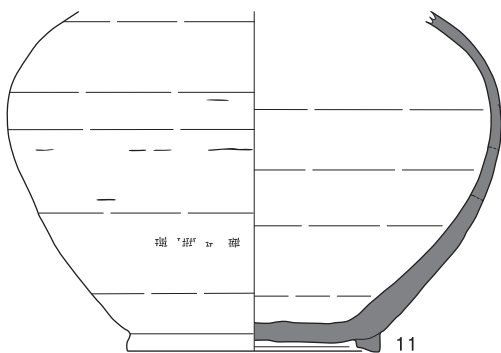
SBC2 (5~7)



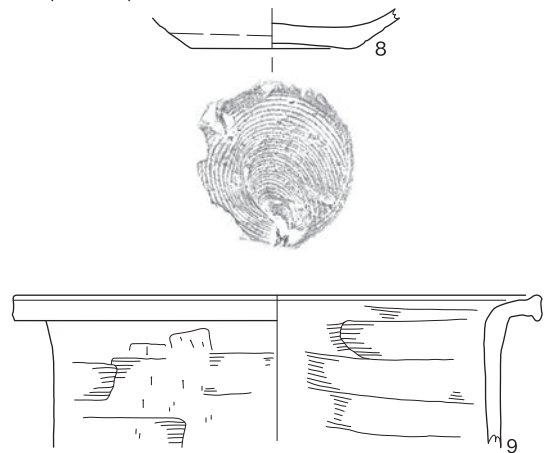
SBC4 (10)



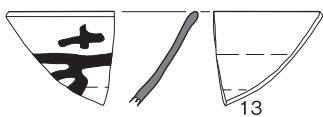
SBC6 (11)



SBC3 (8・9)



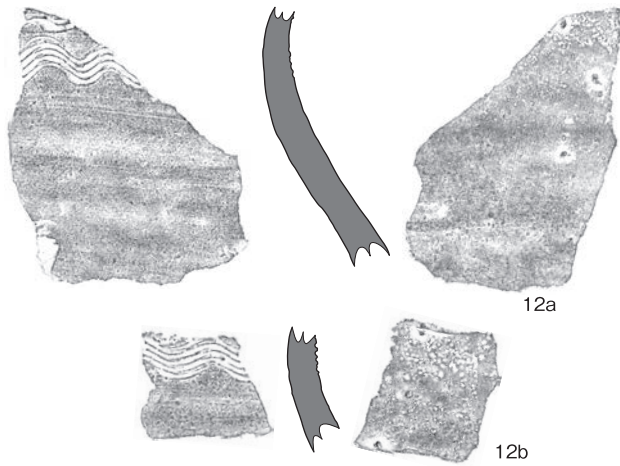
SBD2 (13)



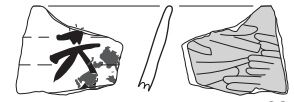
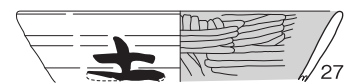
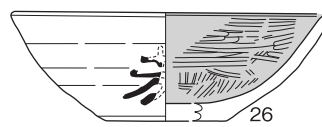
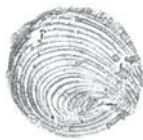
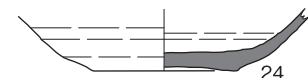
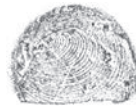
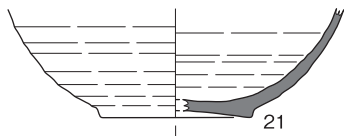
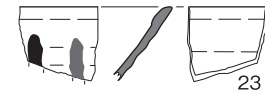
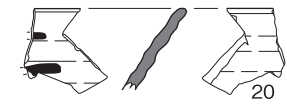
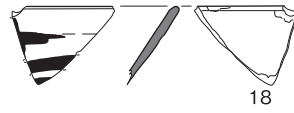
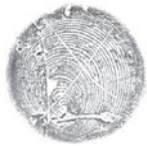
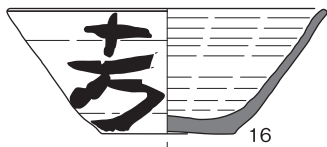
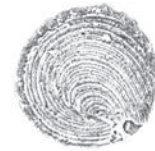
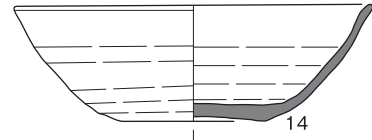
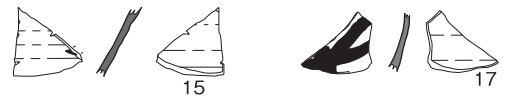
0 1:3 10cm

第133図 土師器・須恵器(1)

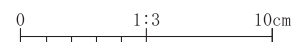
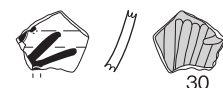
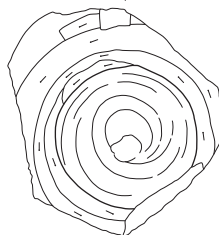
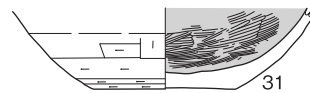
SBC9 (12)



SBE1 (14 ~ 32)

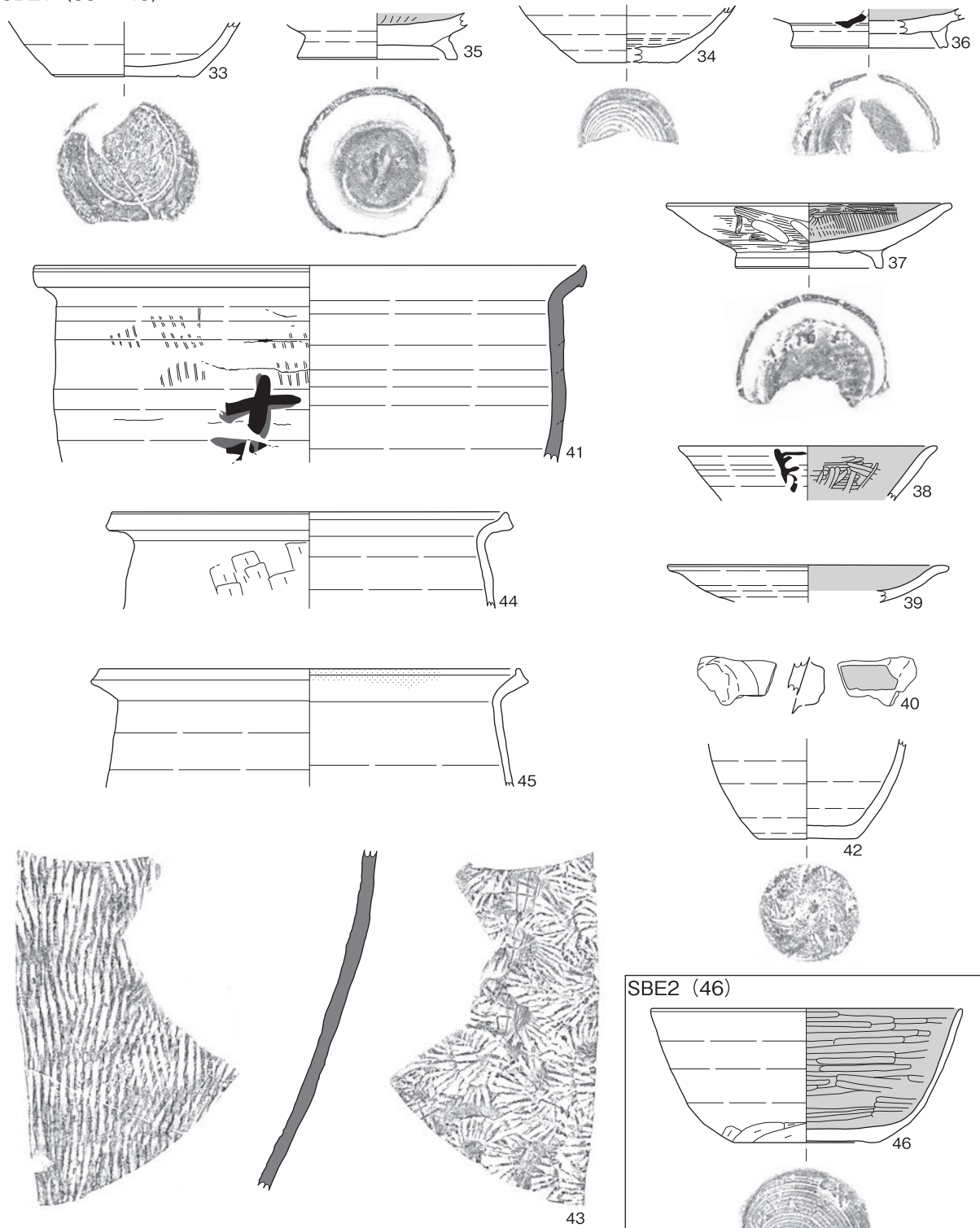


茶色漆

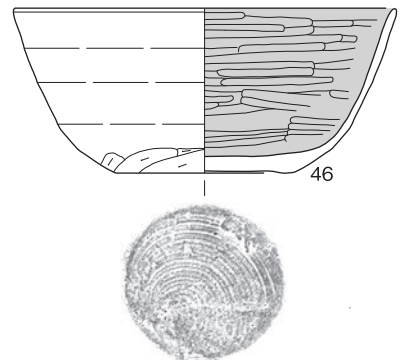


第 134 図 土師器・須恵器 (2)

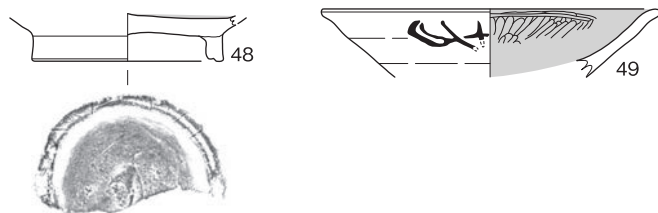
SBE1 (33 ~ 45)



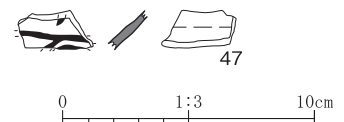
SBE2 (46)



SBE4 (48 · 49)

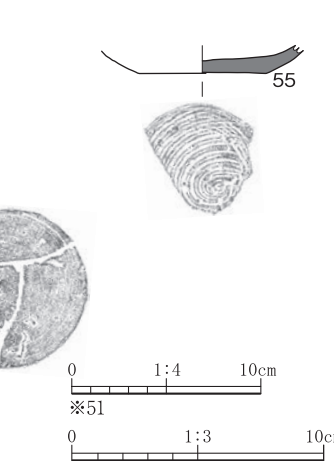
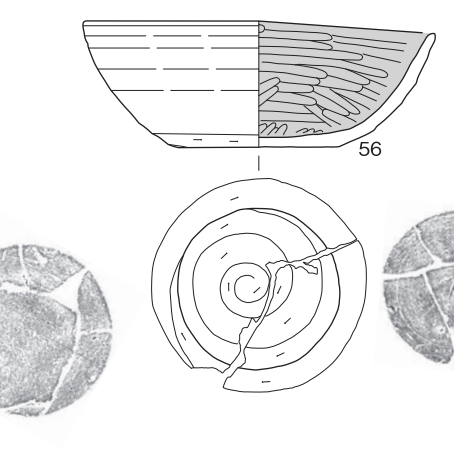
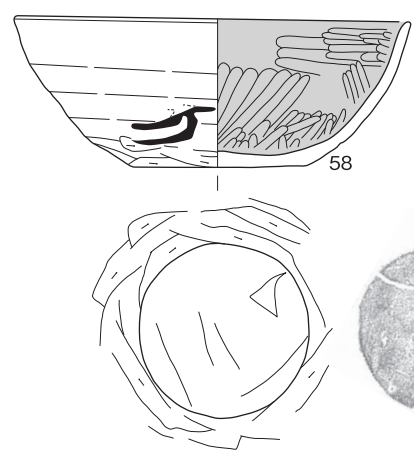
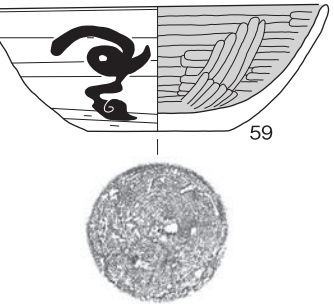
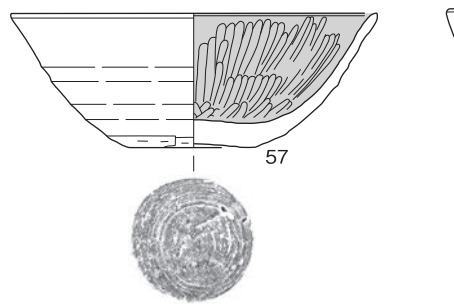
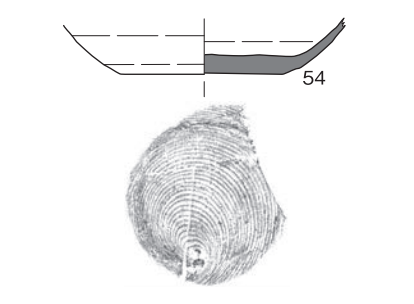
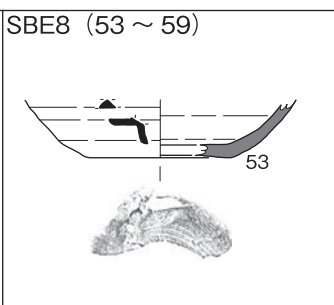
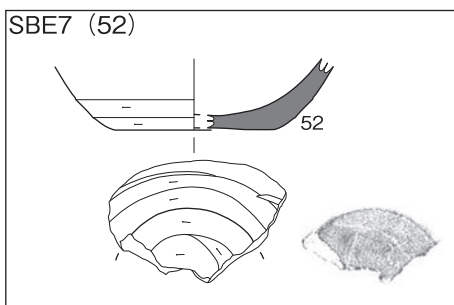
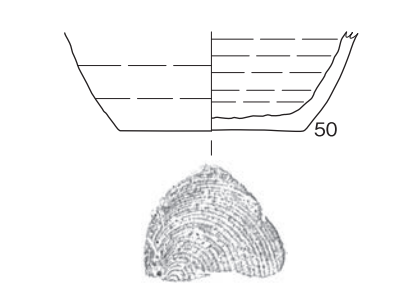
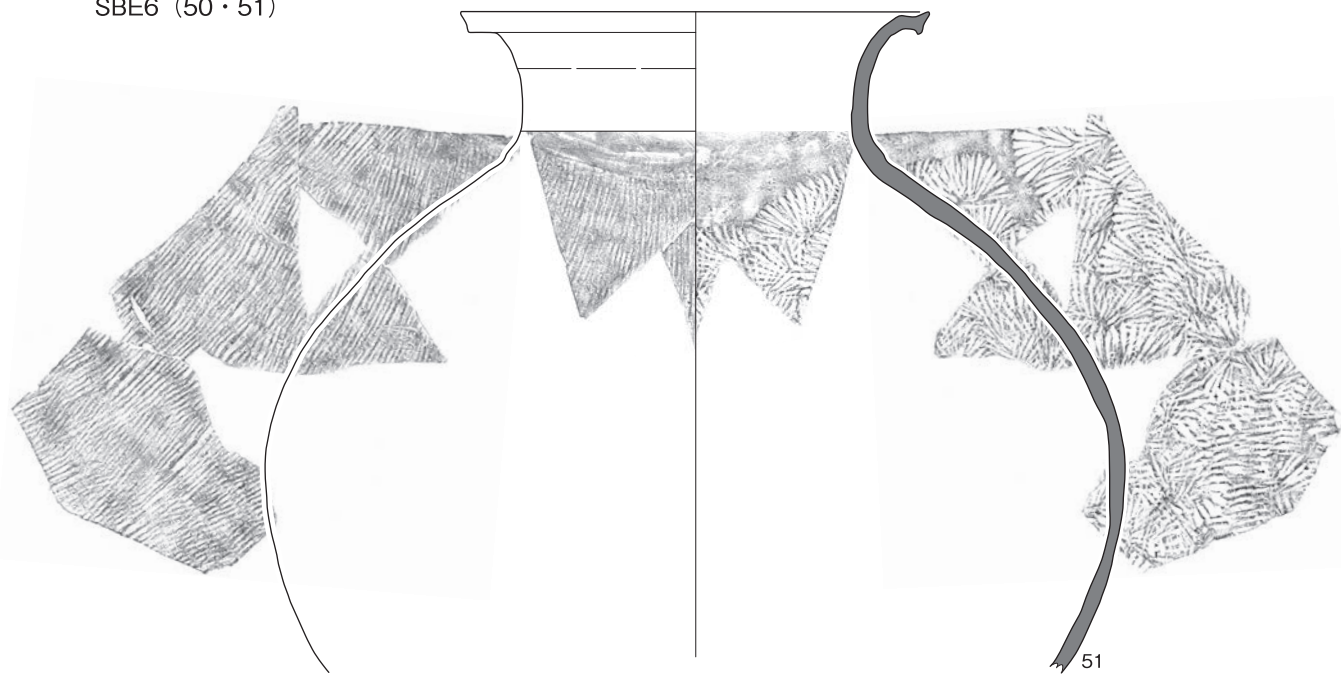


SBE3 (47)



第 135 図 土師器・須恵器 (3)

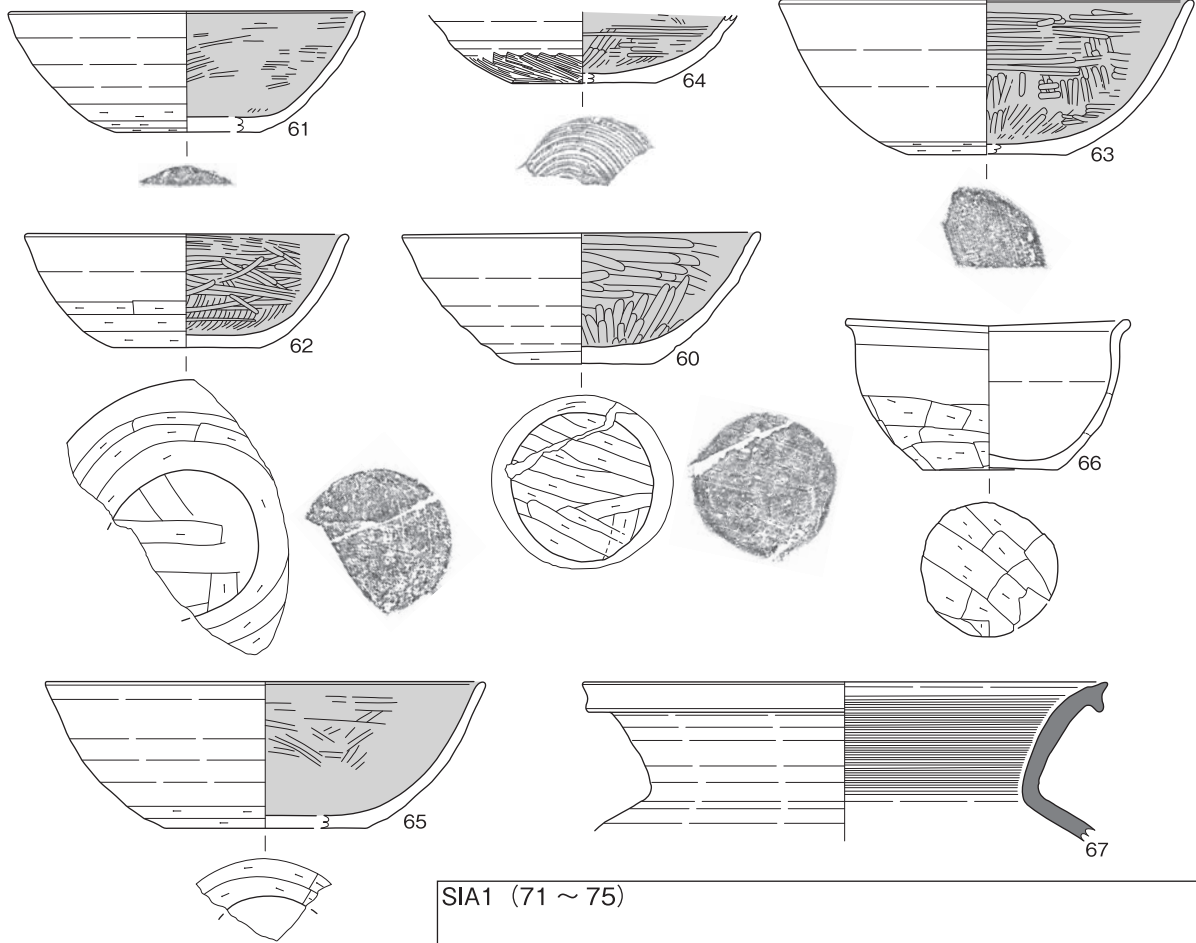
SBE6 (50・51)



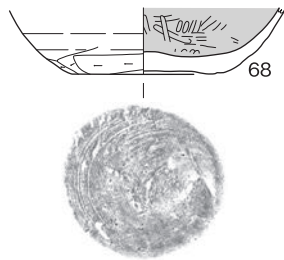
0 1:4 10cm
 ※51
 0 1:3 10cm

第 136 図 土師器・須恵器 (4)

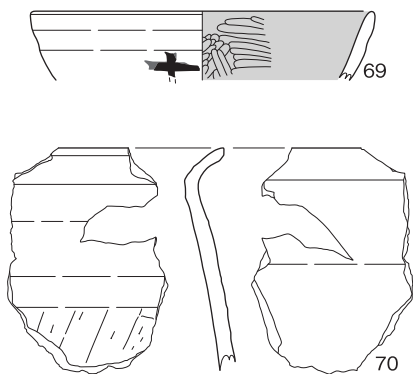
SBE8 (60 ~ 67)



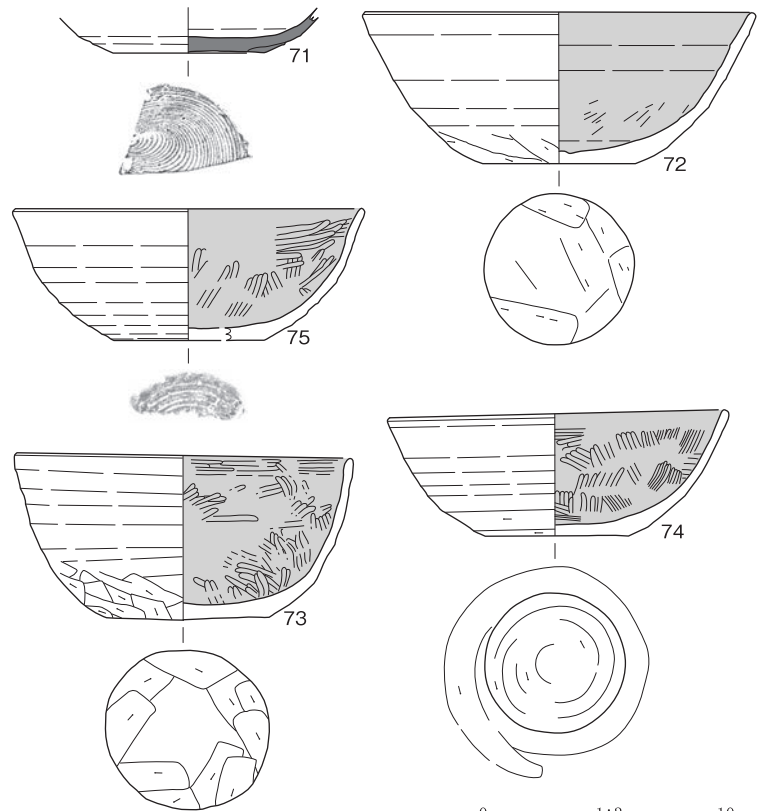
SBE10 (68)



SBE11 (69, 70)



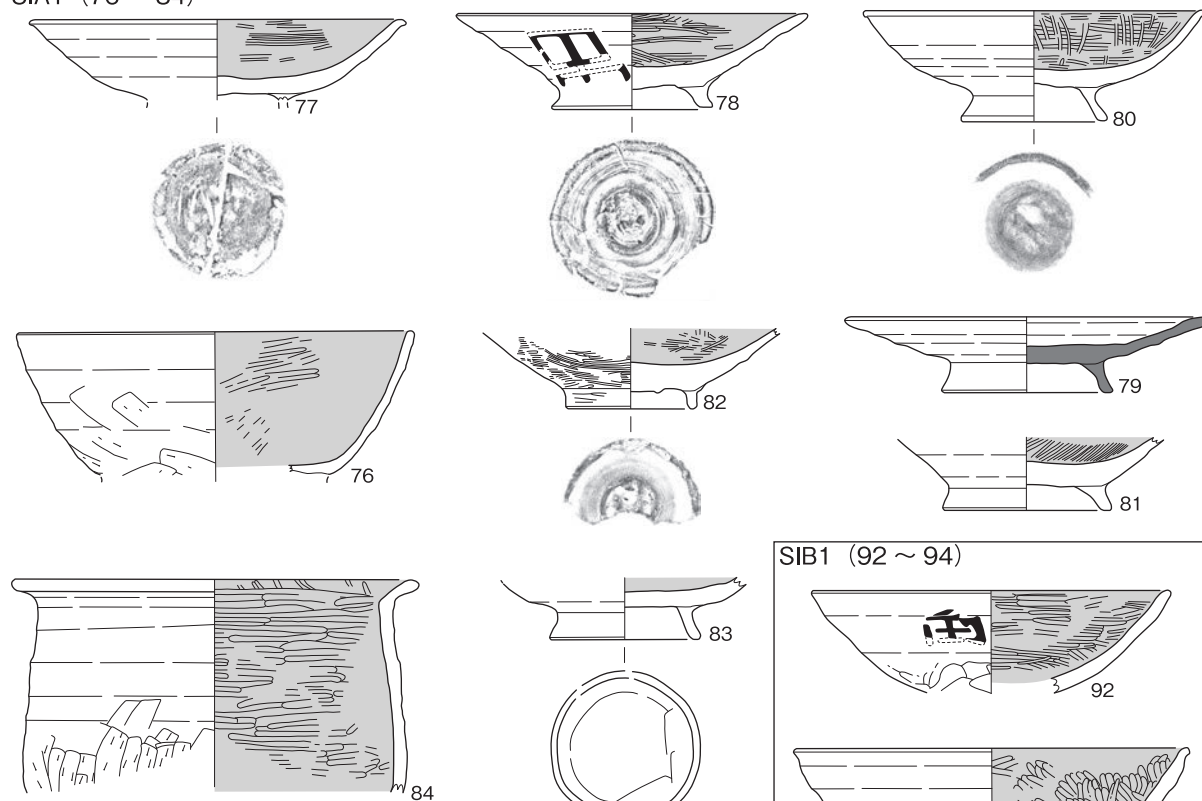
SIA1 (71 ~ 75)



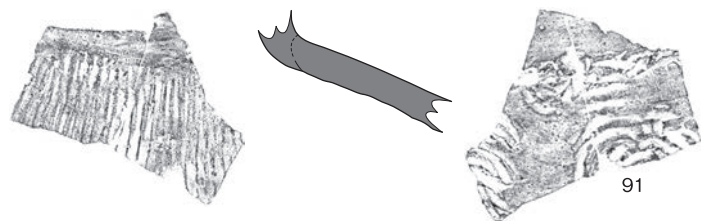
0 1:3 10cm

第 137 図 土師器・須恵器 (5)

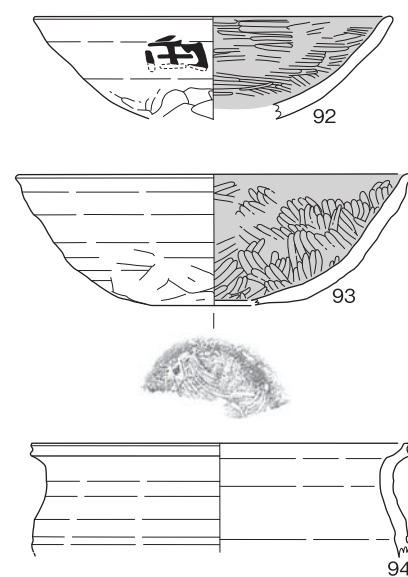
SIA1 (76 ~ 84)



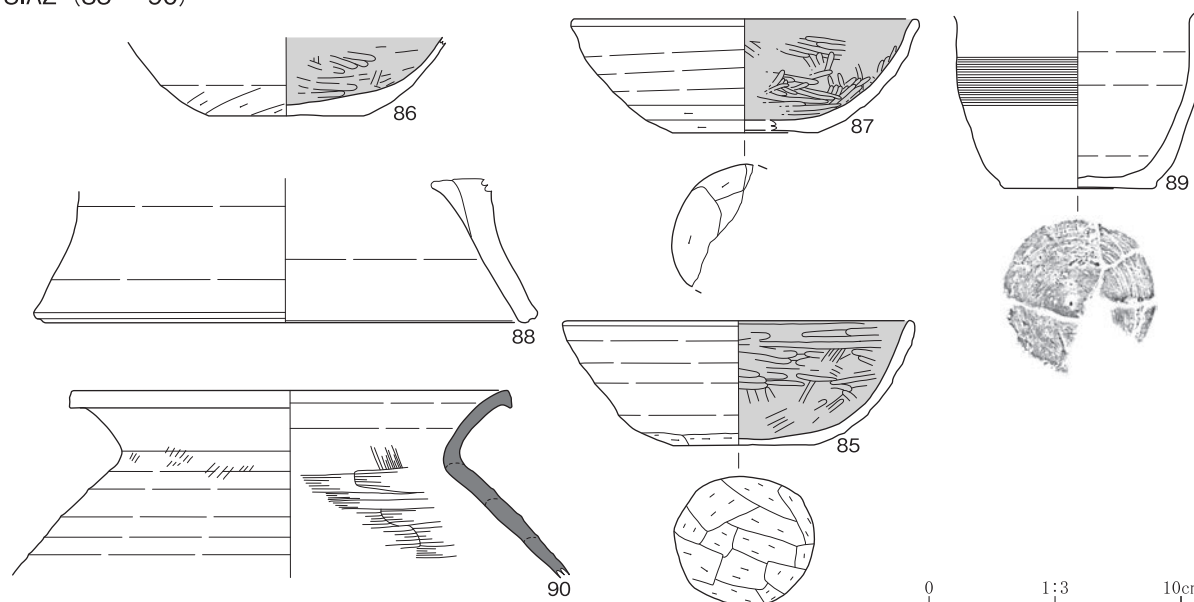
SIA3 (91)



SIB1 (92 ~ 94)



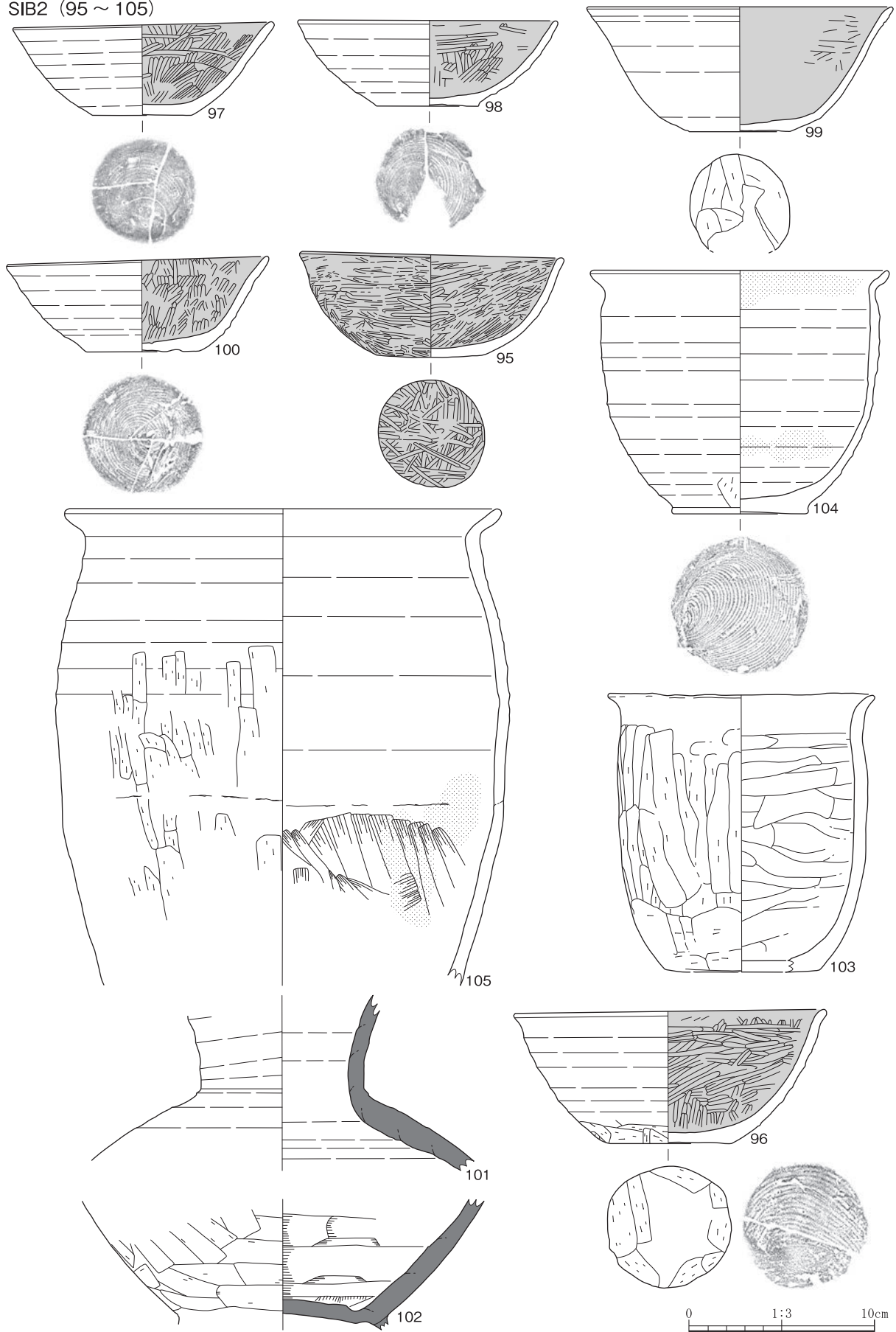
SIA2 (85 ~ 90)



0 1:3 10cm

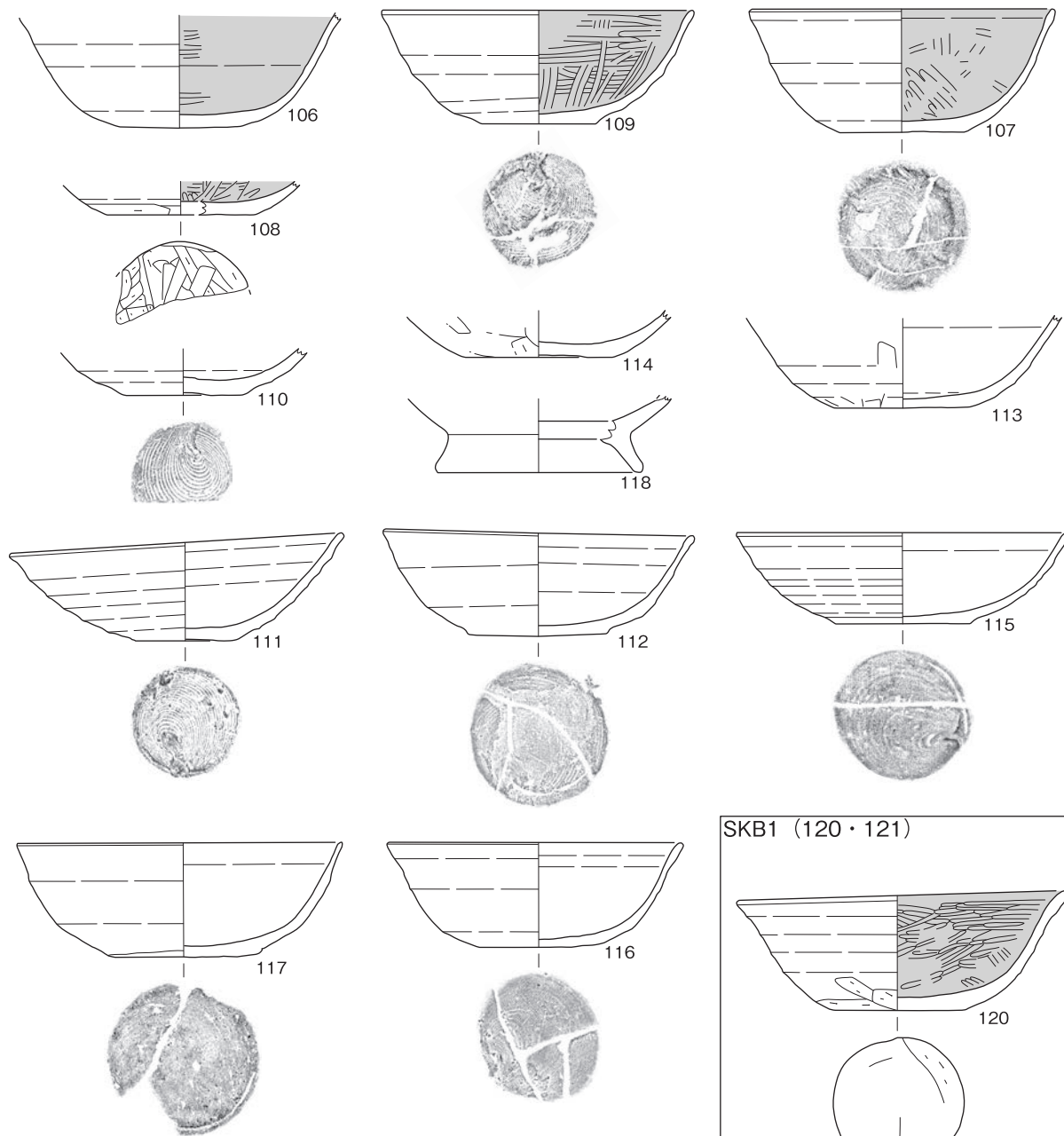
第 138 図 土師器・須恵器 (6)

SIB2 (95 ~ 105)

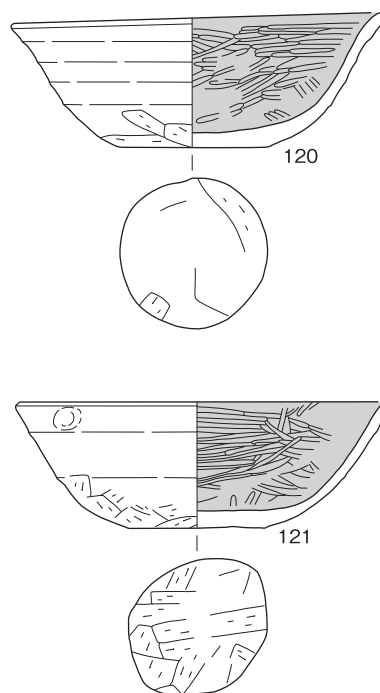


第 139 図 土師器・須恵器 (7)

SID1 (106 ~ 119)



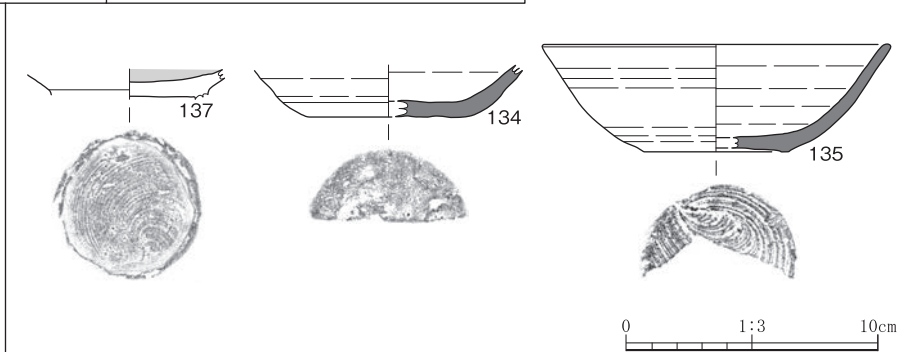
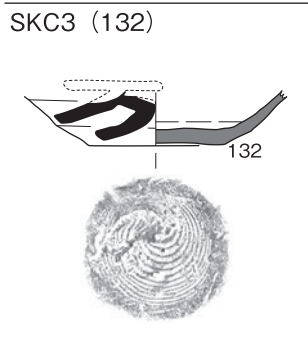
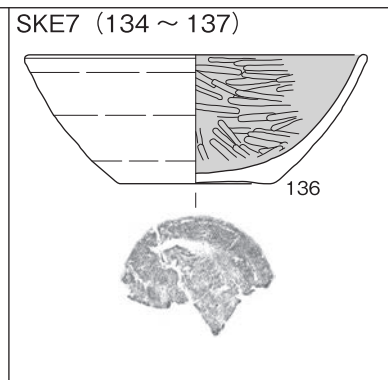
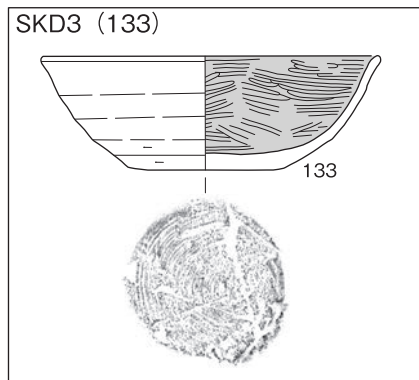
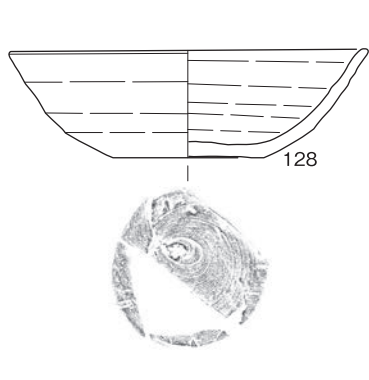
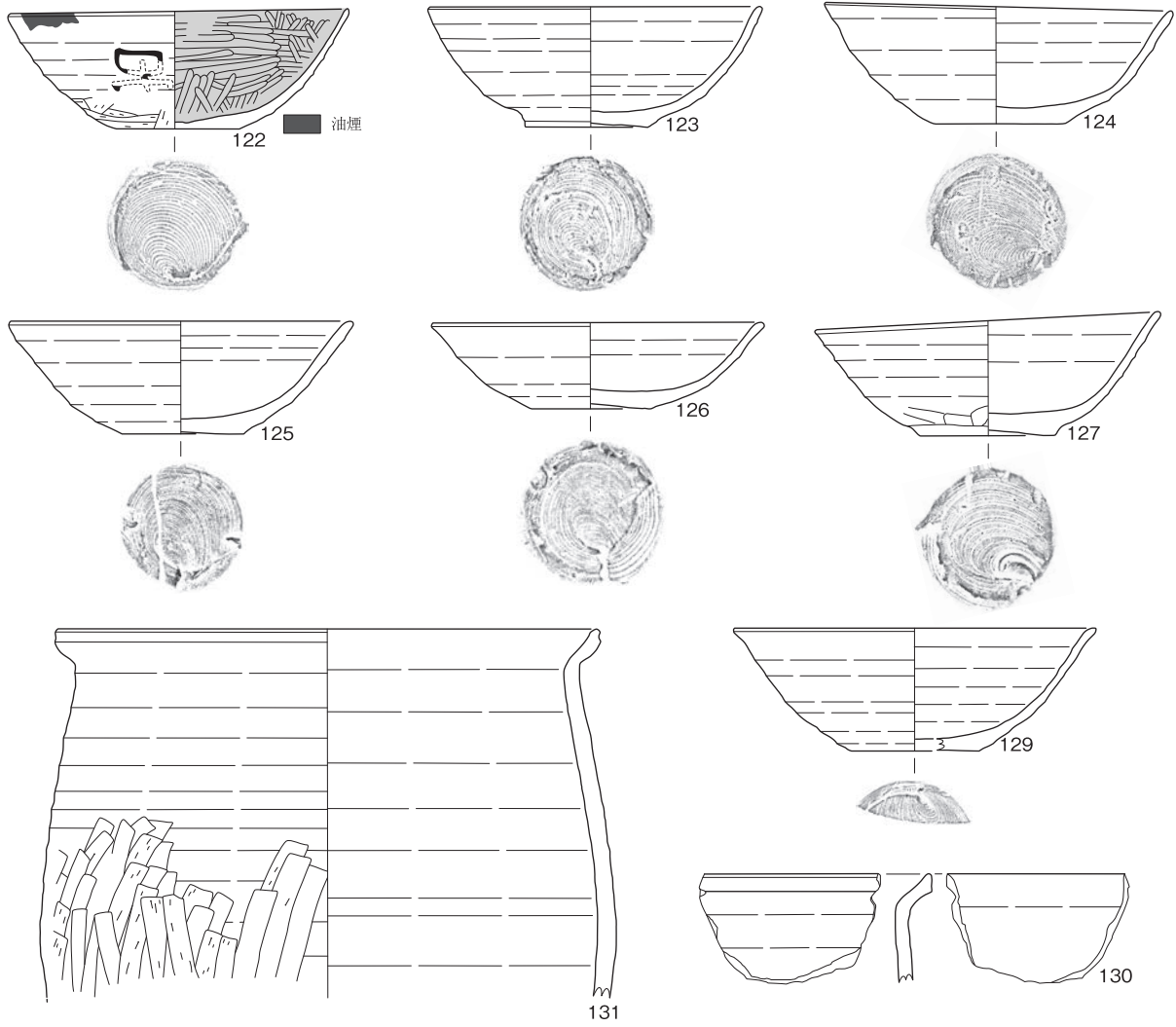
SKB1 (120・121)



0 1:3 10cm

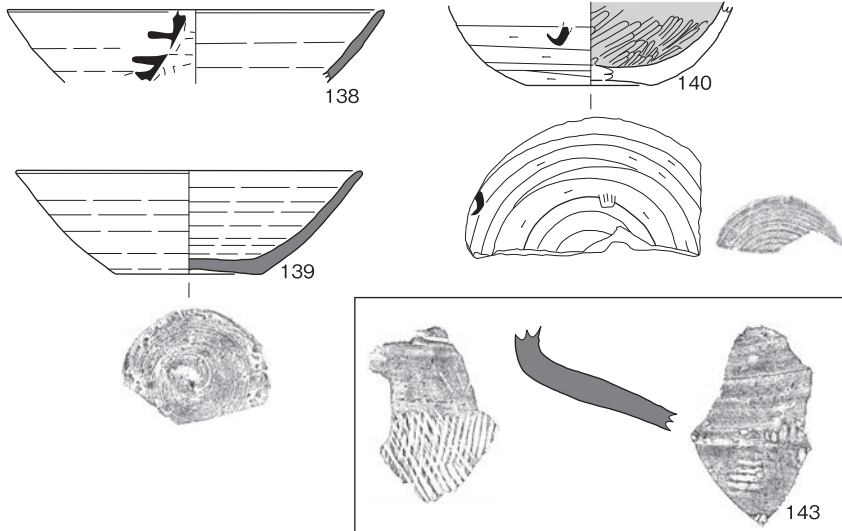
第 140 図 土師器・須恵器 (8)

SKB1 (122 ~ 131)

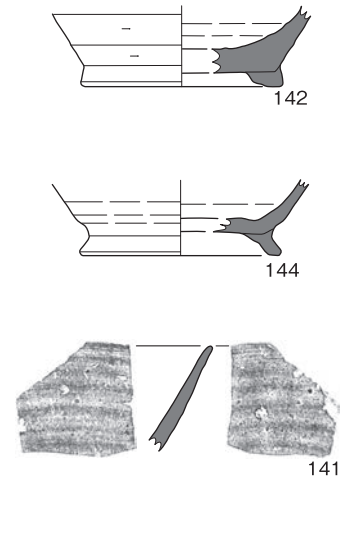


第 141 図 土師器・須恵器 (9)

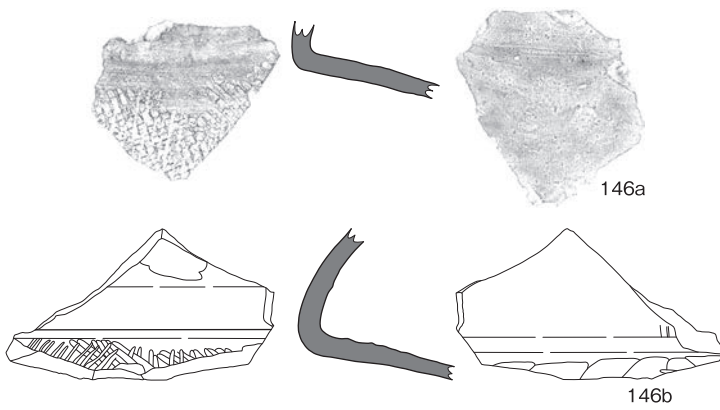
SKE9 (138 ~ 140)



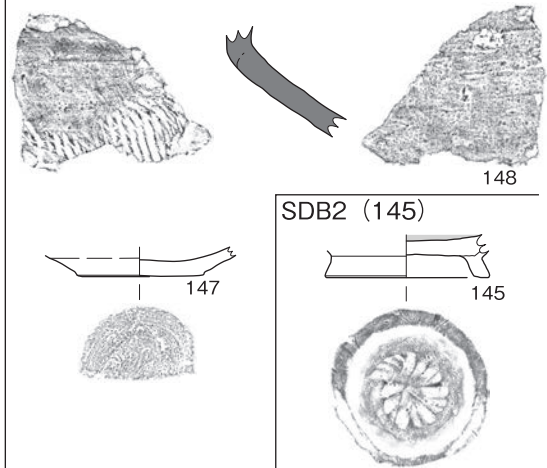
SDB1 (141 ~ 144)



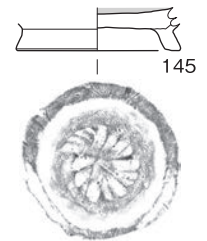
SDB3 (146)



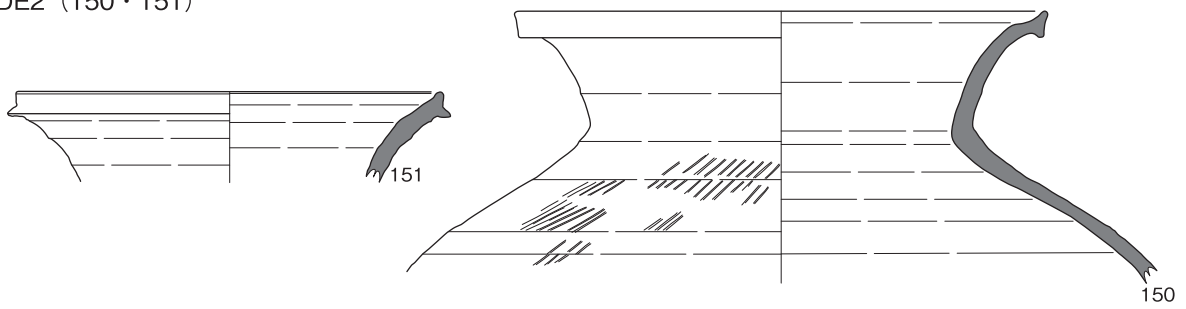
SDB4 (147 · 178)



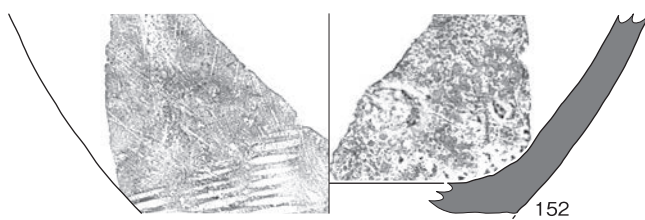
SDB2 (145)



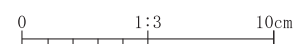
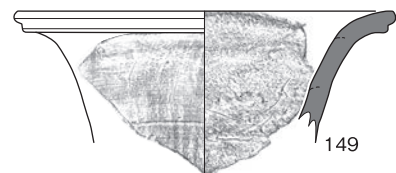
SDE2 (150 · 151)



SDE3 (152)

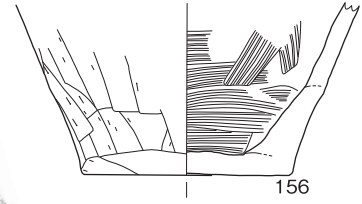
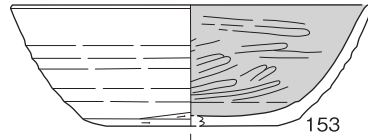
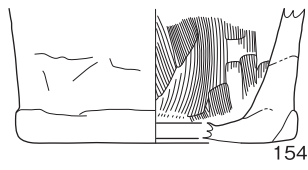


SDE1 (149)

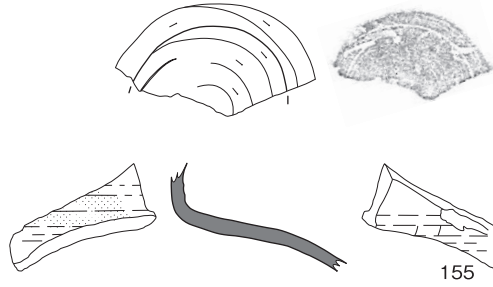
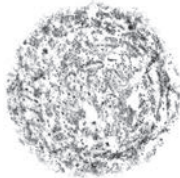
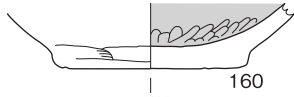
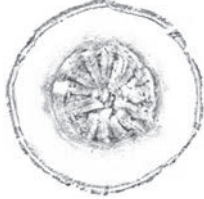
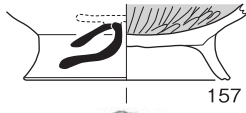


第 142 図 土師器・須恵器 (10)

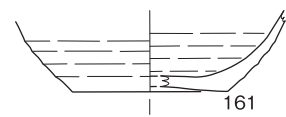
SXA1 (153 ~ 156)



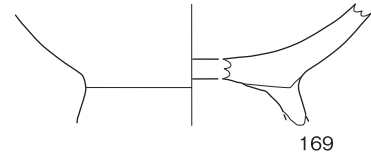
SXA2 (157 ~ 160)



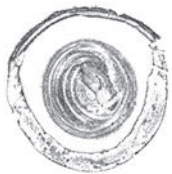
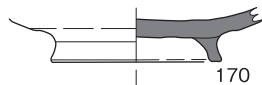
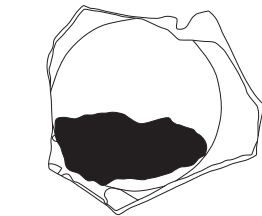
SXA3 (161)



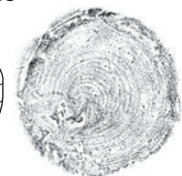
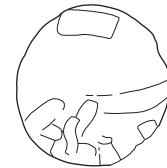
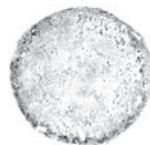
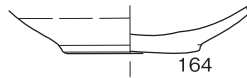
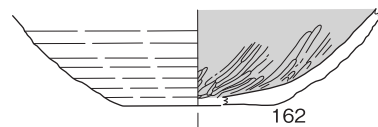
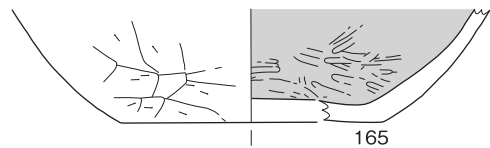
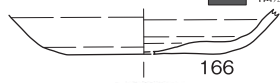
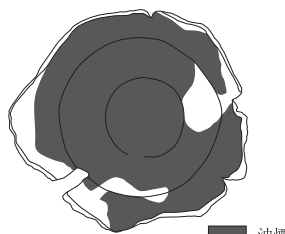
SXB6 (169)



SXB7 (170)



SXB1 (162 ~ 167)



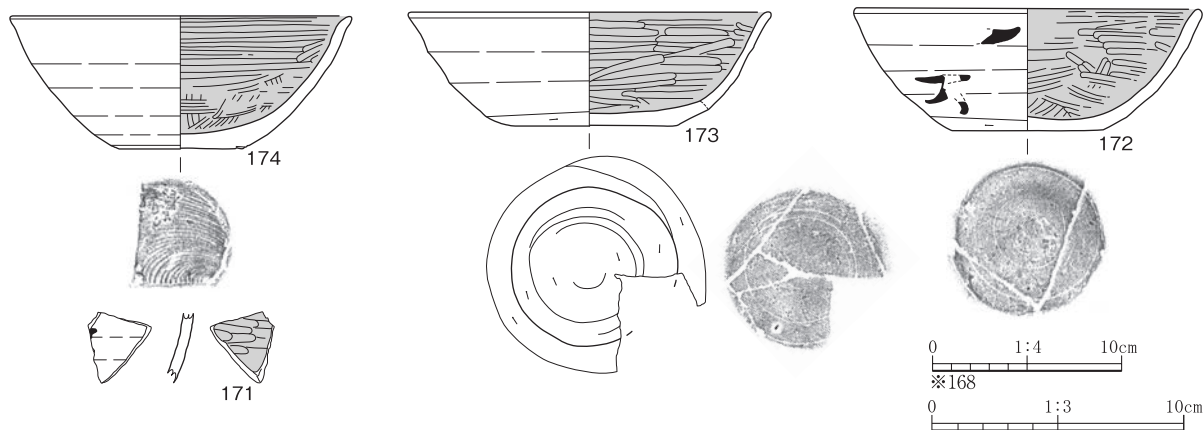
0 1:3 10cm

第 143 図 土師器・須恵器 (11)

SXB1 (168)

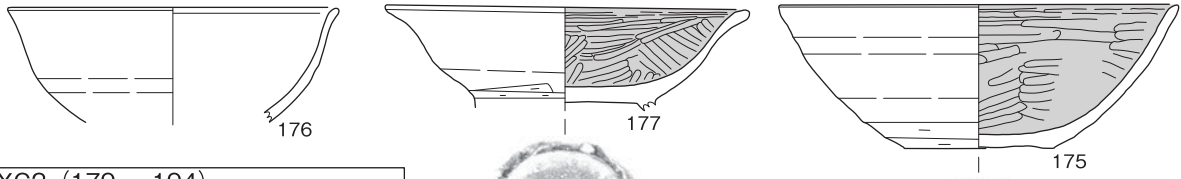


SXC1 (171 ~ 174)

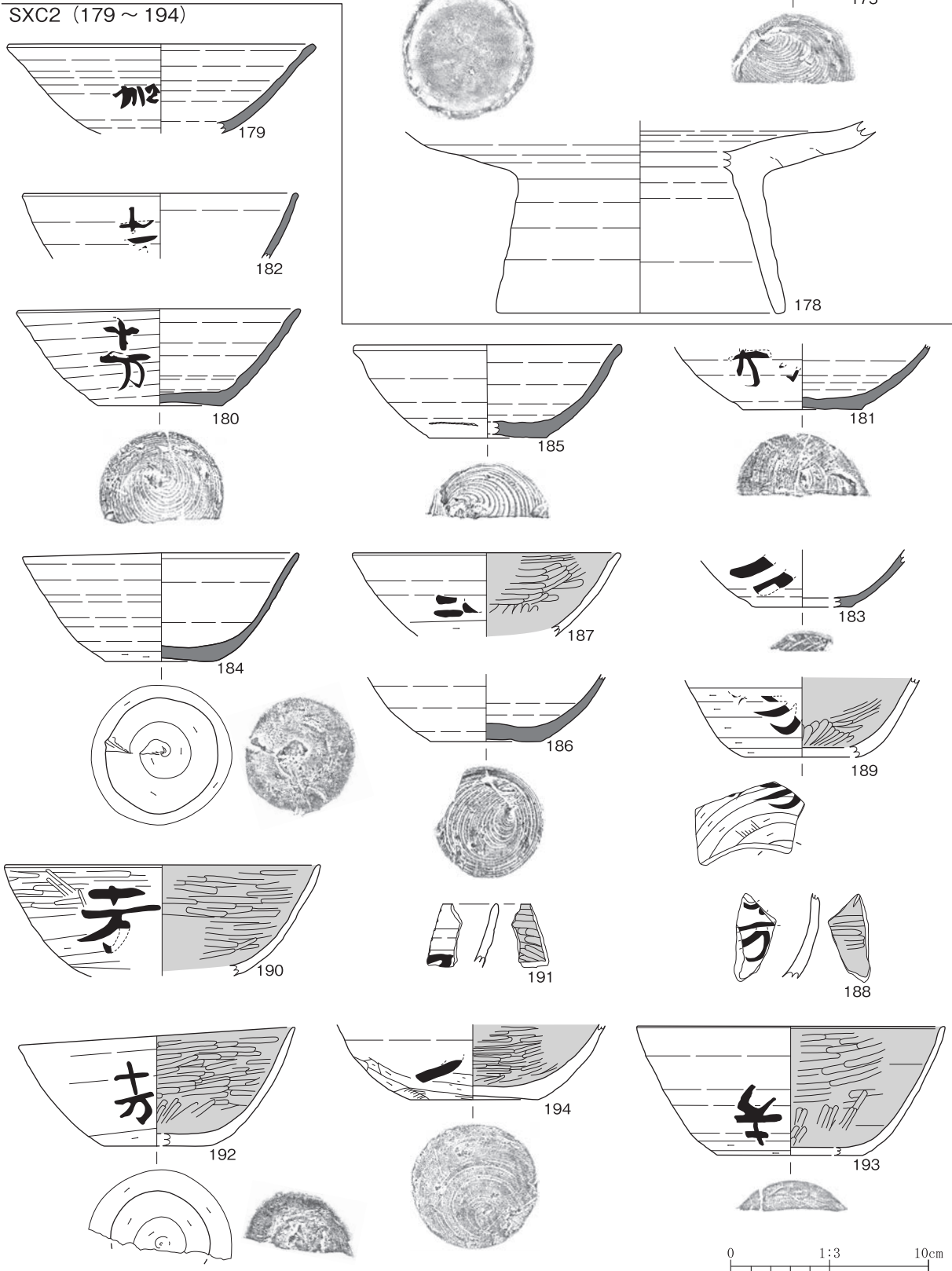


第 144 図 土師器・須恵器 (12)

SXC1 (175 ~ 178)

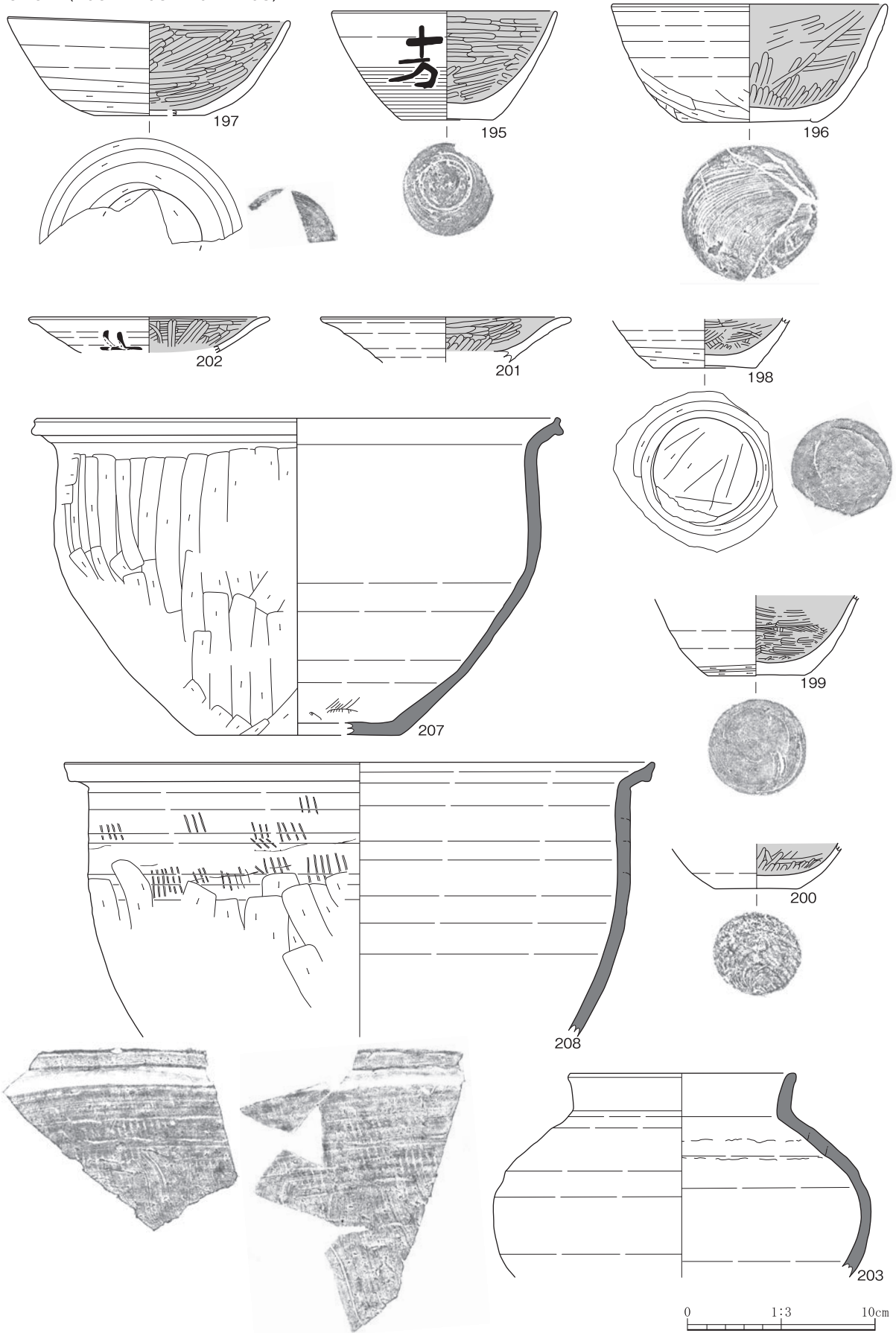


SXC2 (179 ~ 194)



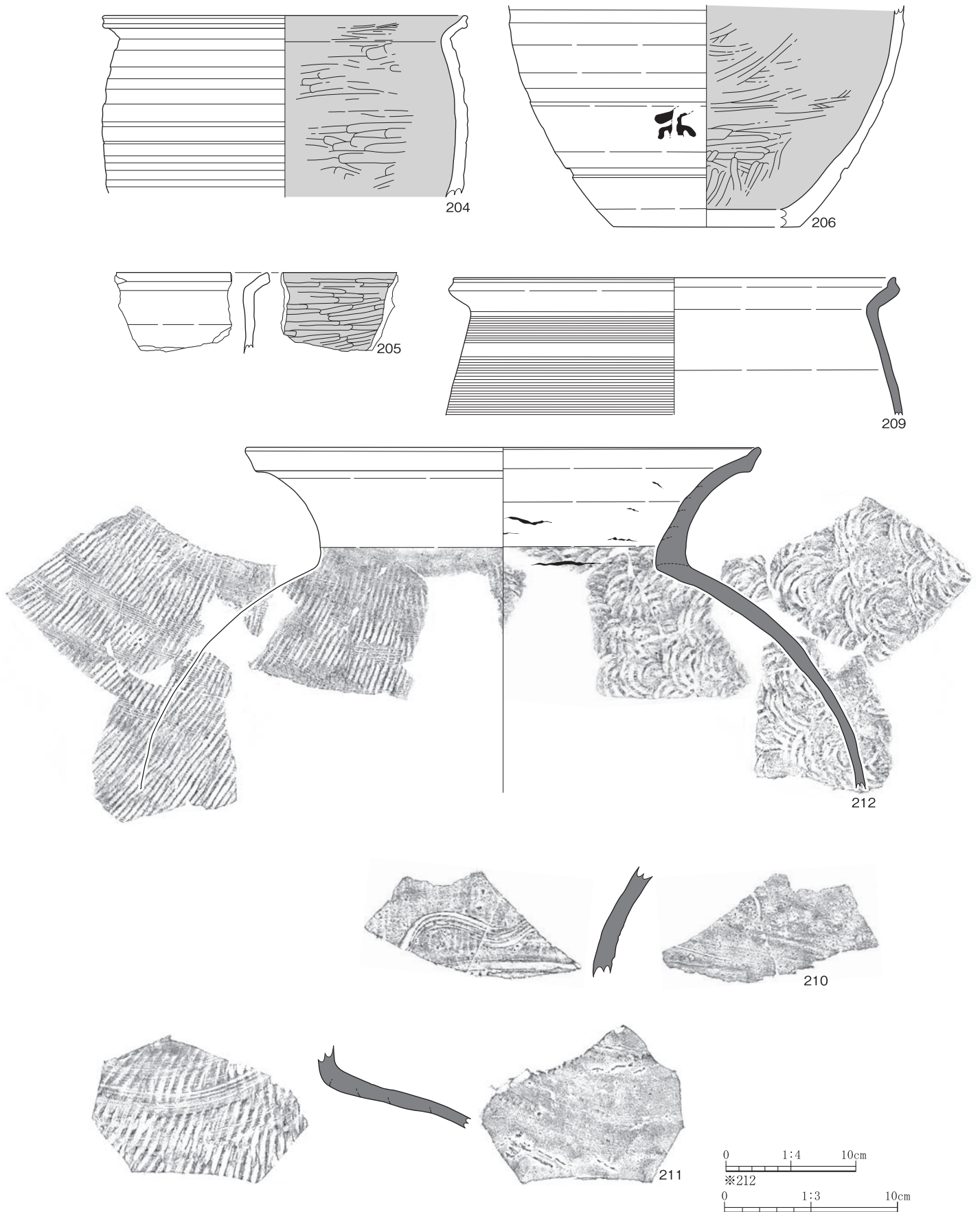
第 145 図 土師器・須恵器 (13)

SXC2 (195 ~ 203 · 207 · 208)



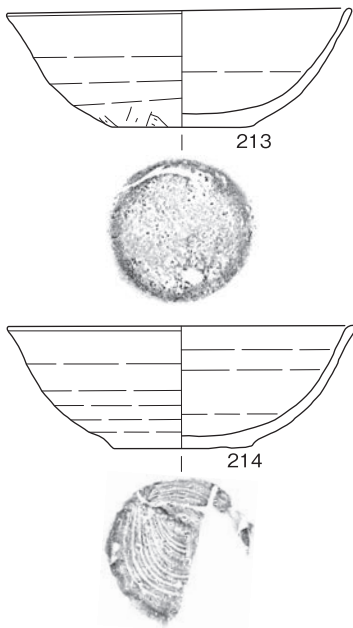
第 146 図 土師器・須恵器 (14)

SXC2 (204 ~ 206 · 209 ~ 212)

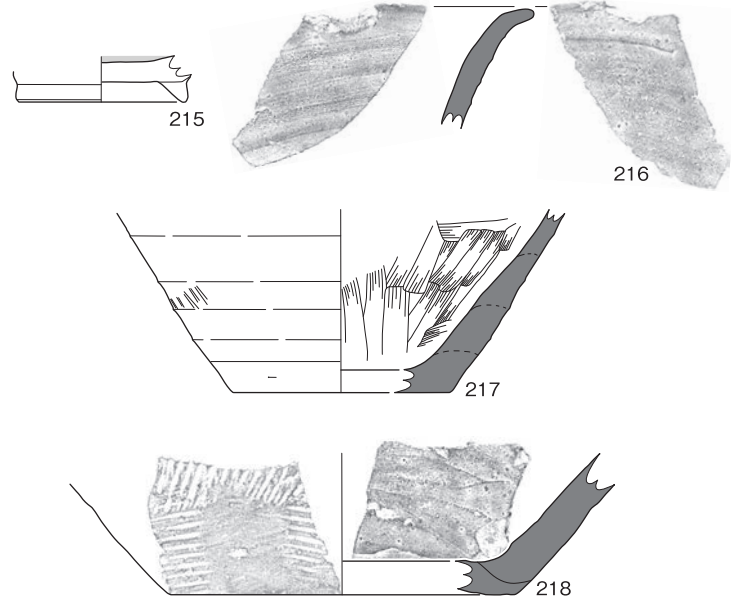


第 147 図 土師器・須恵器 (15)

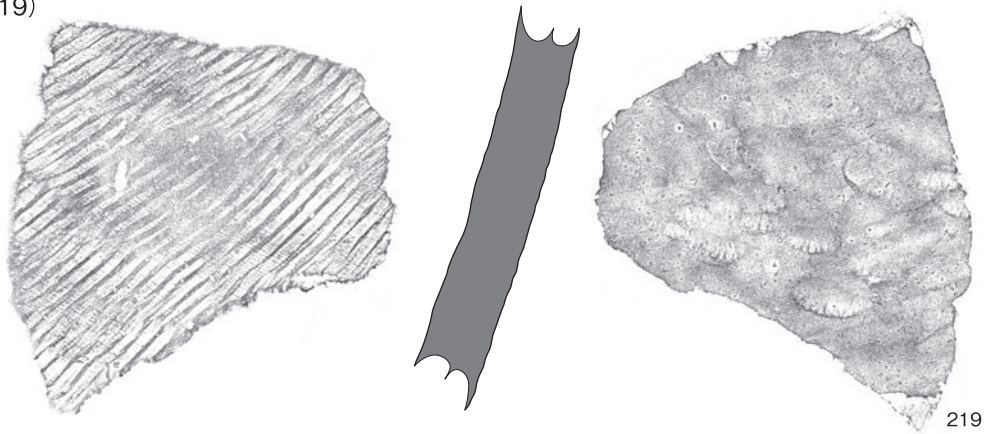
SXD1 (213・214)



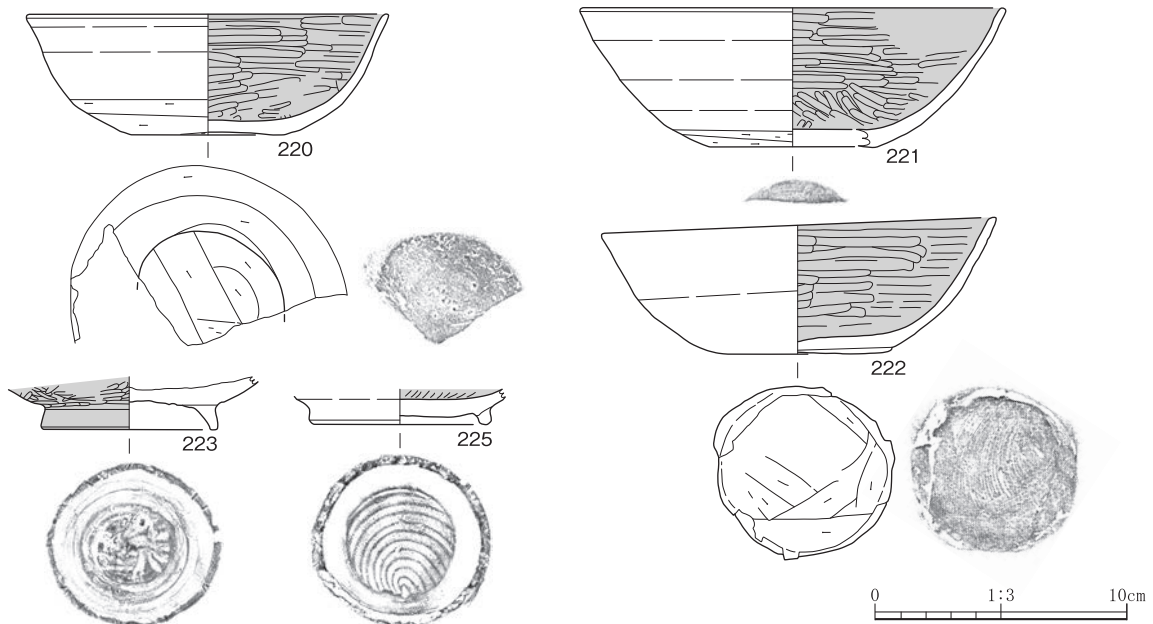
SXD1 (215～218)



SXE1 (219)

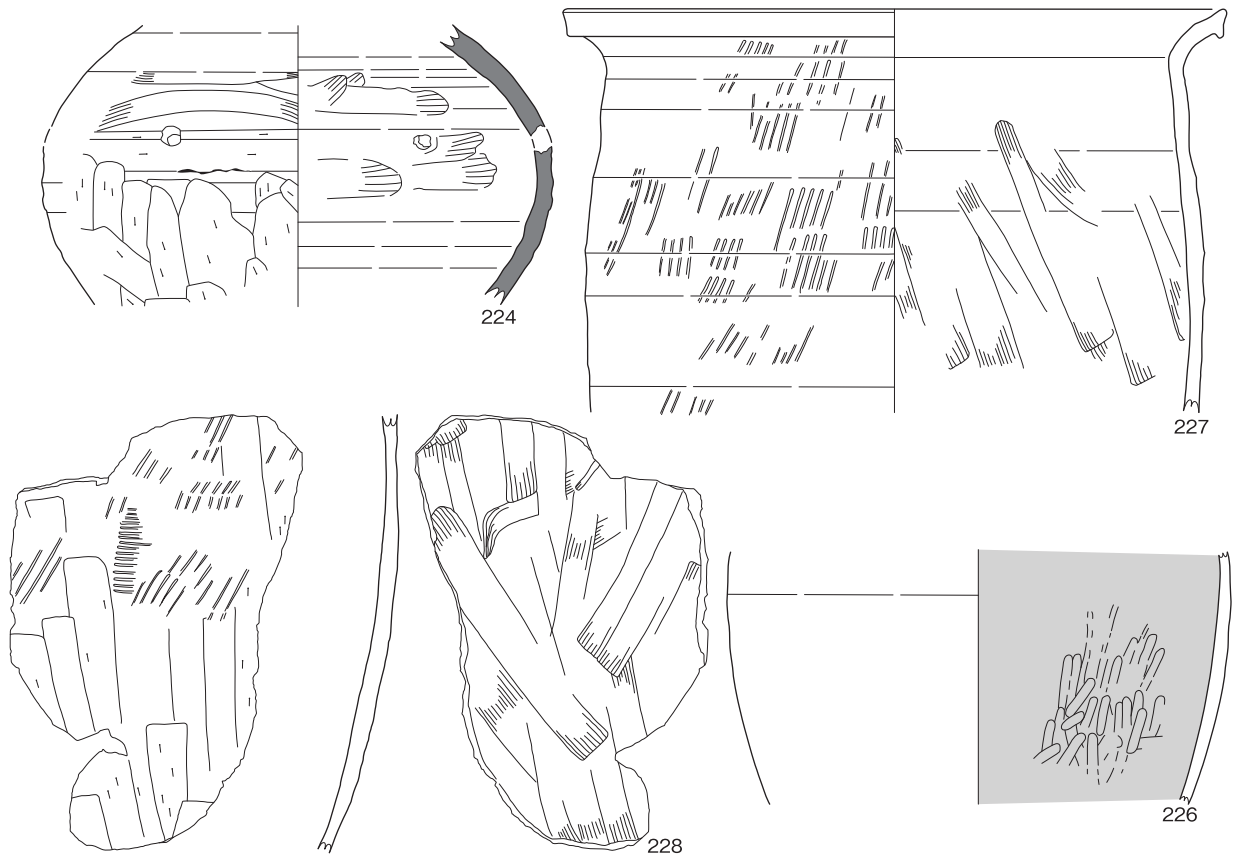


SXE4 (220～223・225)

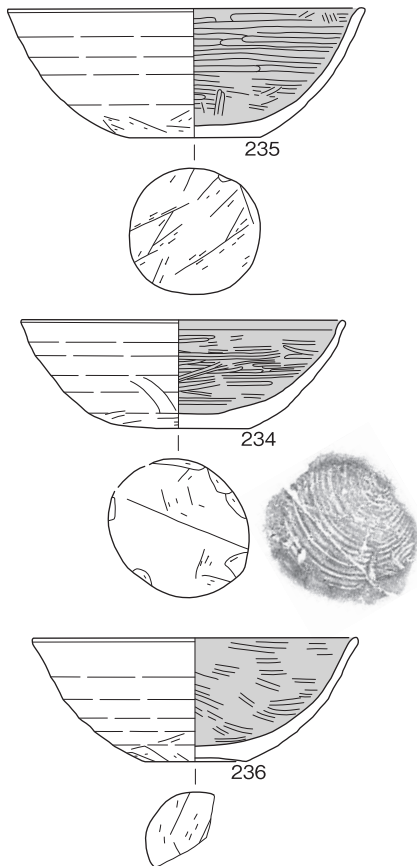


第 148 図 土師器・須恵器 (16)

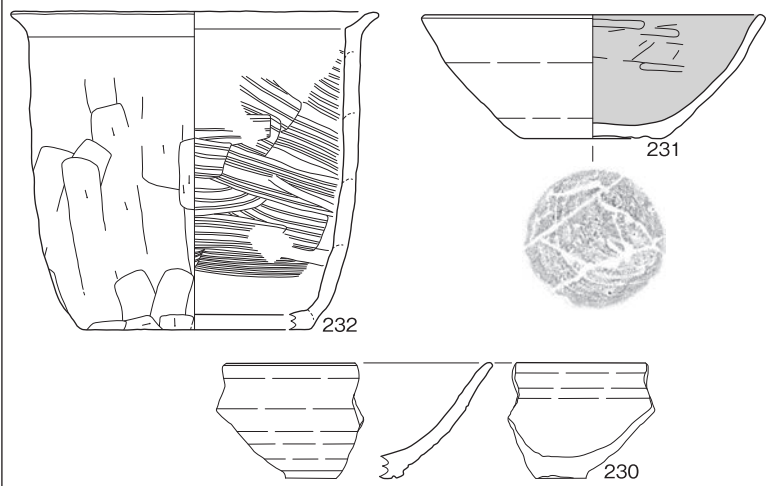
SXE4 (224・226～228)



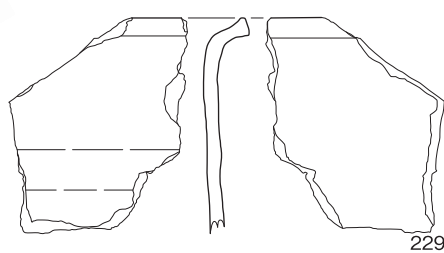
PPB32 (234～236)



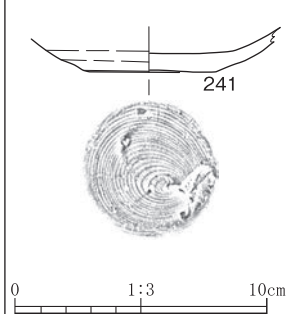
SIB2・焼土 B1 (230～232)



SXE5 (229)

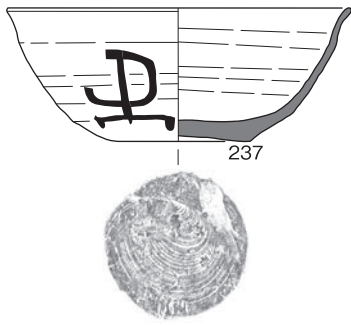


PPB40 (241)

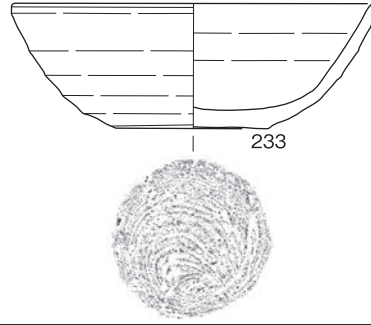


第 149 図 土師器・須恵器 (17)

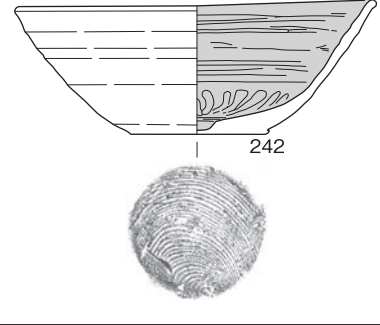
PPA37 (237 ~ 239)



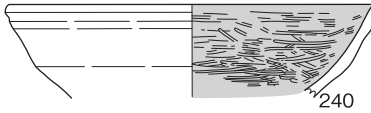
PPA25 (233)



PPB340 (242)



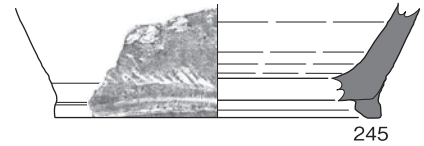
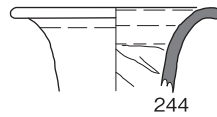
PPB99 (240)



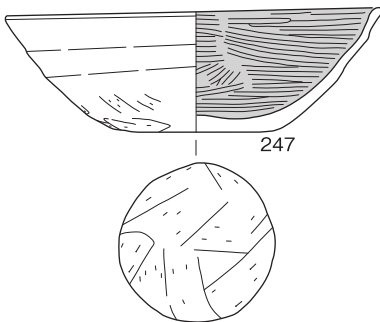
PPC267 (243)



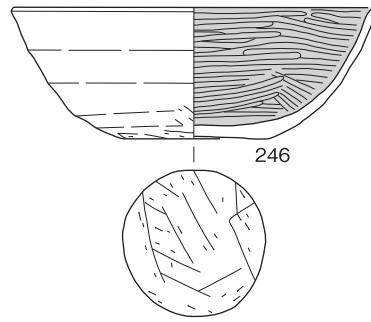
PPC808 (244 · 245)



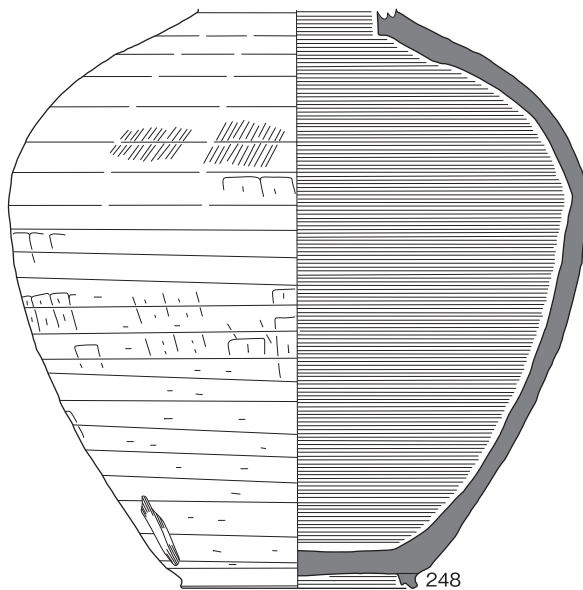
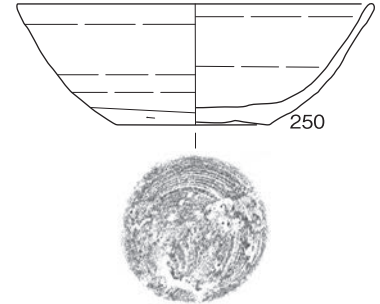
PPD111 (247 · 248)



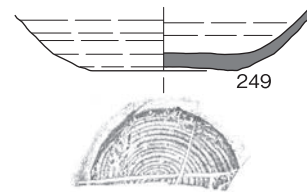
PPD34 (246)



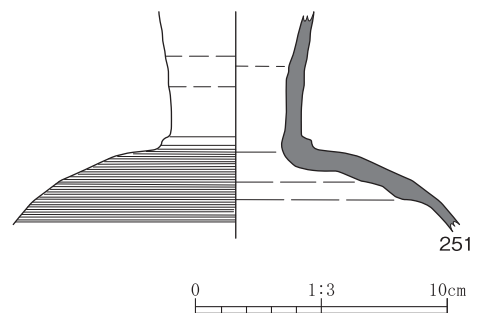
PPE776 (250)



PPE725 (249)

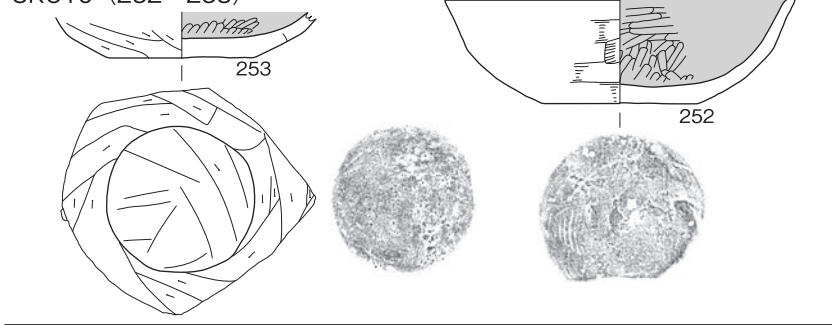


PPE779 (251)

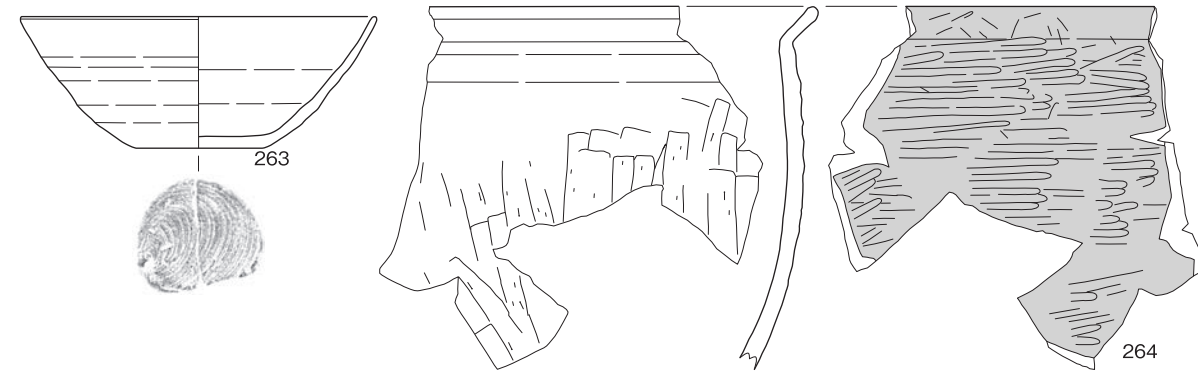
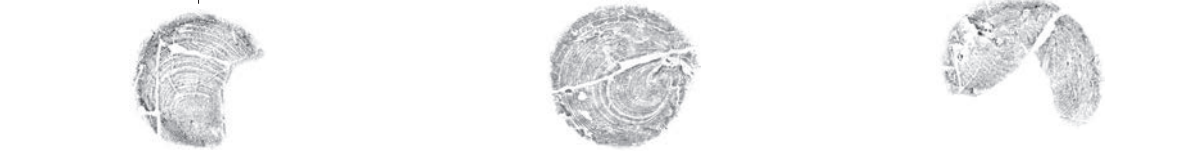
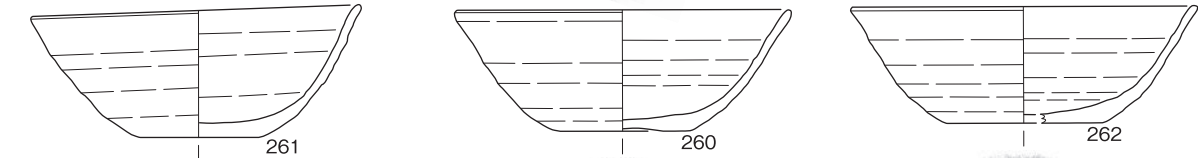
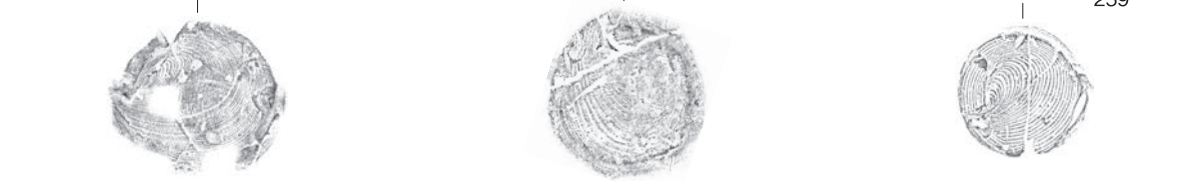
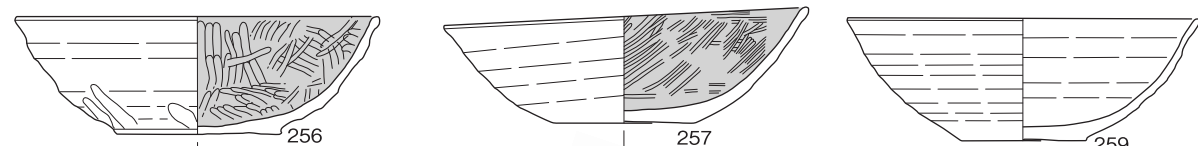
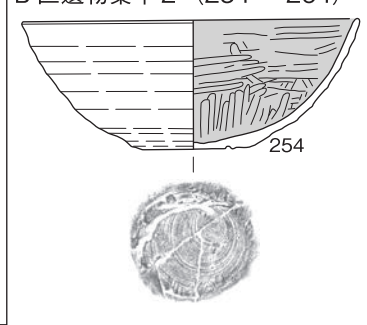


第 150 図 土師器・須恵器 (18)

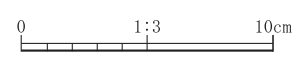
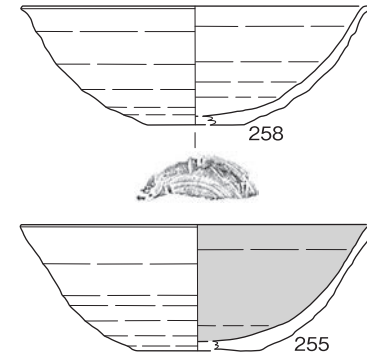
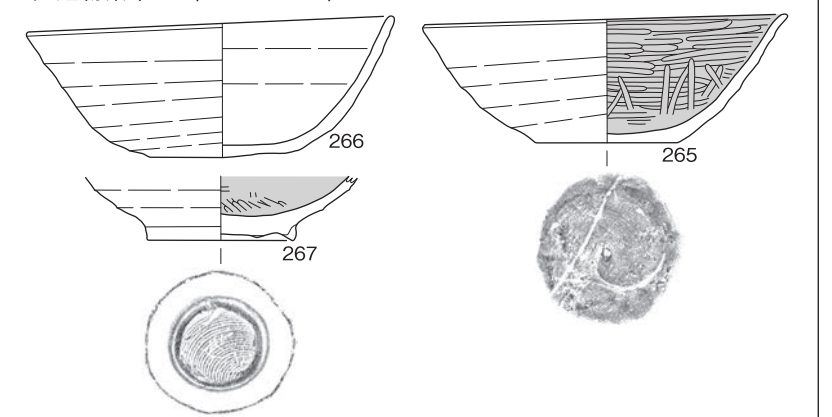
SKC10 (252・253)



B区遺物集中2 (254～264)

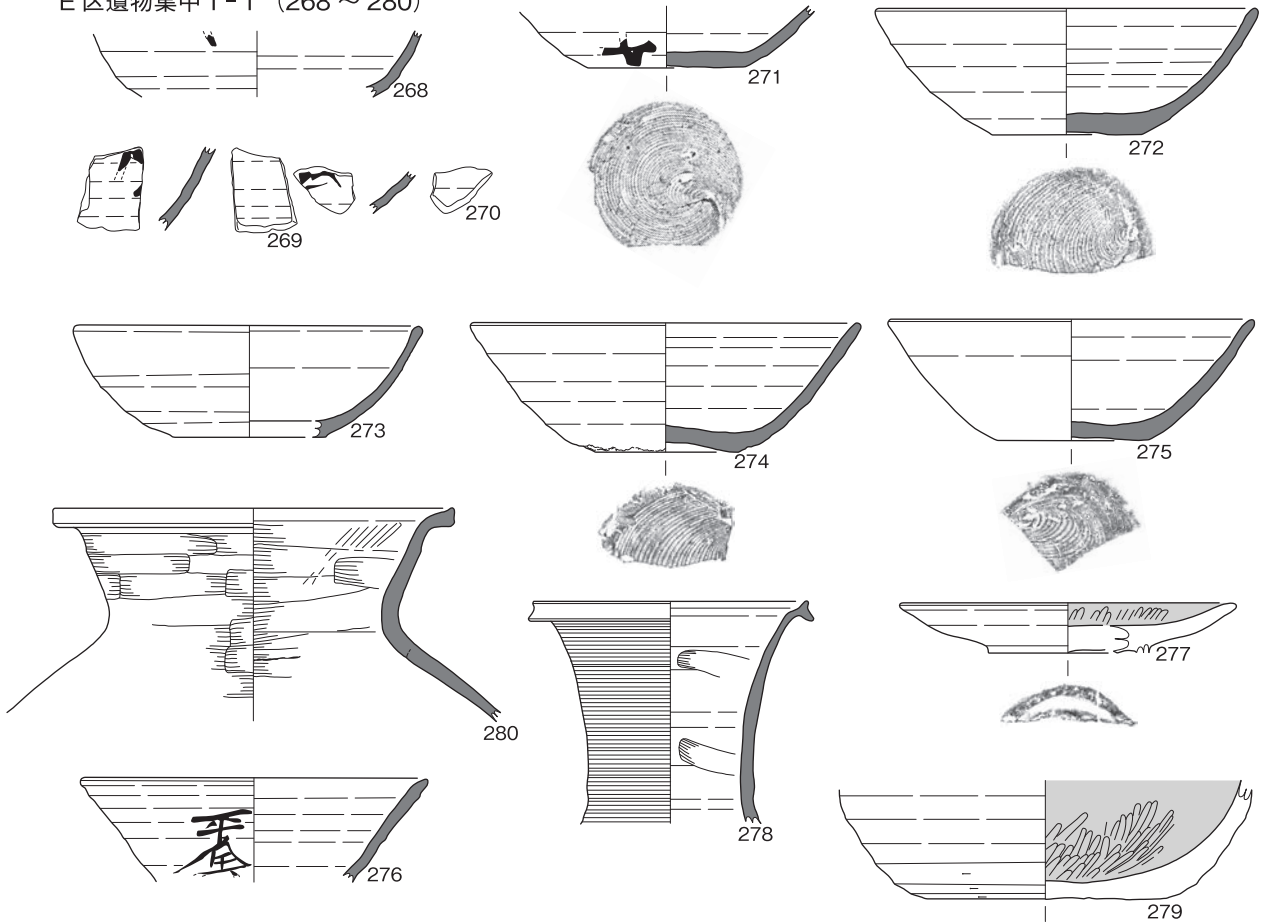


B区遺物集中3 (265～267)

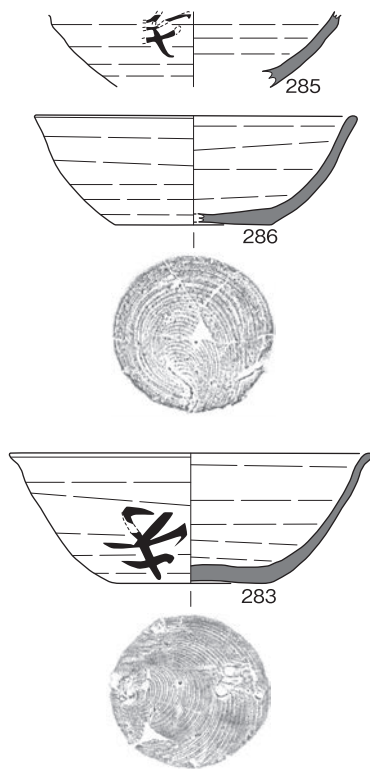


第151図 土師器・須恵器 (19)

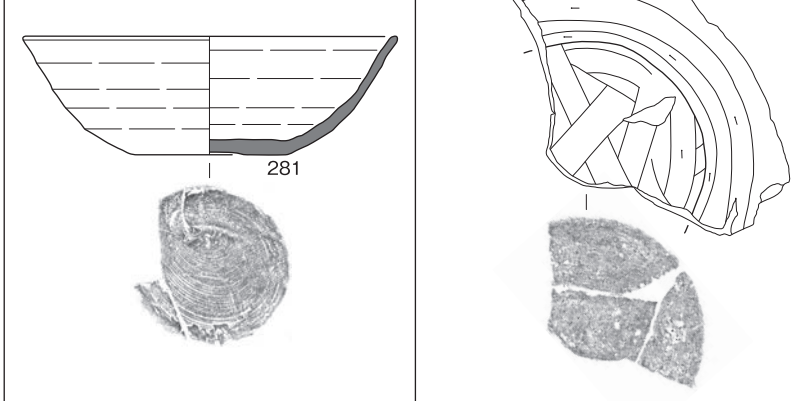
E区遺物集中1-1 (268 ~ 280)



E区遺物集中1-3 (282 ~ 286)



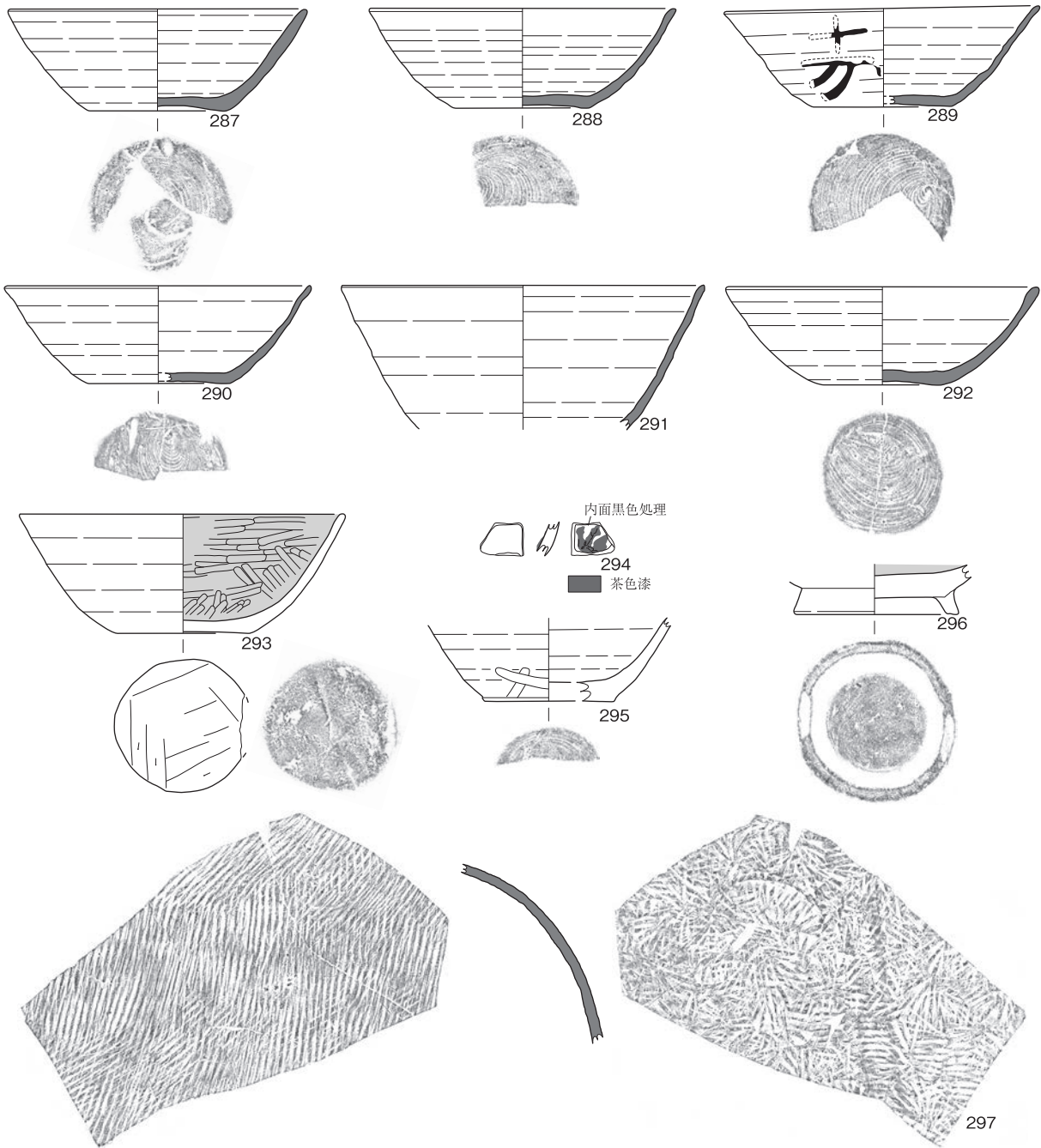
E区遺物集中1-2 (281)



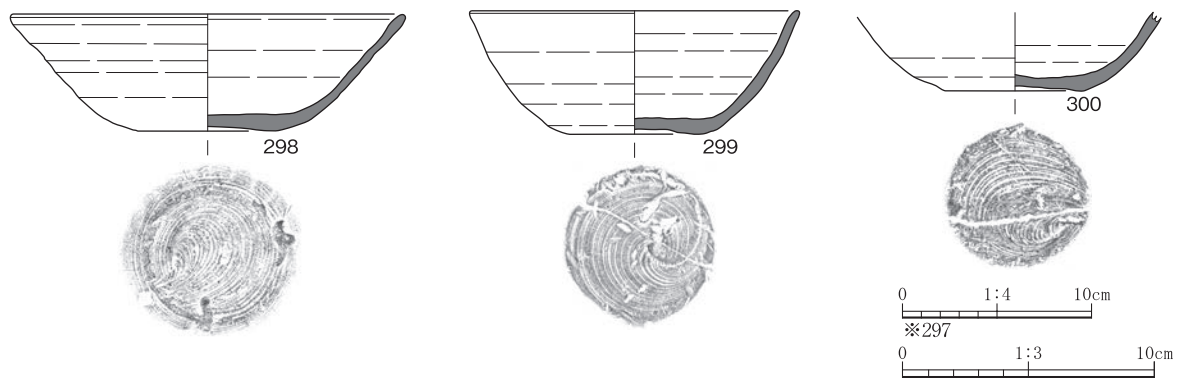
0 1:3 10cm

第152図 土師器・須恵器 (20)

E区遺物集中1-3 (287~297)

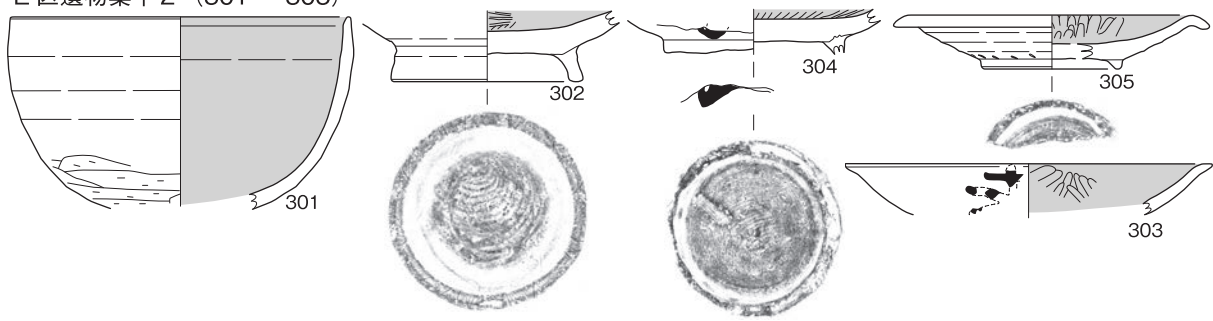


E区遺物集中2 (298~300)

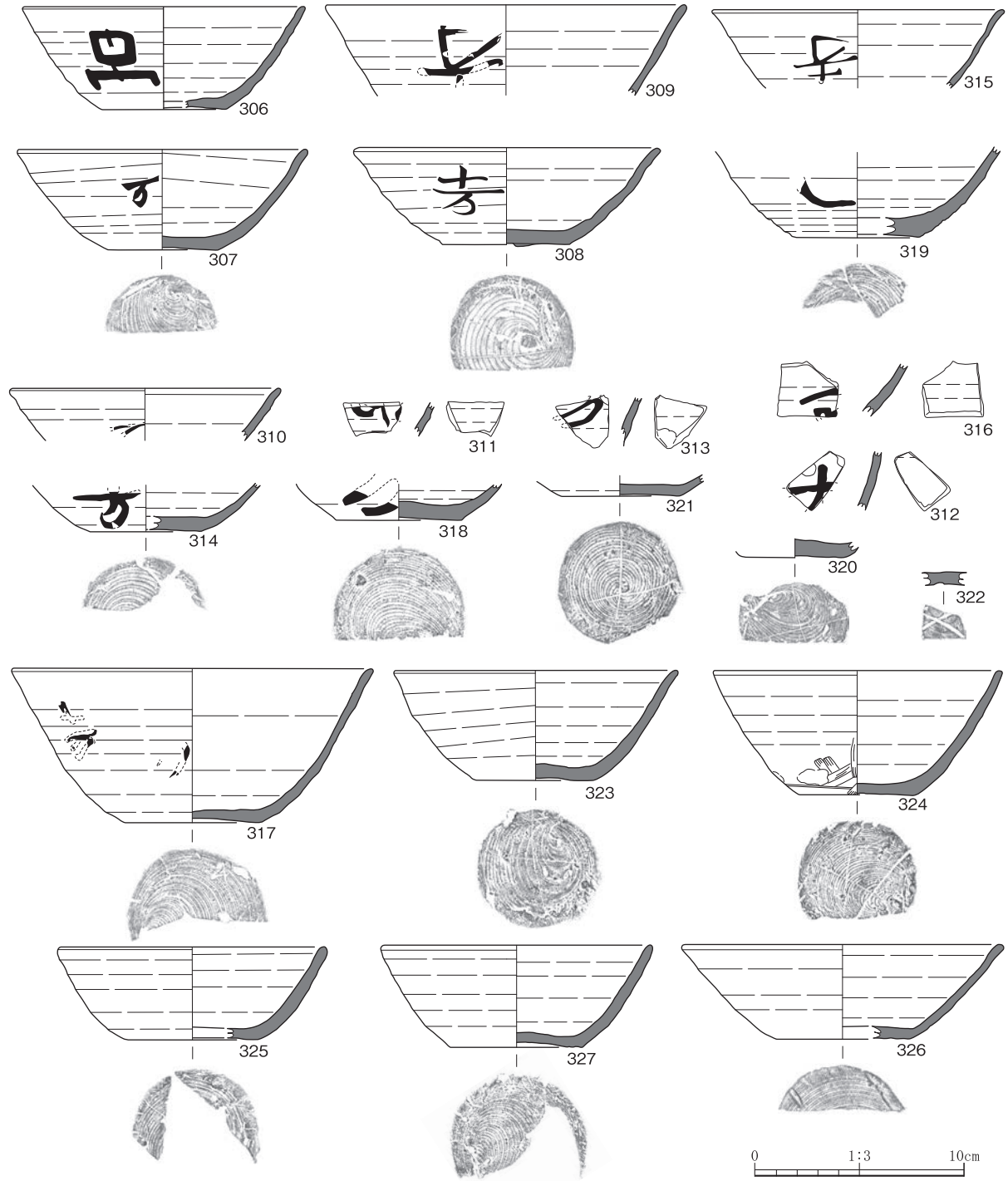


第153図 土師器・須恵器 (21)

E区遺物集中2 (301 ~ 305)

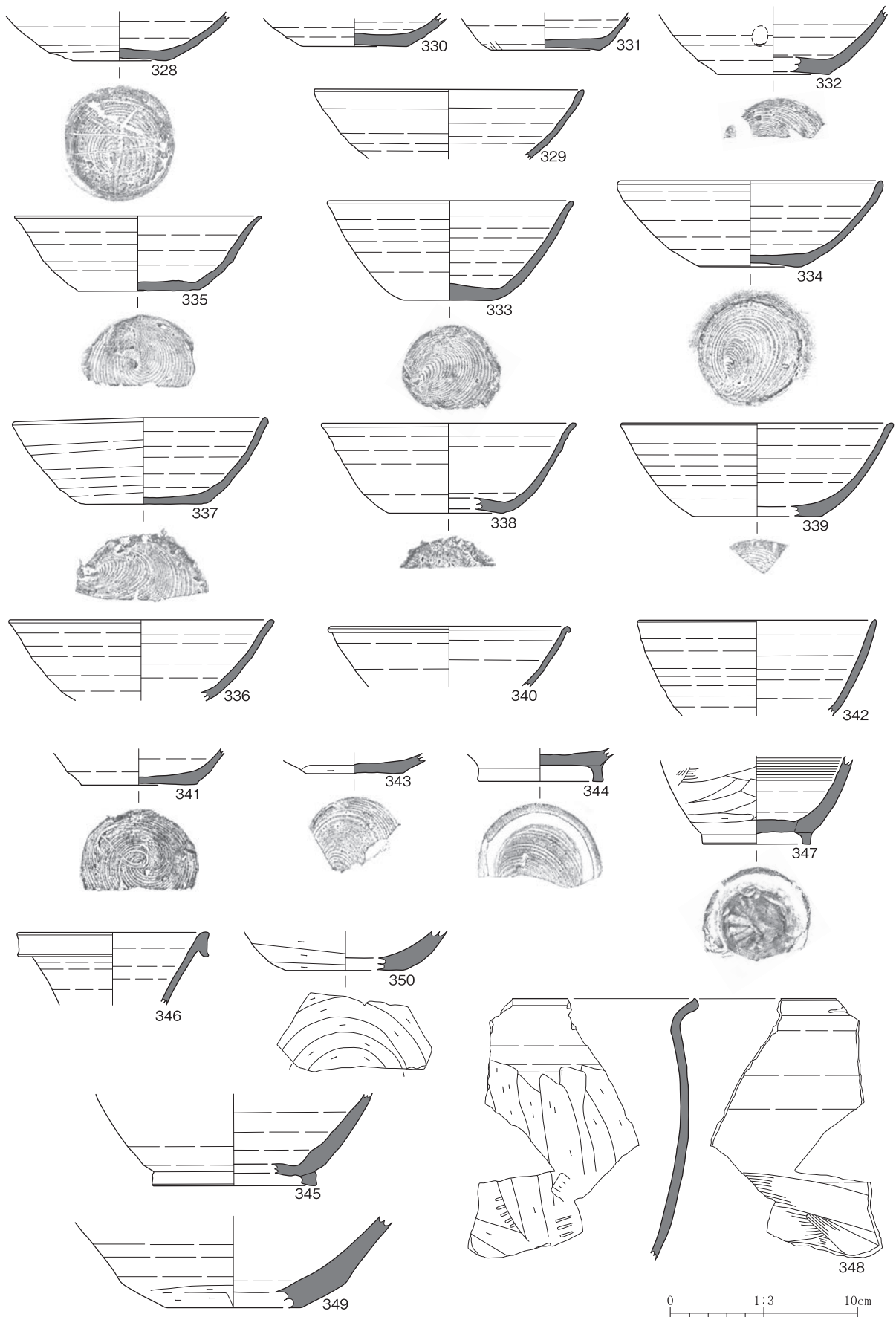


遺構外 (306 ~ 327)



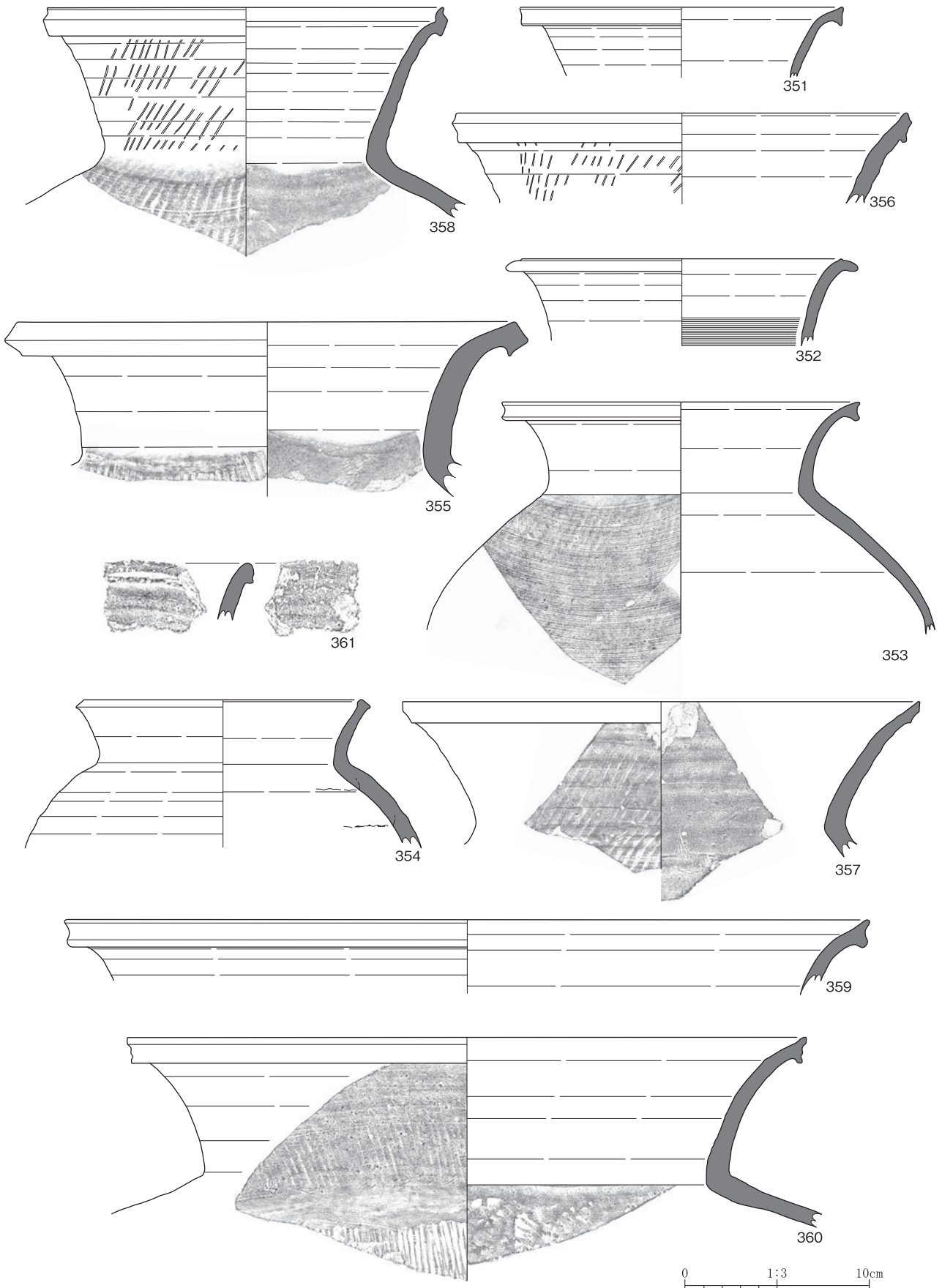
第154図 土師器・須恵器 (22)

遺構外 (328 ~ 350)



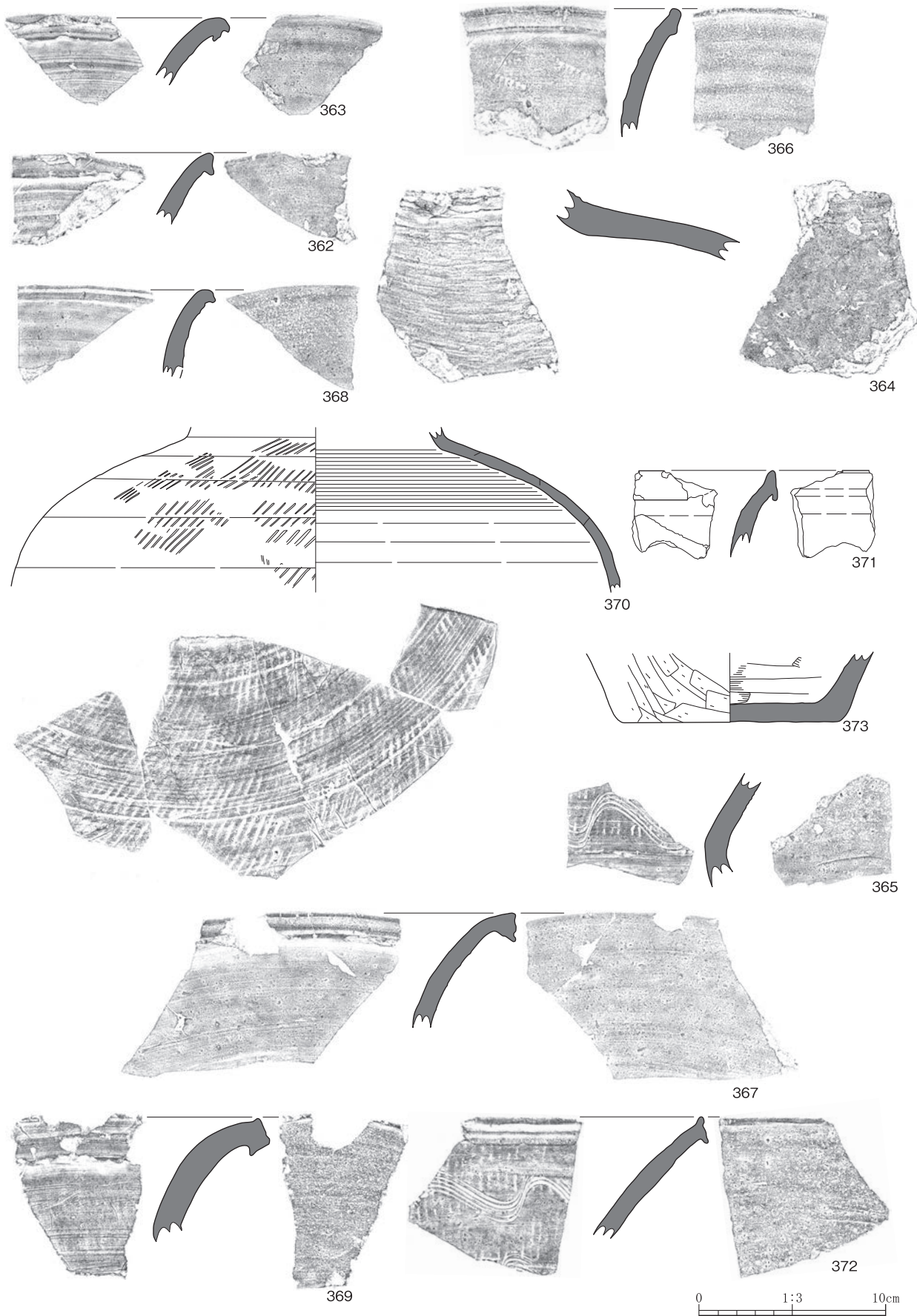
第 155 図 土師器・須恵器 (23)

遺構外 (351 ~ 361)



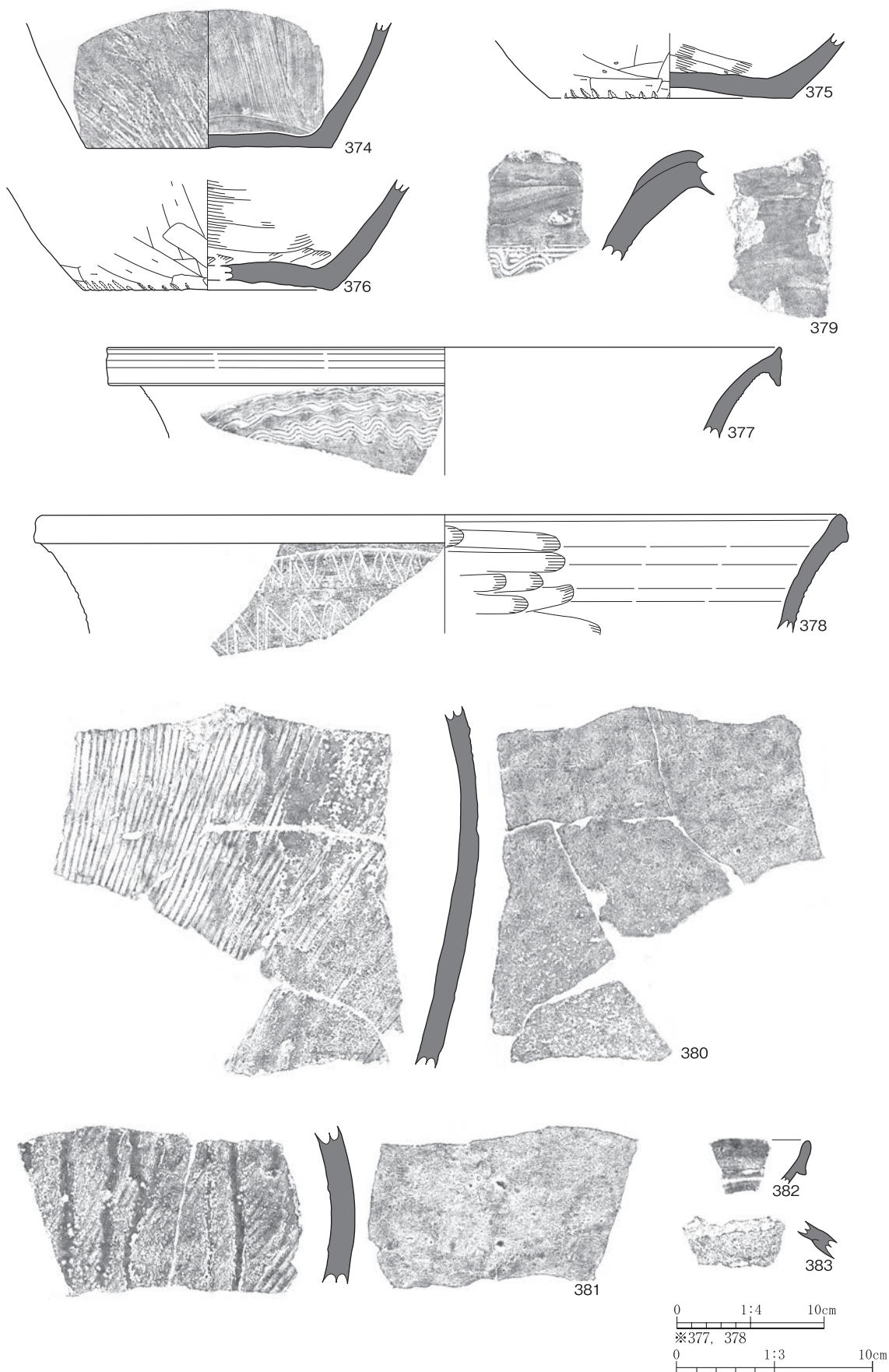
第 156 図 土師器・須恵器 (24)

遺構外 (362 ~ 373)



第 157 図 土師器・須恵器 (25)

遺構外 (374 ~ 383)



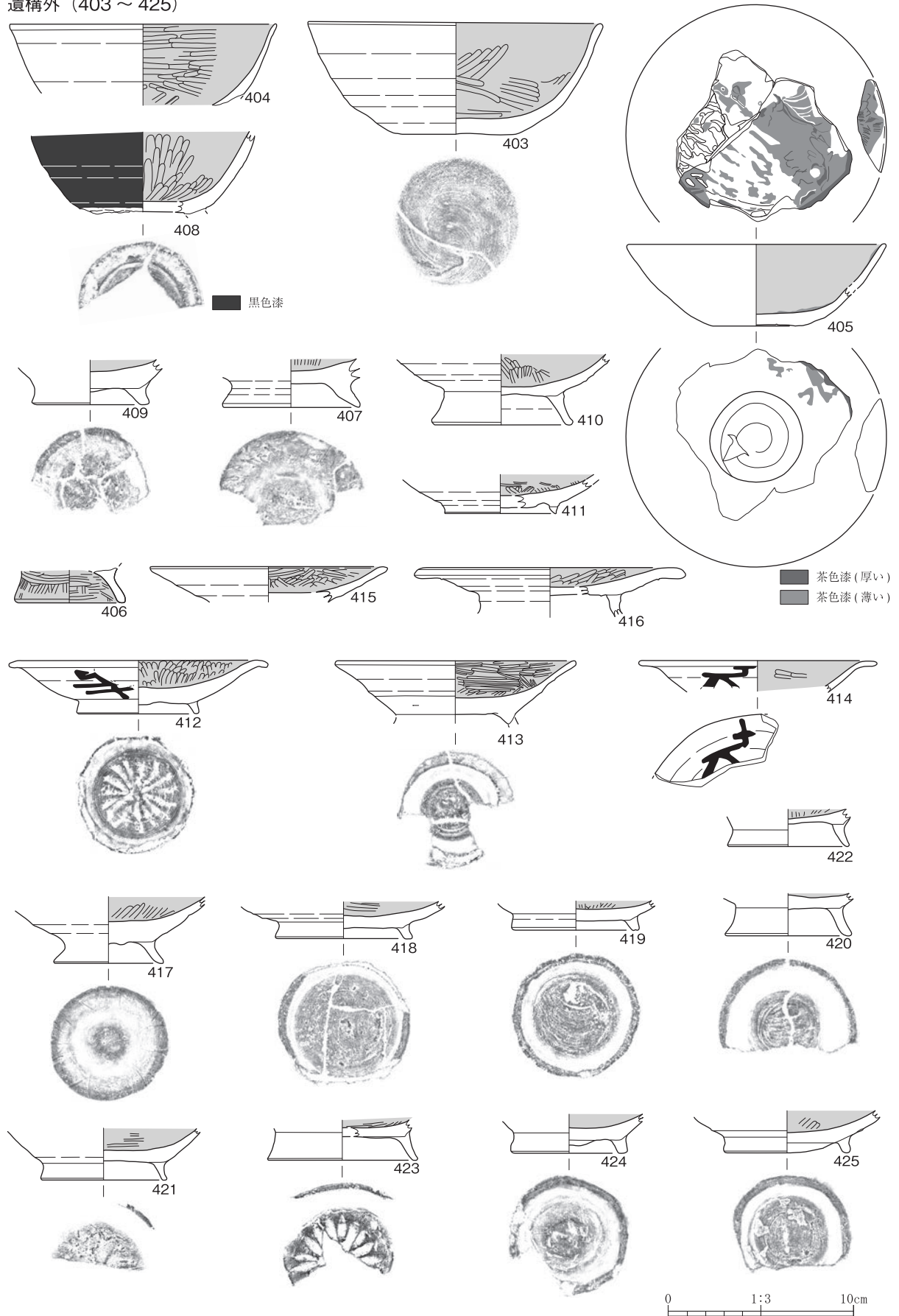
第 158 図 土師器・須恵器 (26)

遺構外 (384 ~ 402)



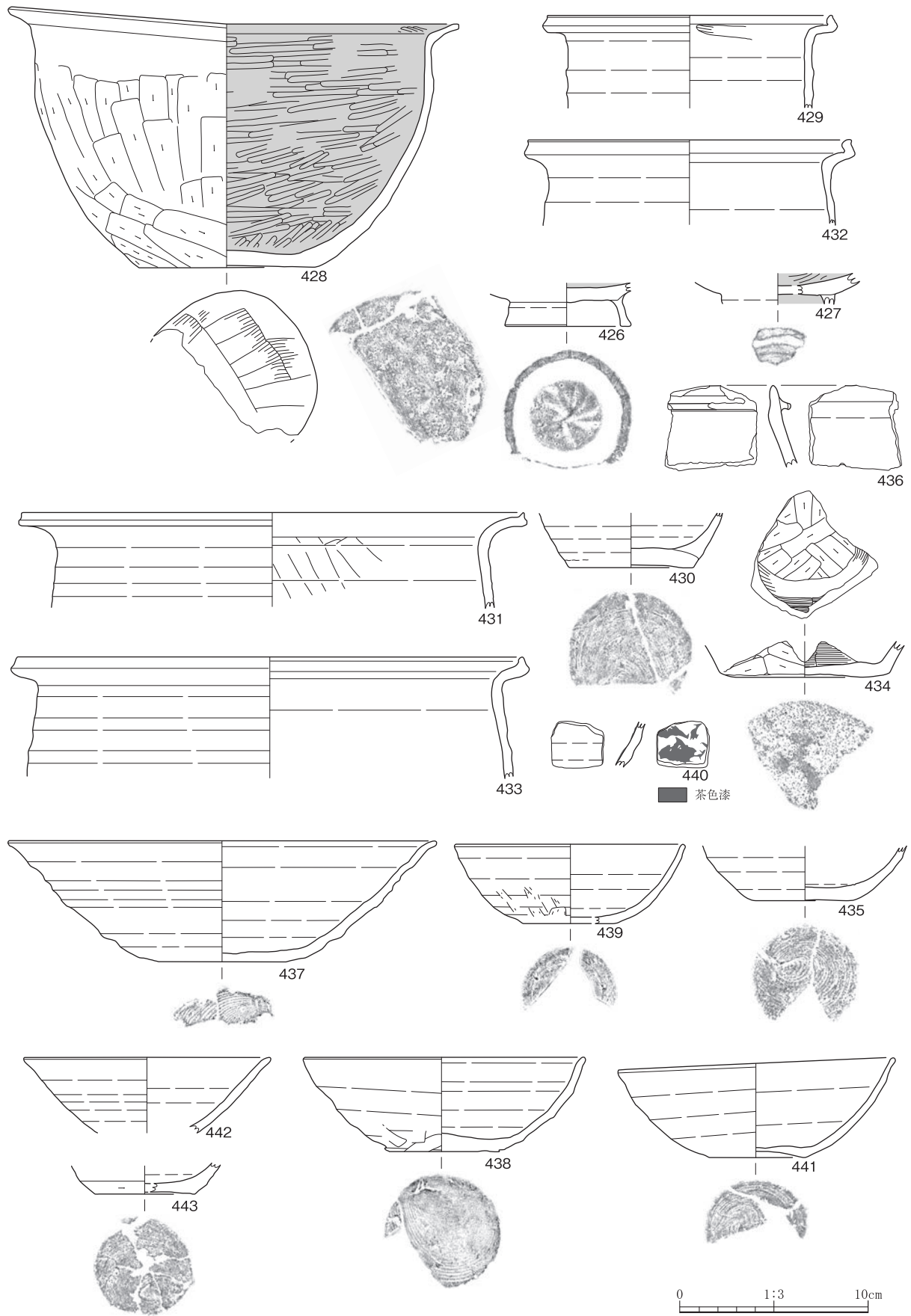
第 159 図 土師器・須恵器 (27)

遺構外 (403 ~ 425)



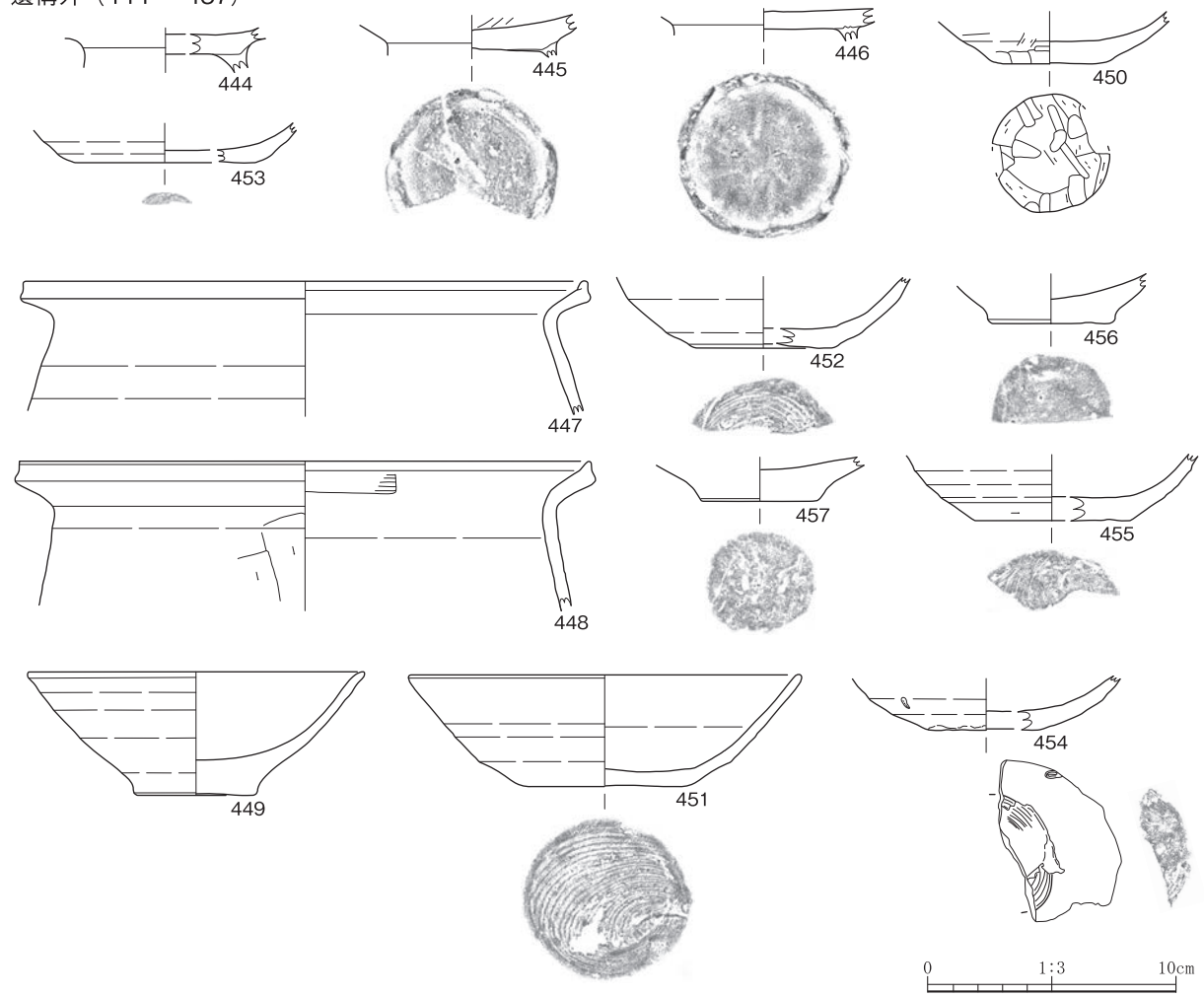
第 160 図 土師器・須恵器 (28)

遺構外 (426 ~ 443)

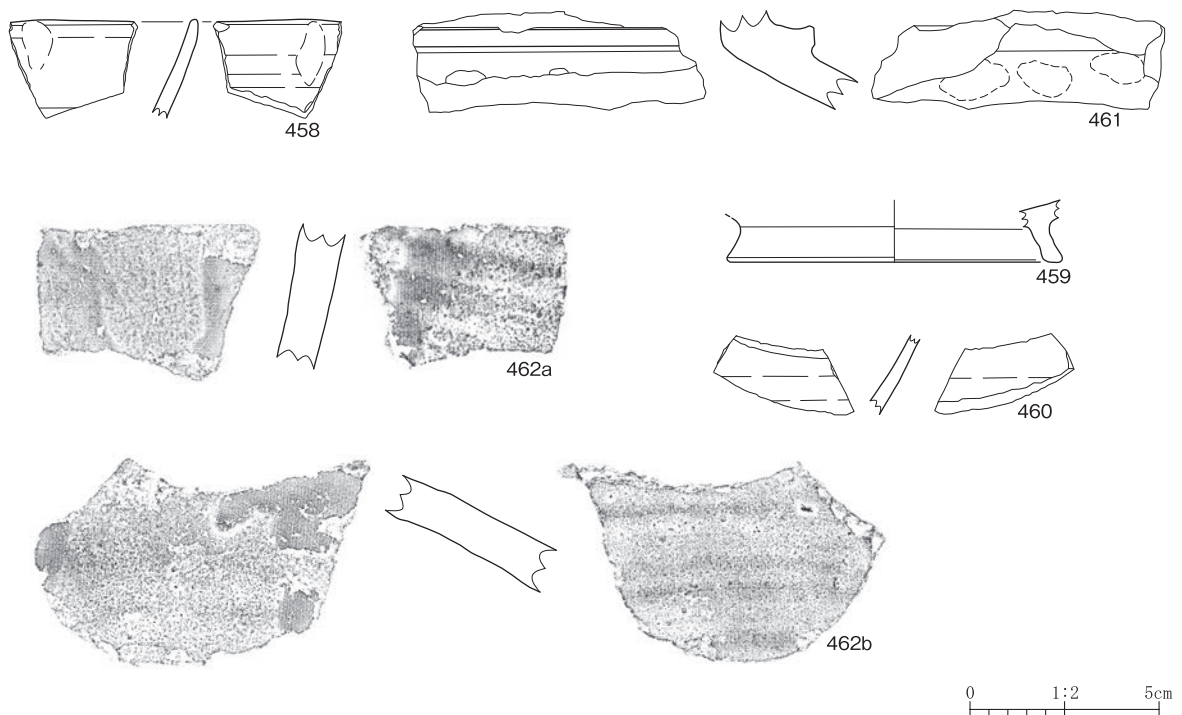


第 161 図 土師器・須恵器 (29)

遺構外 (444 ~ 457)

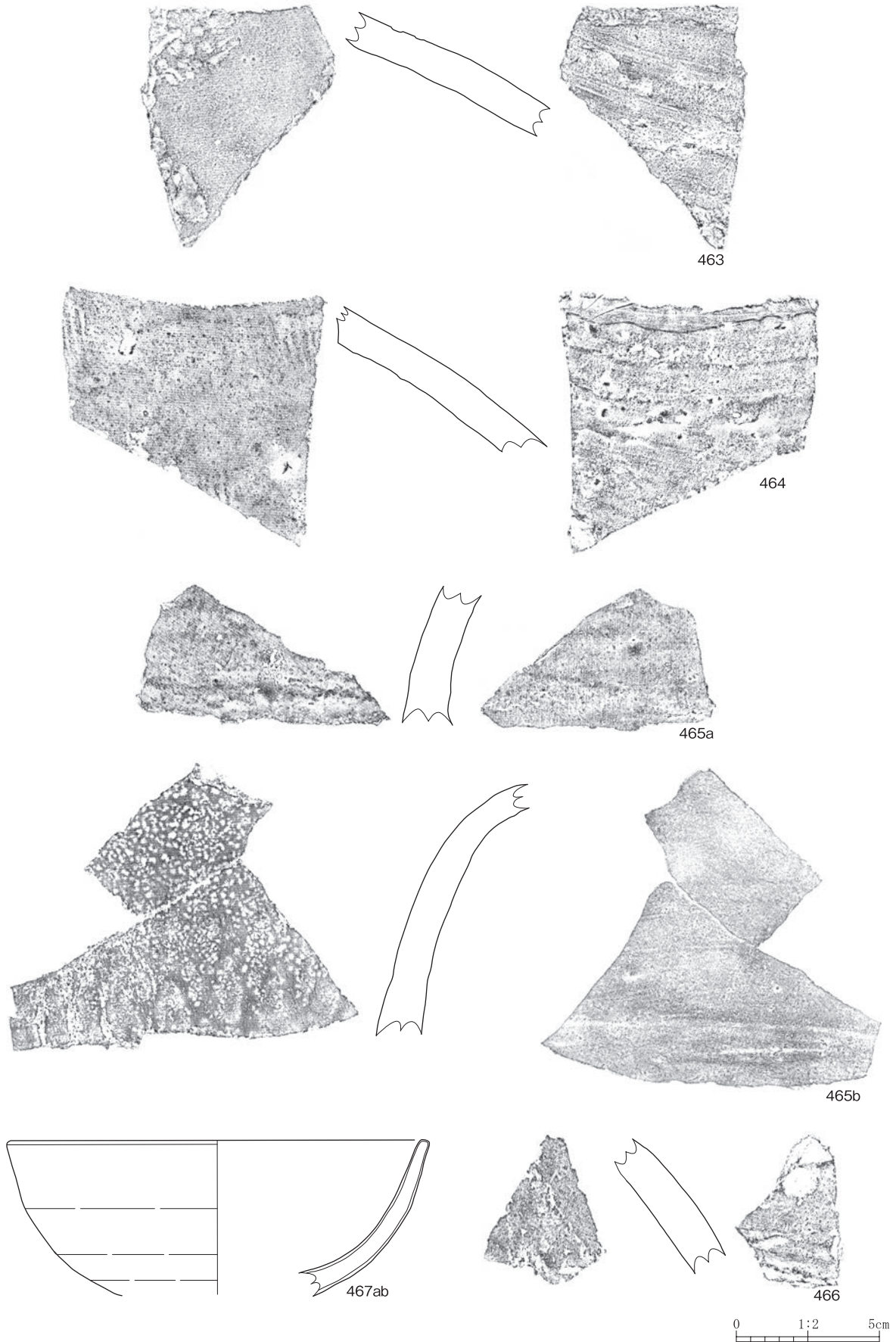


陶磁器 (458 ~ 462)



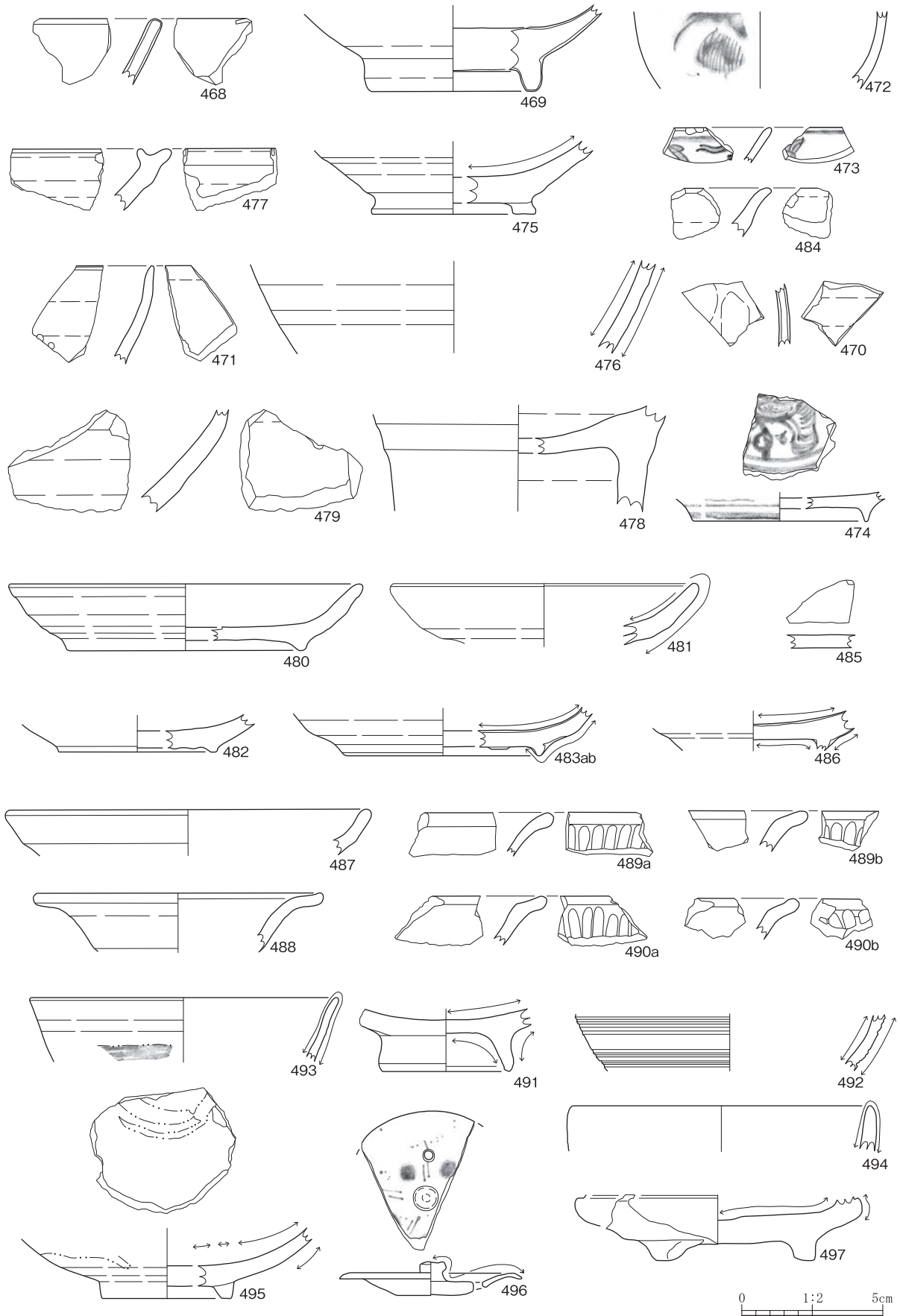
第 162 図 土師器・須恵器 (30)・陶磁器 (1)

陶磁器 (463 ~ 467)



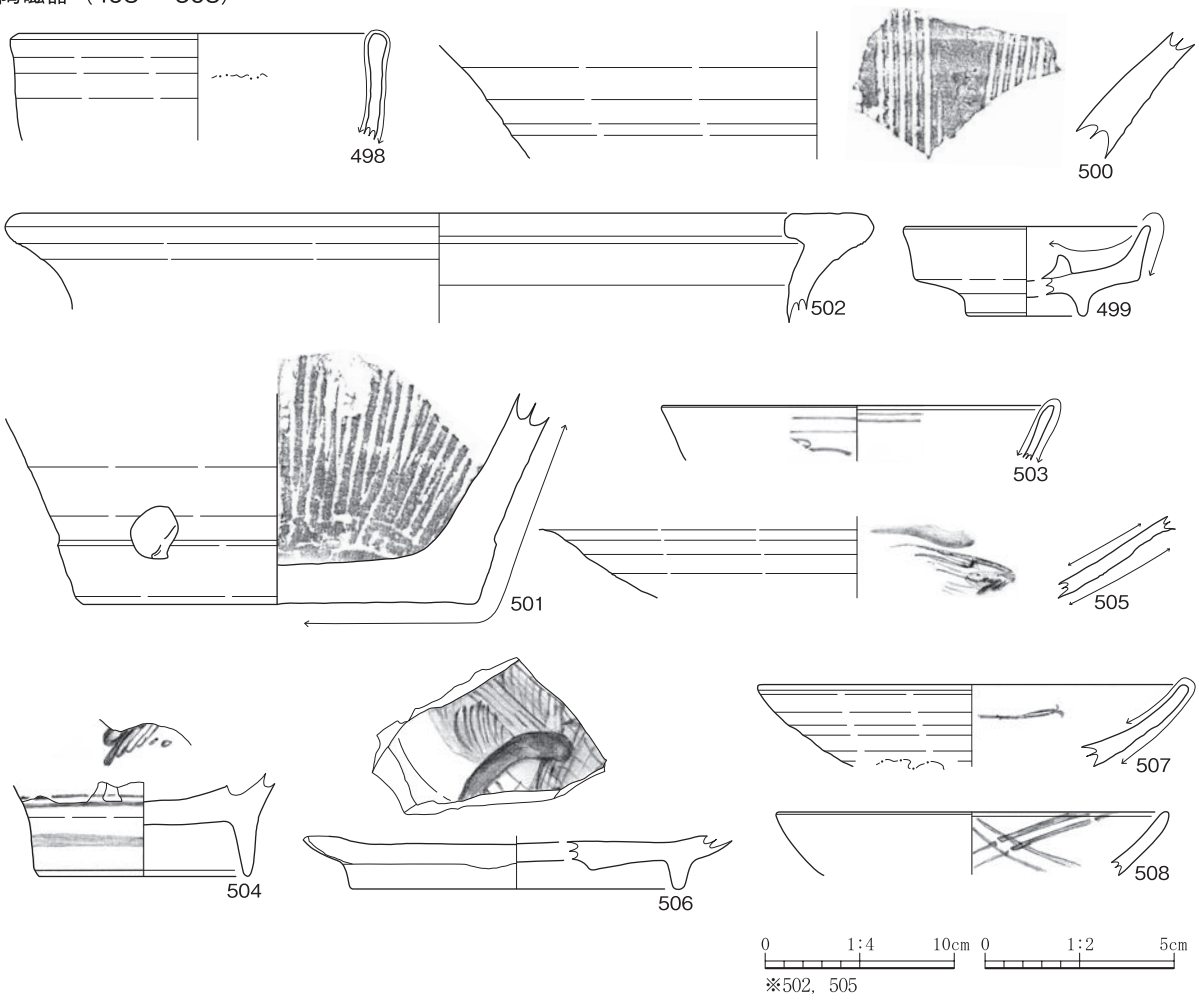
第 163 図 陶磁器 (2)

陶磁器 (468 ~ 497)

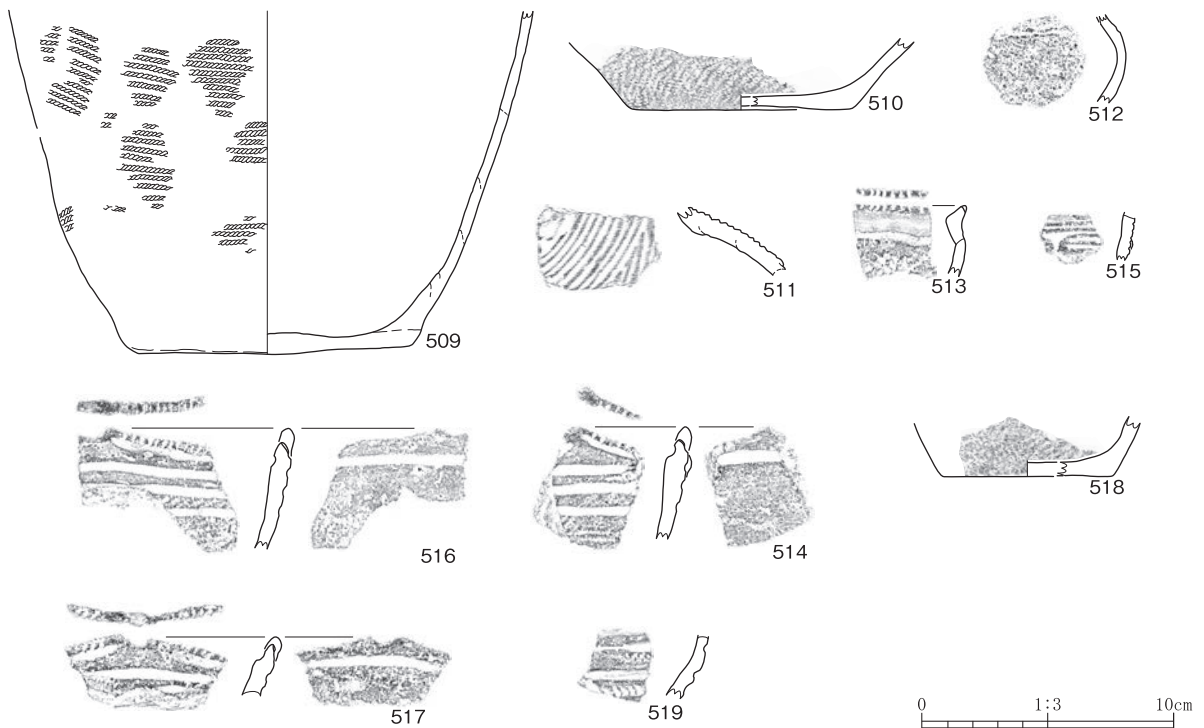


第164図 陶磁器 (3)

陶磁器 (498 ~ 508)

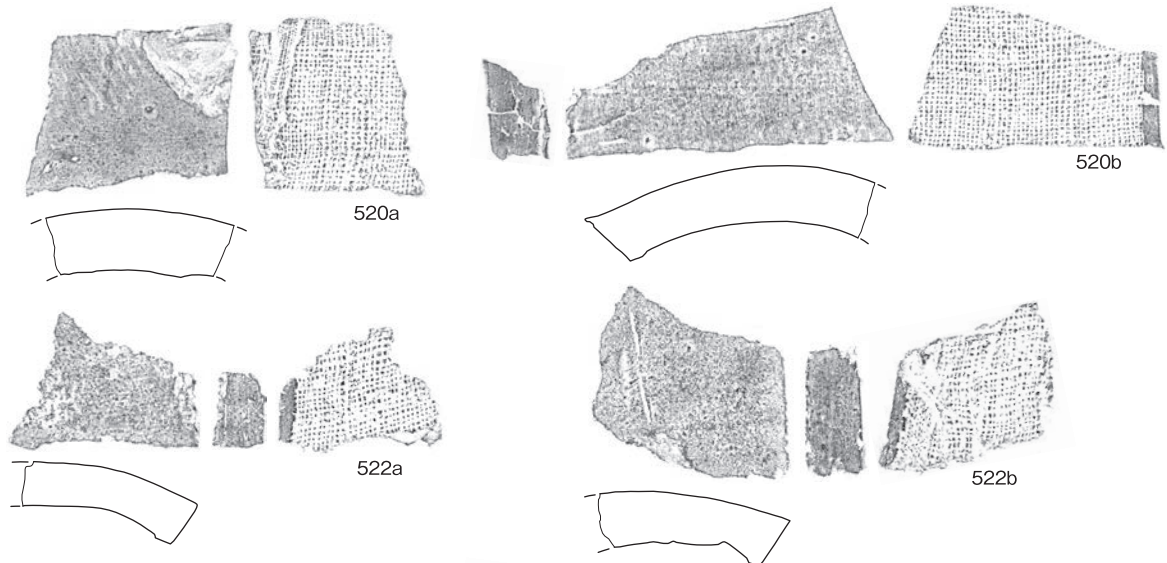


縄文土器 (509 ~ 519)

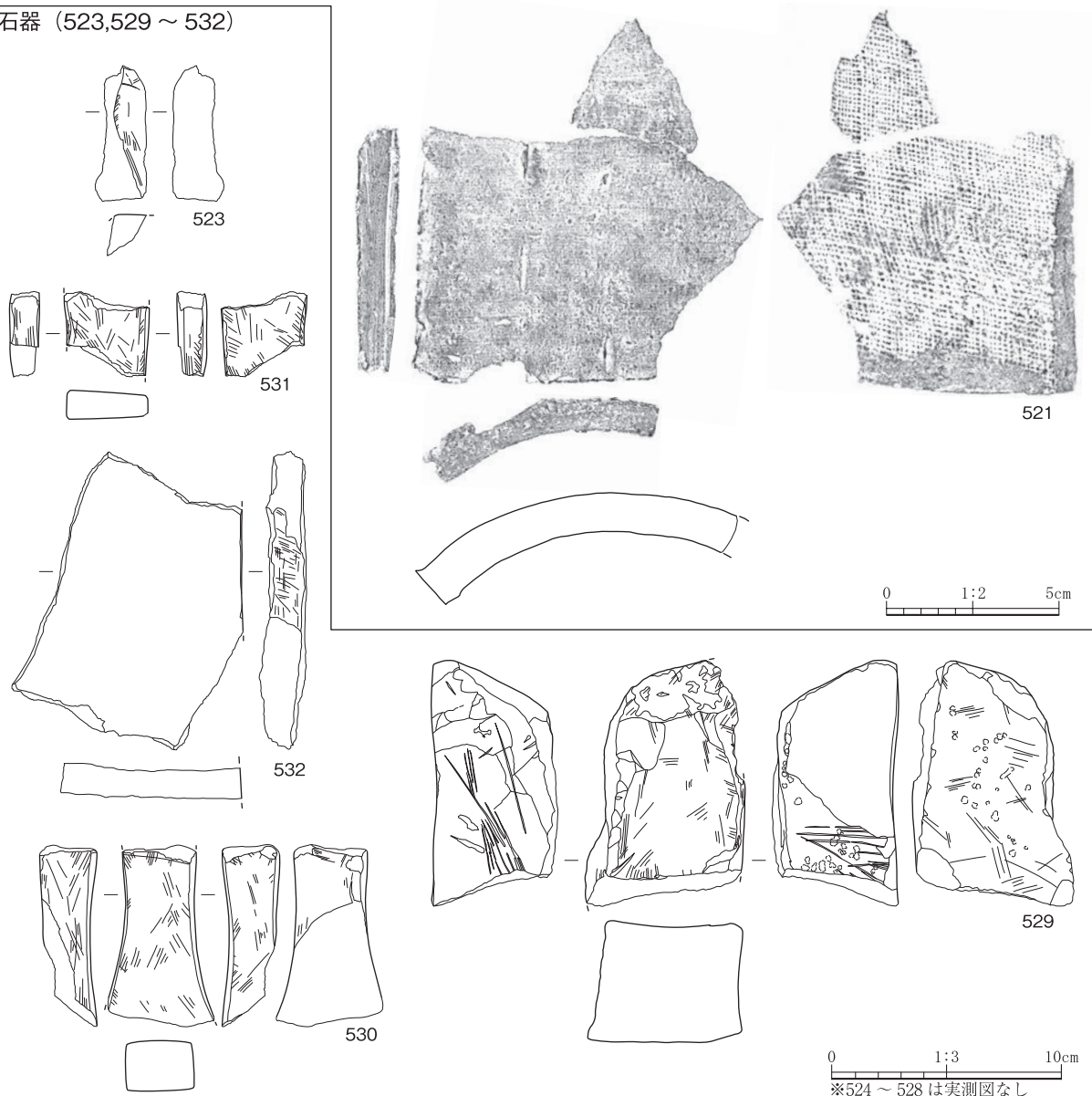


第 165 図 陶磁器 (4)・縄文土器

土製品 (520 ~ 522)

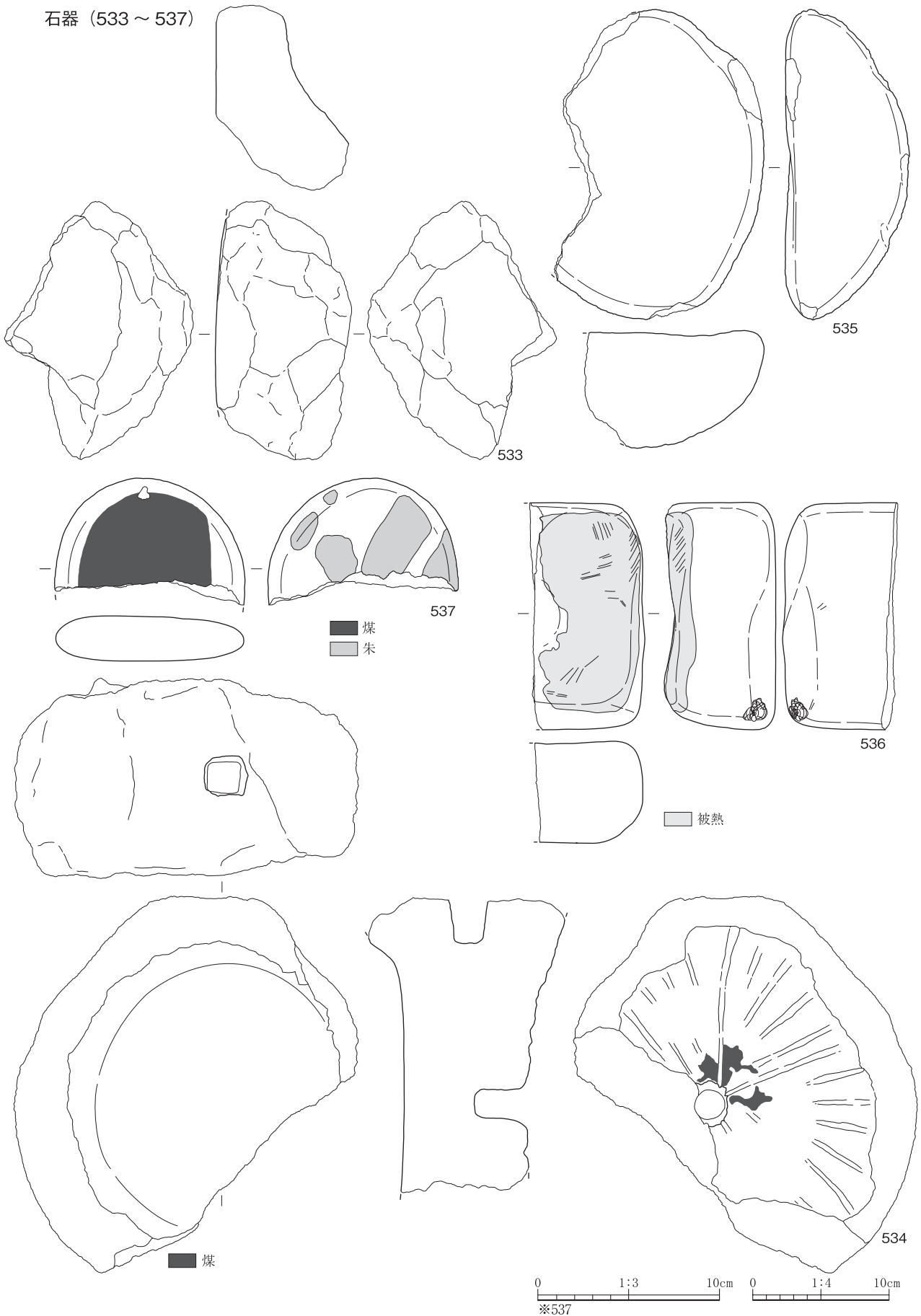


石器 (523, 529 ~ 532)



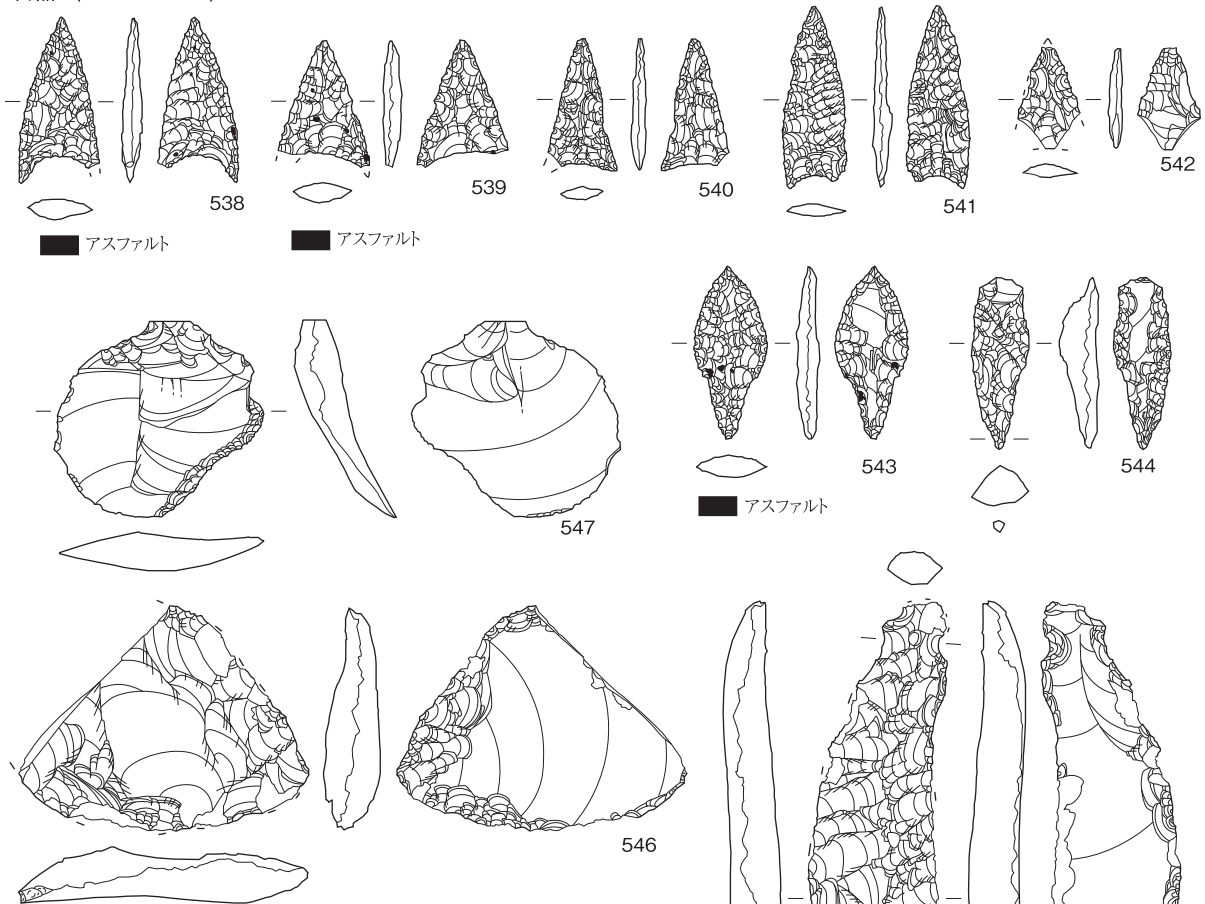
第166図 土製品・石器 (1)

石器 (533 ~ 537)

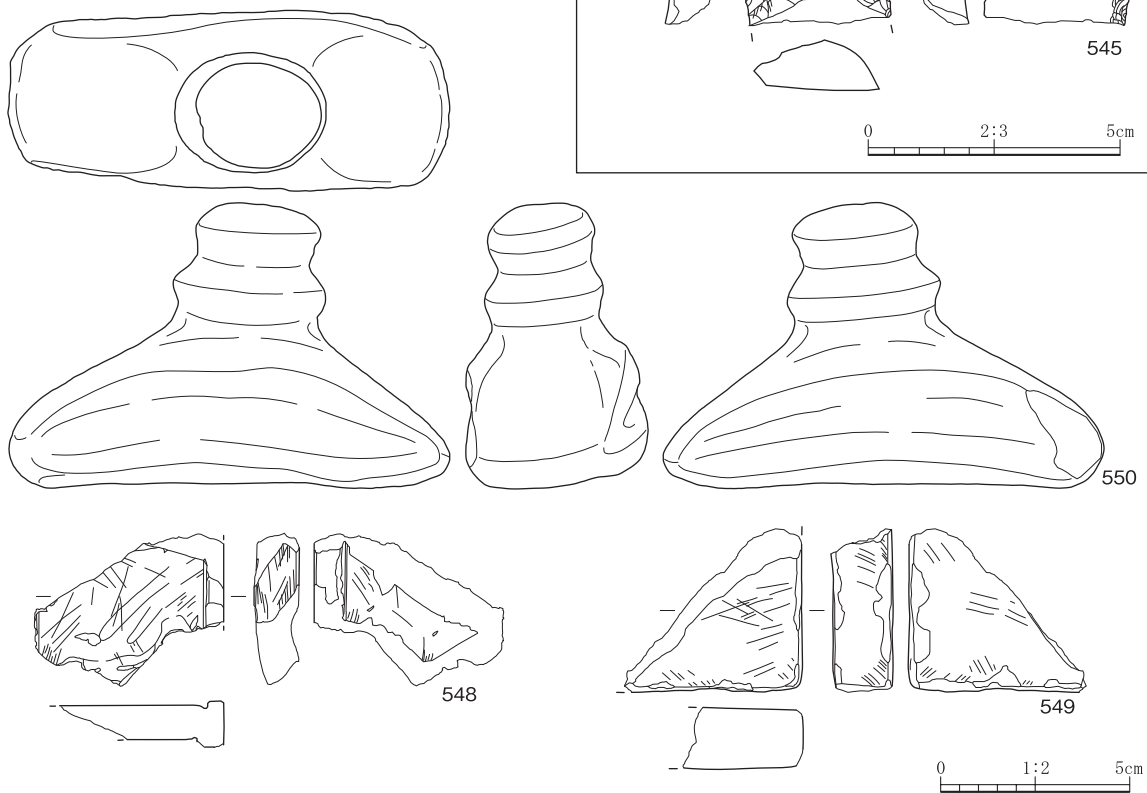


第 167 図 石器 (2)

石器 (535 ~ 547)

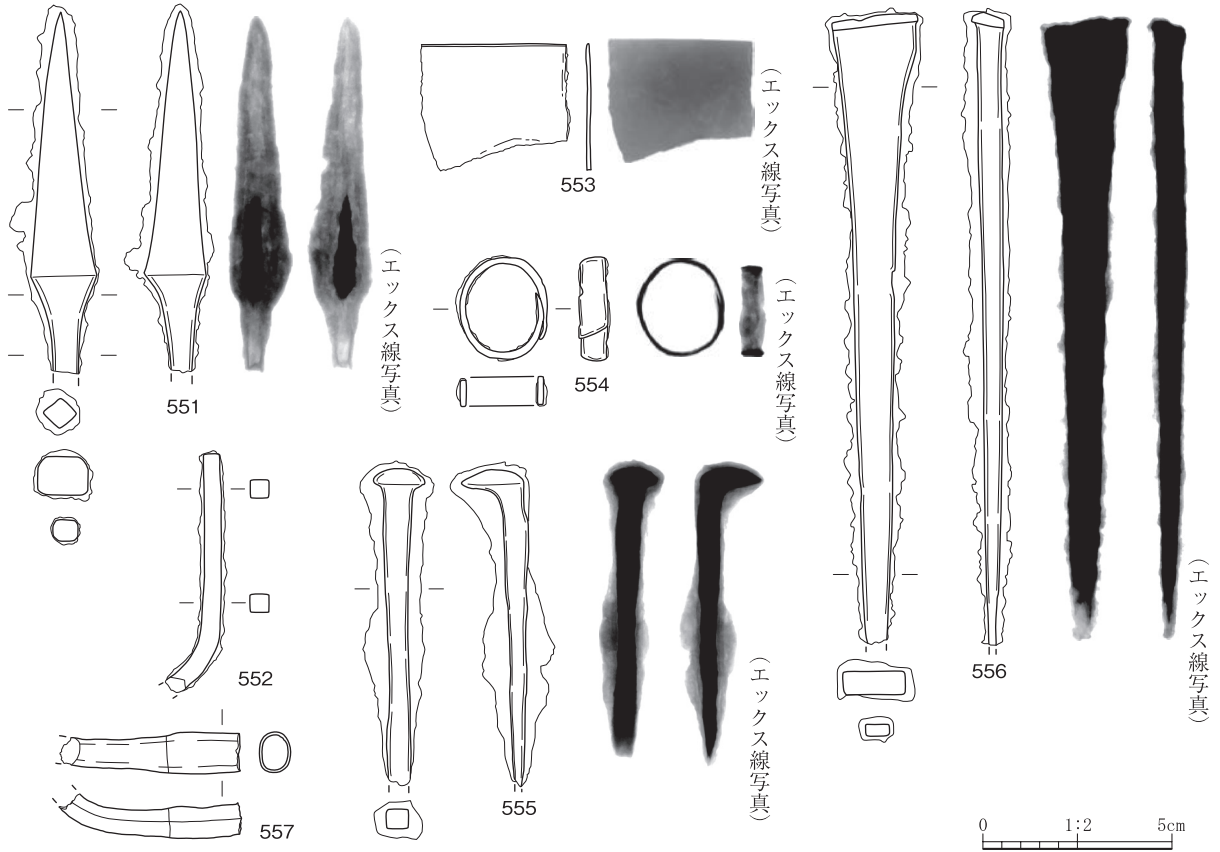


石製品 (548 ~ 550)

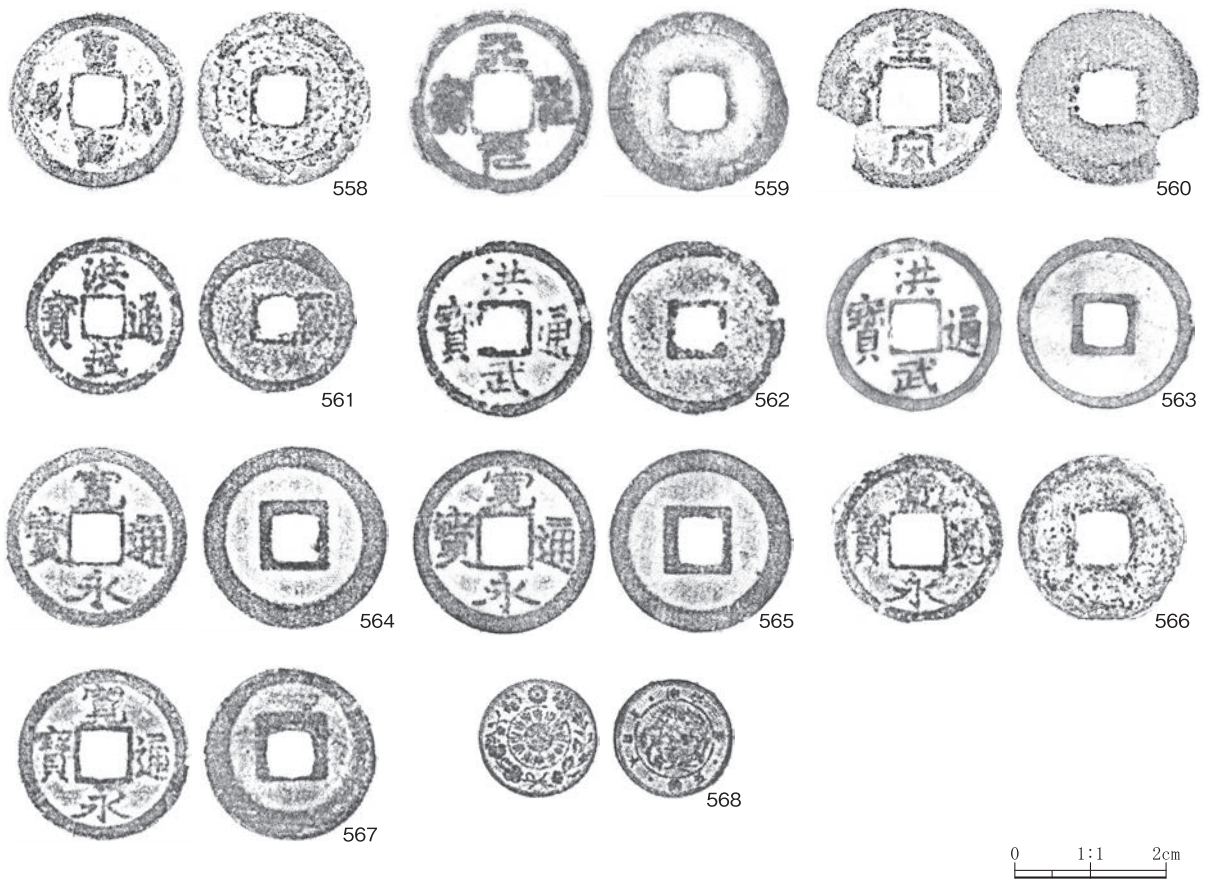


第168図 石器(3)・石製品

金属製品 (551 ~ 557)



銭貨 (558 ~ 568)

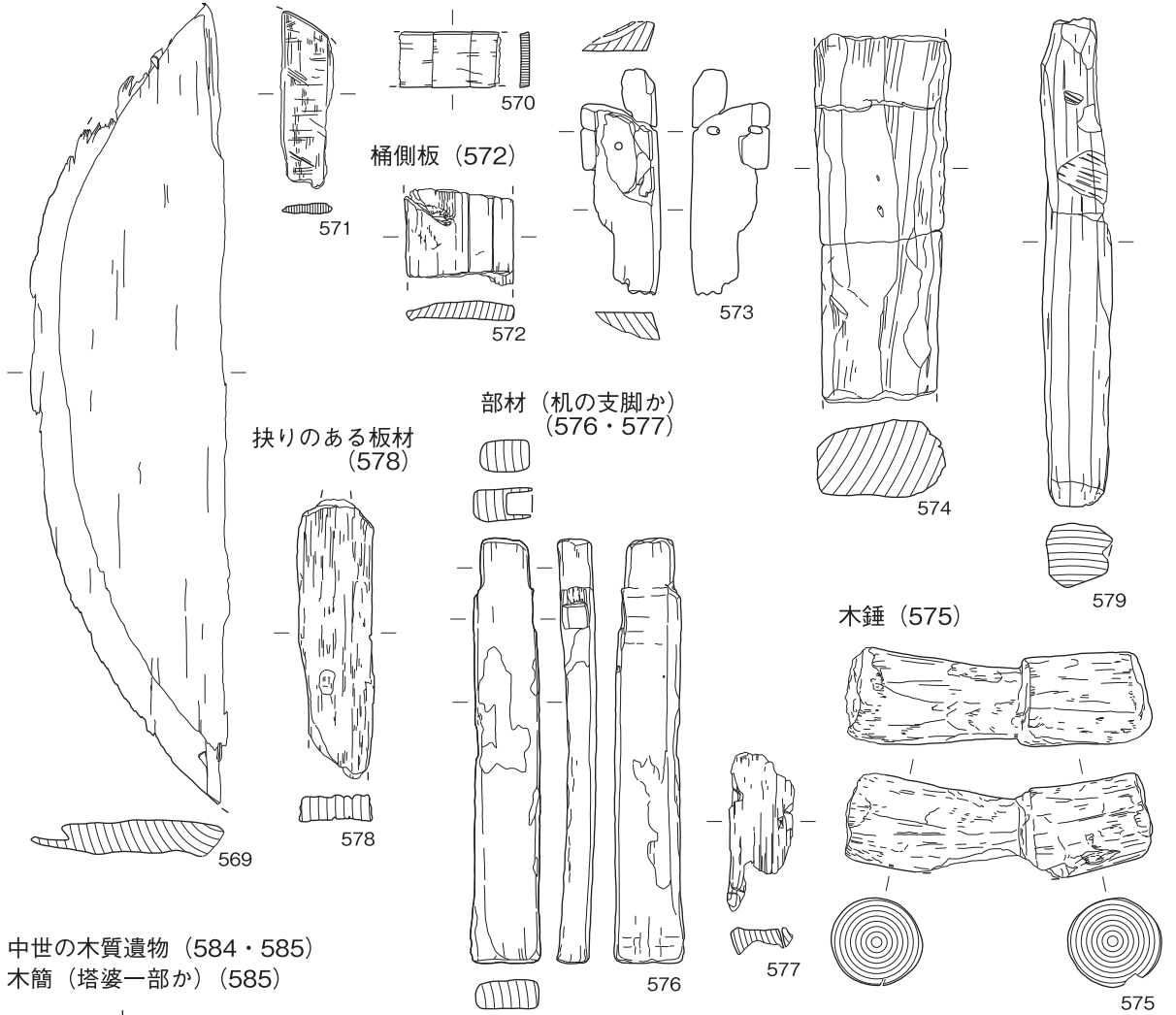


第 169 図 金属製品・銭貨

平安時代の木質遺物 (569 ~ 583)

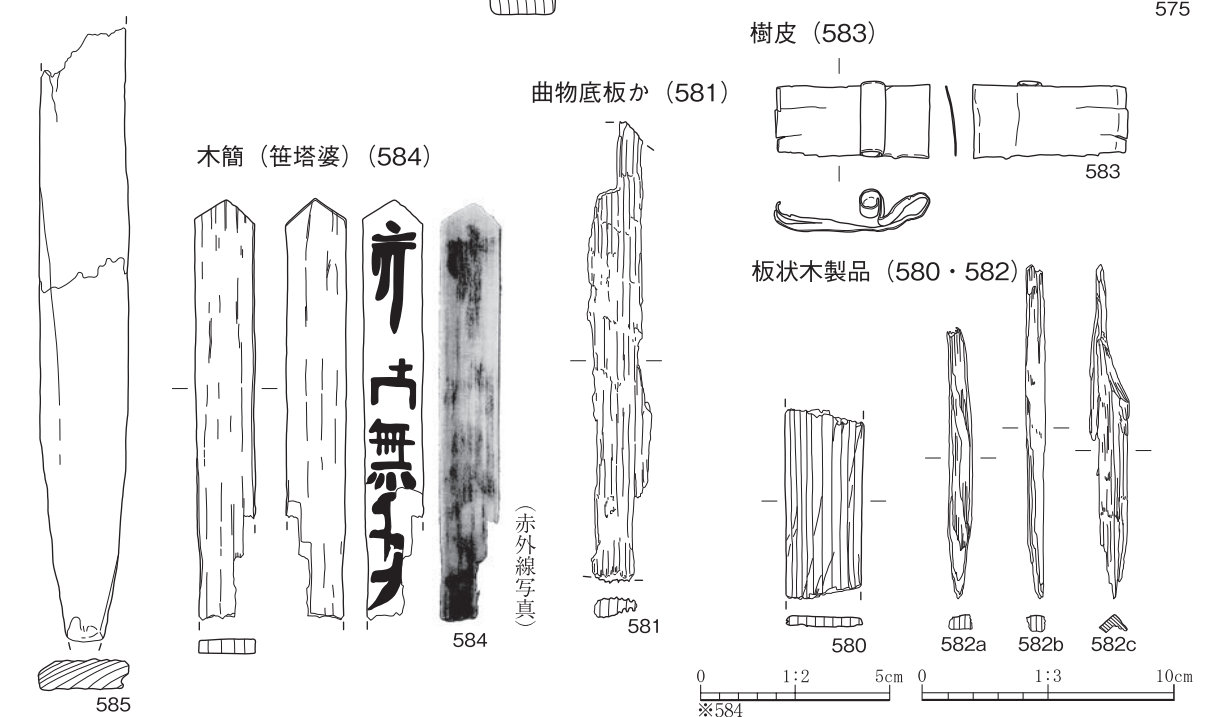
曲物底板 (569・571)

曲物側板 (570) 下駄の一部か (573) 農具の柄か (574) 棒状木製品 (579)



中世の木質遺物 (584・585)

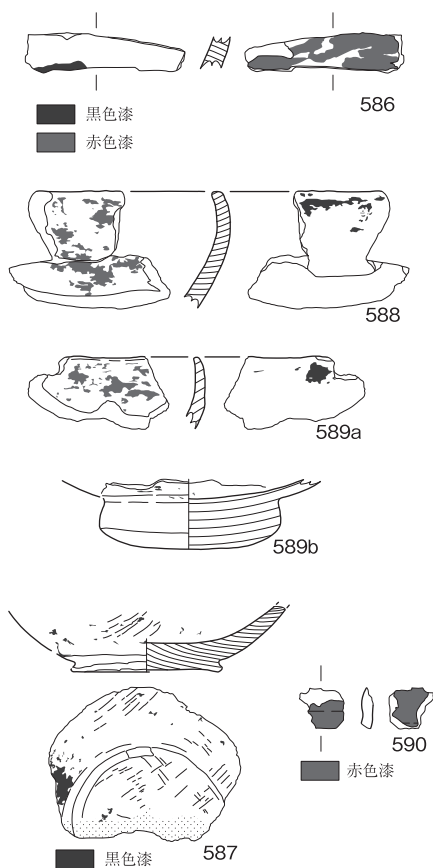
木簡 (塔婆一部か) (585)



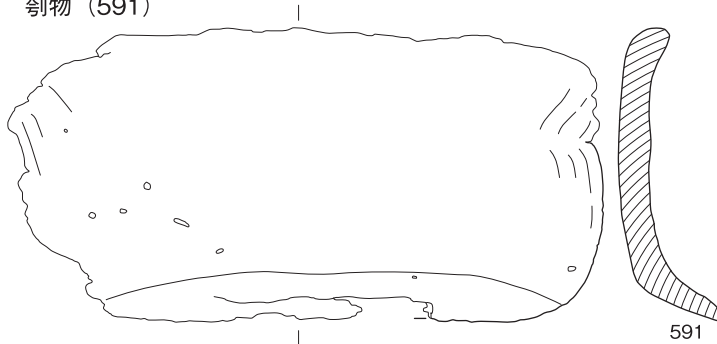
0 1:2 5cm 0 1:3 10cm
※584

第170図 木質遺物 (1)

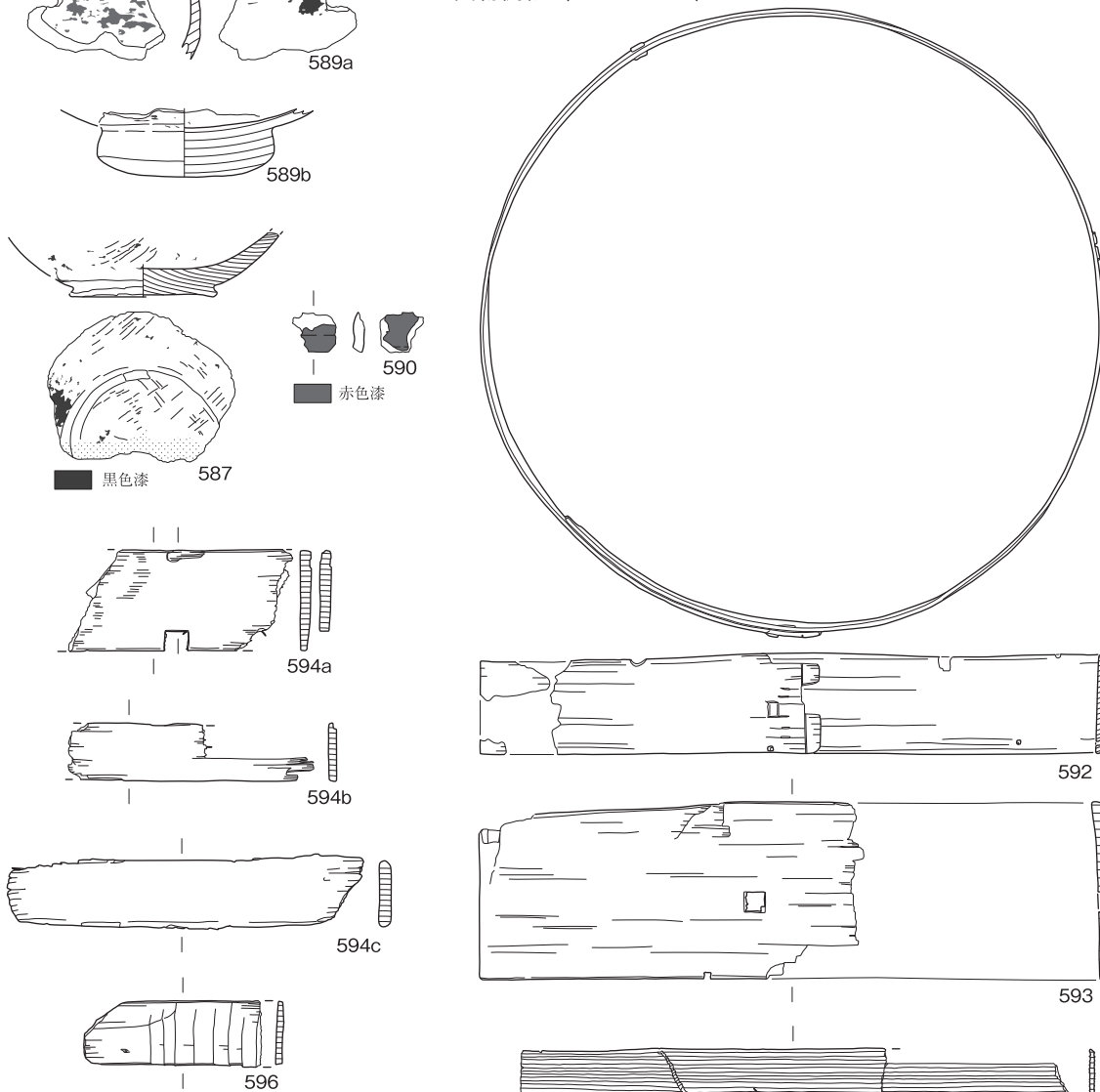
漆器椀 (586 ~ 590)



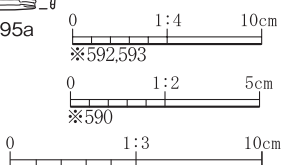
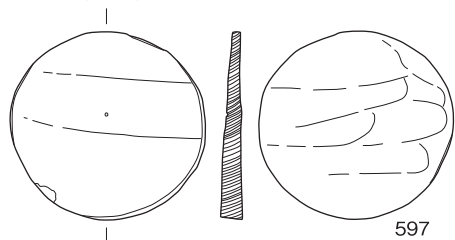
割物 (591)



曲物側板 (592 ~ 596)

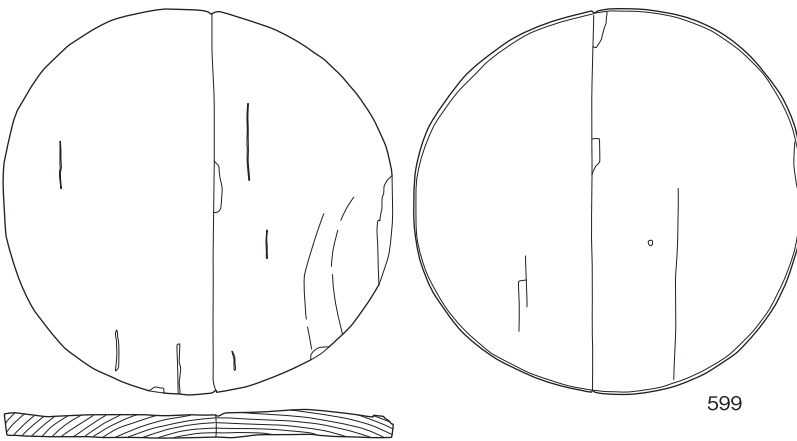
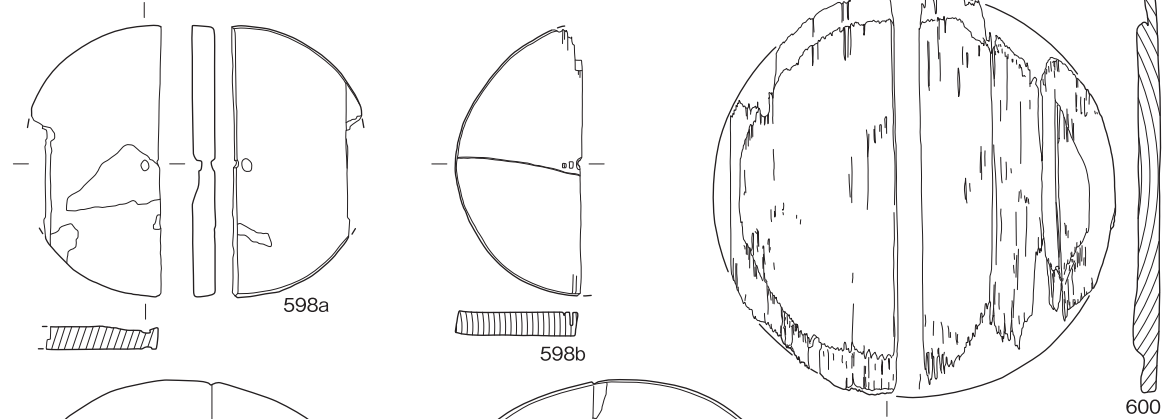


曲物底板 (597)

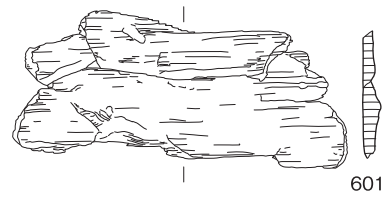


第171図 木質遺物(2)

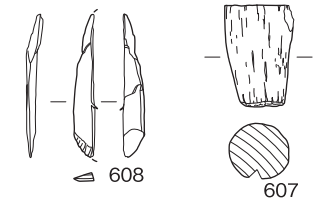
曲物底板 (598 ~ 600)



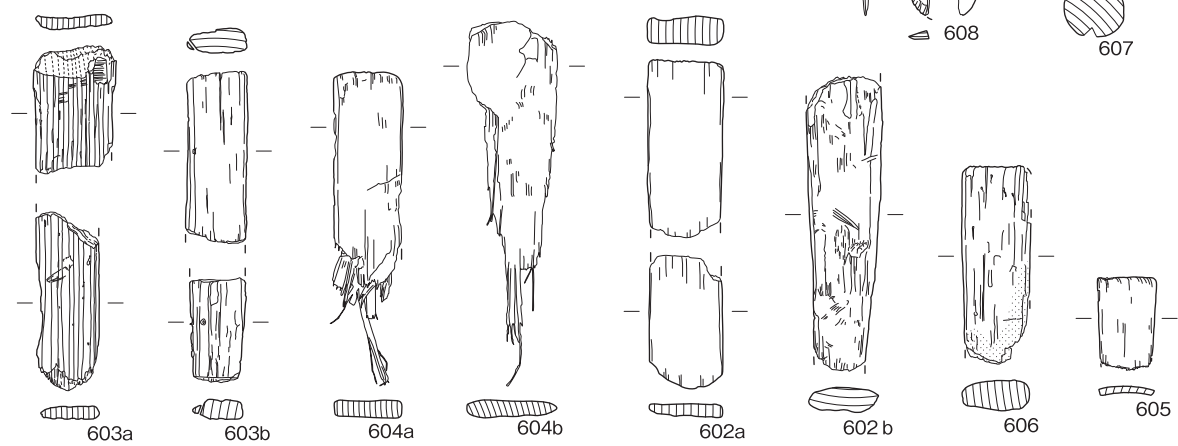
板状木製品 (601)



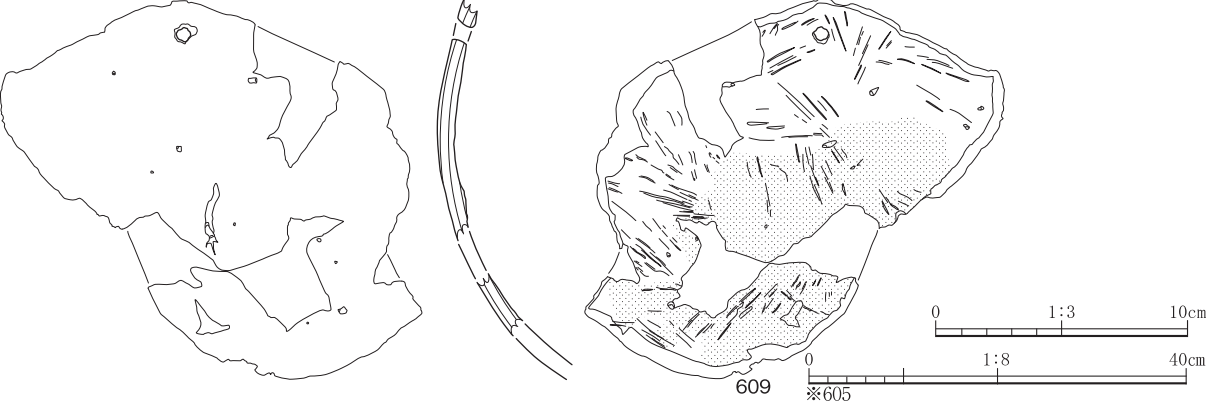
篋か (608) 木栓 (607)



桶側板か (602 ~ 606)

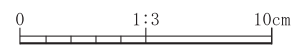
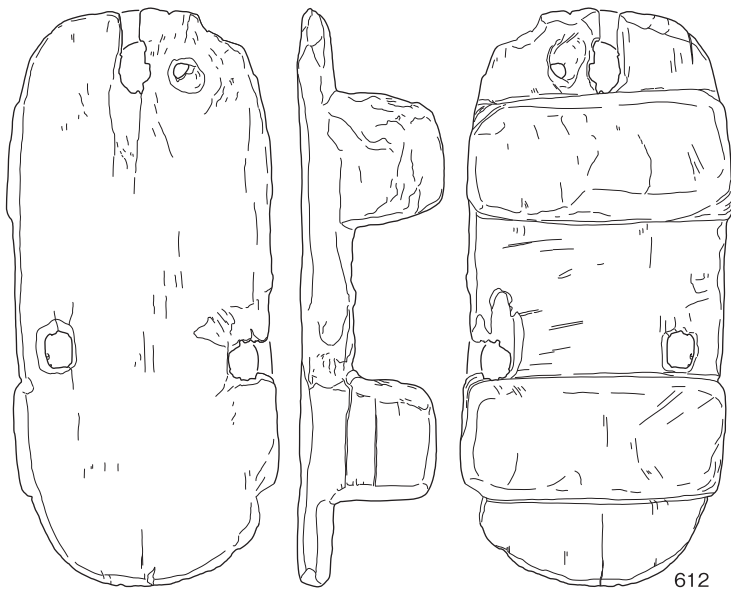
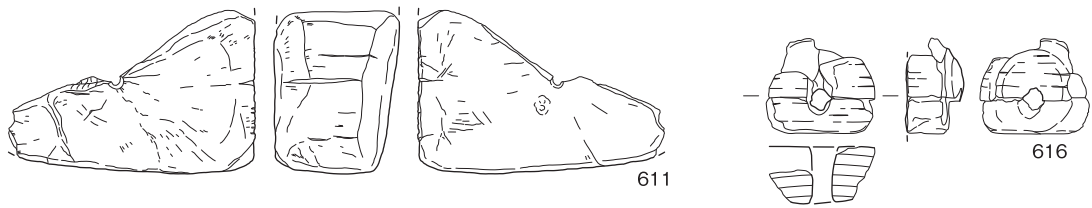
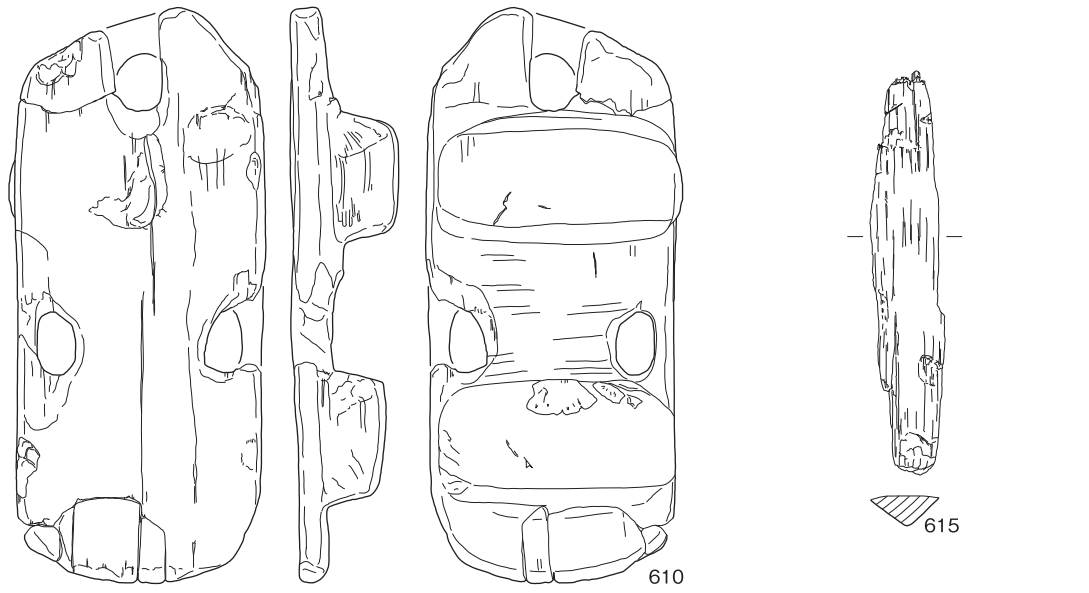


杓子 (609)



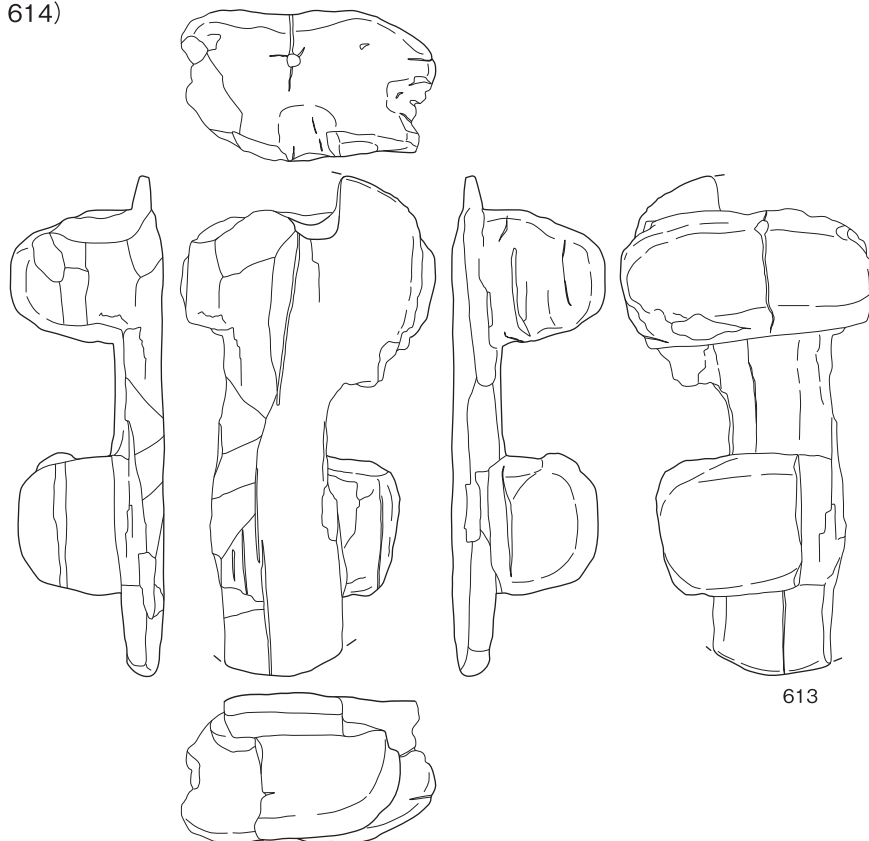
第 172 図 木質遺物 (3)

連齒下駄 (610 ~ 612・615・616)

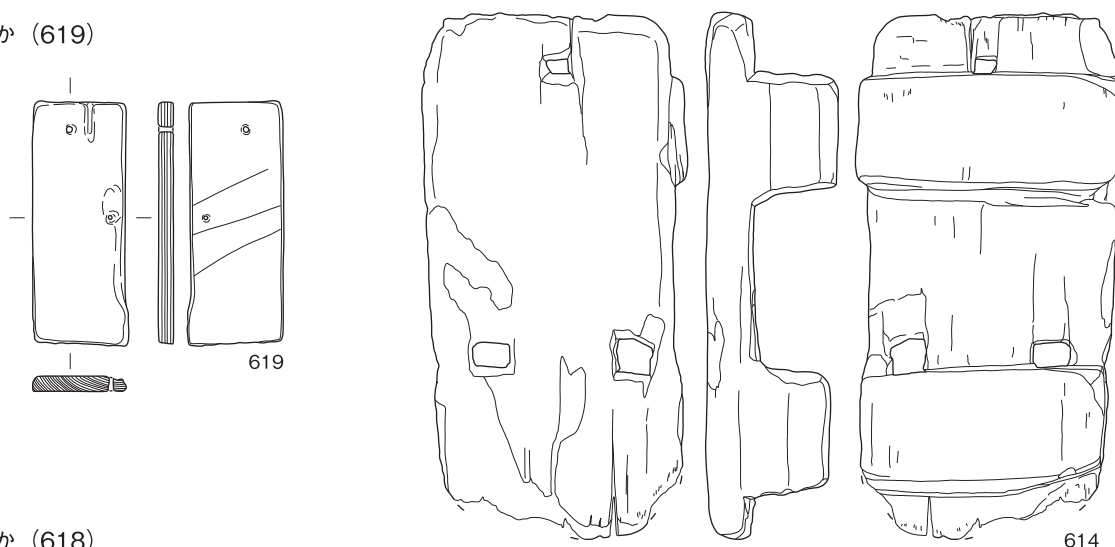


第 173 図 木質遺物 (4)

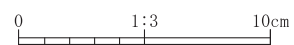
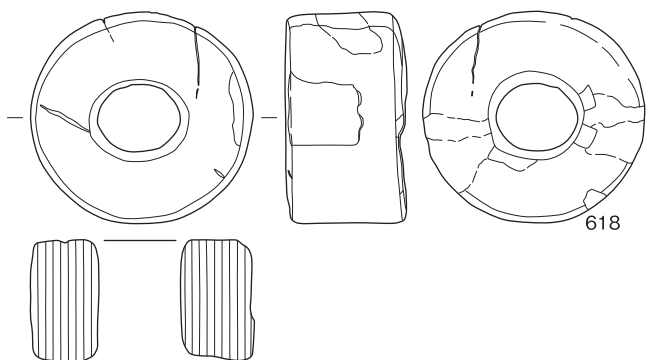
連歯下駄 (613・614)



荷札か (619)

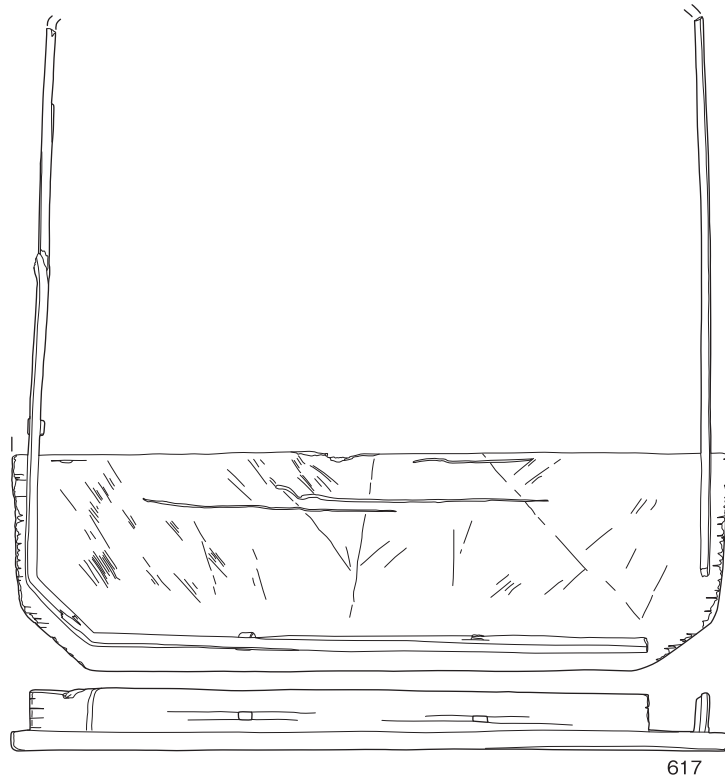


車輪か (618)

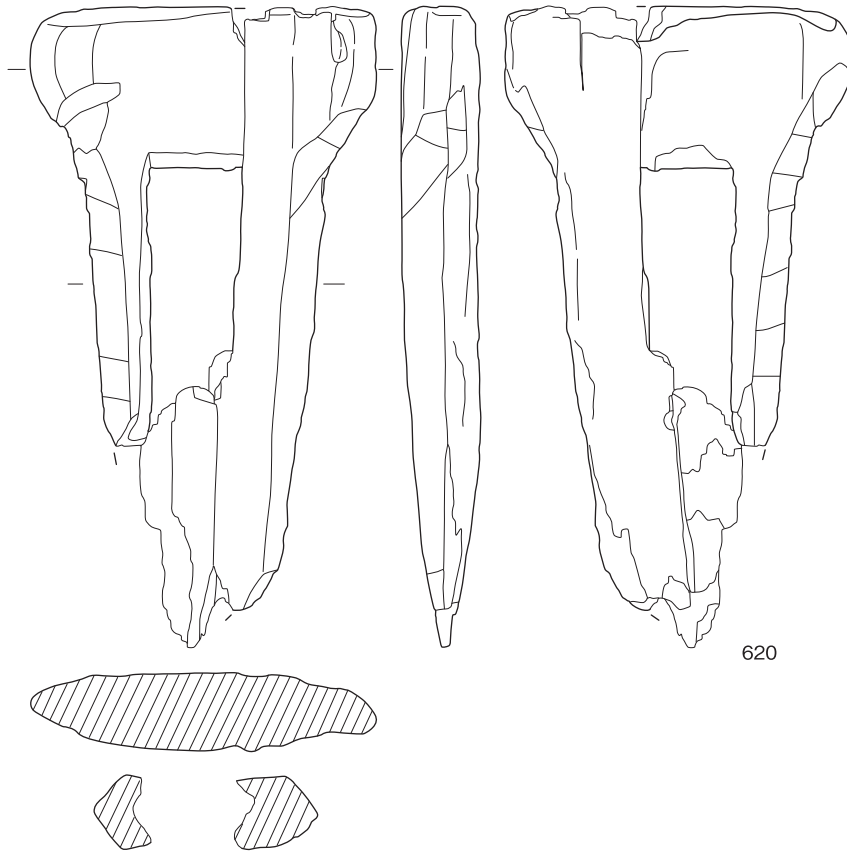


第174図 木質遺物(5)

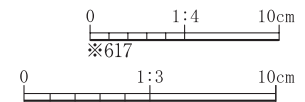
折敷 (617)



鋤先 (620)

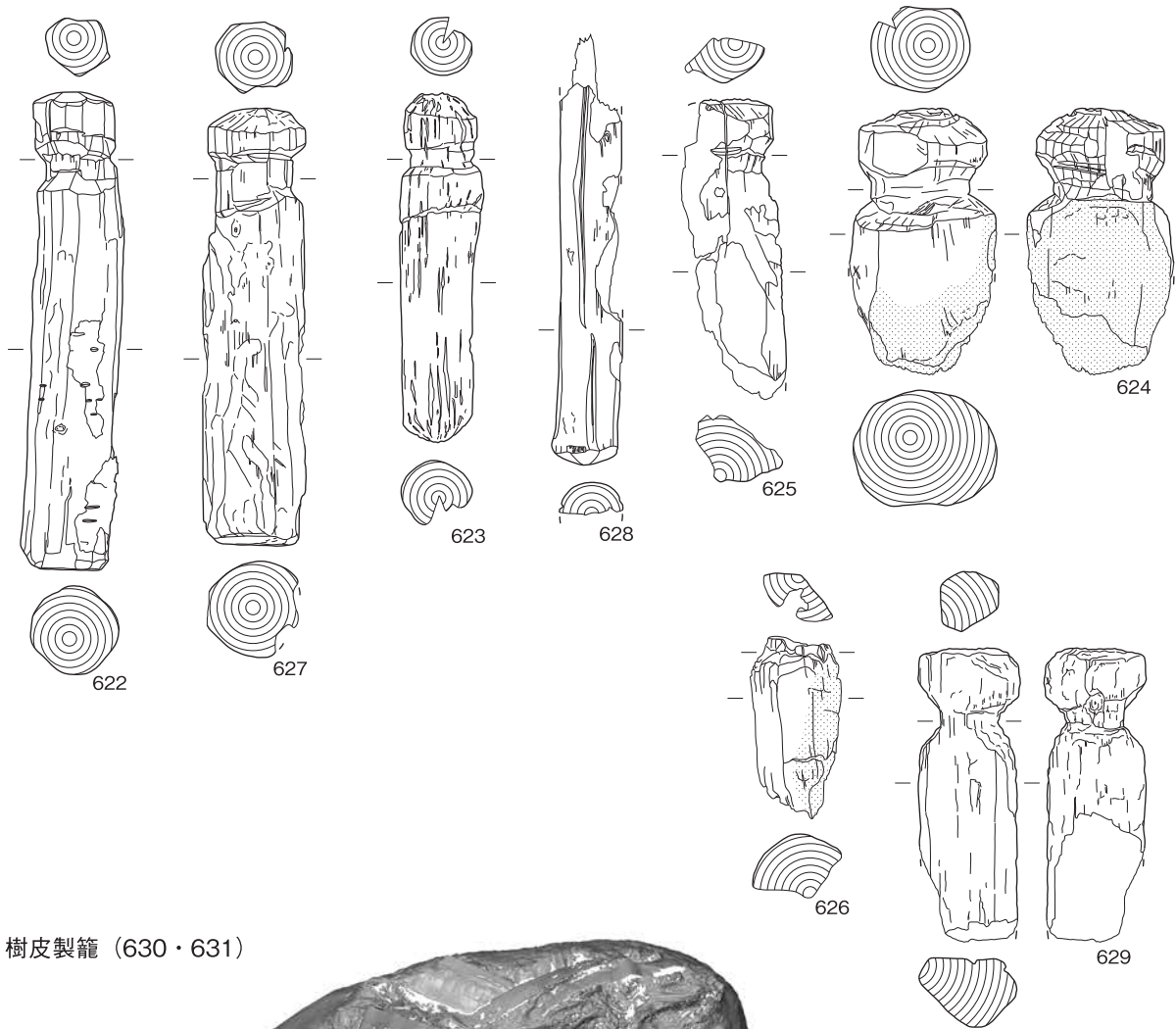


農具の柄か (621)

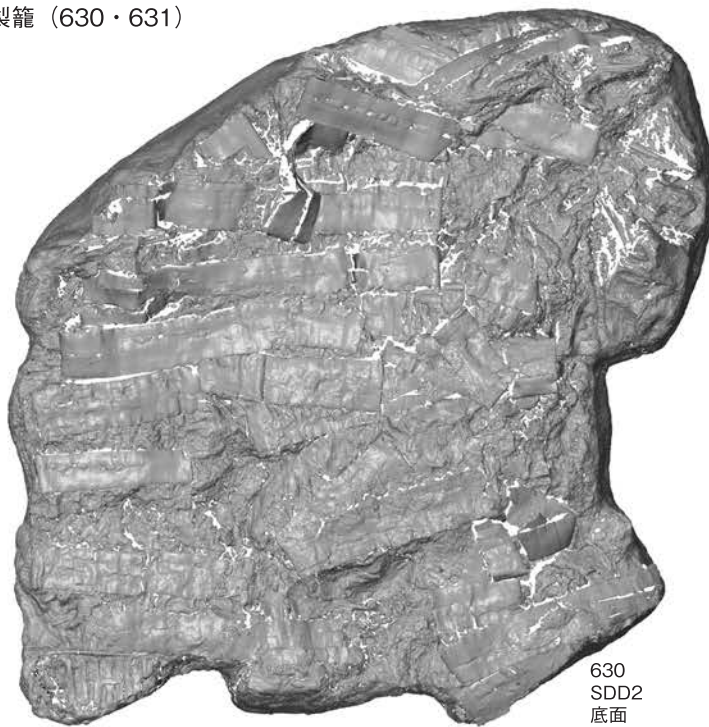


第 175 図 木質遺物 (6)

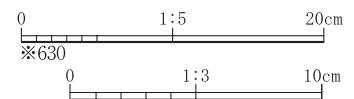
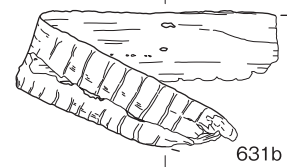
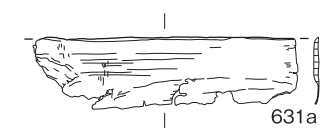
木錘 (622 ~ 629)



樹皮製籠 (630・631)

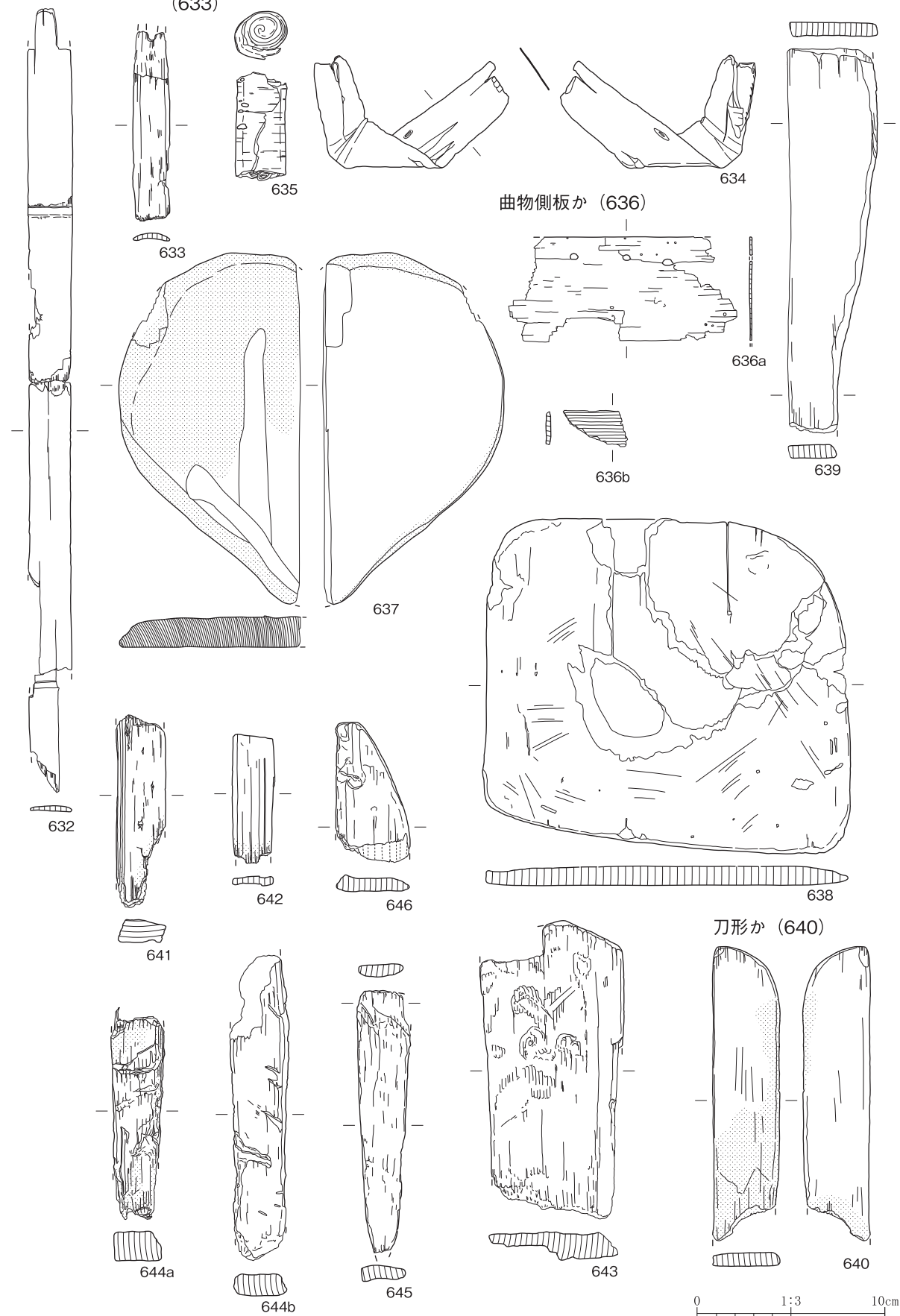


630
SDD2
底面
樹皮製籠
クリ



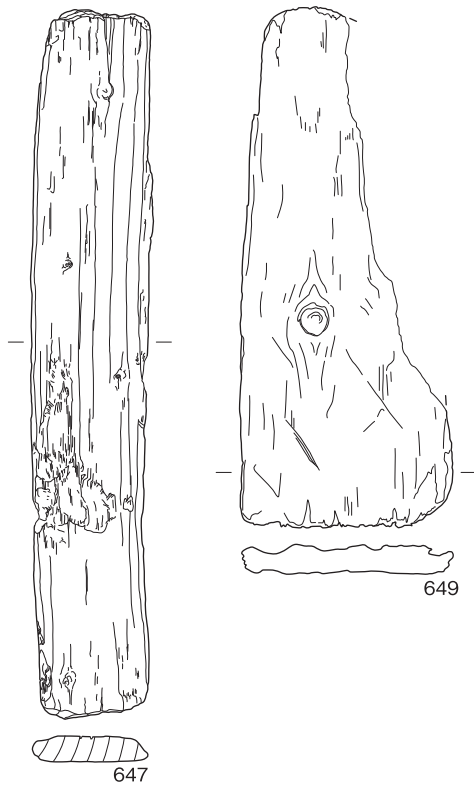
第176図 木質遺物 (7)

弓か (632) 笹製品の一部 (633) 樹皮 (634・635) 板状木製品 (637～639・641～646)

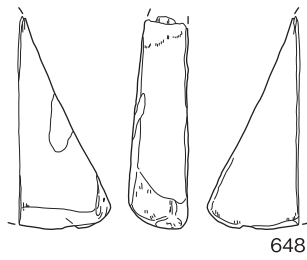


第177図 木質遺物(8)

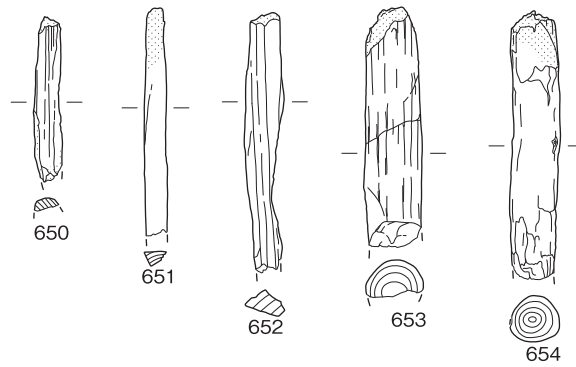
板状木製品 (647・649)



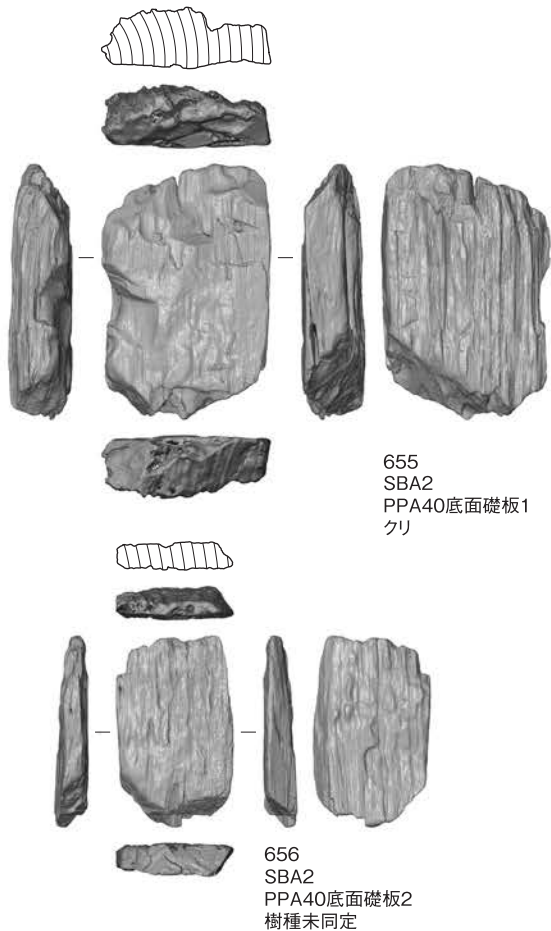
差歯下駄か (648)



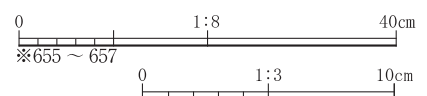
付け木 (650～654)



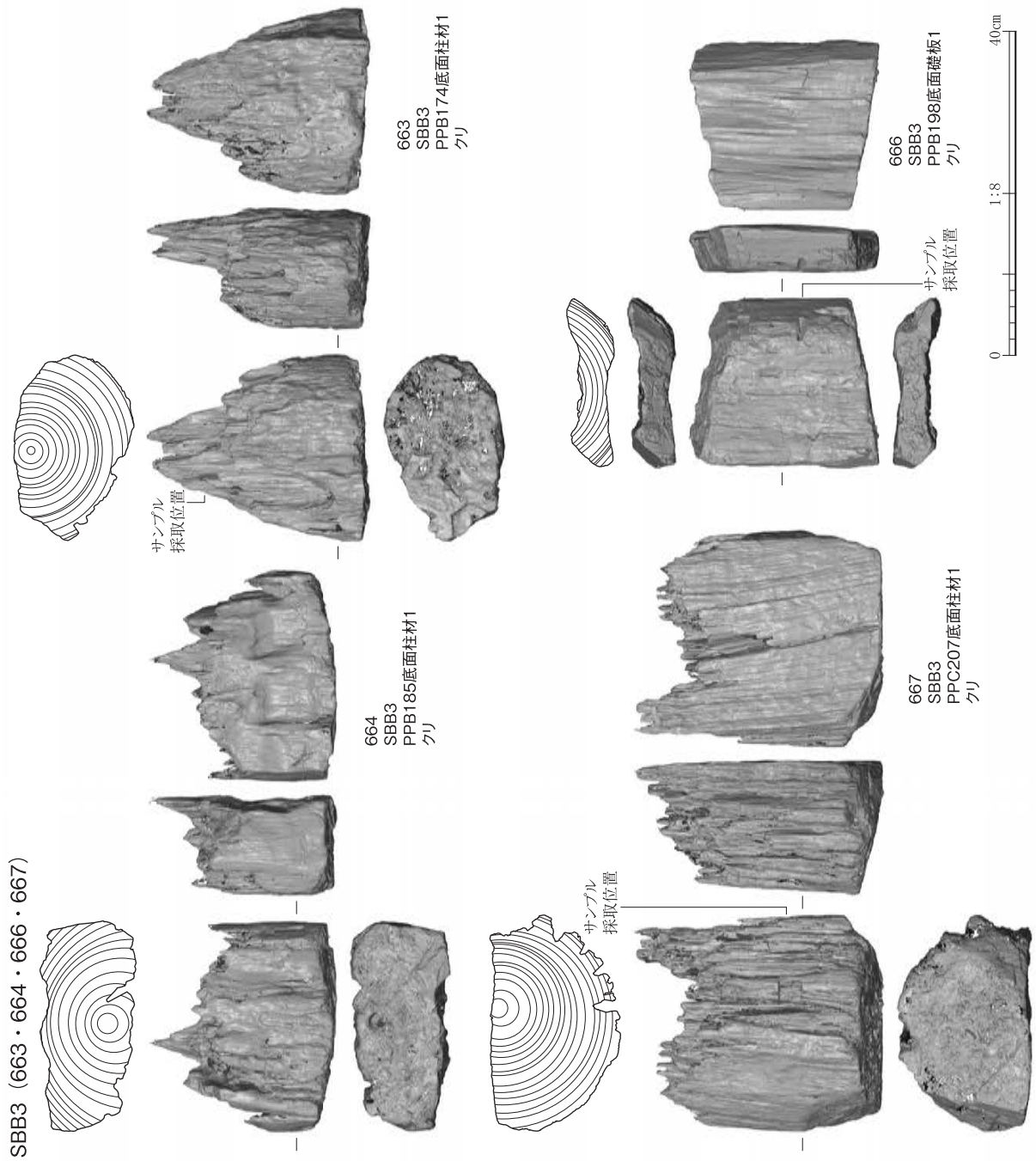
SBA2 (655・656)



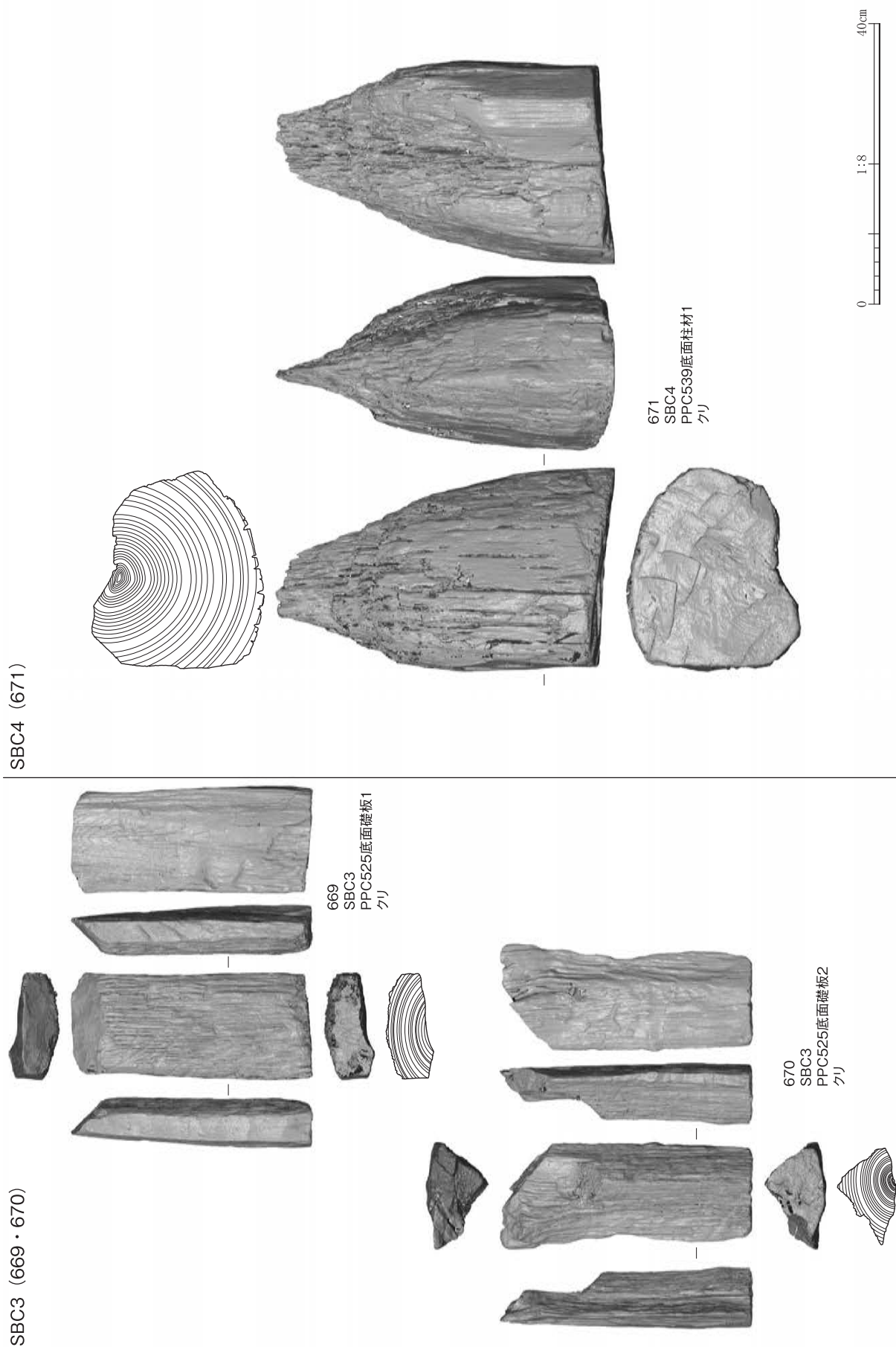
SBA3b (657a)



第178図 木質遺物(9)

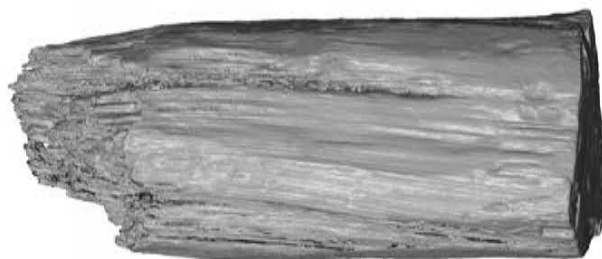
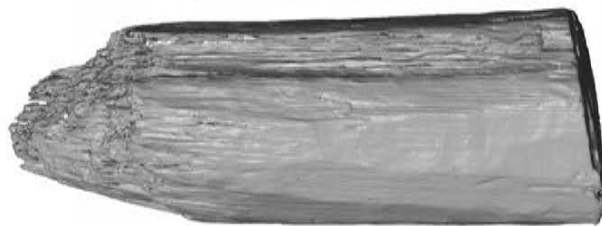
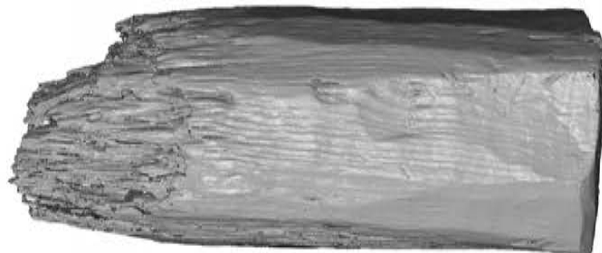
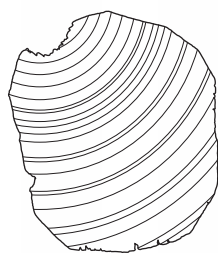


第 179 図 木質遺物 (10)

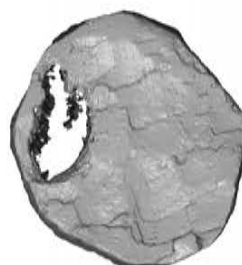
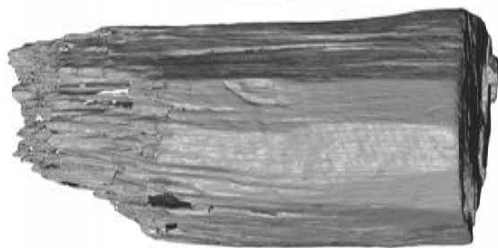
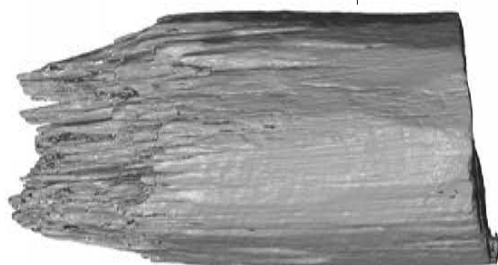
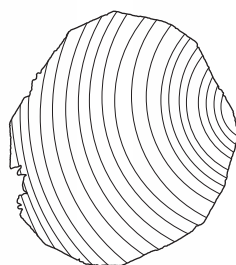


第180図 木質遺物 (11)

SBC4 (672・673)



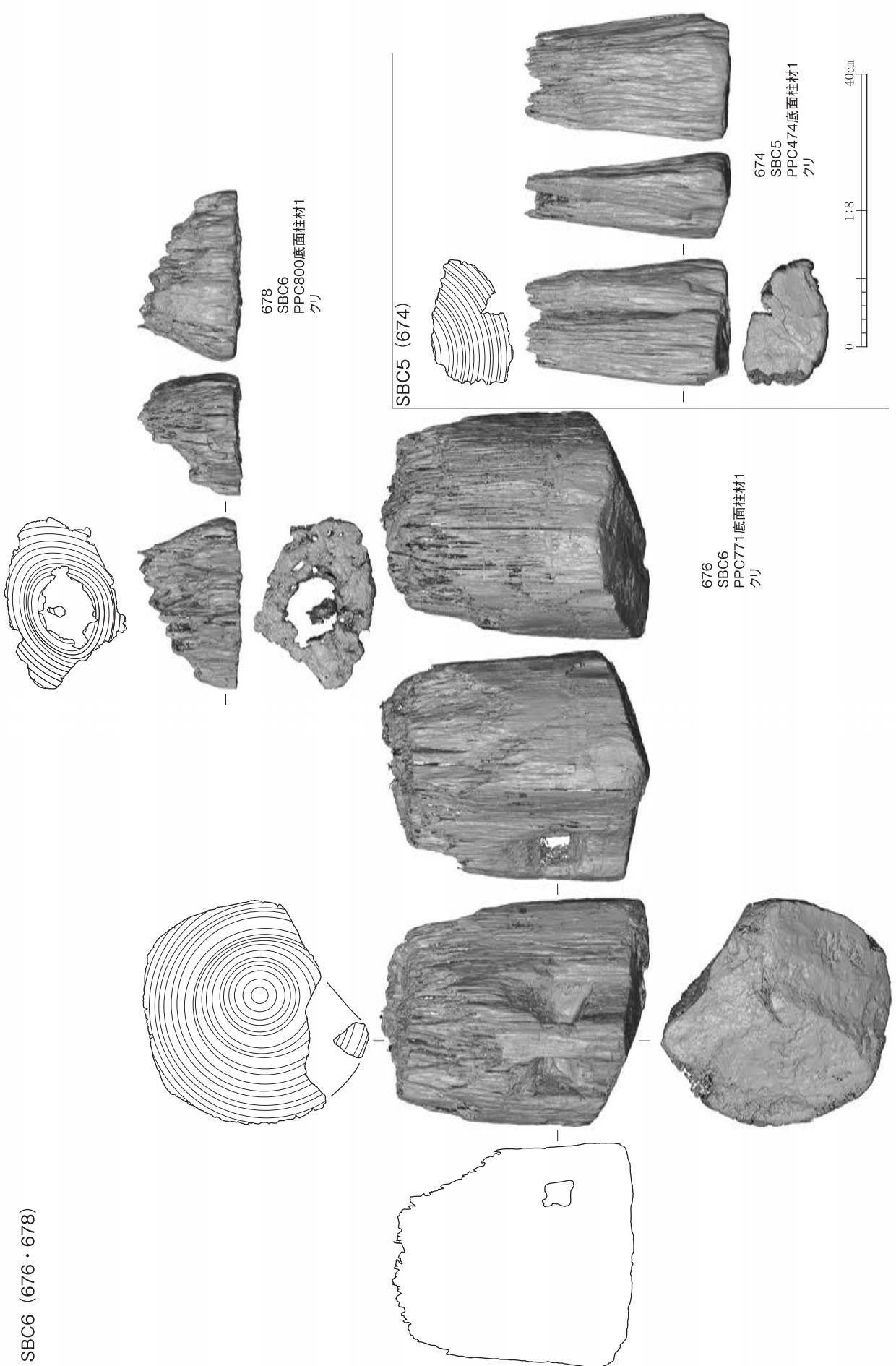
672
SBC4
PPC542底面柱材1
クワ



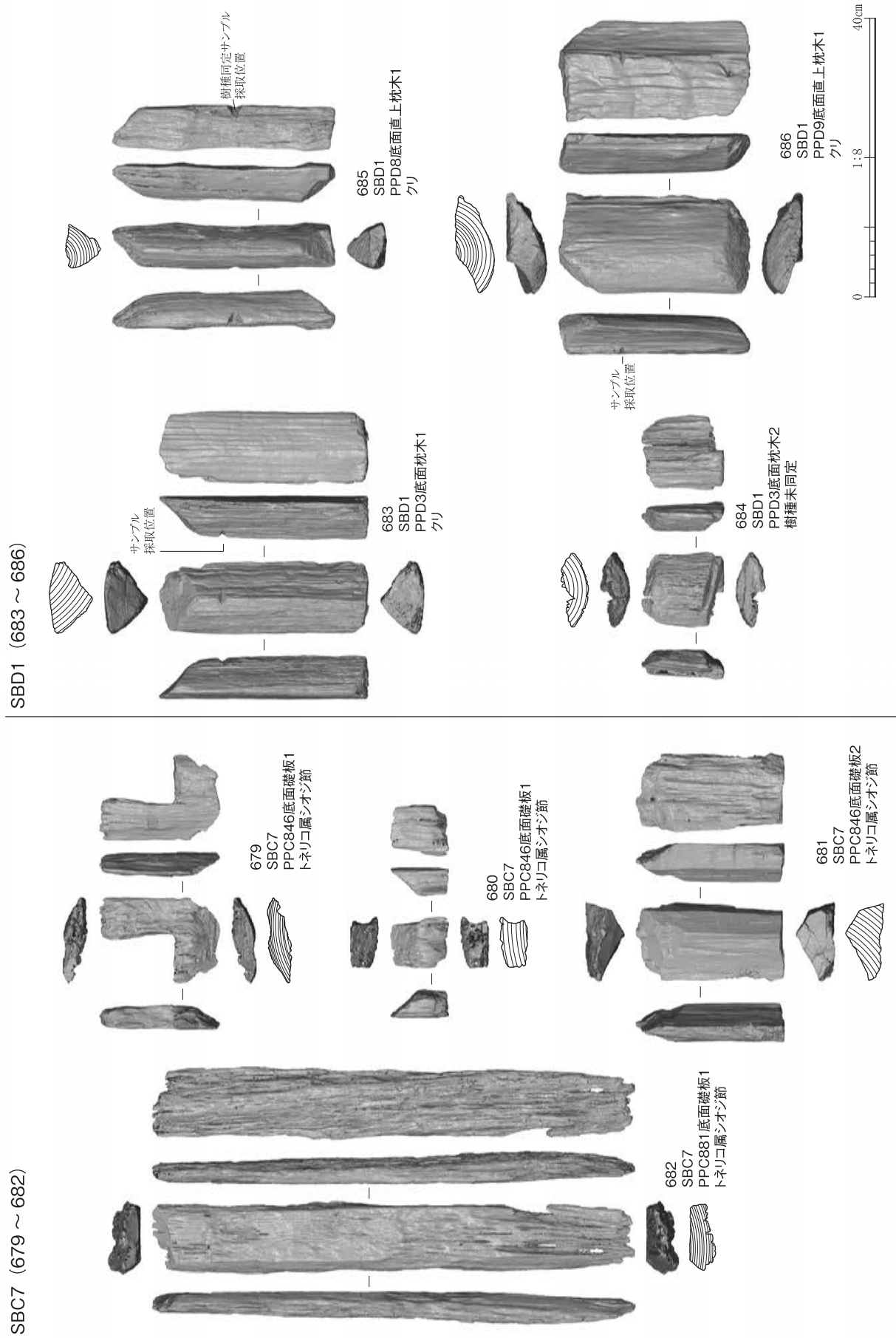
673
SBC4
PPC543底面柱材1
クワ



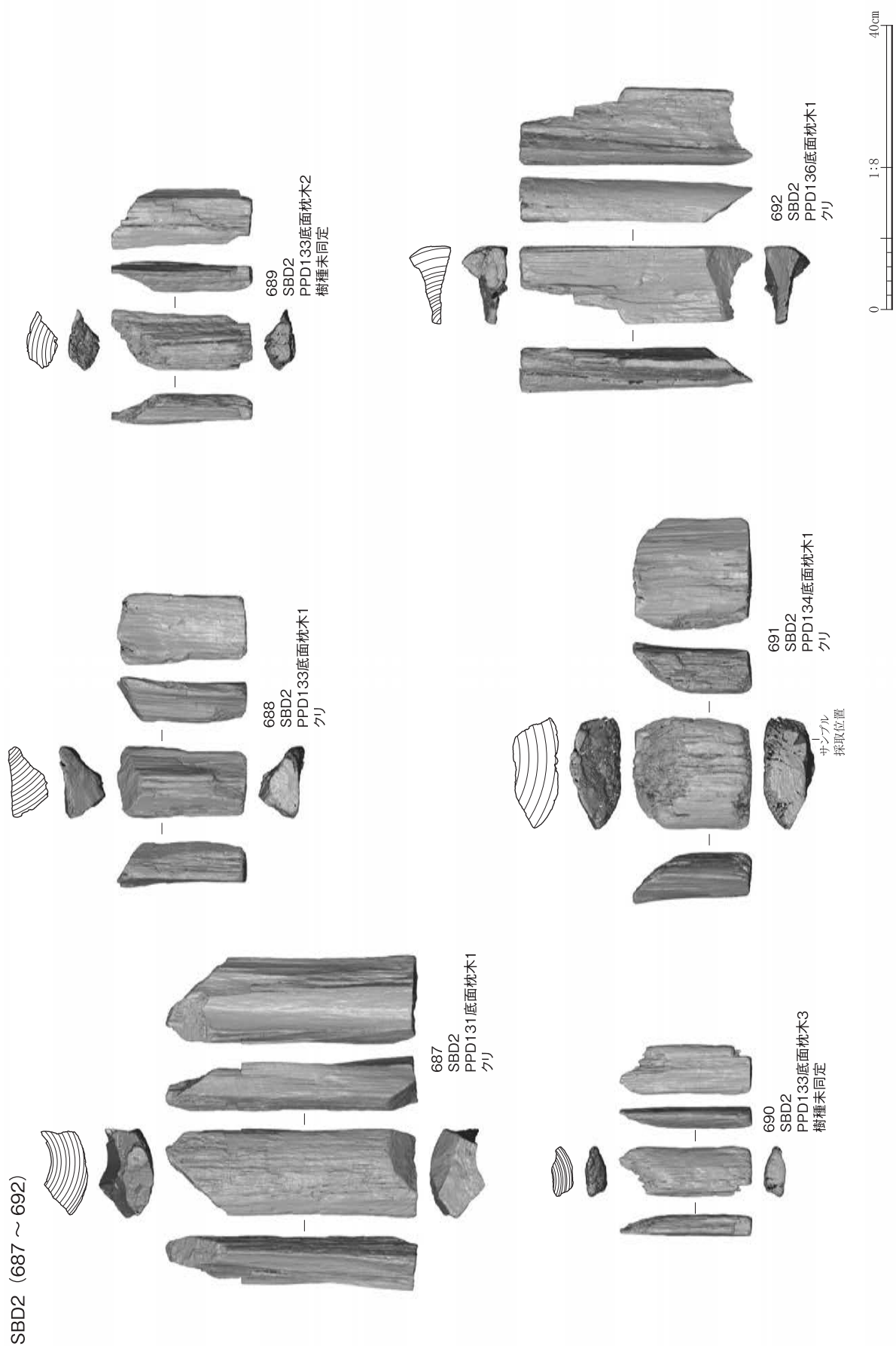
第181図 木質遺物 (12)



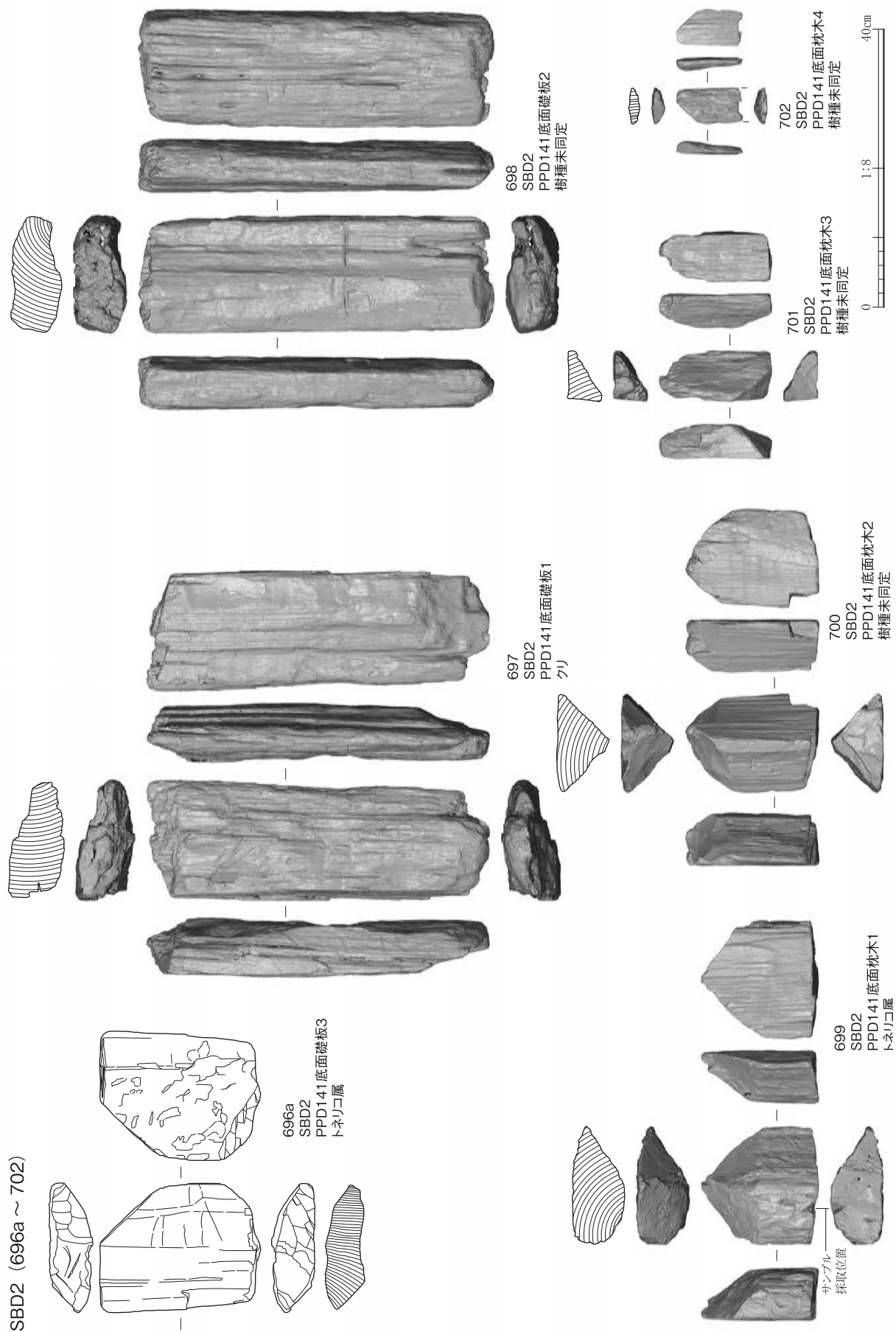
第182図 木質遺物 (13)



第 183 図 木質遺物 (14)

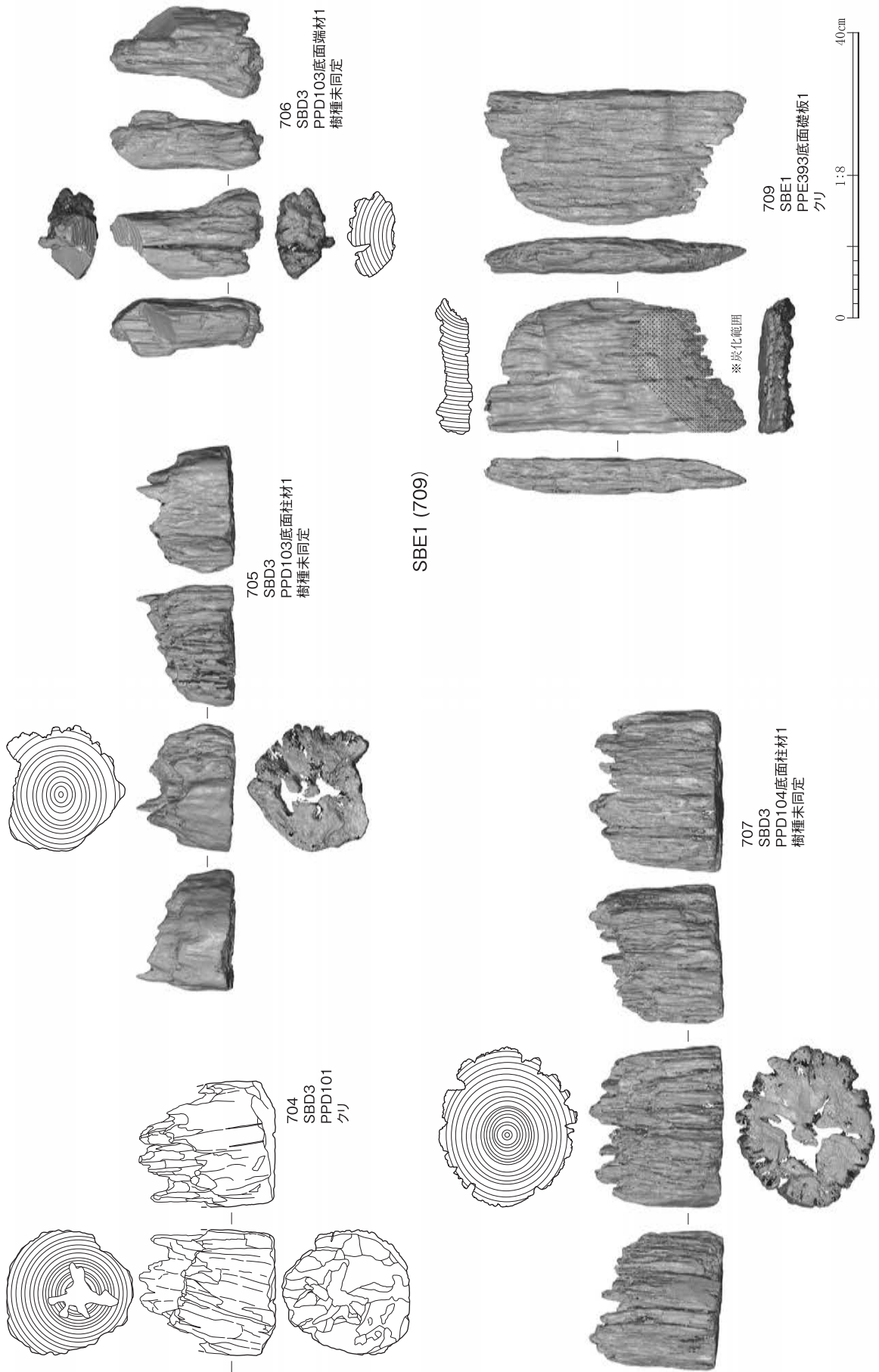


第 184 図 木質遺物 (15)



第185図 木質遺物 (16)

SBD3 (704 ~ 707)、SBE1 (709)

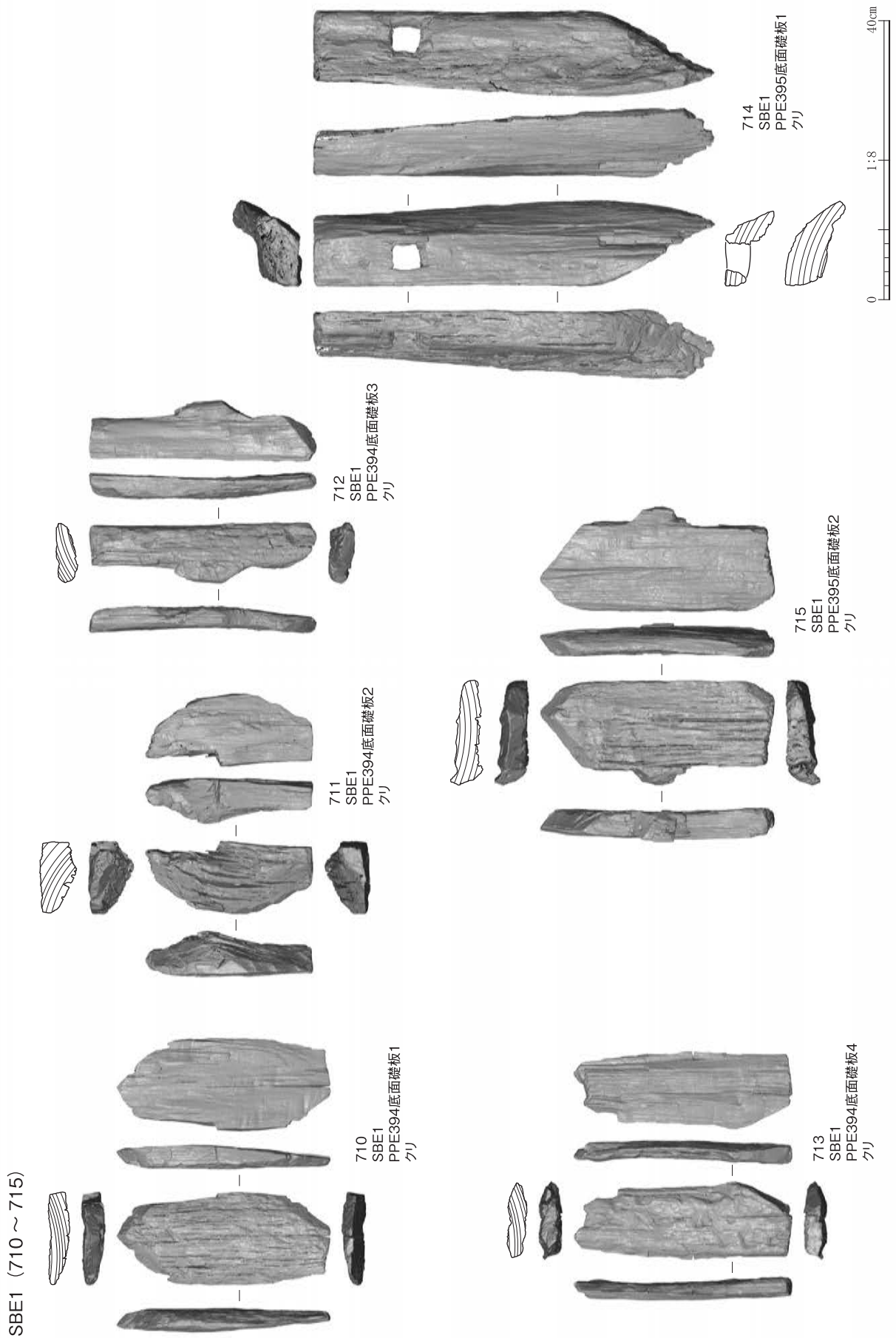


第 186 図 木質遺物 (17)

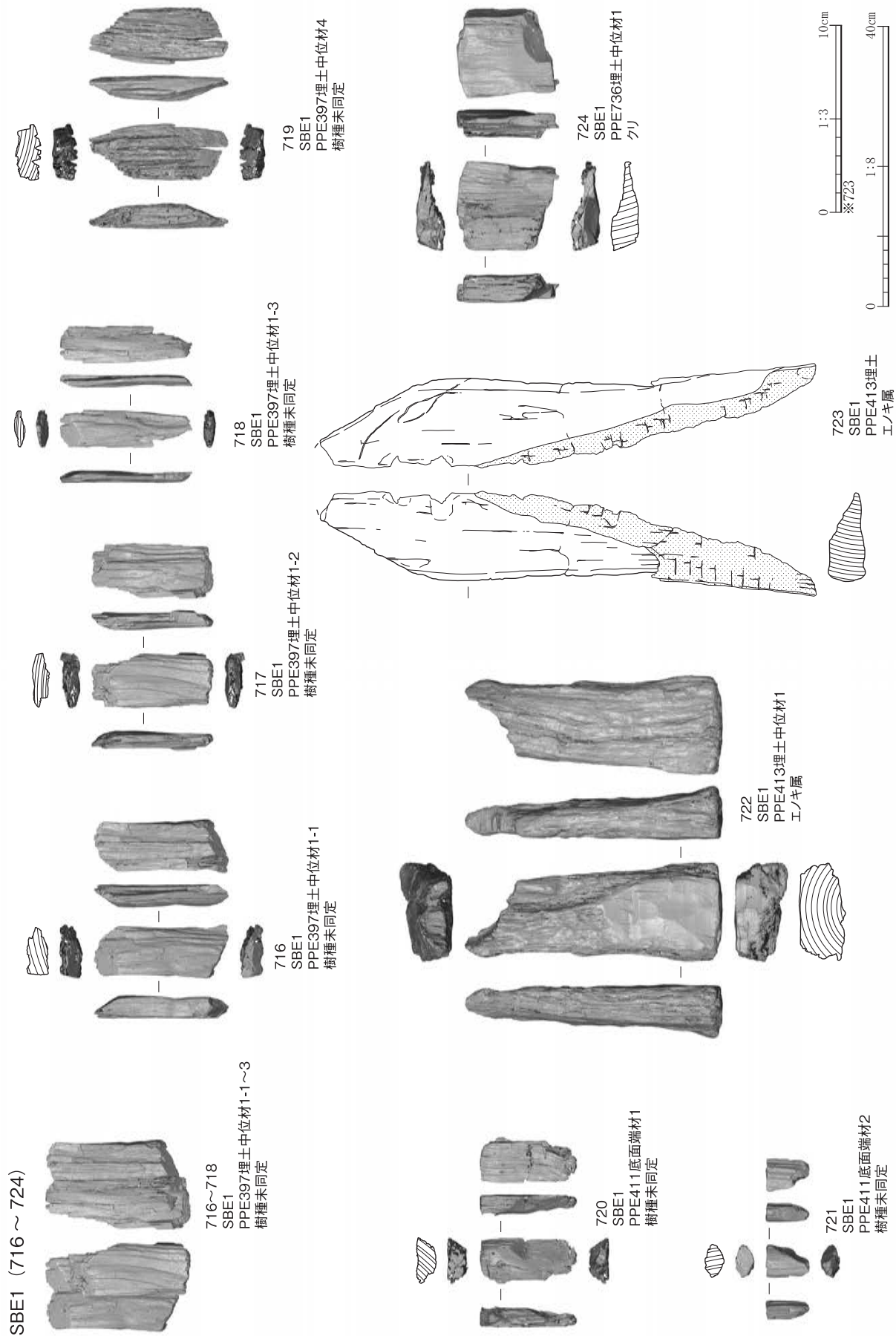
SBE1 (708)



第 187 図 木質遺物 (18)

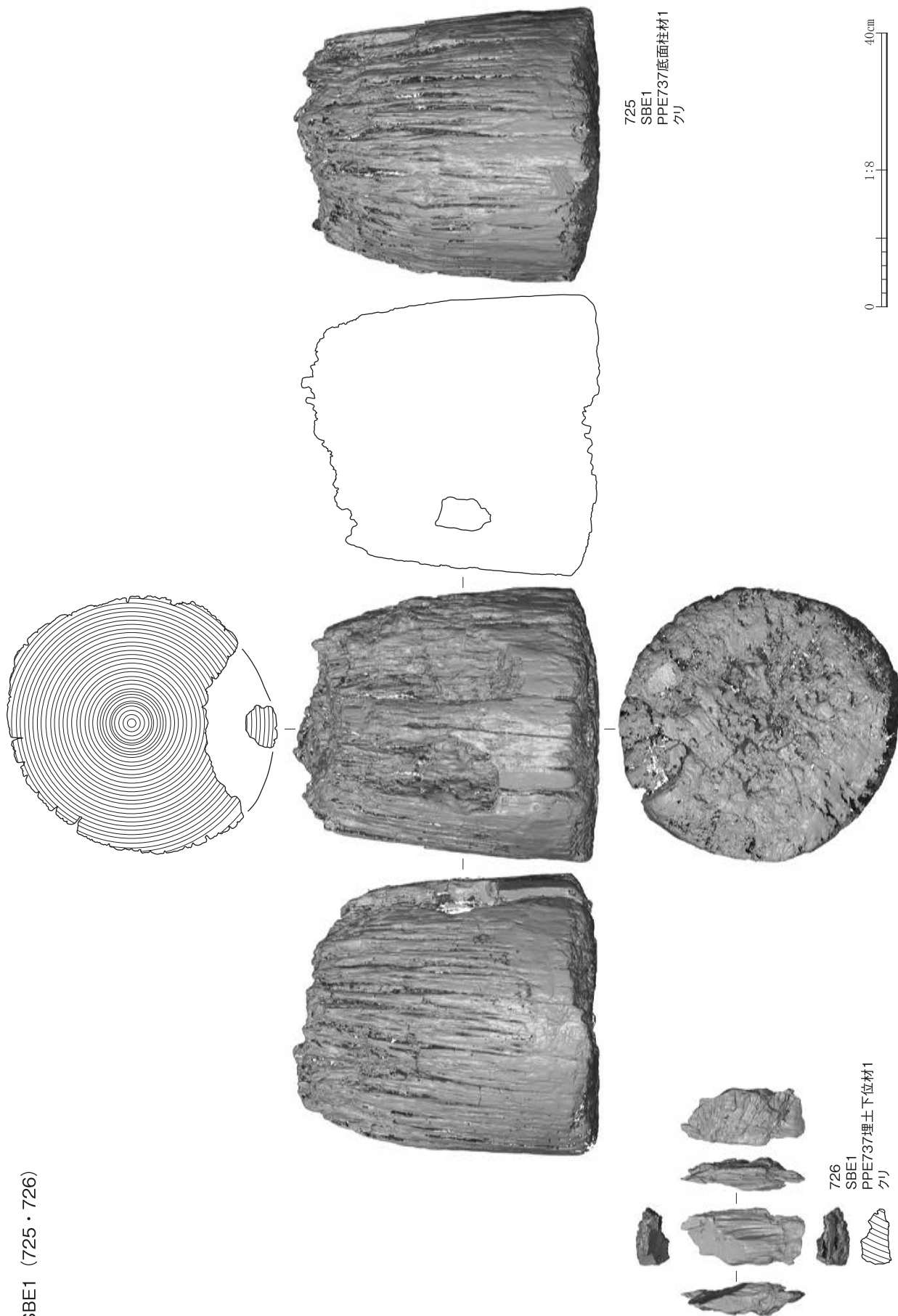


第 188 図 木質遺物 (19)

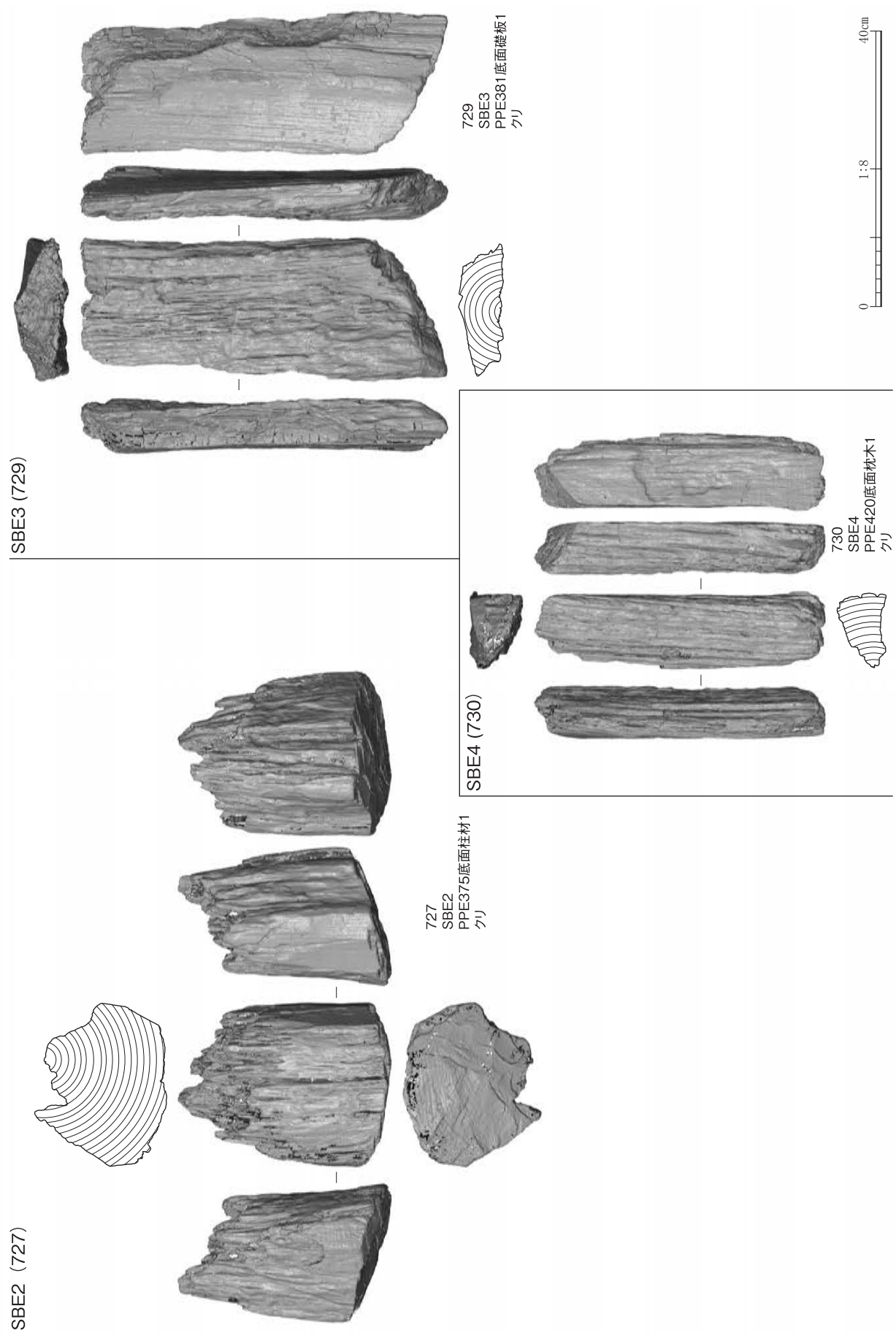


第 189 図 木質遺物 (20)

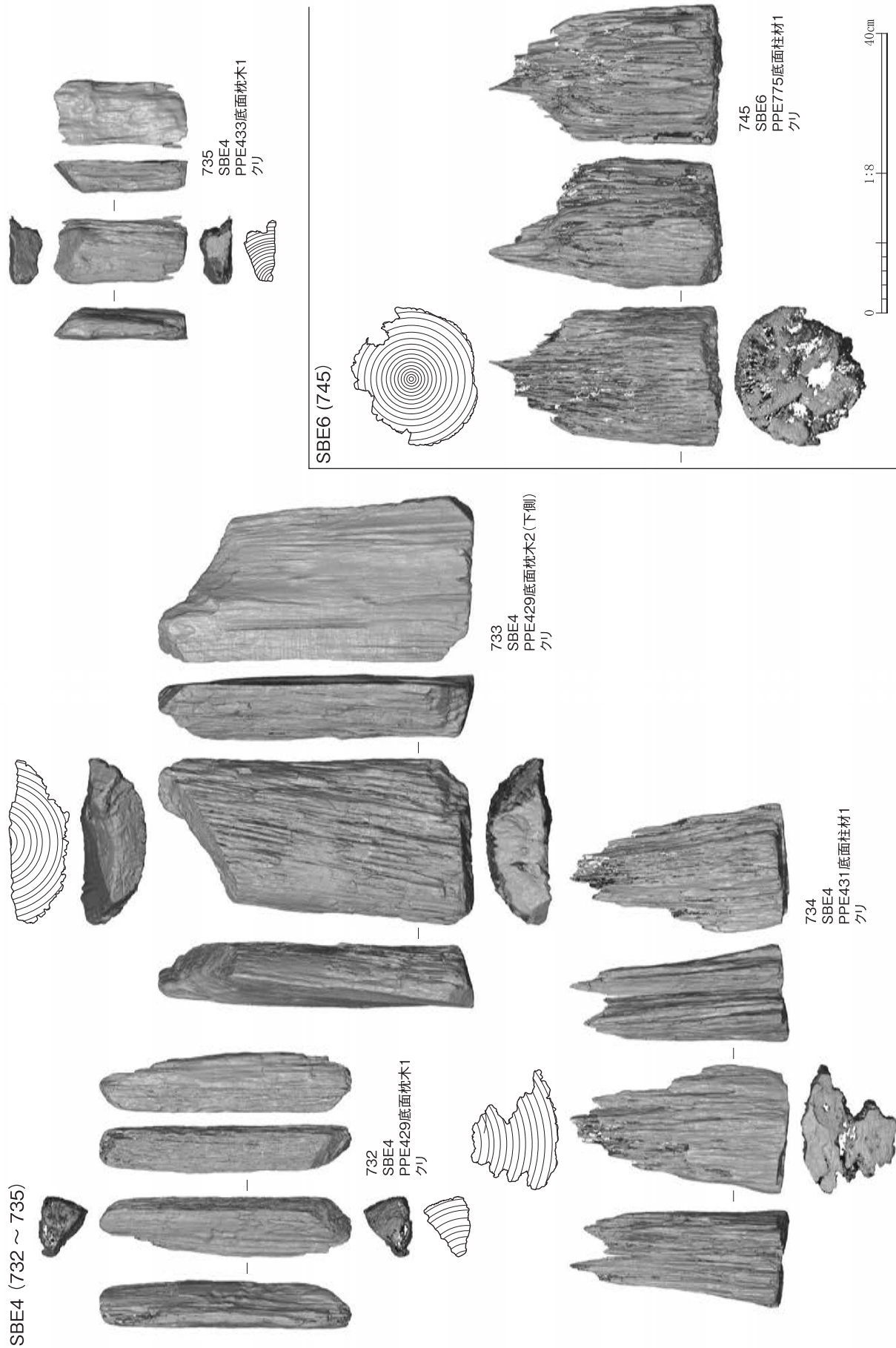
SBE1 (725・726)



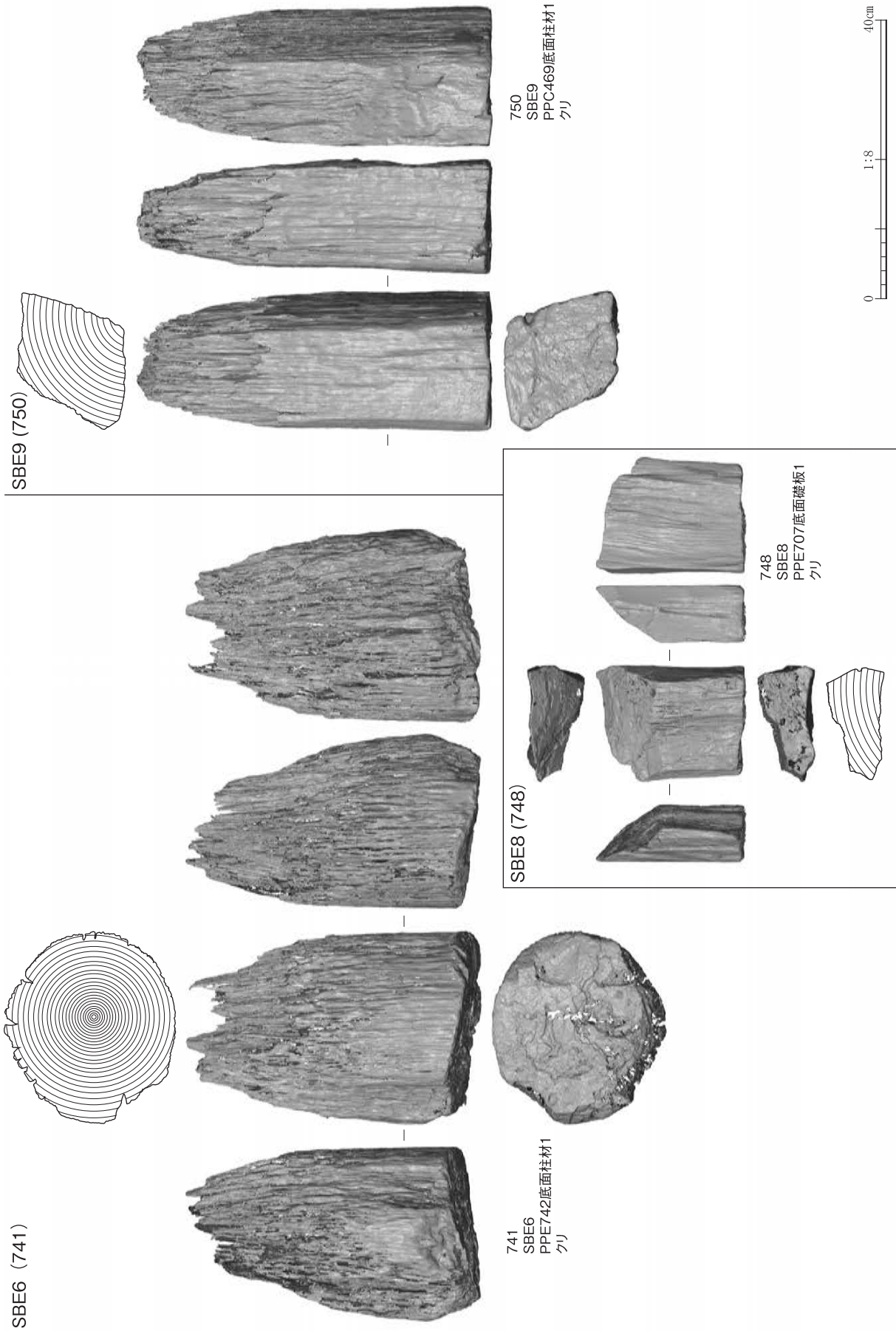
第190図 木質遺物 (21)



第191図 木質遺物 (22)

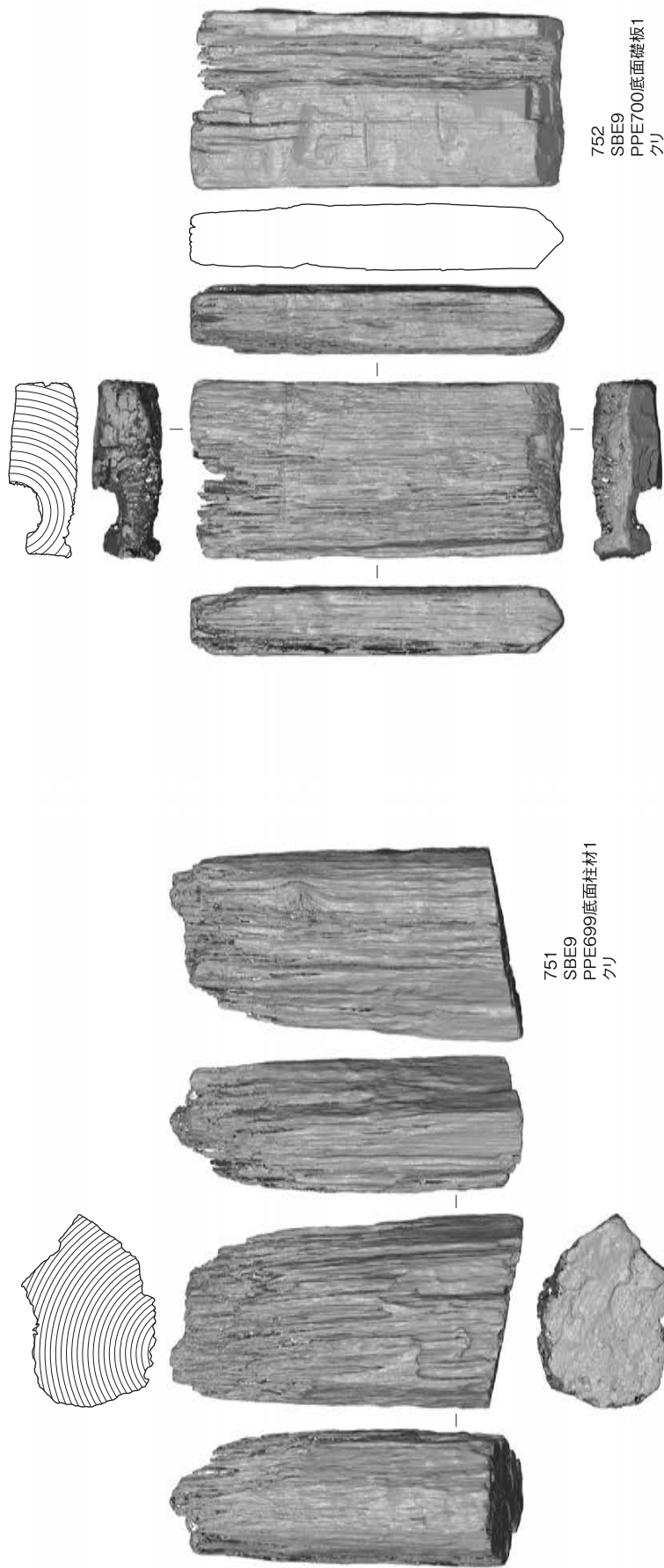


第 192 図 木質遺物 (23)



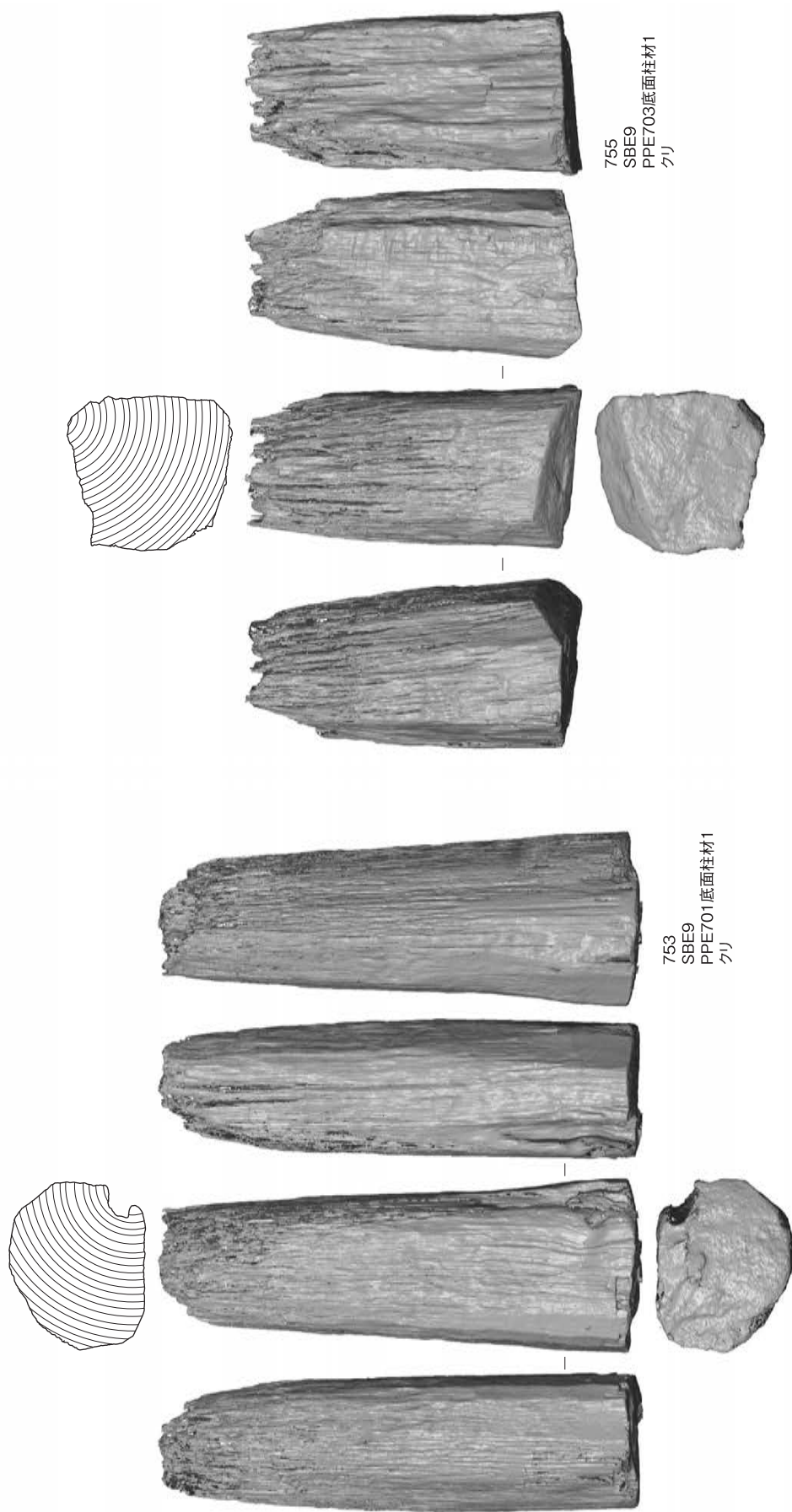
第 193 図 木質遺物 (24)

SBE9 (751・752)



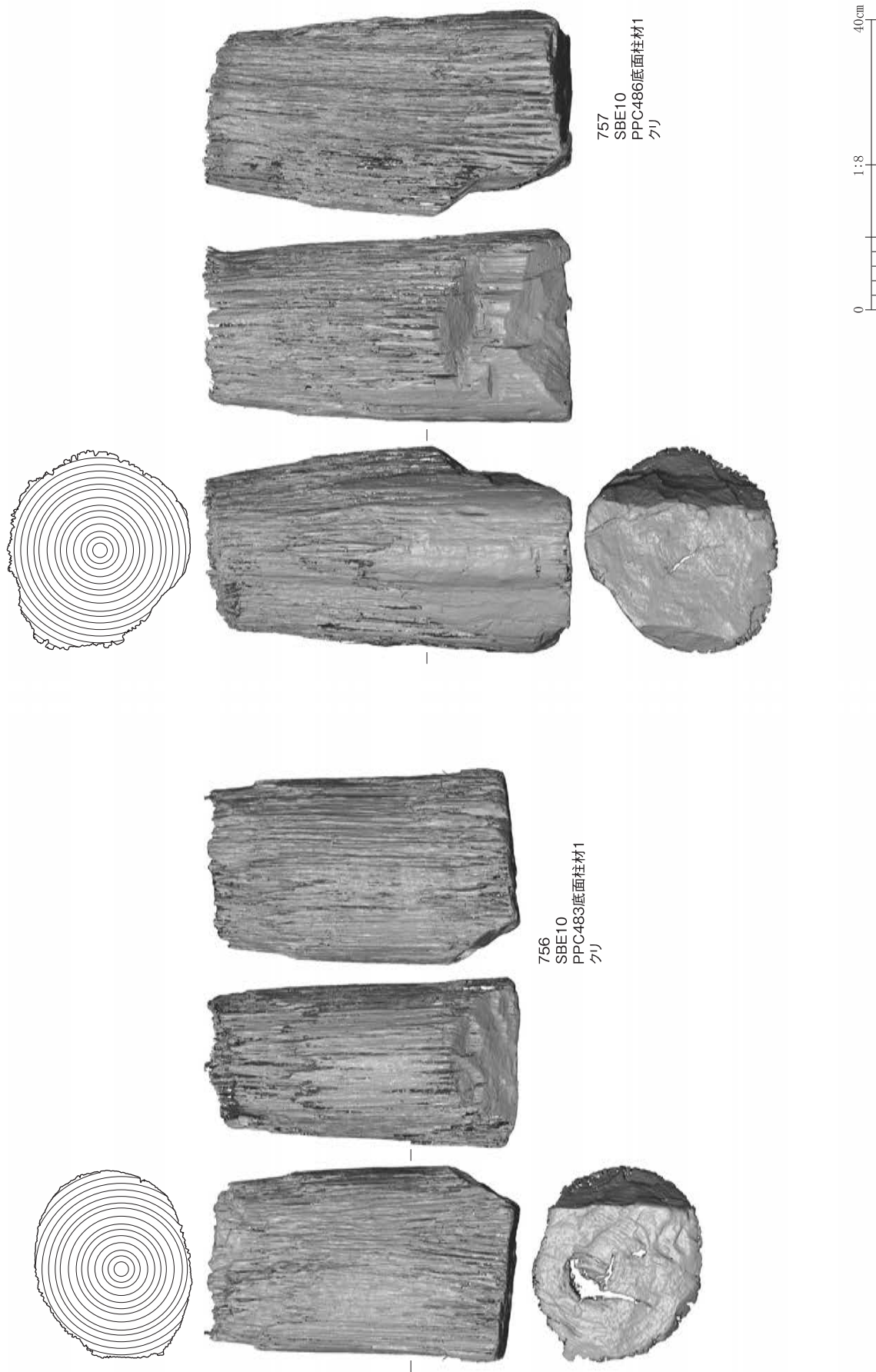
第194図 木質遺物 (25)

SBE9 (753・755)



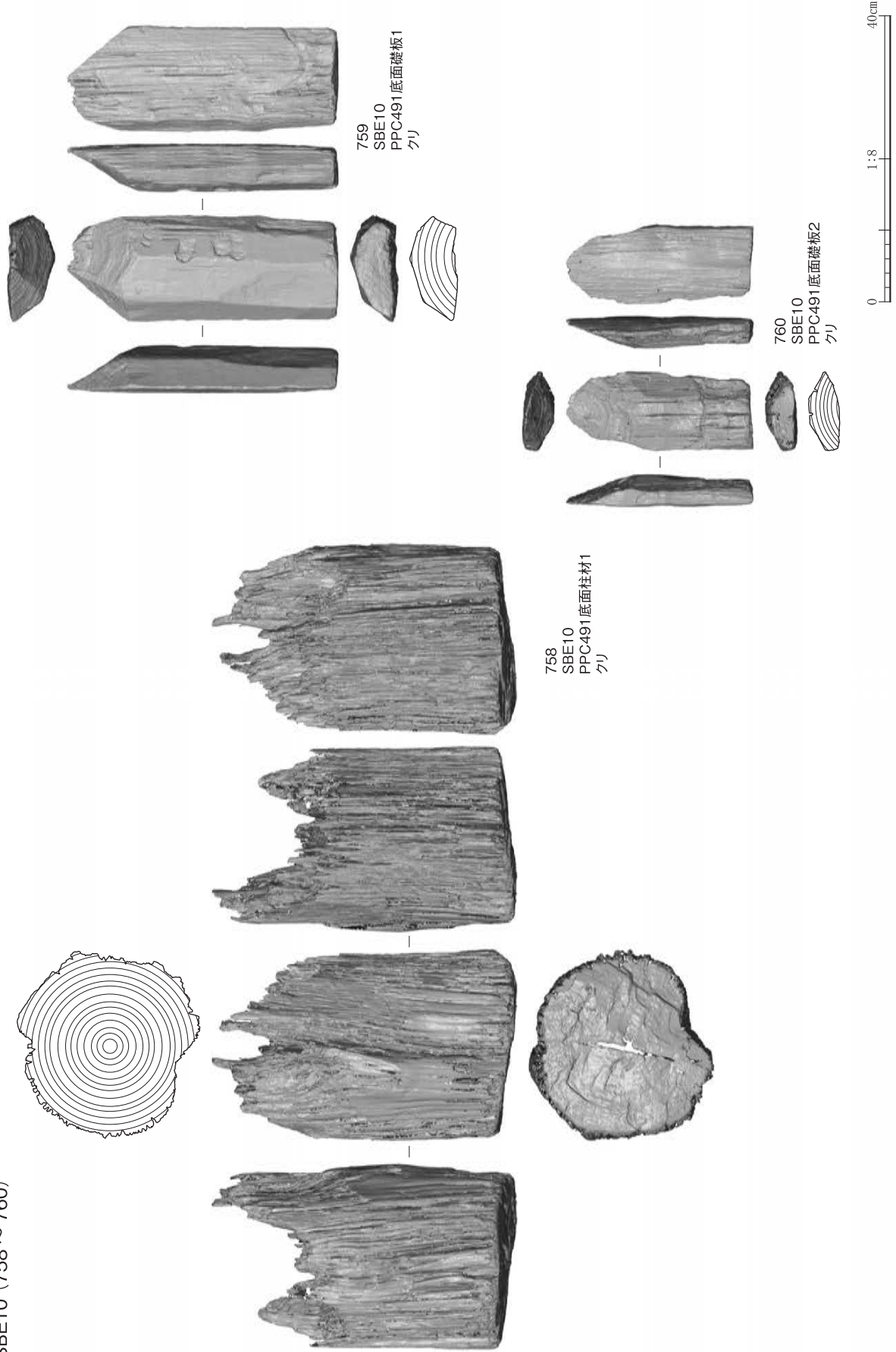
第195図 木質遺物 (26)

SBE10 (756・757)



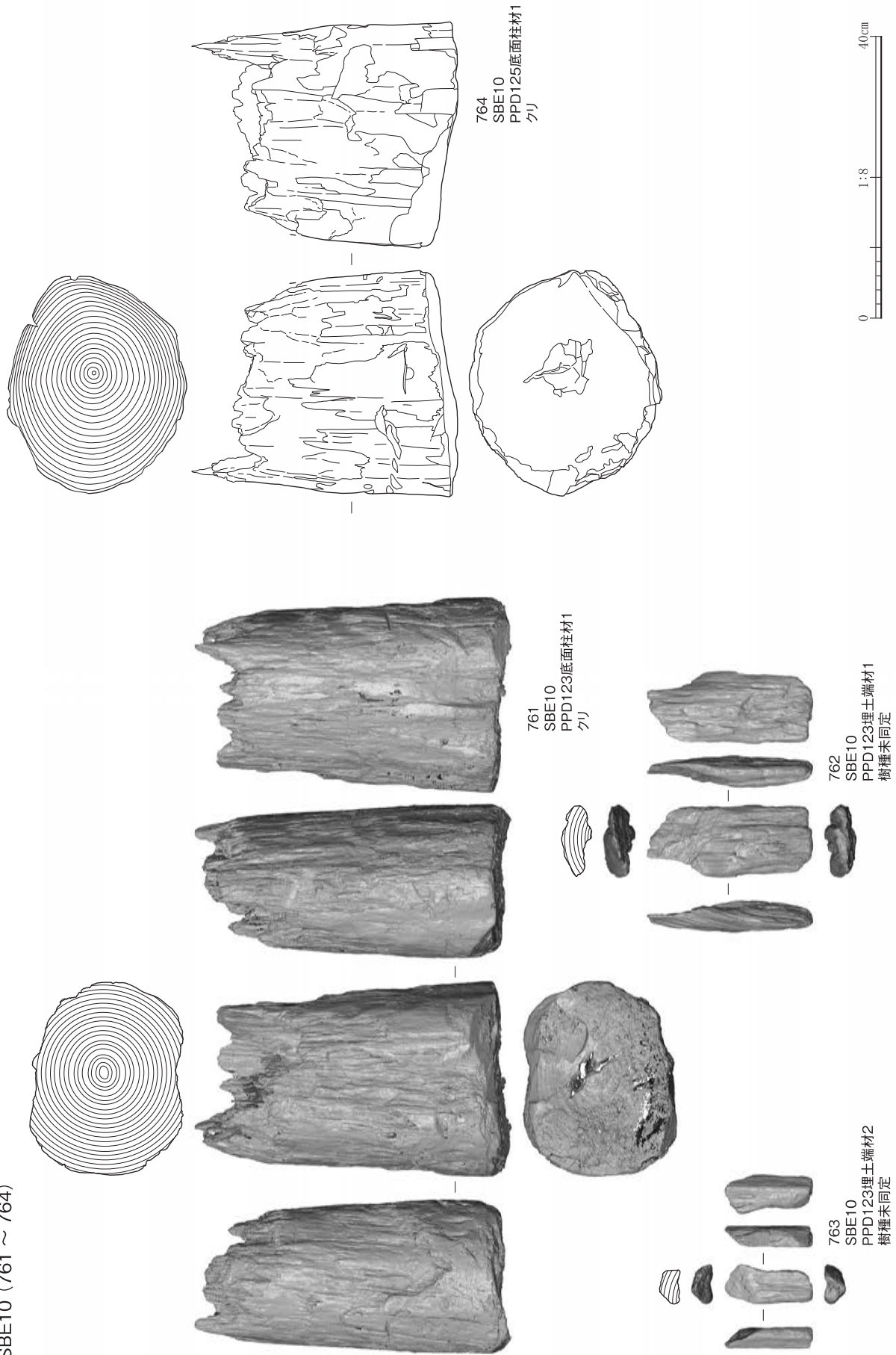
第 196 図 木質遺物 (27)

SBE10 (758 ~ 760)



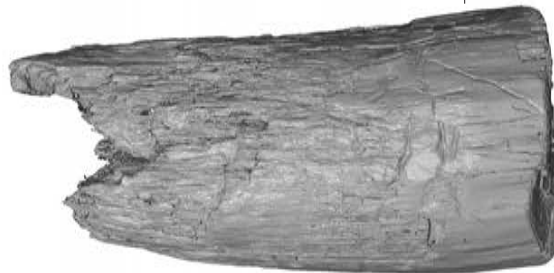
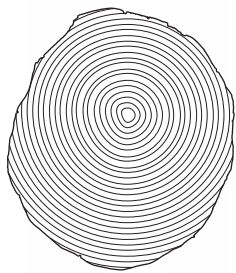
第 197 図 木質遺物 (28)

SBE10 (761 ~ 764)

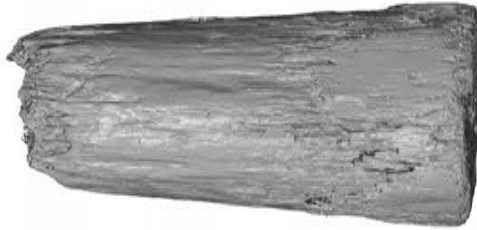
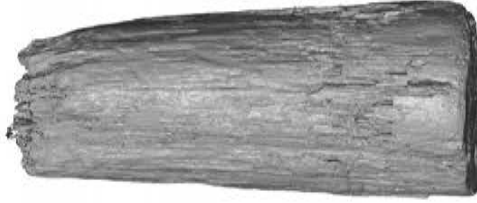
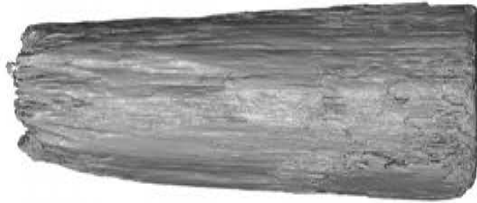
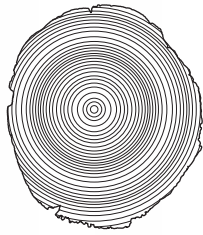
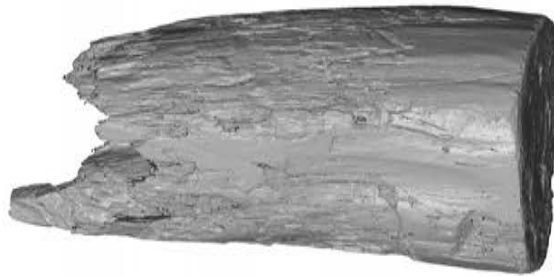


第198図 木質遺物 (29)

SBE10 (765・766)



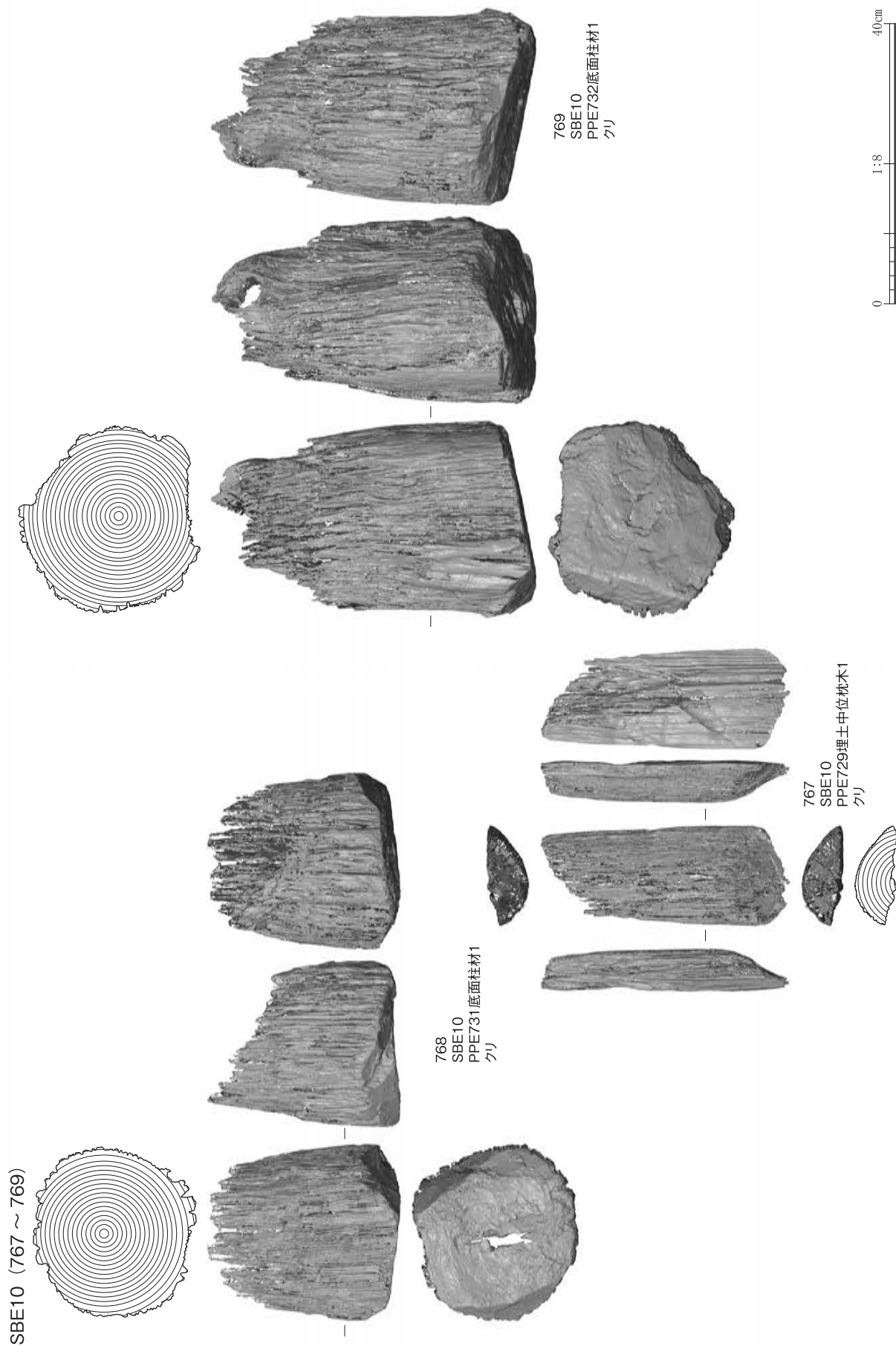
765
SBE10
PPD126底面柱材1
クリ



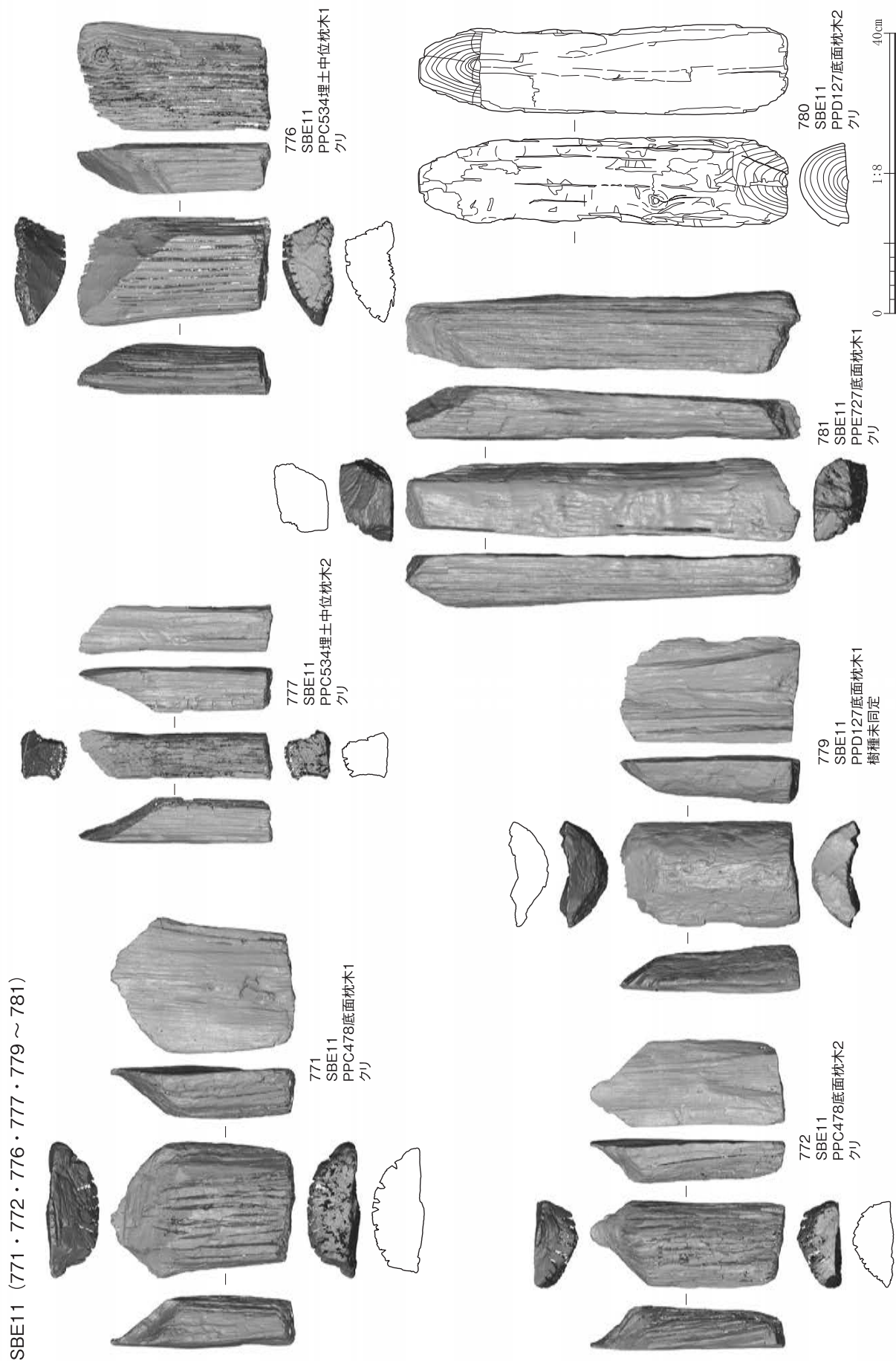
766
SBE10
PPD129底面柱材1
クリ



第199図 木質遺物 (30)

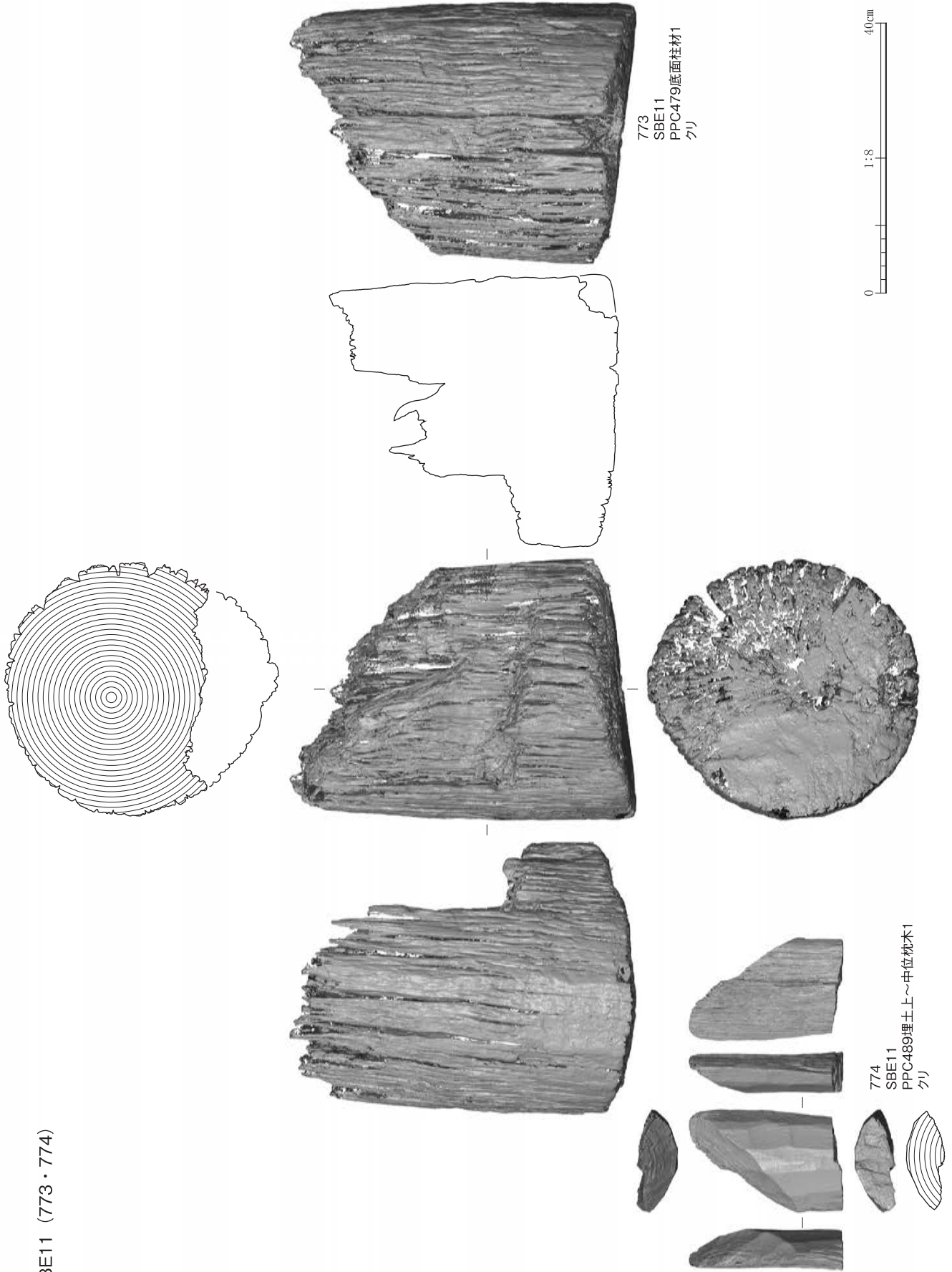


第 200 図 木質遺物 (31)

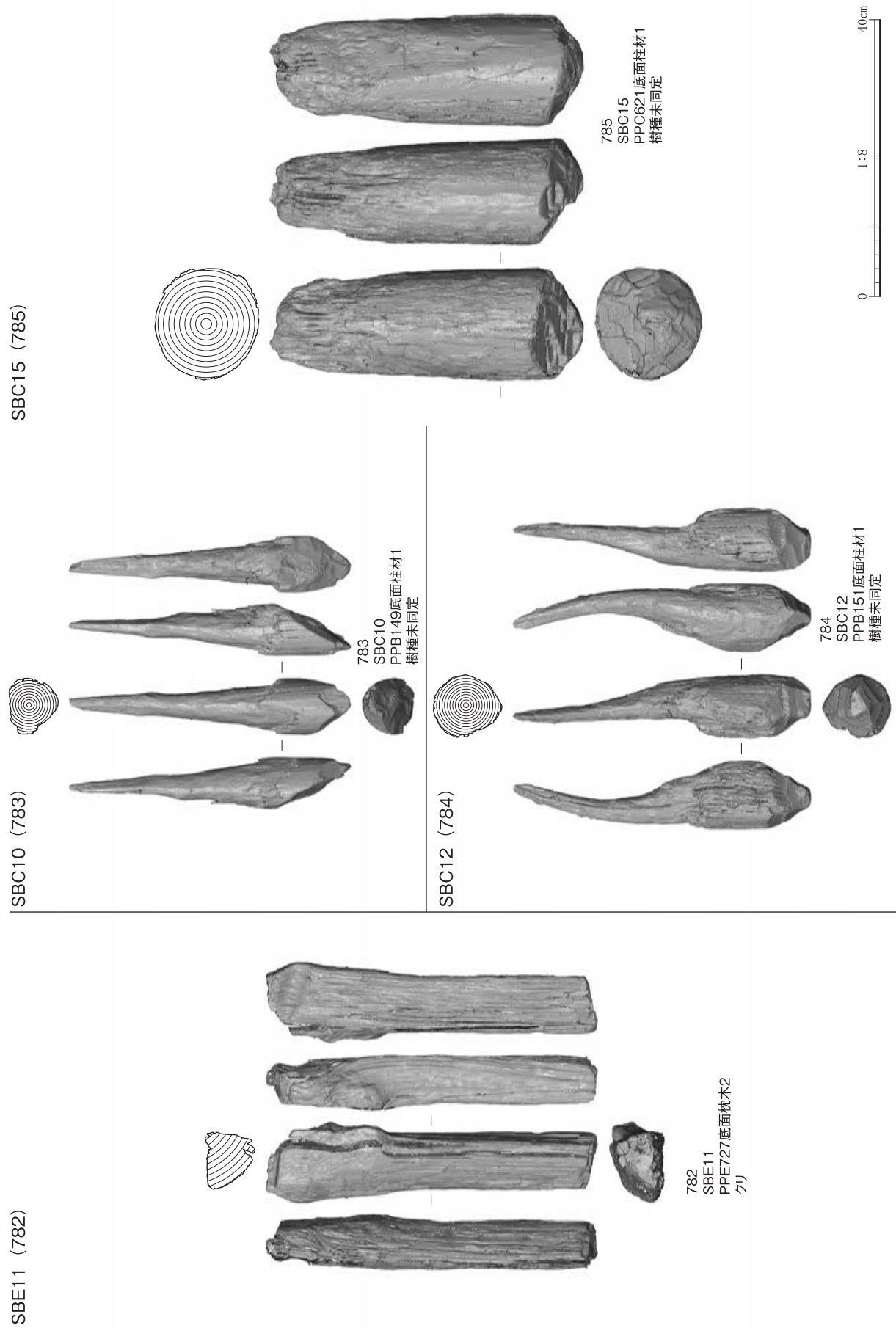


第 201 図 木質遺物 (32)

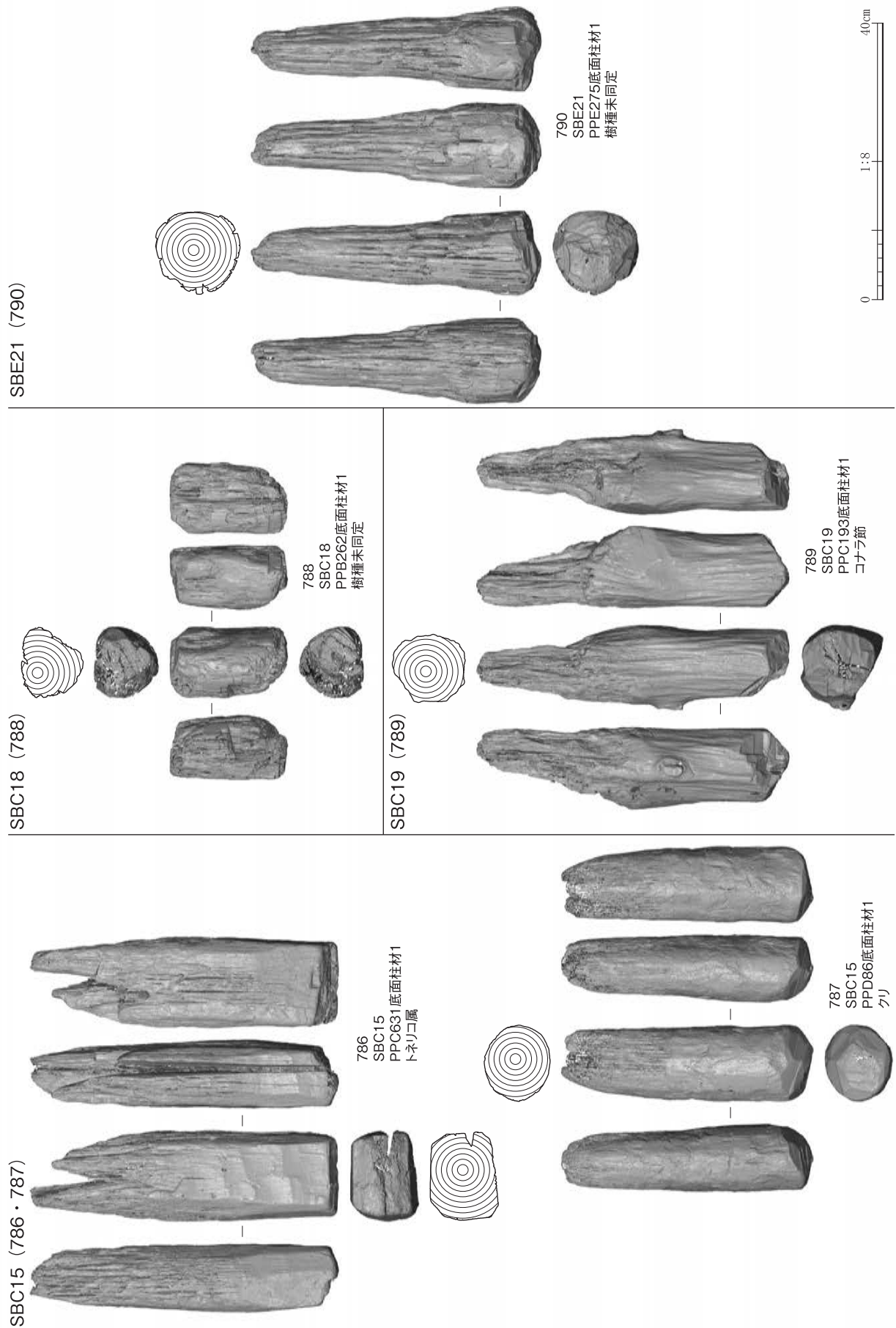
SBE11 (773・774)



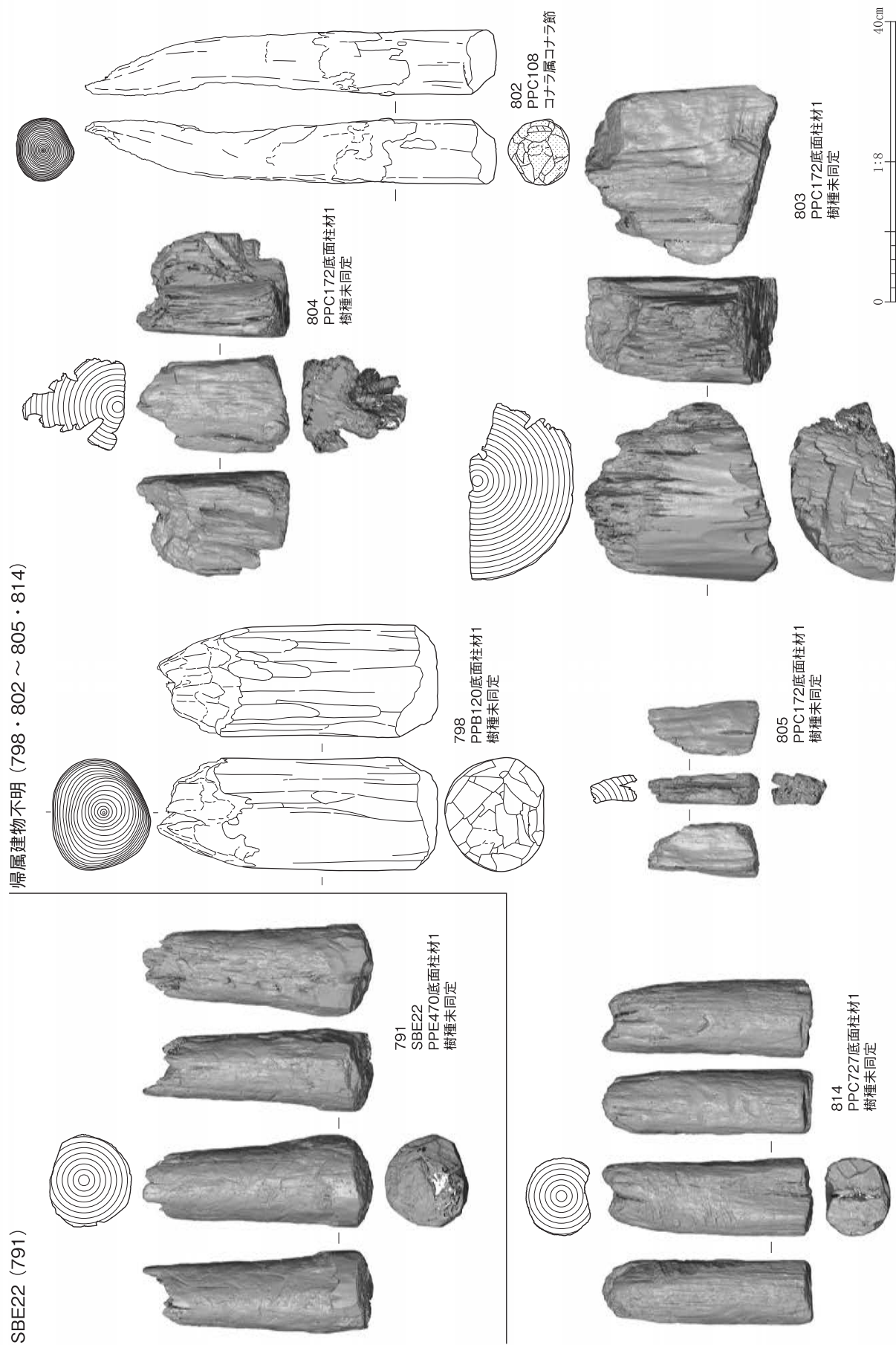
第 202 図 木質遺物 (33)



第 203 図 木質遺物 (34)

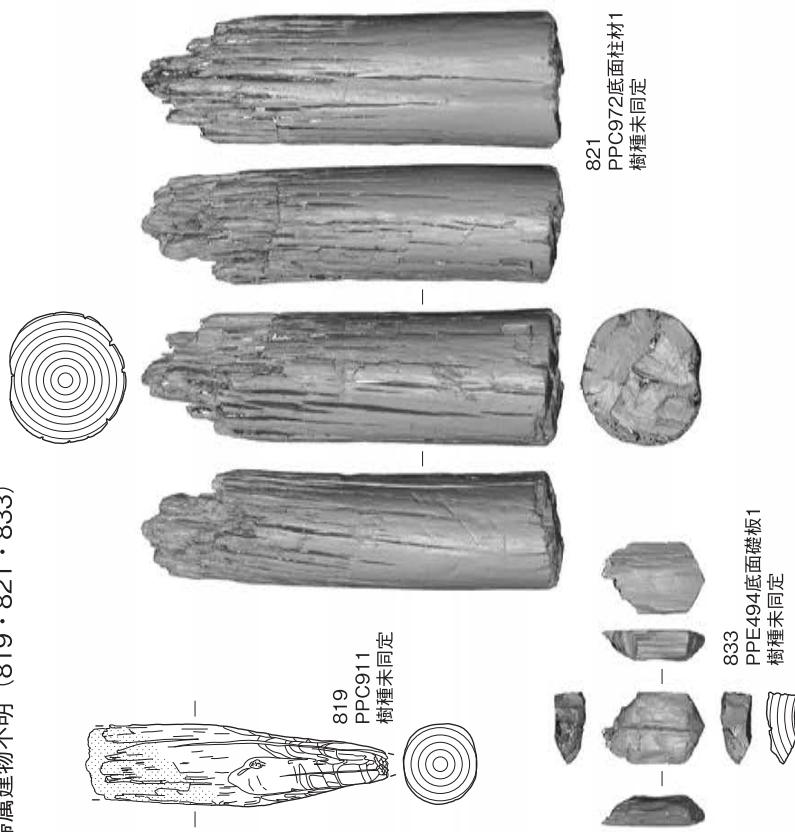


第 204 図 木質遺物 (35)

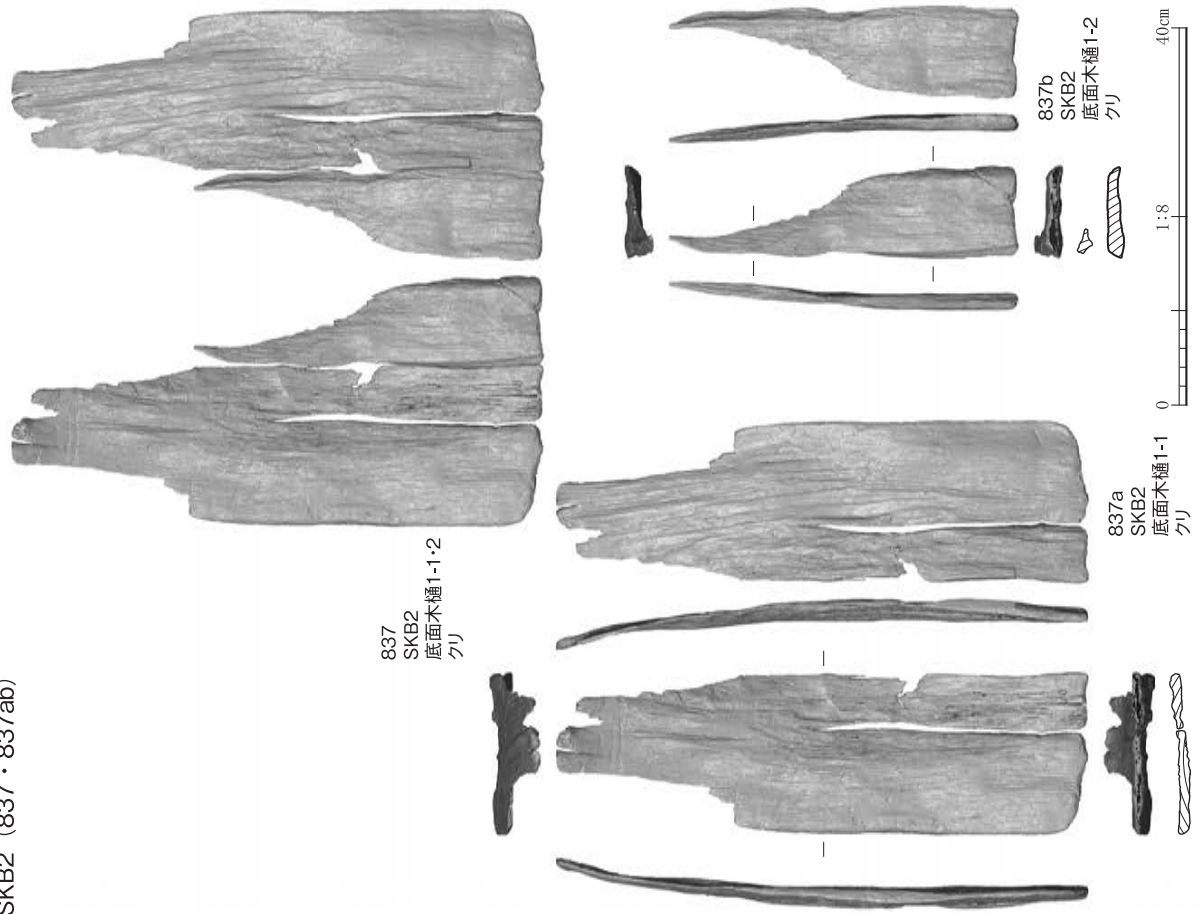


第 205 図 木質遺物 (36)

帰属建物不明 (819・821・833)

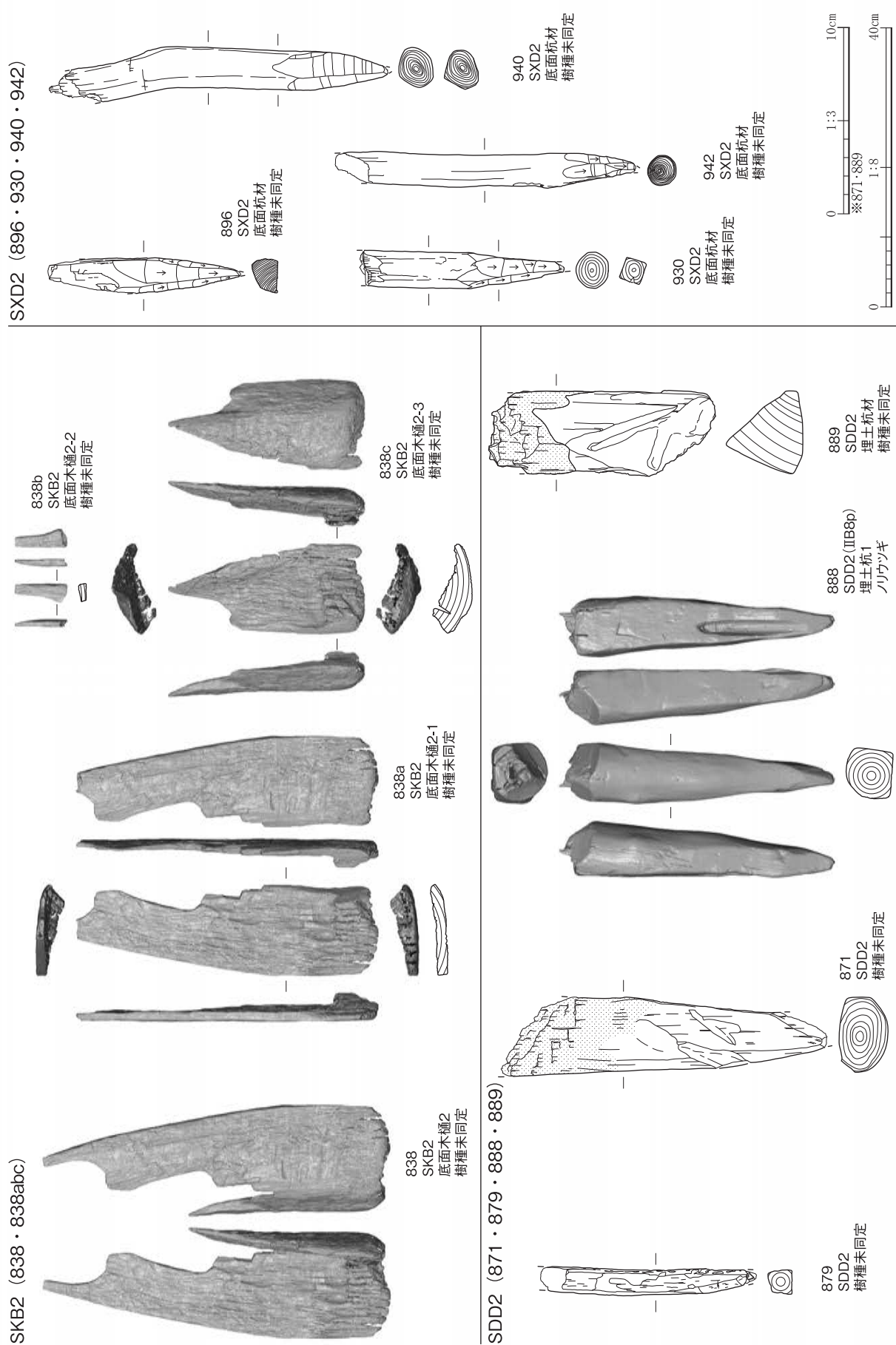


SKB2 (837・837ab)



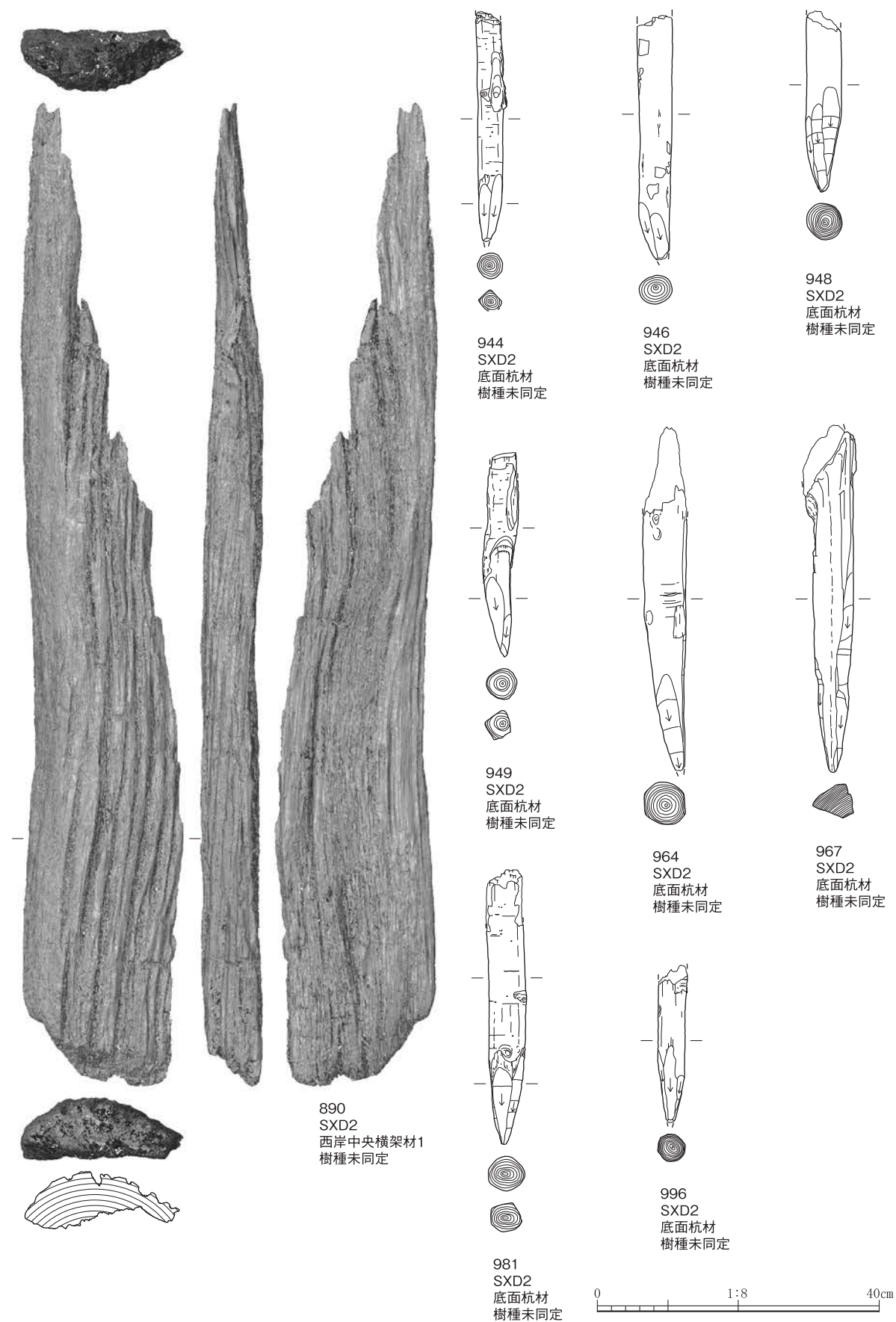
杭材 (823 ~ 825)

第206図 木質遺物 (37)



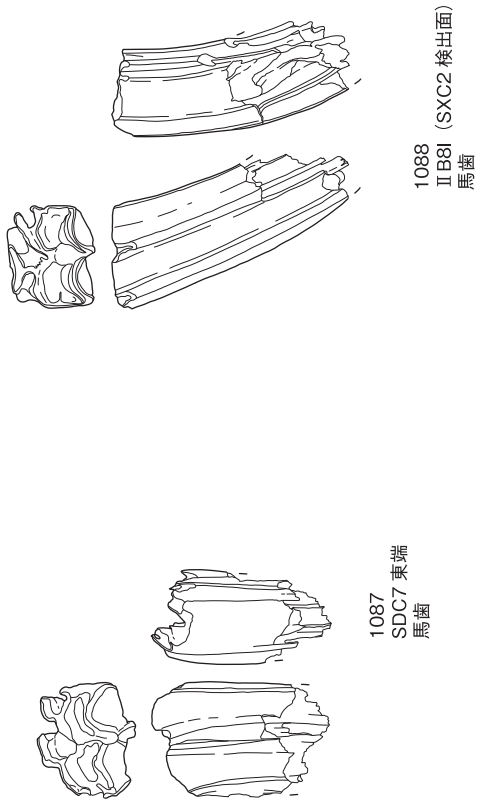
第 207 図 木質遺物 (38)

SXD2 (890・944・946・948・949・964・967・981・996)



第 208 図 木質遺物 (39)

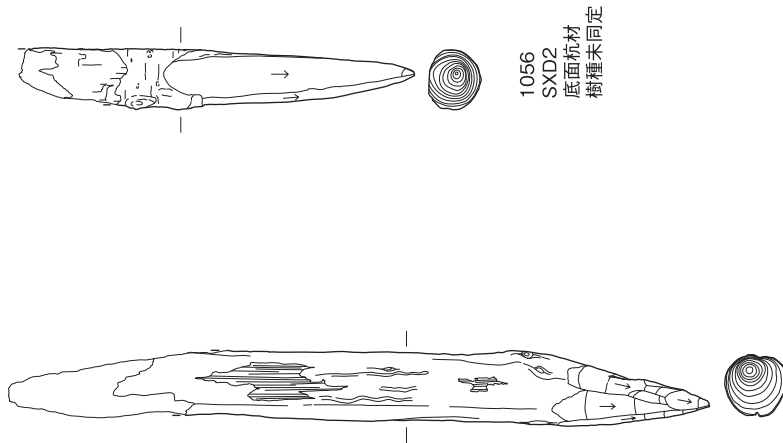
動物遺存体 (1087・1088)



1087
SDC7 東端
馬齒

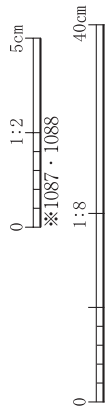
1088
II B81 (SXC2 検出面)
馬齒

SXD2 (1023・1056)



1023
SXD2
底面杭材
樹種未同定

1056
SXD2
底面杭材
樹種未同定



第 209 図 木質遺物 (40)・動物遺存体

V 総括

2カ年の調査で確認した遺構は、平安時代の掘立柱建物32棟、竪穴建物6棟、土坑16基、性格不明遺構6基、池状遺構4基、遺物集中2箇所、整地層約900㎡、柱穴320個(掘立柱建物分)、戦国時代末～近世初頭の掘立柱建物33棟、掘立柱建物(門)1棟、堀6条(間仕切り遺構2基・礫集中1箇所含む)、土橋4基、土坑12基、溝23条、池状遺構3基、性格不明遺構5基、柱穴2,123個(掘立柱建物分含む)である。遺物は、平安時代の概ね9世紀中葉～10世紀初頭を中心とする土師器・須恵器のほかに、木錘・支脚などの木製品が少量出土し、掘立柱建物に使用された柱材の柱根部分や不動沈下防止対策に設置された礎板・枕木が多く残存している。また、戦国時代末の2つの居館跡からは、15～16世紀代の陶磁器を主としてそれ以前の骨董品、輸入銭、石製品、木製品、柱材など建築部材が出土している。

1 平安時代

第14表(DVD-R収録)に平安時代の建物の特徴を示した。掘立柱建物を構成する柱穴は、方形または方形基調を呈する掘り方を持つものが大半を占めており、円形または円形基調も少数だが確認されている。方形柱穴は一辺が40～150cm、深さは20～80cmと建物の規模に応じて異なる。柱穴内からは柱根や柱材の不動不沈対策に用いられた礎板・枕木が多く出土しており、木材には建築時の工具痕が多数認められる。大形の柱根には、稀に木材の運搬の際に縄を掛けたと見られる筏穴も確認された。柱材(丸太)の中には芯持材のほかに、大木を2～4分割して加工した半割材、大割材を用いる例も見受けられ、樹種はクリ材だけを選んで利用していることが分かった。

建物の規模を比較するために、便宜的に身舎の面積から100㎡以上を大型、20㎡後半～50㎡台を中型、20㎡前半以下を小型に3区分した。大型の建物は、5×2間のSBB2二面庇建物、4×2間のSBE11片廂建物、5×3間のSBE1側柱建物の3棟が該当する。中でもSBE1は127.95㎡と突出して大きい。中型の建物は16棟が挙げられ、中でも50㎡を超える4×2間のSBE10やSBC4、SBC2側柱建物は中型の範疇でも大きな部類に入る。小型には13棟が該当し、大半が2×2間の側柱建物で、SBE2とSBC1の2棟のみ総柱建物となる。SBA2・SBE7・SBC7側柱建物の3棟は小型だが3×2間の規模を持つ。また、真北を0°とした建物の主軸方位を見ると、東西10°以下の真北に近いSBB2二面廂建物などや西に70°前後傾くSBE10やSBE1・SBC4側柱建物など、また西に80°前後傾くSBE11片廂建物などの各まとまりが認められている。

掘立柱建物の特徴と建物の重複関係、遺構分布を考慮し、計5期の大別時期案を示した(第210～215図)。

第1期は主軸方位が西に70～73°前後傾く東西棟の掘立柱建物を中心とする成立期である。遺跡範囲の中央東側に偏って分布すると見られる。掘立柱建物は大型の中心建物は無く、中型で4×2間のSBE10側柱建物と、中型で3×2間の南北棟であるSBC5側柱建物、小型で2×2間のSBE2総柱建物、2×2間のSBE5側柱建物からなる。

第2期は主軸方位が真北に近い南北棟の建物群で構成され、公的な性格の強い発展期に位置付けられる。大型で5×2間のSBB2二面廂建物を中心に、中型で両平側に雨落ち溝を配置する4×2間のSBE4側柱建物(間仕切りあり)、中型で3×2間のSBC7・SBE3・SBC3側柱建物、小型で2×2間のSBD1側柱建物からなり、中央に空白域を持って周囲に展開する。SBC3南側にSXC1、SBC7東側にSXC2池状遺構を付属する。

第3期は主軸方位が西に77～85°前後傾く東西棟の建物群を中心とする最初の最盛期である。大型で4×2間のSBE11片廂建物を中心に、中型で四周に雨落ち溝を配置するSBE8側柱建物や唯一南北棟で3×2間かのSBC2側柱建物、3×2間のSBB3・SBC6・SBD3側柱建物、小型で2×2間かのSBA3a・b側柱建物、2×2間のSBC1総柱建物からなり、遺跡中央付近に密集する。

第4期は主軸方位が西に71～76°前後傾き、東西棟建物が引き続き継承される最盛期である。大型で5×3間のSBE1側柱建物を中心に、中型で4×2間のSBC4側柱建物や間仕切りを持つ3×2間のSBD2・SBE9側柱建物、3×2間のSBE6二面廂建物、小型で3×2間のSBE7側柱建物、調査区西側から検出した2×2間のSBA1・SBA5側柱建物で構成され、中央に空白域を有する。

第5期は主軸方位が東に16～23°前後傾く南北棟と西に68°前後傾く東西棟が入り交じる、大型の建物を含まない衰退期である。中型で3×2間のSBA4側柱建物と小型で2×2間のSBC8側柱建物が南北棟、中型で4×2間かのSBB4側柱建物と小型で3×2間のSBA2側柱建物が東西棟となる。遺構の集中域を持たず、散在して広がる。

調査区北西端に位置する東西棟で1×2間のSBB1側柱建物は、建物規模に共通性が乏しく、想定が困難である。年代観は重複するSIB1竪穴建物が9世紀前葉～中葉に位置付けられ、SBB1側柱建物は時期的に下ると推測される。

掘立柱建物群の存続時期は、出土土器から9世紀中葉～10世紀初頭までと考えられ、遺構観察からは十和田aテフラが降下する915年以前と見られる。出土土器から煮炊具の出土量が極端に少なく9割以上を食膳具が占め、明らかに一般集落とは異なる様相を呈しており、律令制下における公的な性格を持つ官舎の建物群と考えられる。ただし、今回の調査範囲からは溝や柵などの圍繞施設は確認されておらず、木簡や腰帯具、円面硯、炭化米など官衙を示す遺物は出土していない。これに加えて、墨書土器は多く出土しているが吉祥句が中心で、「館」や「家」、「郡長」、「郷長」など郡・郷衙を示す資料も今回の調査では見つかっておらず、出土遺物から官衙との関わりを示すのは難しい。

本遺跡は胆沢城から南に8km地点にあり、『延喜式』にある白鳥駅までのちょうど中間に位置する。胆沢駅的位置は不明だが、本遺跡が官道である東山道沿いに立地するのであれば、伝馬制の三十里(約16km)ごとに置かれた駅家との中間地点に、方形の掘り方を持ち大型建物を含む掘立柱建物を中心とする施設群が確認されたことは意義深い。前述の通り圍繞施設を有しておらず、工房や厩など駅家の条件は満たしていないことから交通網に関わる遺跡とするのは難しいが、税物を取りまとめて一時的に保管しその他の行政実務などが行われた、胆沢城もしくは胆沢郡衙の出先機関(支所)の一つと推定したい。

2 戦国時代末

(1) 居館跡 1

戦国時代末の遺構のうち、調査区北側の居館跡1からは掘立柱建物21棟、掘立柱建物(門)1棟、堀4条(間仕切り遺構1・礫集中1含む)、土橋4基、土坑7基、溝20条、池状遺構1基、性格不明遺構5基、柱穴1,365個(掘立柱建物分含む)を確認した。居館跡1は堀1(SDB1)、堀2(SDB2(SDC8)、SDD1・2)、堀3(SDB3)、堀4(SDC7、SDC13)に囲まれた範囲内と、北西側の堀外部に分布する遺構群である。確認された遺構のうち、掘立柱建物の特徴と建物の重複関係、遺構分布を考慮し、計5期の大別時期案を示した(第216～220図・第15表(DVD-R収録))。掘立柱建物のうち主屋と考えられるのはSBB5、SBC10・20・21掘立柱建物の4棟で、その他は付属屋と考えられる。また、堀4条のうち、堀2・4は内部の掘立柱建物の変遷に併せて、南側への拡張が行われ、土橋4

基は堀 2・4 に合わせて構築されている。出土遺物と各遺構の年代測定結果から 15 世紀前半代には居館が機能し始め、少なくとも 16 世紀後半代には廃絶したと考えられるが、SKB2 土坑から寛永通寶（古寛永）が出土、合わせて出土した木樋の一部は近世に属すると見られ、A・B 区からは遺構外ではあるが複数の近世陶磁器を出土していることから、居館としての機能を終えた 17 世紀前半以降も水路などとして土地利用がされていたと考えられる。なお、居館跡 1 とは異なるが主に SDB1 や SDB4、B 区遺構外から 12 世紀後半の遺物を確認しており、調査区北西側の調査区外に該期の遺構群が確認される可能性が高い。

第 1 期は主軸方位が西に 70～82° 前後傾く東西棟と、東に 11° 傾く南北棟の掘立柱建物を中心とする成立期である。堀 4 はこの時期に構築されたと考えられ、堀 1 も本期の終わりには設置が完了したと見られる。検出遺構では北側に位置する東西棟で 5×2 間の SBB5 側柱建物が主屋と考えられ、同じく東西棟で 3×1 間の SBC23 側柱建物、東西棟で 3×2 間の SBC15 側柱建物、南北棟で 2×1 間の SBC16 側柱建物の計 3 棟が付属屋に位置付けられる。

第 2 期は主軸方位が東に 6° 傾く南北棟で 3×2 間の SBC14 側柱建物と、西に 72° 前後傾く東西棟で 3×1 間の SBC25 側柱建物のいずれも付属屋で構成され、引き続き発展期に位置付けられる。主屋は堀 1・2 内の調査区外に位置すると見られる。拡張以前の堀 2 は本期に構築されたと推定される。

第 3 期は主軸方位が西に 73～76° 前後傾く東西棟と、東に 10～14° 傾く南北棟の建物で構成される初めの最盛期である。東西棟で 5×2 間以上の SBC10 片廂建物が主屋と見られ、同じく東西棟で 3×1 間の SBC24 側柱建物、南北棟で 3×1 間の SBC28 側柱建物、2×1 間の SBC18 側柱建物の計 3 棟が付属屋と考えられる。また、本期から次期にかけて SBC9 四脚門が設置されたと推定される。

第 4 期は主軸方位が西に 70～75° 前後傾く東西棟の建物と、東に 19° 傾く南北棟の建物で構成される最盛期である。東西棟で 3×2 間以上の SBC20 片廂建物を主屋に、東西棟で 4×1 間の SBC19 側柱建物、東西棟で 2×2 間の SBC22 側柱建物、南北棟で 4×1 間の SBC27 側柱建物が付属する。本期に、堀 2 が南側へ拡張されたと推定される。また、西側の SXD2 池状遺構は本期の終わりから、次期にかけて構築され、機能していたと見られる。加えて、SDB1 には水位調節施設である間仕切り遺構や水場遺構の礫集中 1 が設置され、堀の農業用水路化が進められる。

第 5 期は主軸方位が西に 66～70° 前後傾く東西棟の建物と、東に 22～23° 前後傾く南北棟の建物で構成される最盛期であり、これ以後は居館としての機能を終える時期でもある。東西棟で 3×2 間以上の SBC21 片廂建物を主屋とし、南北棟で 4×4 間の SBC13 側柱建物、同じく南北棟で 5×1 間の SBC12 側柱建物がやや大きめの付属屋として西側に並び、東西棟で 4×1 間の SBC17・SBC29 側柱建物、東西棟で 2×1 間の SBC26 側柱建物が東側と南側に付属する。

(2) 居 館 跡 2

戦国時代末の遺構のうち、調査区南側の居館跡 2 からは掘立柱建物 12 棟・堀 2 条・溝 3 条・土坑 5 基・池状遺構 2 基・平安時代の掘立柱建物柱穴 105 個を除く柱穴 721 個（掘立柱建物分含む）を確認した。居館跡 2 は、SDE1 堀に囲まれた範囲内に分布する遺構群で構成される。確認された遺構のうち、掘立柱建物の特徴と建物の重複関係と遺構分布を考慮し、計 4 期の大別時期案を示した（第 221～224 図・第 16 表（DVD-R 収録））。掘立柱建物のうち主屋と考えられるのは SBE12、SBE14・19・20・21 掘立柱建物の 5 棟で、その他は付属屋と考えられる。この中で、SBE14・19・20・21 は重複関係にあることから少なくとも 4 回以上の建て替えが推定される。また、SBE21 と SBE12 は第 3 期に同時存在すると推定されることから、前者が普段の生活の場で後者は政を行う施設と見られる。堀 2 条は調査から SDE2 から SDE1 への変遷が捉えられており、間仕切りを多く有する堀から間仕切

りのない防御性を高めた堀へ作り替えられている。出土遺物は少なく、詳細な時期を推定するのは困難だが、居館跡1と同時期の少なくとも16世紀後半代には廃絶されたと考えられる。

第1期は主軸方位が東に81°前後傾く東西棟で4×1間のSBE14二面廂建物と、東に11°傾く南北棟で3×1間のSBE13側柱建物を中心とする成立期である。東西棟のSBE14二面廂建物が主屋で、南北棟のSBE13側柱建物が付属屋と考えられる。SXE2池状遺構は本期に構築され、連結するSDE4溝も含め第2期まで使用されたと見られる。堀はSDE2からSDE1へ拡張する以前で、水位調節施設である間仕切り遺構1が設置されている。

第2期は主軸方位が東に80~82°傾く東西棟の建物で構成される発展期である。東西棟で4×1間のSBE20側柱建物が主屋と考えられ、東西棟で4×1間のSBE18側柱建物、2×1間のSBE17側柱建物が付属する。

第3期は主軸方位が東に84~89°前後傾く東西棟の建物で構成される初めの最盛期である。東西棟で3×1間のSBE21片廂建物が主屋と見られ、同じく東西棟で3×1間のSBE12両廂建物と並列している。前述の通り、SBE21片廂建物が普段の生活の場、より格式の高いSBE12両廂建物が政を行う公的な施設と考えられる。東西棟で2×1間のSBE16側柱建物と1×1間のSBE23側柱建物の計2棟がが付属屋と考えられる。また、本期から次期にかけてSXE1池状遺構が構築され、引き込み溝であるSDE3も同じく設置される。同時に堀の改修も行われており、間仕切り遺構を有するSDE2からSDE1へと拡張が進められている。SDE3はこれに連結しており、堀(濠)に溜まった水をSXE1へ引き入れていた可能性が高い。

第4期は主軸方位が東に81°傾く東西棟の建物と、西に89°傾く東西棟の建物、西に1°傾く南北棟の建物で構成される衰退期である。東西棟で3×1間のSBE19片廂建物を主屋に、東西棟で3×1間のSBE15側柱建物、南北棟で2×1間のSBE22側柱建物が付属する。

各居館の変遷案を検討したが、これを踏まえて第225図に「元禄十二年下伊沢郡大絵図」(原本は個人蔵・胆沢郷土資料館蔵の複製の一部を撮影・加筆)を示した。元禄十二年(1699)は居館跡1・2が廃絶したと考えられる16世紀後半から約1世紀を経た江戸時代に描かれた絵図であるが、当時の遺跡周辺の様子を確認するため絵図を元に加筆注記を行った。本遺跡は大深沢川のすぐ南側に位置しており、中野村(郷)域に属していたと見られる。「安永風土記」によれば、江戸時代の中野村は中野村本郷と端郷折居に分けられ、大深沢川が境界となっていたと推定される。本遺跡は端郷折居に所在したと考えられ、戦国時代末からこの区分が続いていたとすればこの村(郷)域に記載がある城館は中崎の折居館のみである。「柏山氏系図」及川文書によれば、天正年間(1573~1592年)の折居館は柏山伊勢ノ守明吉の四男折居宮内明胤が館主として見られ、胆沢郡中畑・前沢・中野・折居の四郷を領知していたとされる(平凡社1990)。また、天正九年(1581)柏山家に家督相続をめぐって内訌が起き、天正十六年頃(1588)に家老三田刑部少輔左衛門義広が主家柏山氏に攻められ滅ぶ事件があったが(前沢城)、その指図は折居宮内明胤と兄の小山(柏山)九郎明長によってなされていたという。その後、天正十八年(1590)に豊臣秀吉による奥州仕置によって主家柏山氏が没落した際には、折居宮内明胤は柏山氏に従って南部氏に出仕したとされる(平凡社1990)。

今回の調査で確認された居館跡1・2は、いずれも折居宮内明胤に従属する在地小領主の居館と考えられる。遺物の年代観から遺構の変遷は15~16世紀後半代に収まると考えられる。このうち、16世紀後半以降の遺物が遺構から確認されない点から見ても、居館跡1・2館主は奥州仕置によって改易されたと考えられ、領主である折居宮内明胤とともに出仕したと推定される。

中世後期の在地小領主である土豪層が帰農した豪族屋敷が近世以降も連綿と残る一方、奥州仕置によって改易し在地小領主の居住しなくなった居館跡1・2はそのまま廃絶したと考えられる。

写真図版



▼の交点が遺跡位置

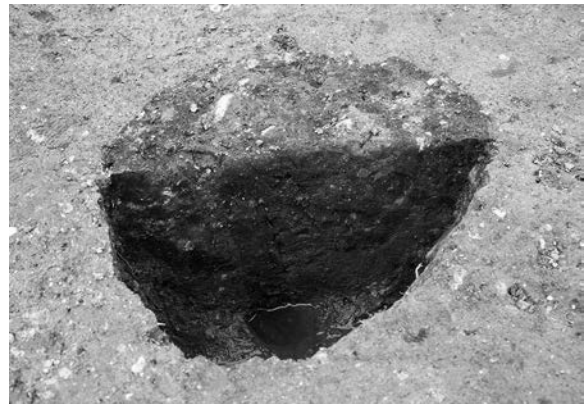
写真図版1 米軍撮影航空写真 UR1782_CA_0011 (1948年9月19日撮影) 提供：国土地理院



SBA1 全景 (東から)



PPA1 断面 (南から)



PPA3 断面 (南から)



PPA4 断面 (南から)



PPA5 断面 (南から)

写真図版2 SBA1 掘立柱建物



SBA2 全景 (南東から)



PPA40 全景 (南西から)



PPA42 断面 (南から)



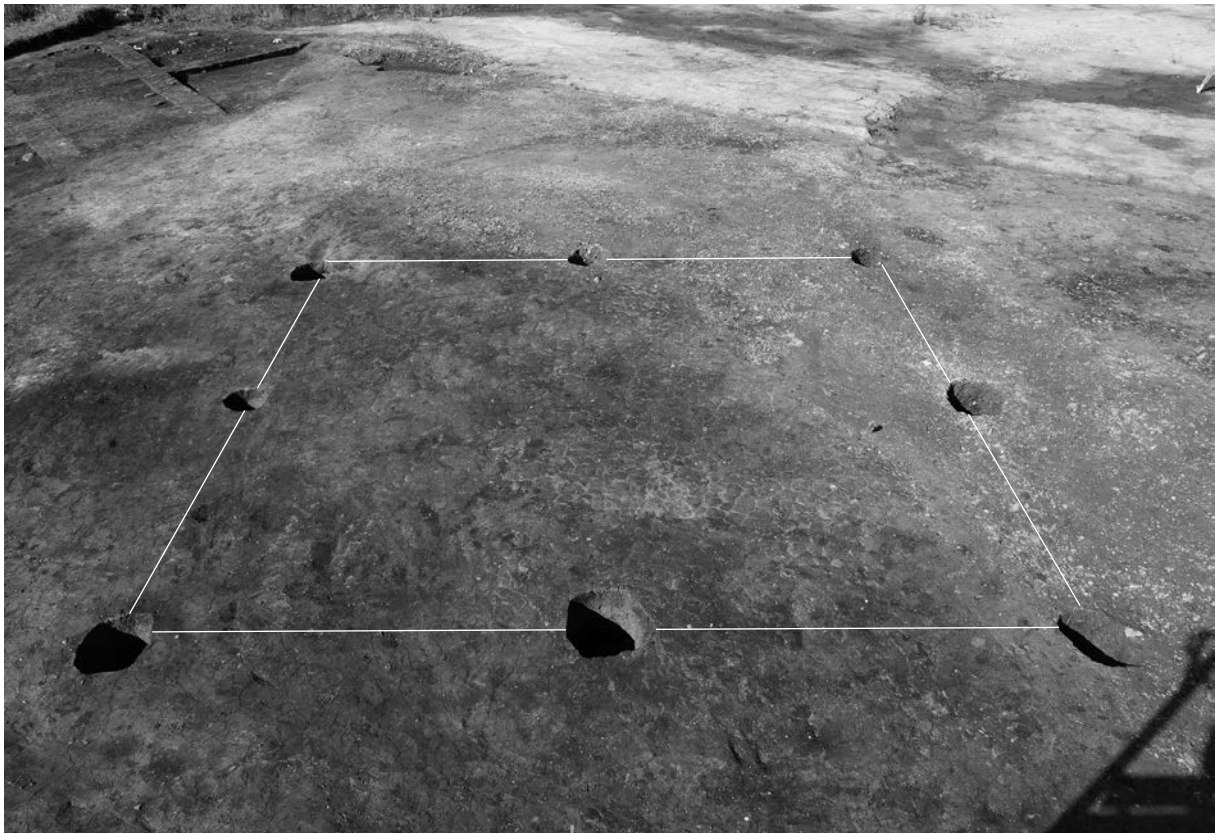
PPA44 断面 (南から)



PPA48 断面 (北から)



SBA4 全景（南西から）



SBA5 全景（南西から）

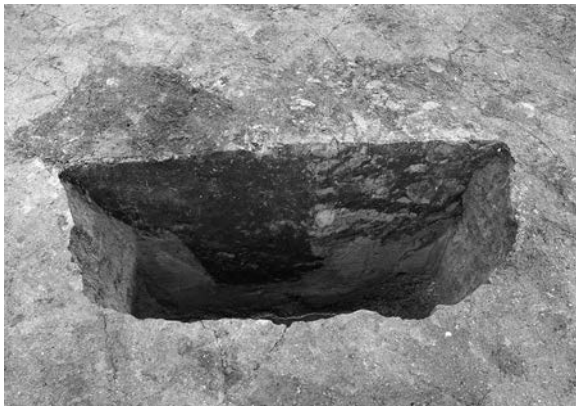
写真図版 4 SBA4・5 掘立柱建物（1）



SBA4・PPA54 断面（南西から）



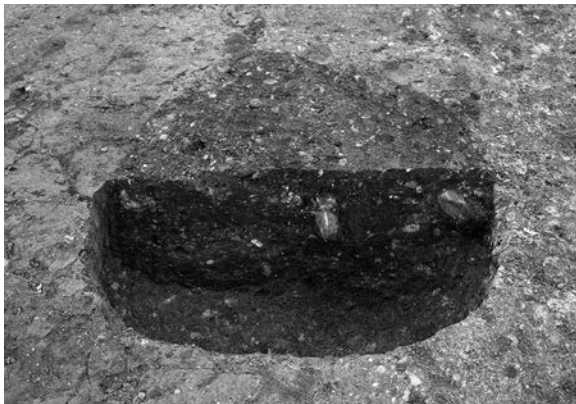
SBA4・PPA55 断面（南西から）



SBA4・PPA56 断面（南西から）



SBA4・PPA57 断面（南西から）



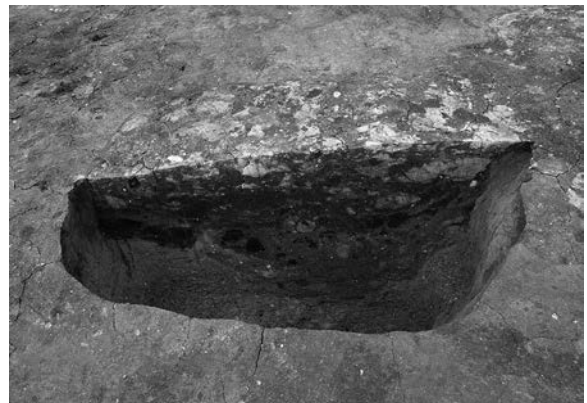
SBA4・PPA59 断面（北西から）



SBA4・PPA61 断面（北西から）



SBA4・PPA62 断面（北西から）



SBA4・PPA63 断面（南東から）



SBA5・PPA65 断面（南西から）



SBA5・PPA66 断面（南西から）



SBA5・PPA67 断面（南西から）



SBA5・PPA68 断面（南西から）



SBA5・PPA69 断面（南西から）



SBA5・PPA70 断面（南から）



SBA5・PPA71 断面（南西から）

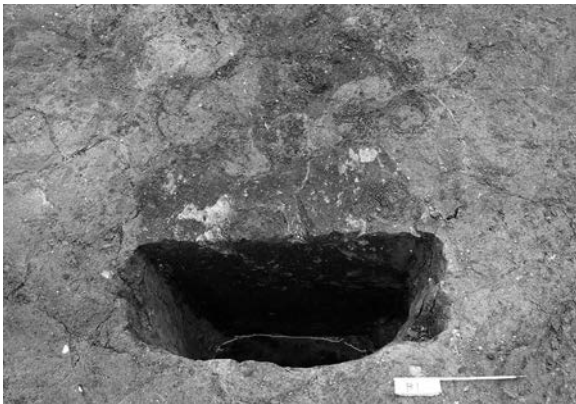


SBA5・PPA72 断面（南西から）

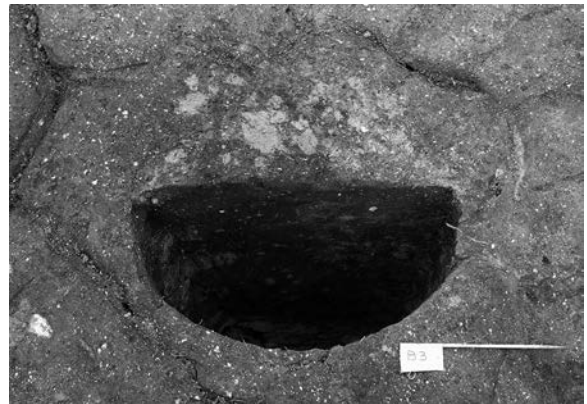
写真図版6 SBA4・5 掘立柱建物（3）



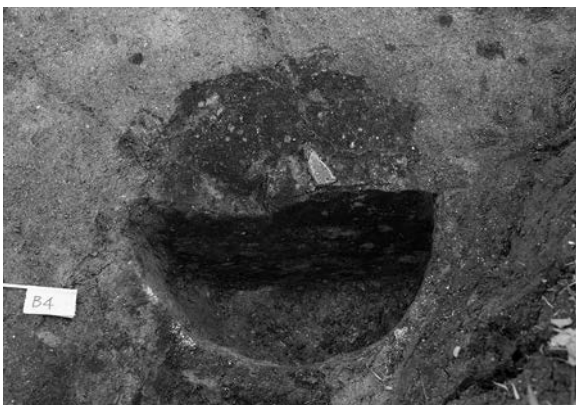
SBB1 完掘 (南から)



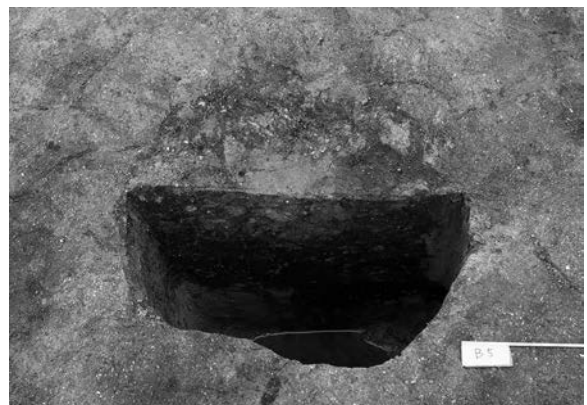
PPB1 断面 (南西から)



PPB3 断面 (北東から)



PPB4 断面 (南東から)



PPB5 断面 (北東から)



SBB2 全景（南から）



SBB3 全景（南西から）

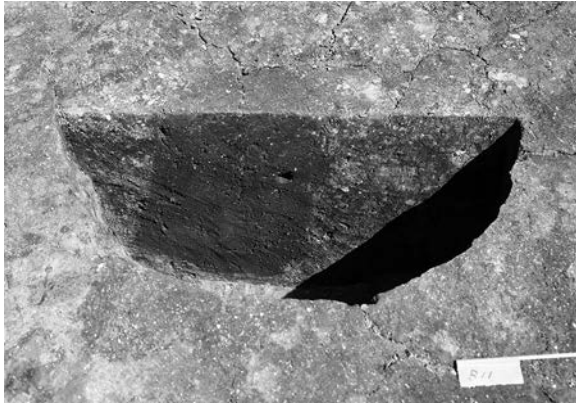
写真図版 8 SBB2・3 掘立柱建物（1）



SBB2・PPB8 断面 (南から)



SBB2・PPB10 断面 (南から)



SBB2・PPB11 断面 (南から)



SBB2・PPB12 断面 (南から)



SBB2・PPB13 断面 (南東から)



SBB2・PPB15 断面 (南から)



SBB2・PPB18 断面 (南から)



SBB2・PPB19 断面 (東から)



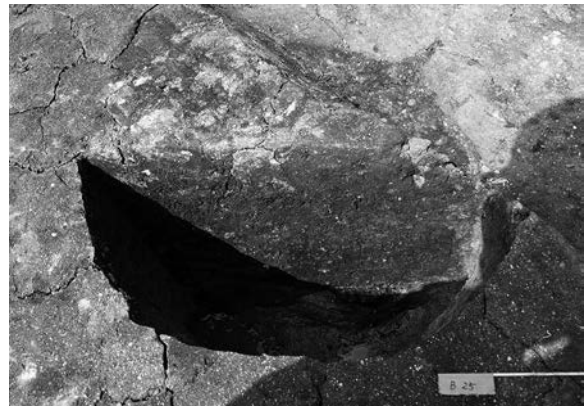
SBB2・PPB20 断面 (南から)



SBB2・PPB21 断面 (北東から)



SBB2・PPB24 全景 (南から)



SBB2・PPB25 断面 (南から)



SBB2・PPB66 断面 (南から)



SBB2・PPB67 断面 (西から)



SBB3・PPB173 断面 (南から)



SBB3・PPB174 断面 (南から)

写真図版 10 SBB2・3 掘立柱建物 (3)



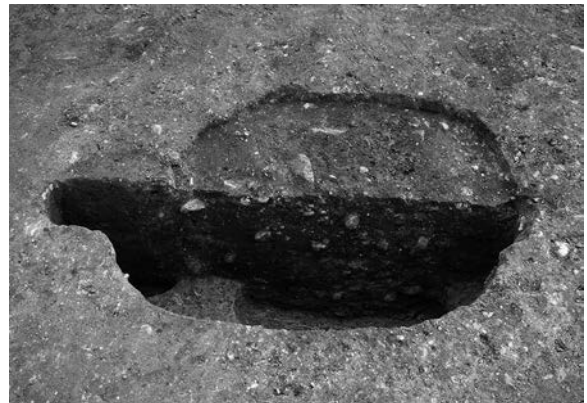
SBB3・PPB185 底面柱材 (南から)



SBB3・PPB185 断面 (南から)



SBB3・PPB173 断面 (南から)



SBB3・PPB179・180 断面 (西から)



SBB3・PPB191・192 断面 (南から)



SBB3・PPB197・198 全景 (南から)



SBB3・PPB358 断面 (南から)



SBB3・PPC207 全景 (北から)



SBB4 全景 (南から)



PPB115・122 断面 (南東から)



PPB138・139 断面 (南西から)



PPB148 断面 (西から)



PPC242 断面 (南から)

写真図版 12 SBB4 掘立柱建物



SBC1 全景 (南から)



PPC2 断面 (南西から)



PPC77 (・79) 断面 (南西から)



PPC83 (・C196) 断面 (南から)



PPC215 (・C214・SDC4) 断面 (南西から)



SBC2 全景 (西から)



PPC514 断面 (西から)



PPC521 断面 (西から)

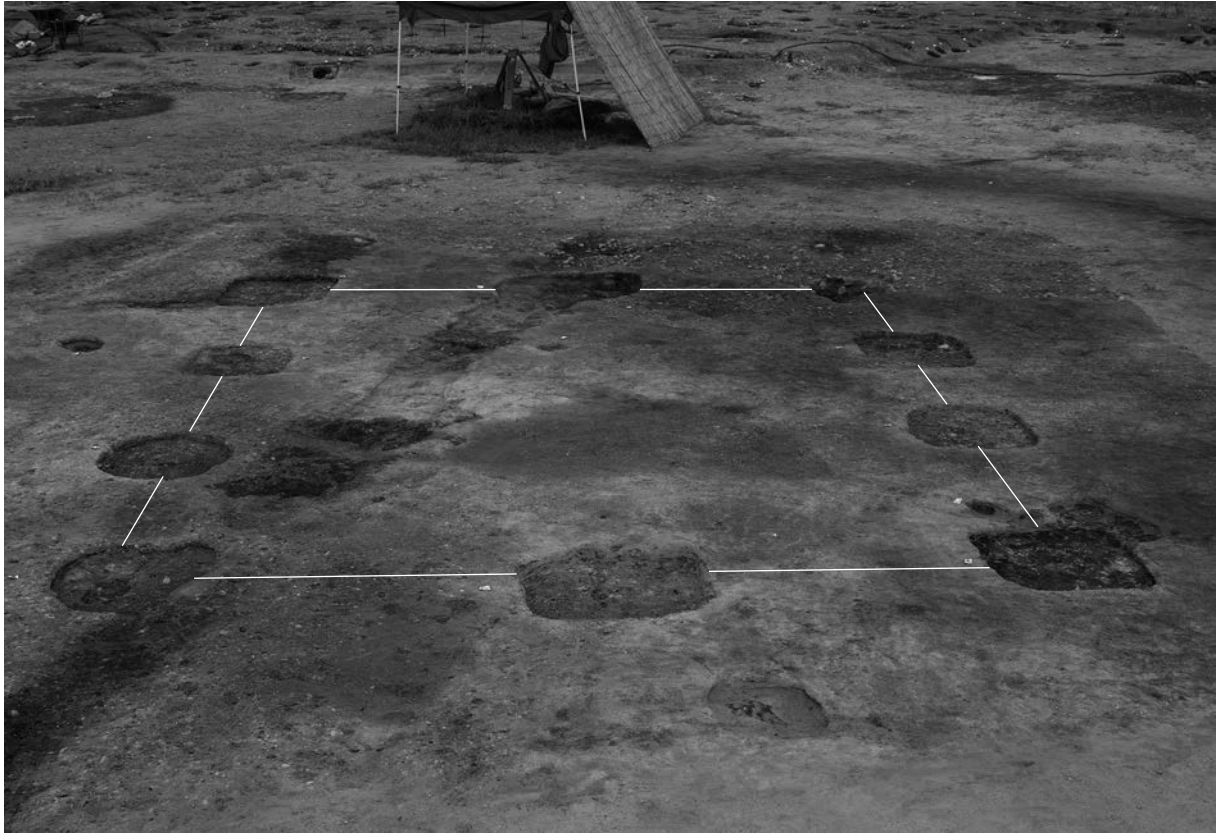


PPC568 断面 (南から)



PPC1025 断面 (東から)

写真図版 14 SBC2 掘立柱建物



SBC3 検出 (南から)



PPC518 断面 (南から)



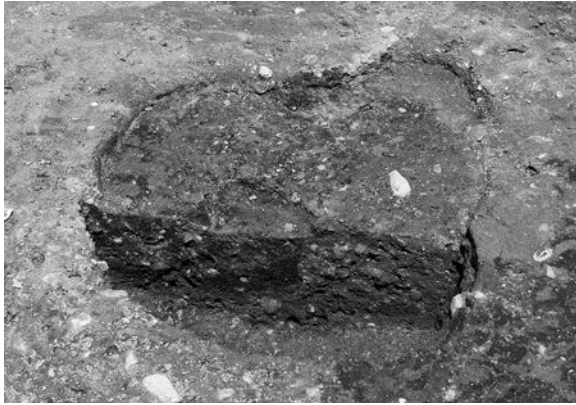
PPC519 完掘 (南から)



SBC3 全景 (南から)



作業風景



PPC520 断面 (南から)



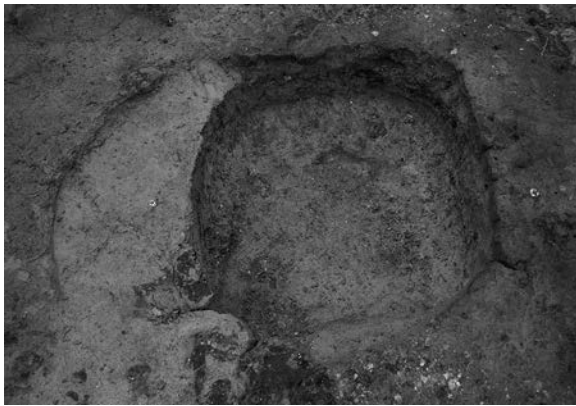
PPC524 断面 (南から)



PPC525 断面 (南から)



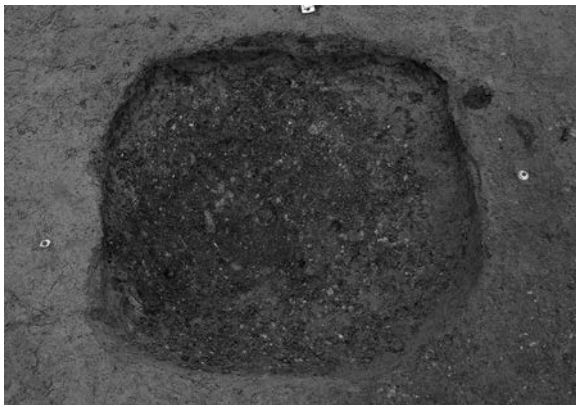
PPC570 断面 (南から)



PPC571 完掘 (南から)



PPC572 完掘 (西から)



PPC573 完掘 (西から)

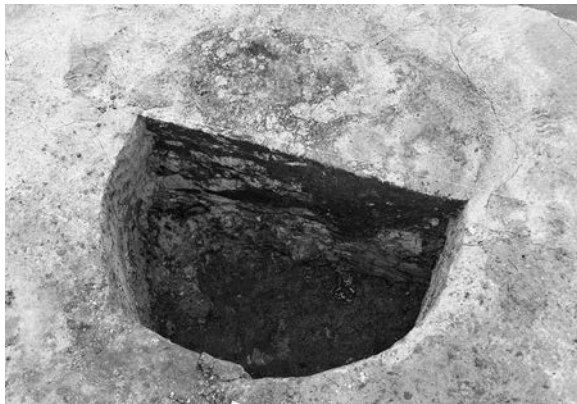


PPC574 断面 (南から)

写真図版 16 SBC3 掘立柱建物 (2)



SBC4 全景直上 (上が北)



PPC485 樹皮質 (南東から)



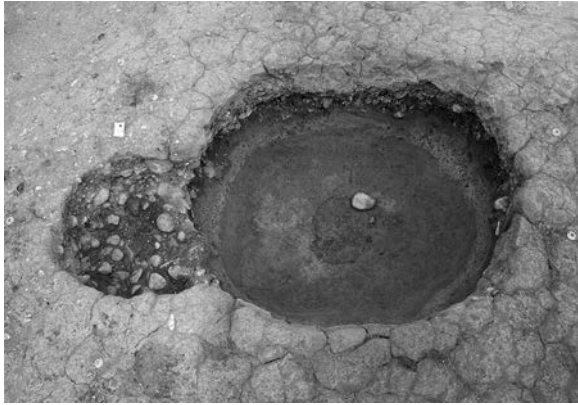
PPC536 断面 (南から)



PPC538・539 断面 (西から)



SBC4・5・8 完掘 (西から)



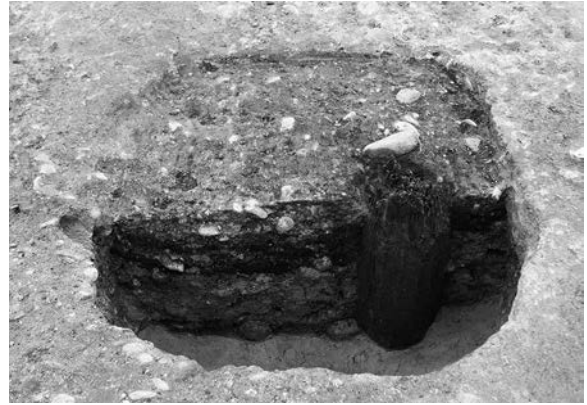
PPC538・539 完掘 (西から)



PPC540 断面 (南から)



PPC542 断面 (南から)



PPC543 断面 (南から)



PPC547 断面 (南から)



PPC549 断面 (南から)



PPC577 断面 (西から)



PPC579 断面 (南から)

写真図版 18 SBC4 掘立柱建物 (2)



SBC4・5・8全景（南から）



SBC5・PPC474 完掘（南西から）



SBC5・PPC535 断面（南から）



SBC5・PPC537 断面（西から）



SBC5・PPC544 断面（南から）



SBC5・PPC548 断面 (西から)



SBC5・PPC563 断面 (南から)



SBC8・PPC528 断面 (南から)



SBC8・PPC529 断面 (西から)



SBC8・PPC530 と PPC996 断面 (西から)



SBC8・PPC541 断面 (南から)



SBC8・PPC546 完掘 (南から)



作業風景



SBC6 全景 (北から)



PPC713 断面 (西から)



PPC722 断面 (南から)



PPC771 完掘 (南から)



PPC771 断面 (西から)



PPC718 完掘 (西から)



PPC772 断面 (南から)



PPC773 断面 (南から)



PPC774 断面 (南から)



PPC803 完掘 (南から)



PPC803 土器出土 (南から)



PPC800 完掘 (南から)



PPC809 完掘 (東から)

写真図版 22 SBC6 掘立柱建物 (2)



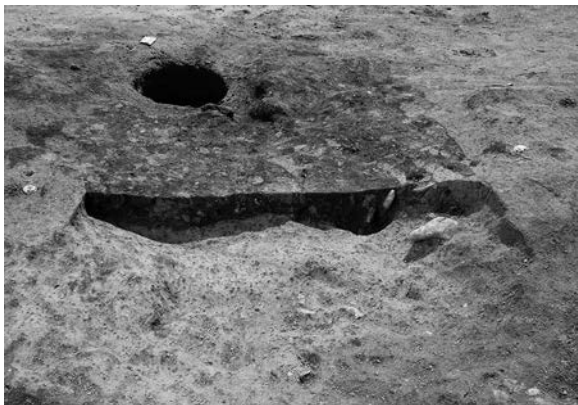
SBC7 全景 (南から)



PPC794 断面 (西から)



PPC811 断面 (南から)



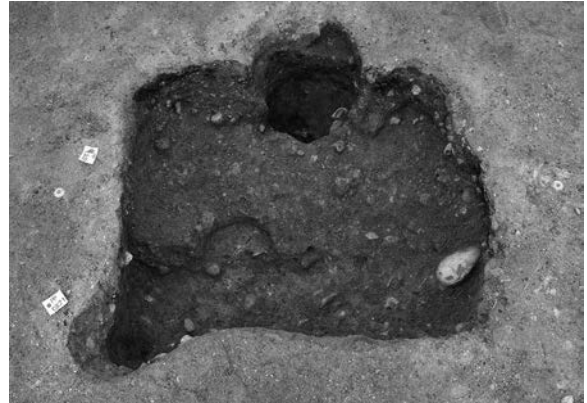
PPC812 断面 (西から)



SBC7 検出 (南から)



PPC813 断面 (西から)



PPC822 完掘 (南から)



PPC846 全景 (南から)



PPC846 断面 (南から)



PPC847 断面 (南から)



PPC867 断面 (南から)

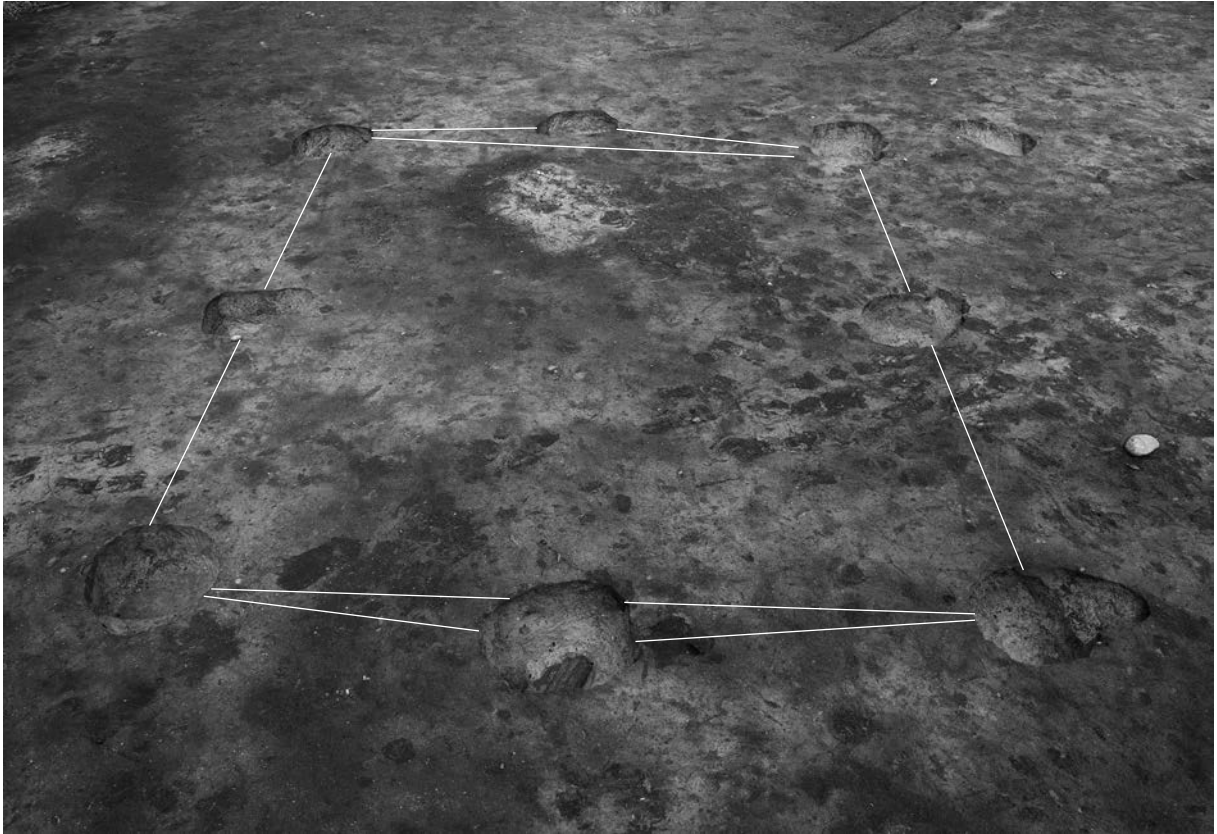


PPC881 全景 (北から)

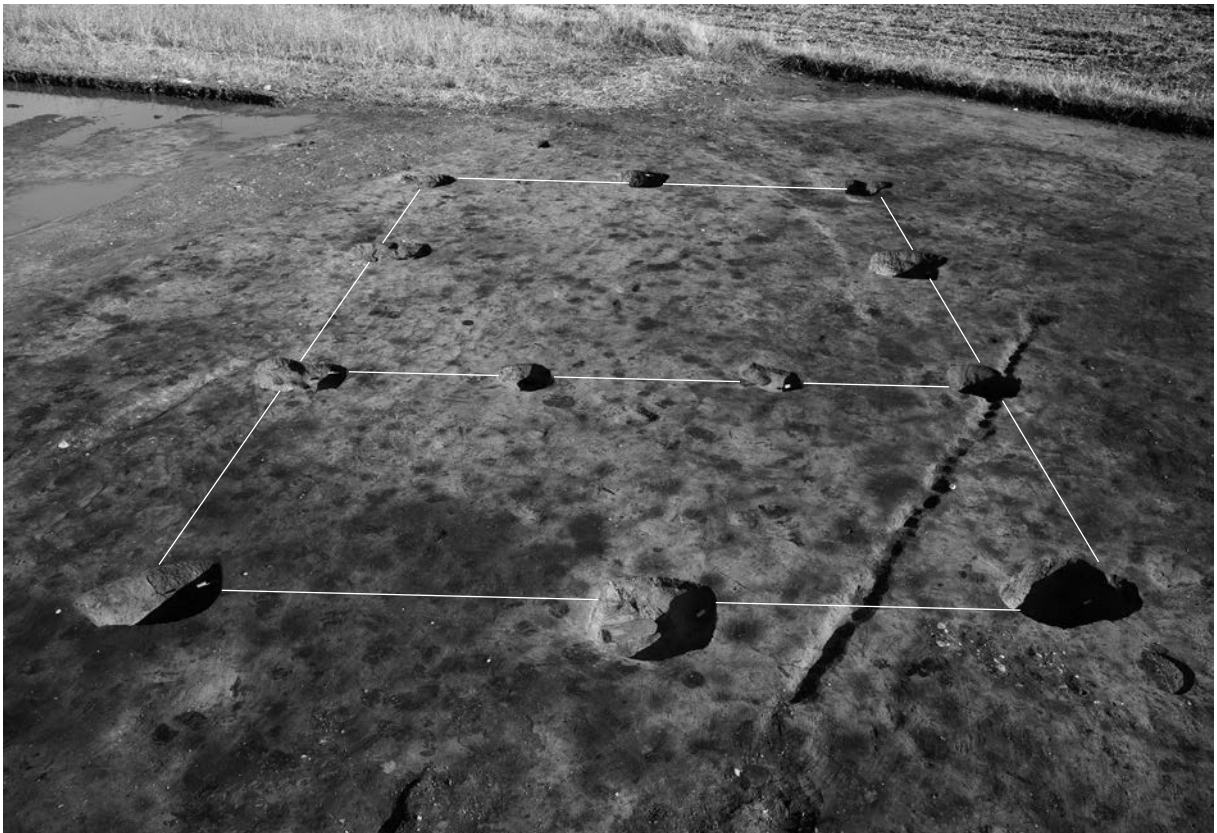


PPC882 断面 (西から)

写真図版 24 SBC7 掘立柱建物 (2)



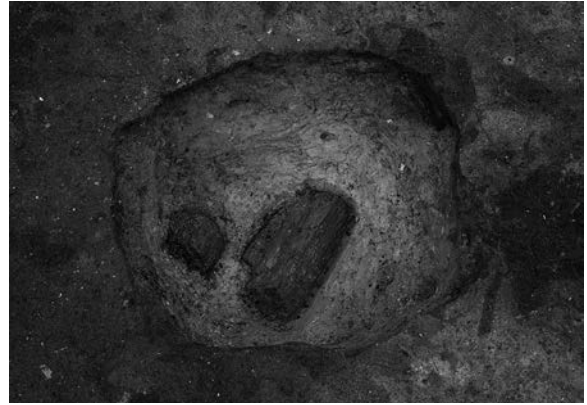
SBD1 全景（南から）



SBD2 全景（北西から）



SBD1・PPD2 断面（南から）



SBD1・PPD3 全景（南から）



SBD1・PPD4 断面（南から）



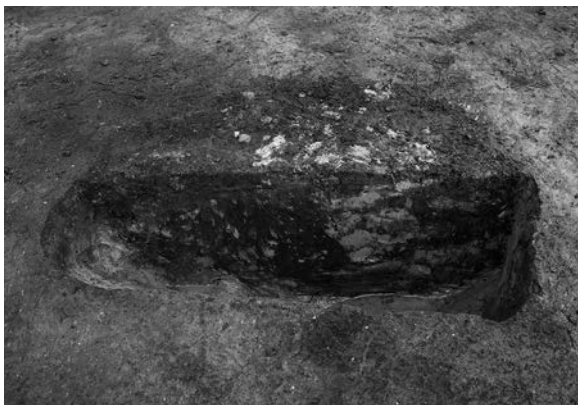
SBD1・PPD5 断面（南から）



SBD1・PPD6 断面（南から）



SBD1・PPD7 断面（南から）



SBD1・PPD8 断面（南から）



SBD1・PPD9 断面（南西から）

写真図版 26 SBD1・2 掘立柱建物（2）



SBD2 全景（北西から）



SBD2・PPD130 断面（西から）



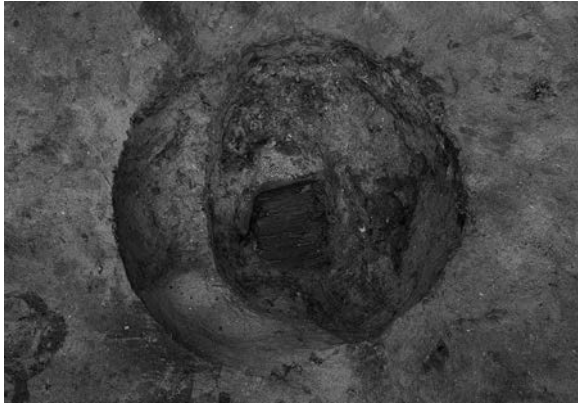
SBD2・PPD131 全景（南西から）



SBD2・PPD132 断面（南から）



SBD2・PPD133 断面（北西から）



SBD2・PPD134 全景 (南から)



SBD2・PPD135 断面 (北西から)



SBD2・PPD136 断面 (南から)



SBD2・PPD137 断面 (西から)



SBD2・PPD138 断面 (西から)



SBD2・PPD139 断面 (西から)



SBD2・PPD140 断面 (南西から)



SBD2・PPD141 全景 (南から)

写真図版 28 SBD1・2 掘立柱建物 (4)



SBD3 全景（東から）



PPD101 全景（東から）



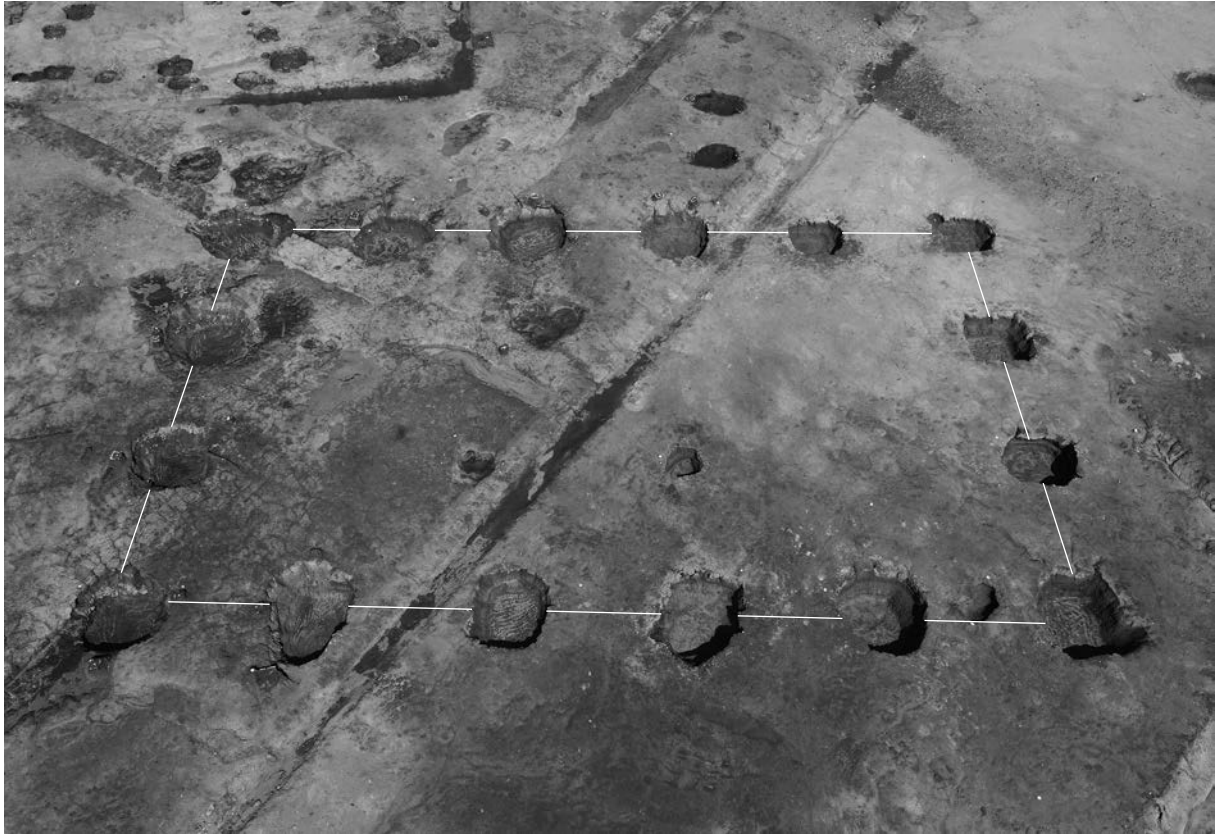
PPD102 全景（北から）



PPD103 全景（北から）



PPD104 全景（北から）



SBE1 全景 (南から)



SBE1 全景 (南から)

写真図版 30 SBE1 掘立柱建物 (1)



SBE1 検出 (北から)



SBE1 全景 (西から)



PPE360 完掘 (南から)



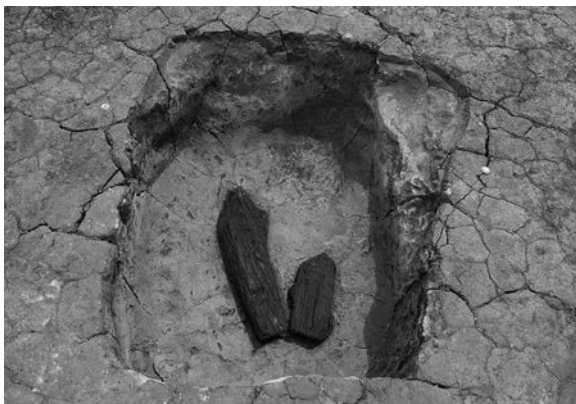
PPE361 断面 (南から)



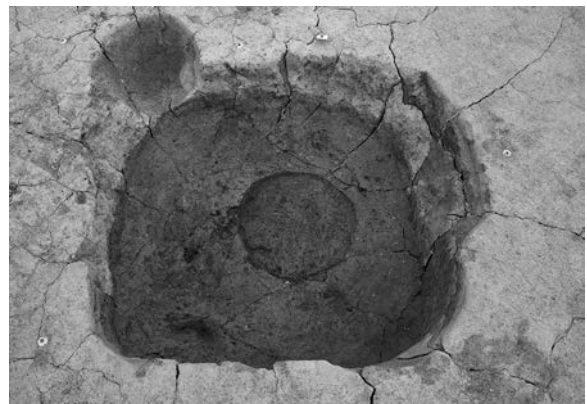
PPE393 埋土中位板材検出 (南から)



PPE394 全景 (北から)



PPE395 全景 (北から)



PPE396 完掘 (南から)



PPE397 全景 (南から)



PPE398 全景 (南から)

写真図版 32 SBE1 掘立柱建物 (3)



PPE408 完掘 (南から)



PPE409 断面 (南から)



PPE410 完掘 (北から)



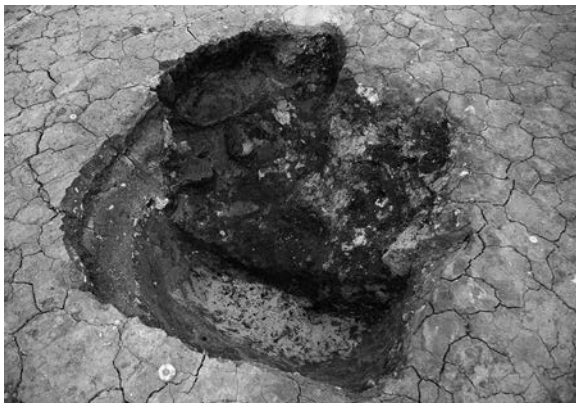
PPE411 全景 (北から)



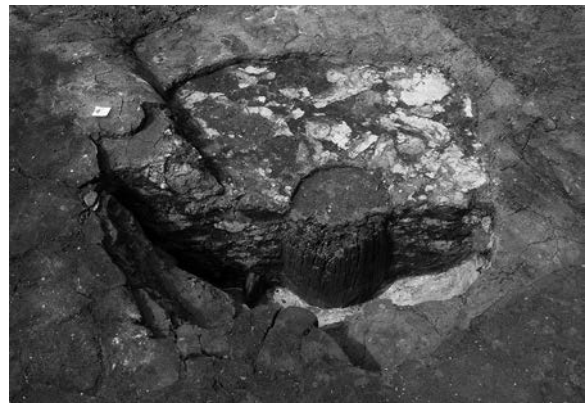
PPE412 全景 (西から)



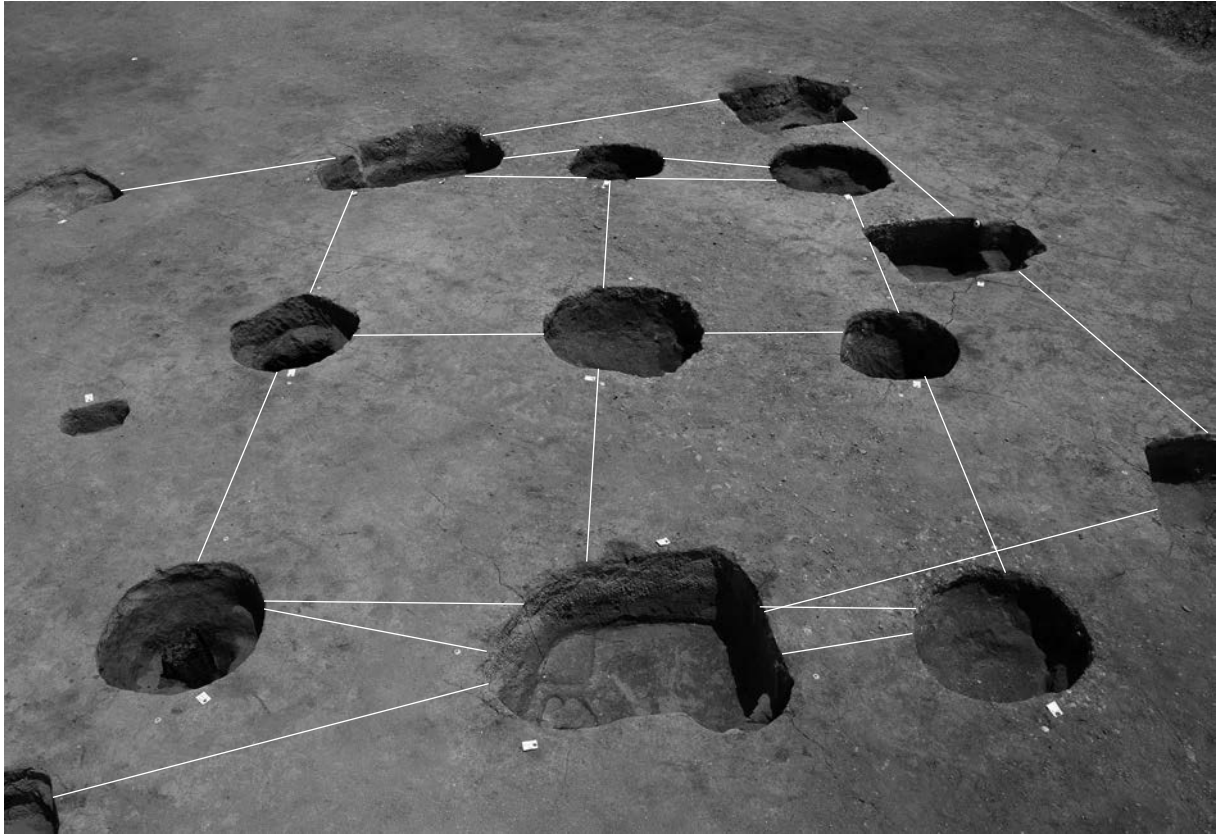
PPE413 断面 (南から)



PPE736 柱あたり埋土遺物検出 (西から)



PPE737 断面 (南から)



SBE2 全景（西から）



SBE3 全景（北から）

写真図版 34 SBE2・3 掘立柱建物（1）



SBE2・3 掘立柱建物検出 (南から)



SBE2・PPE369 断面 (南から)



SBE2・PPE370 断面 (南から)



SBE2・PPE371 断面 (南から)



SBE3 完掘 (西から)



SBE2・PPE373 断面 (南から)



SBE2・PPE374 断面 (南から)



SBE2・PPE375 完掘 (南から)



SBE2・PPE376 完掘 (南から)



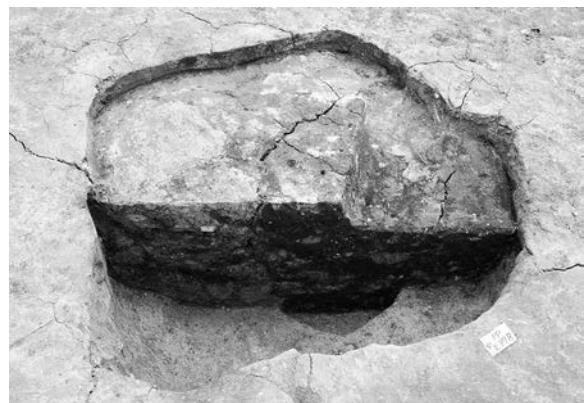
SBE2・PPE377、SBE3・PPE382 断面 (西から)



SBE2・PPE381、SBE3・PPE372 完掘 (東から)

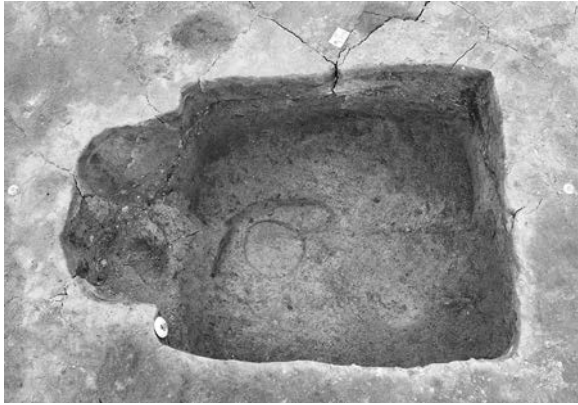


SBE2・PPE381、SBE3・PPE372 断面 (西から)



SBE3・PPE378 断面 (西から)

写真図版 36 SBE2・3 掘立柱建物 (3)



SBE3・PPE379 完掘 (東から)



SBE3・PPE380 断面 (西から)



SBE3・PPE383 断面 (西から)



SBE3・PPE384 断面 (西から)



SBE3・PPE385 断面 (西から)



SBE3・PPE386 断面 (西から)



SBE3・PPE387 断面 (西から)



作業風景



SBE4 全景（南から）



SBE4 検出（南から）

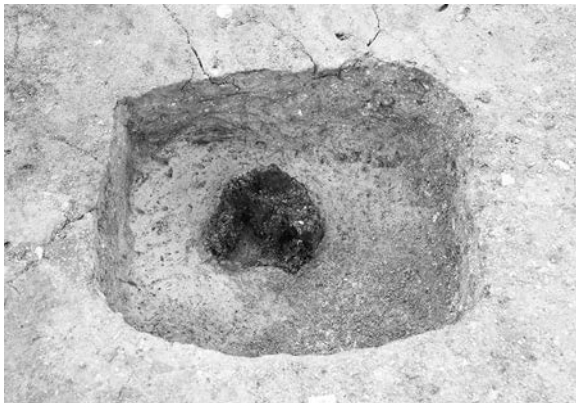
写真図版 38 SBE4 掘立柱建物（1）



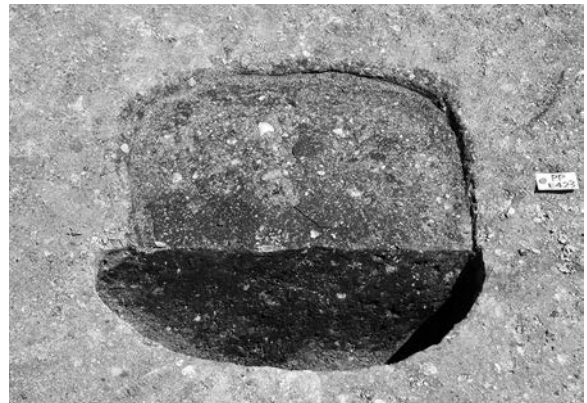
PPE420 全景 (東から)



PPE421 断面 (南から)



PPE422 全景 (東から)



PPE423 断面 (南から)



溝1 全景 (南から)



溝1 断面 (南から)



溝2 全景 (南から)



溝2 断面 (南から)



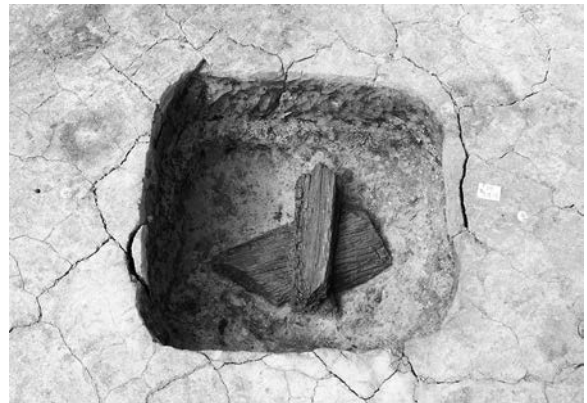
PPE424 断面 (南から)



PPE425 断面 (南から)



PPE427・426 断面 (西から)



PPE429 全景 (南から)



PPE430 断面 (南から)



PPE431 断面 (南から)



PPE432 断面 (南から)



PPE433 断面 (西から)

写真図版 40 SBE4 掘立柱建物 (3)



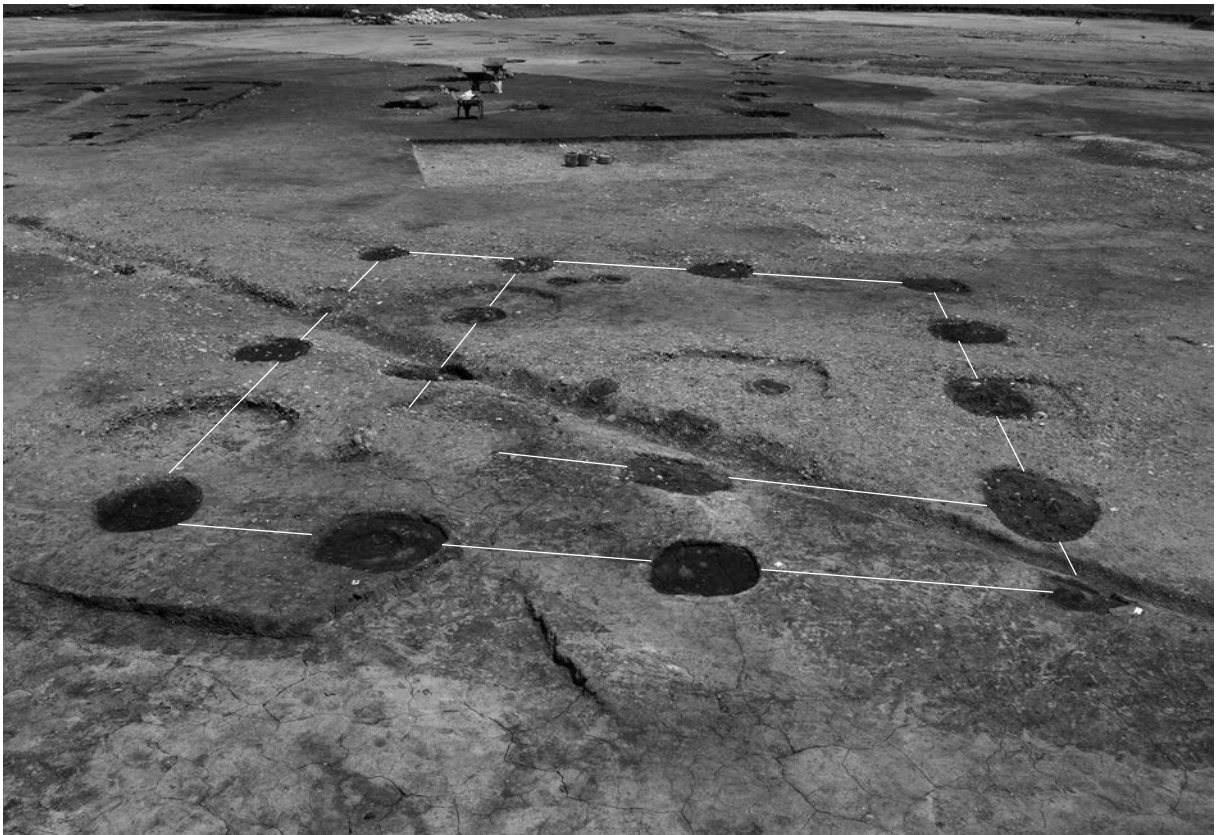
SBE5 全景（西から）



SBE5 全景（南から）



SBE6 全景（南から）



SBE6 検出（西から）

写真図版 42 SBE6 掘立柱建物（1）



PPC457 断面 (南から)



PPC458 断面 (南から)



PPC459 断面 (南から)



PPC461 全景 (西から)



PPC462 断面 (南から)



PPC465 断面 (南から)



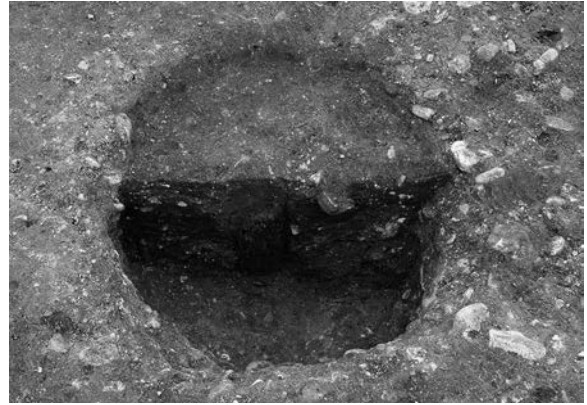
PPC466 断面 (南から)



PPE739 断面 (南から)



PPE740 全景 (南から)



PPE741 断面 (南から)



PPE742 断面 (南から)



PPE743 断面 (南から)



PPE744 全景 (南から)



PPE745 断面 (南から)



PPE759 断面 (南から)



PPE775 断面 (南から)

写真図版 44 SBE6 掘立柱建物 (3)



SBE7 全景（東から）



SBE8 全景（西から）



SBE7・8 検出 (北から)



SBE8 溝 1 西辺全景 (北西から)



SBE8 溝 1 東辺全景 (南東から)



SBE8 溝 1 南辺・東辺全景 (東から)



SBE8 溝 1 北辺全景 (東から)



SBE8 溝 1 南辺・東辺完掘 (南から)



SBE8 溝 1 北辺・東辺完掘 (北東から)



SBE8 溝 1 南辺断面 I (西から)

写真図版 46 SBE7・8 掘立柱建物 (2)



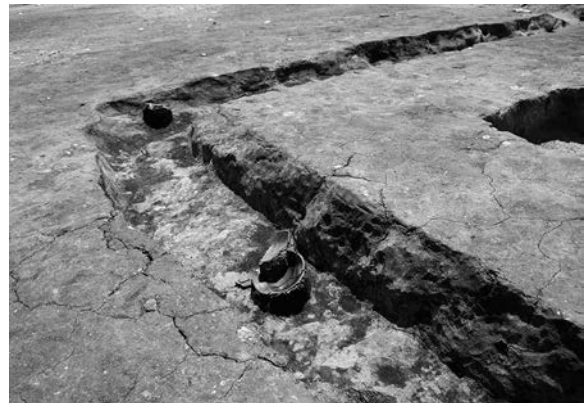
SBE8 溝 1 北辺断面 J (西から)



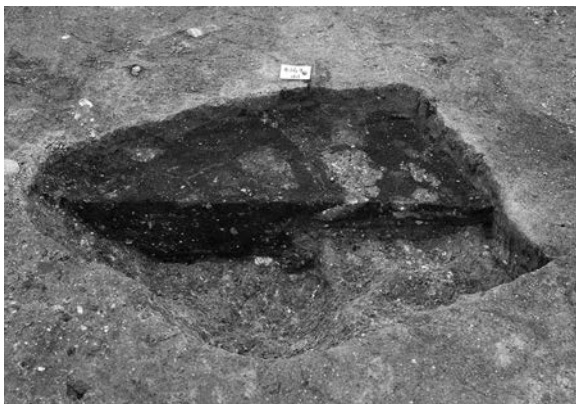
SBE8 溝 1 東辺断面 K (南から)



SBE8 溝 1 西辺断面 L (南から)



SBE8 溝 1 北辺土器出土 (北西から)



SBE7・PPE714 断面 (南西から)



SBE7・PPE715 断面 (西から)



SBE7・PPE716 断面 (西から)



SBE7・PPE717 完掘 (南から)



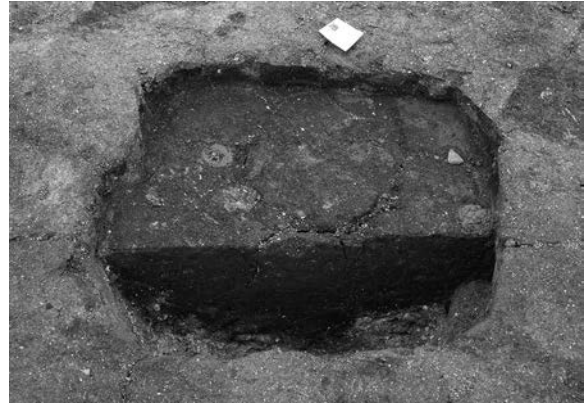
SBE7・PPE718、PPE725 断面（南西から）



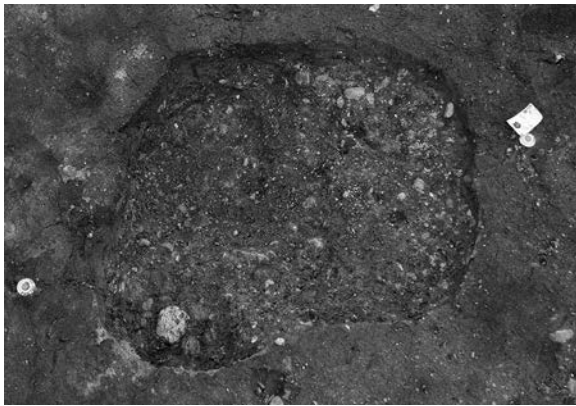
SBE7・PPE719 断面（南から）



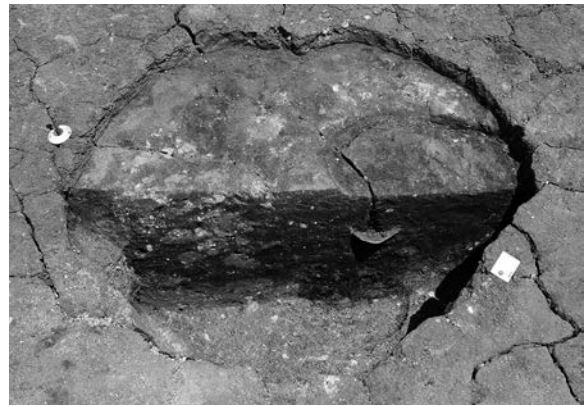
SBE7・PPE720 断面（南から）



SBE7・PPE721 断面（南から）



SBE7・PPE723 完掘（西から）



SBE8・PPE704 断面（南西から）



SBE8・PPE705 全景（西から）

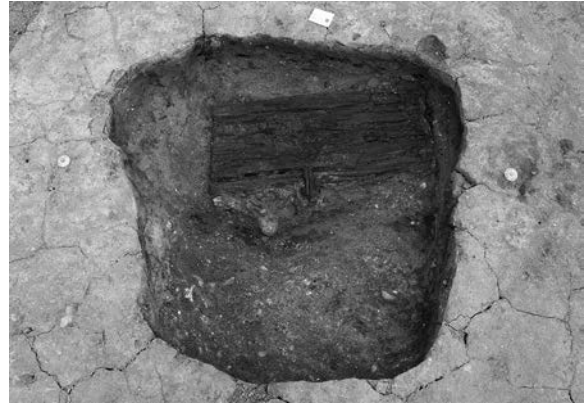


SBE8・PPE706、PPE722 完掘（東から）

写真図版 48 SBE7・8 掘立柱建物（4）



SBE8・PPE707 全景 (南から)



SBE8・PPE708 全景 (南から)



SBE8・PPE709、PPE724 断面 (南西から)



SBE8・PPE710 全景 (南から)



SBE8・PPE710 柱あたり埋土土器出土 (南から)



SBE8・PPE711 断面 (西から)



SBE8・PPE712 断面 (西から)



SBE8・PPE713 断面 (西から)



SBE9 全景 (南から)



SBE9 検出 (西から)



PPC468 断面 (南から)



PPC469 全景 (南から)



PPC470 断面 (南から)

写真図版 50 SBE9 掘立柱建物 (1)



PPC471 断面 (南西から)



PPC472 断面 (南から)



PPE699 断面 (南から)



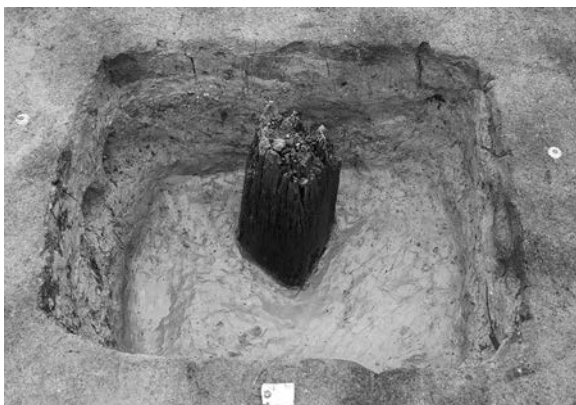
PPE700 全景 (東から)



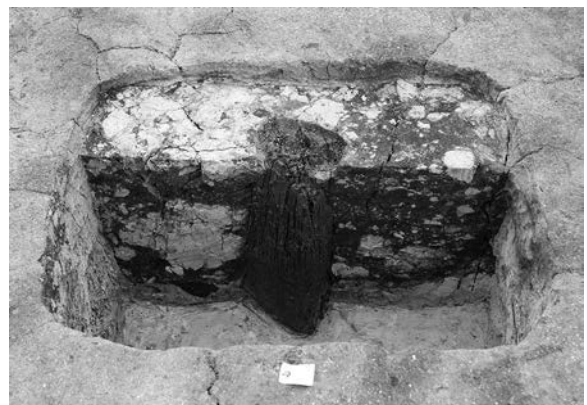
PPE701 断面 (南から)



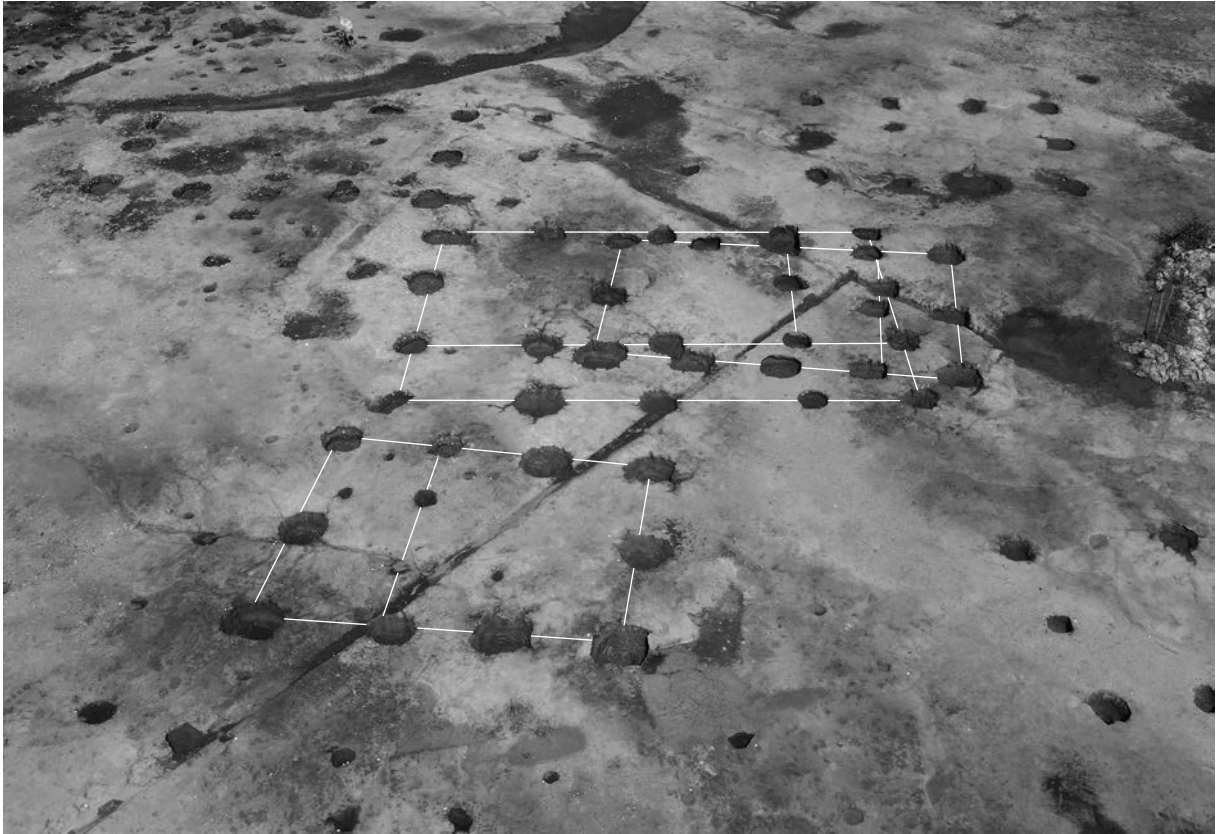
PPE702 断面 (南から)



PPE703 全景 (南から)



PPE703 断面 (南から)



SBE9・10・11 全景（南から）

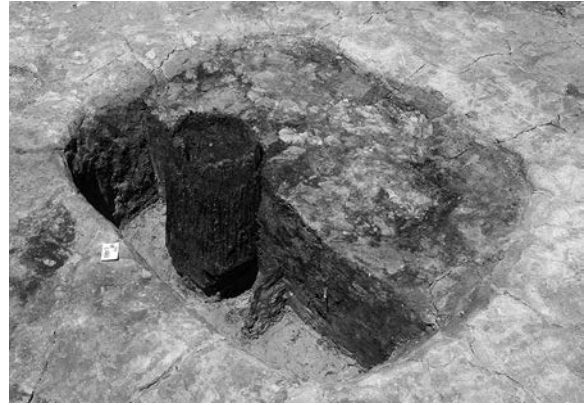


SBE10・11 全景（東から）

写真図版 52 SBE9 掘立柱建物（3）・SBE10・11 掘立柱建物（1）



SBE10・11 検出 (南から)



SBE10・PPC483 断面 (南東から)



SBE10・PPC486 全景 (東から)



SBE10・PPC488 断面 (南から)



SBE10・PPC490 断面 (南から)



SBE10・PPC491 断面 (南から)



SBE10・PPD123、SBE11・122 断面 (南東から)



SBE10・PPD125 全景 (南東から)



SBE10・PPC488 土器出土（南から）



SBE10・PPD126 断面（南から）



SBE10・PPD129 全景（南から）



SBE10・PPE729 断面（南から）



SBE10・PPE731 断面（南から）



SBE10・PPE732 全景（北から）

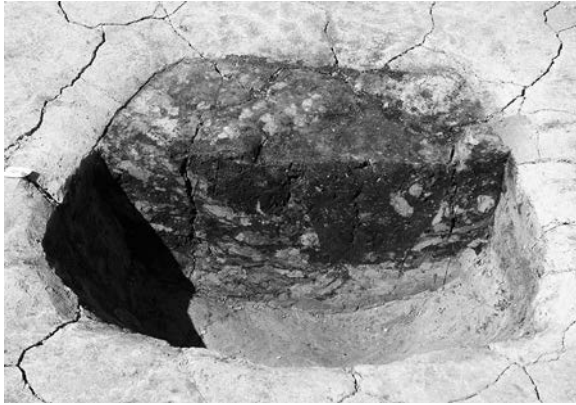


SBE10・PPE733 断面（南から）



SBE11・PPC473 断面（南から）

写真図版 54 SBE10・11 掘立柱建物（3）



SBE11・PPC475 断面 (南から)



SBE11・PPC478 全景 (東から)



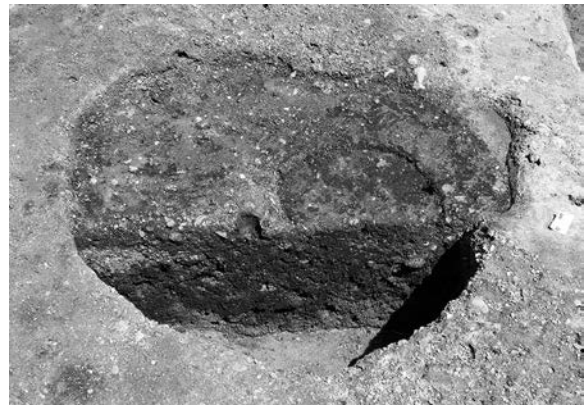
SBE11・PPC479 断面 (西から)



SBE11・PPC481 断面 (西から)



SBE11・PPC484 断面 (南から)



SBE11・PPC487 断面 (南から)



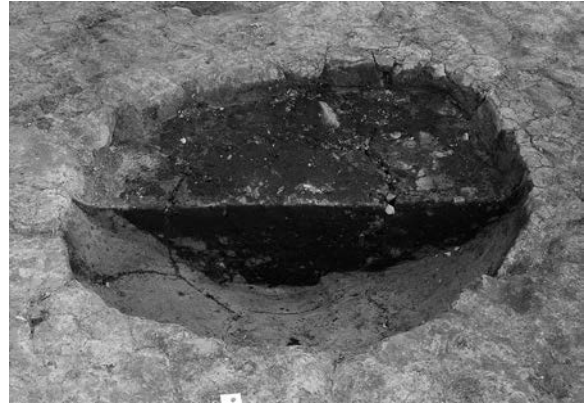
SBE11・PPC489 断面 (西から)



SBE11・PPC533 断面 (西から)



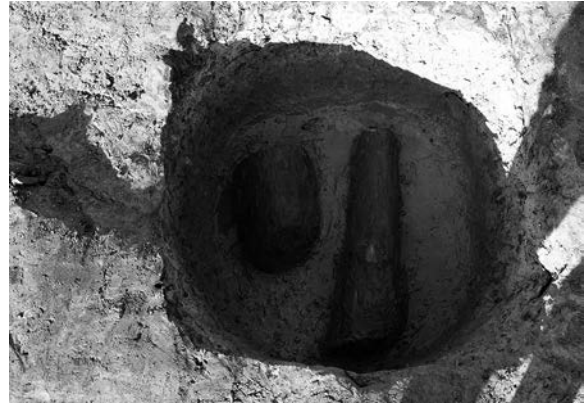
SBE11・PPC534 断面 (南から)



SBE11・PPC545 断面 (西から)



SBE11・PPD124 断面 (南から)



SBE11・PPD127 全景 (南から)



SBE11・PPE726 断面 (南から)



SBE11・PPE727 全景 (南から)



SBE11・PPE728 断面 (南から)



SBE11・PPE730 断面 (南から)

写真図版 56 SBE10・11 掘立柱建物 (5)



SIA1 全景 (南東から)



SIA1 断面 A (南東から)



SIA2 全景（東から）



SIA2 断面 B（南から）



SIA3 全景（東から）



SIB1 全景（西から）



SIA3 断面 B (南から)



SIB1・P1 断面 (北西から)



SIB1 焼土断面 (西から)

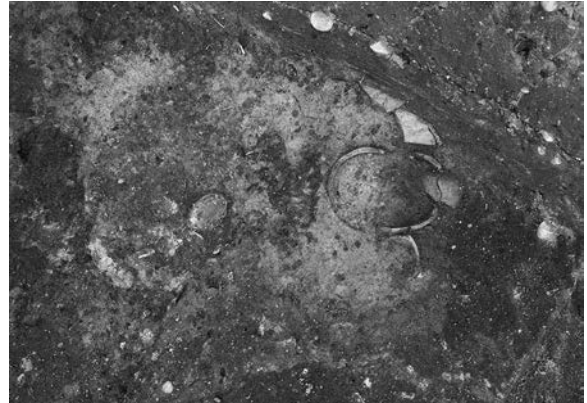


SIB2 全景 (北西から)

写真図版 60 SIA3 竪穴建物 (2)・SIB1 竪穴建物 (2)・SIB2 竪穴建物 (1)



SIB2・P1 遺物出土状況 (北西から)



SIB2 焼土全景 (南から)



SIB2 焼土断面 (南から)



SIB2 断面 (北西から)



SID1 全景 (南東から)



SID1 断面 A (南東から)



SID1 遺物出土状況 (西から)



SKB4 完掘 (南東から)



SKB4 断面 (南東から)



SKA1 完掘 (北から)



SKB1 遺物出土状況 (全体) (南から)



SKB1 全景 (南から)

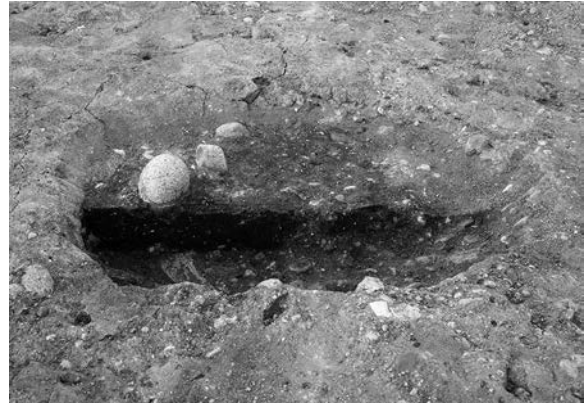


SKB1 断面 (南から)

写真図版 62 SID1 竪穴建物 (2)・平安時代の土坑 (1)



SKC4 完掘 (南から)



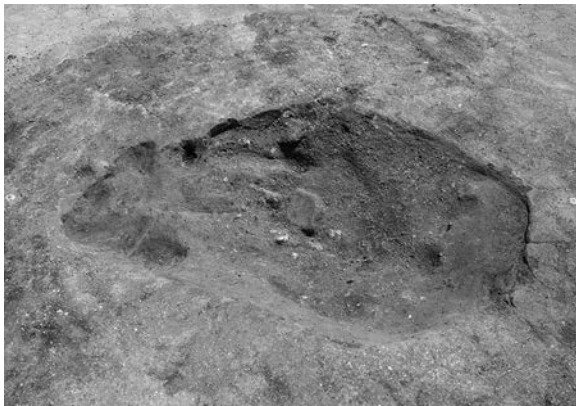
SKC4 断面 (南から)



SKC5 完掘 (北西から)



SKC5 断面 (北西から)



SKC6 完掘 (南西から)



SKC6 断面 (南西から)



SKC7 完掘 (南から)



SKC7 断面 (南から)



SKC8 完掘 (東から)



SKC8 断面 (西から)



SKC10 全景 (南から)



SKC10 断面 (南から)



SKD1 完掘 (東から)



SKD1 断面 (南から)

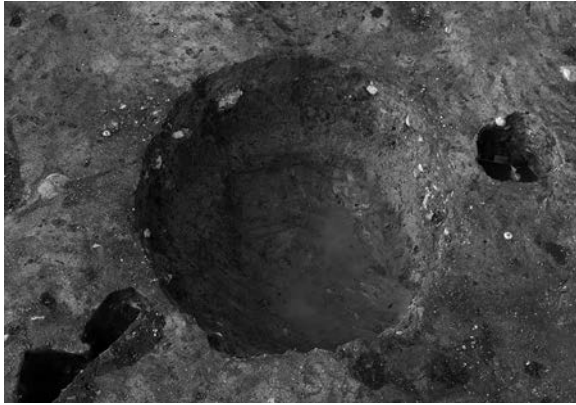


SKD2 完掘 (東から)



SKD2 断面 (南から)

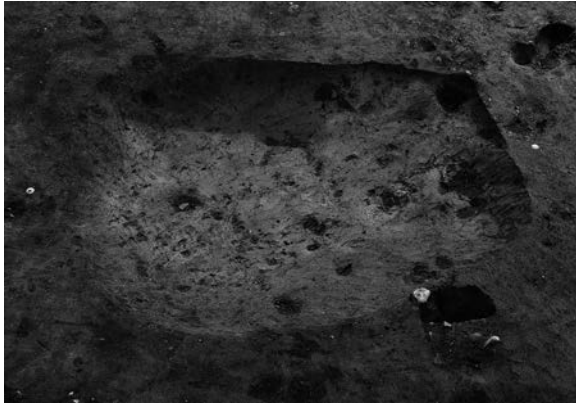
写真図版 64 平安時代の土坑 (3)



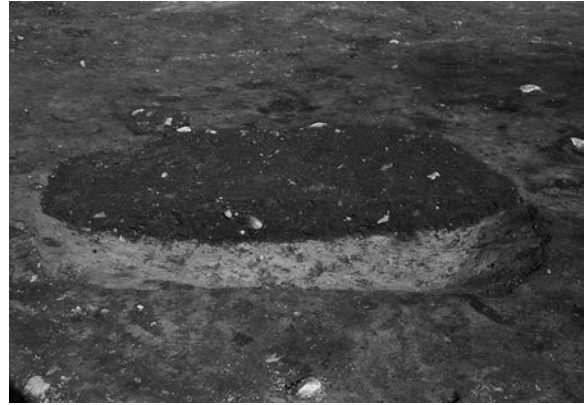
SKD3 完掘 (東から)



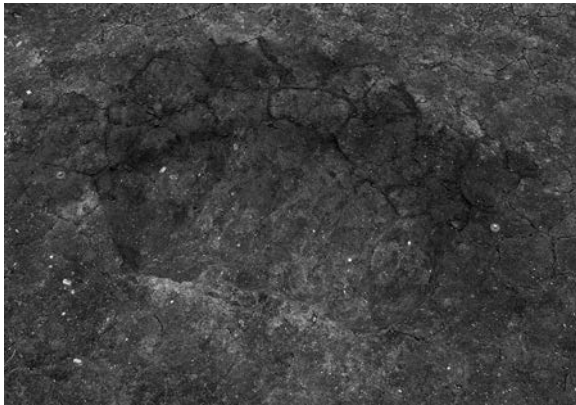
SKD3 断面 (東から)



SKD4 完掘 (北から)



SKD4 断面 (南から)



SKE1 完掘 (東から)



SKE1 断面 (南東から)



SKE2 完掘 (東から)



SKE2 断面 (東から)



SKE7 完掘 (南西から)



SKE7 断面 (南西から)



SKE9 完掘 (西から)



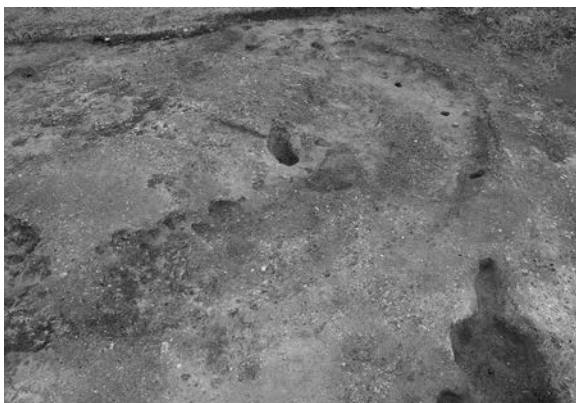
SKE9 断面 (西から)



SXA1 完掘 (南から)



SXA1 断面 A (東から)



SXA2 完掘 (東から)



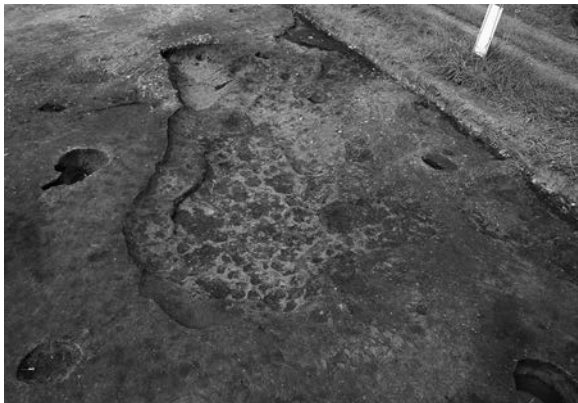
SXA2 断面 A (東から)



SXA3 完掘 (南から)



SXA3 断面 (南から)



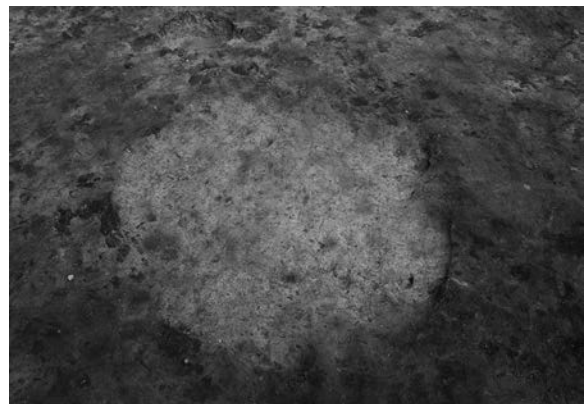
SXB1 完掘 (東から)



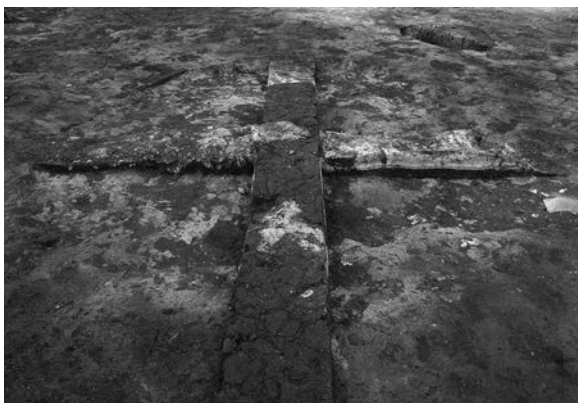
SXB1 断面 (東から)



SXB1 とその周辺断面 (東から)



SXD1 全景 (南から)



SXD1 断面 B (南から)



SXD1 遺物出土状況 (南から)



B区遺物集中1 全景（南から）



B区遺物集中2 全景（東から）



全景（南から）



断面（南から）



断面（南東から）



全景（南から）



断面（東から）



断面（南から）

写真図版 70 SXB8 性格不明遺構



E区遺物集中1 全景（西から）



E区遺物集中2 全景（東から）



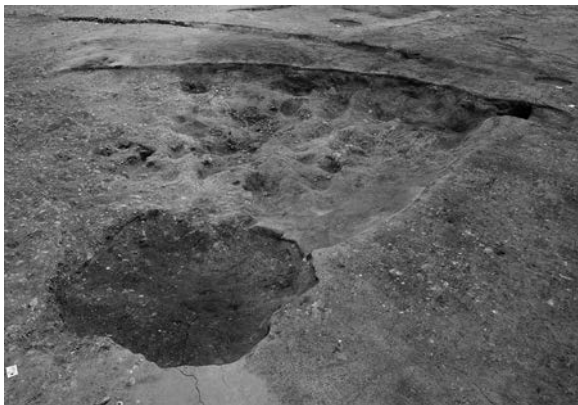
全景（南から）



断面（西から）



断面（南から）



完掘（北から）



木質・遺物出土（西から）



全景（南から）



断面（東から）



断面（南から）



全景（南から）



断面（西から）



N ベルト東側埋土上位黒色土土器出土状況 1（西から）



W ベルト埋土上位黒色土土器出土状況 2（東から）

写真図版 74 SXE4 池状遺構



全景（南西から）



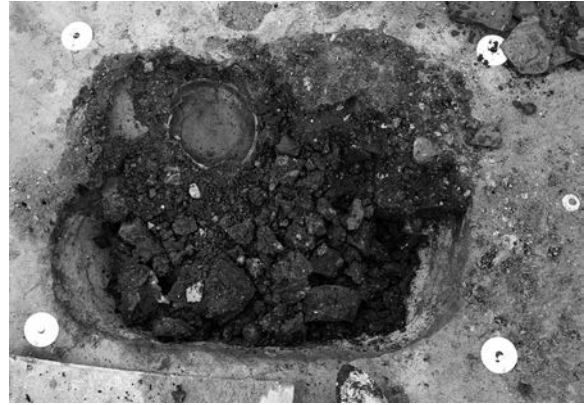
断面（南西から）



断面（南東から）



PPD111 断面（東から）



PPD111 土器出土（東から）



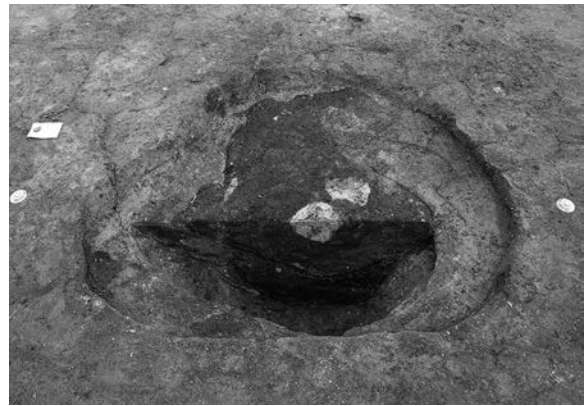
PPE776 土器出土（東から）



PPE776 断面（南から）



PPE777 全景（南から）



PPE777 断面（南から）



PPE779 断面（南から）



PPE780 断面（南から）

写真図版 76 平安時代の不明柱穴



全景（北東から）



全景（南東から）



東西トレンチ断面（南から）



南北トレンチ断面（南東から）



南北トレンチ断面（北東から）



SBB4 全景（南から）



SBB5 全景（南から）

写真図版 78 居館跡 1 (1) SBB4・SBB5 掘立柱建物



SBC10 全景 (南から)



SBC11 全景 (南から)



SBC12 全景 (南から)



SBC13 全景 (南から)

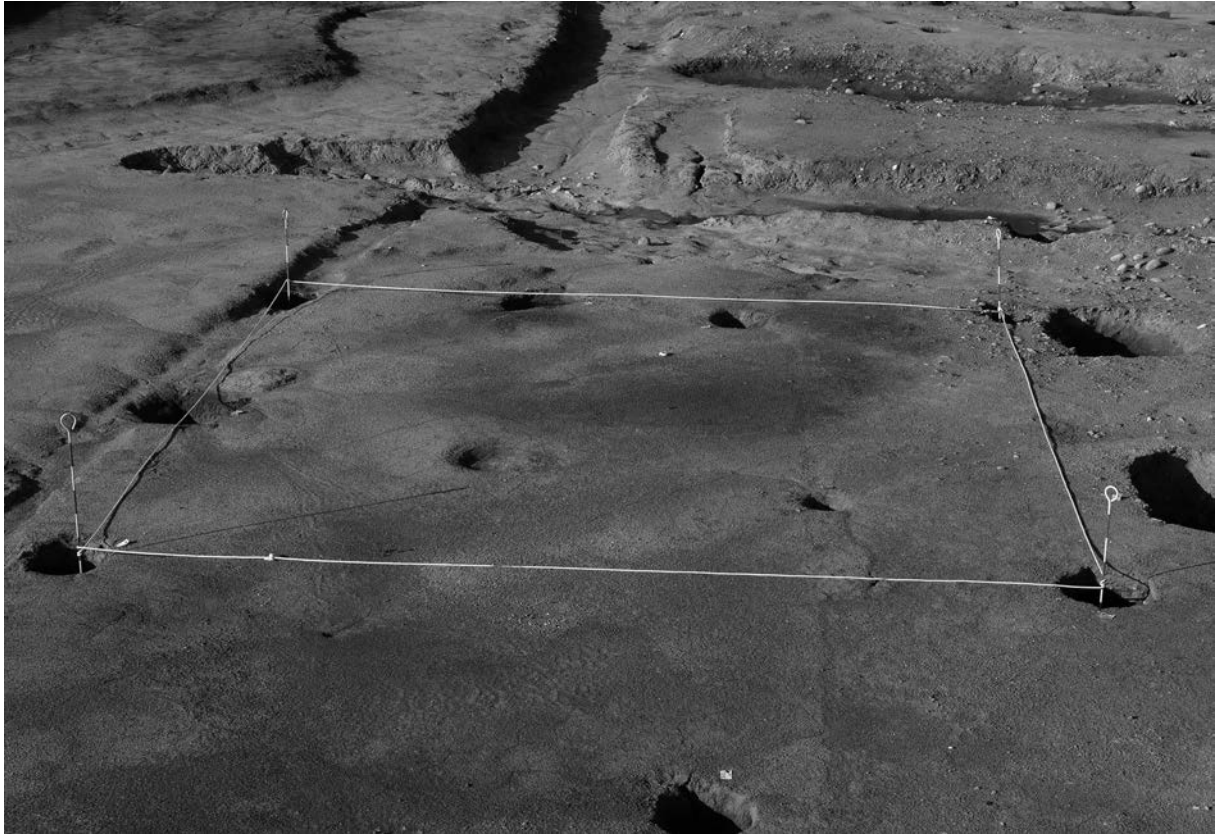
写真図版 80 居館跡 1 (3) SBC12・13 掘立柱建物



SBC14 全景 (南から)



SBC15 全景 (南から)



SBC16 全景 (南から)



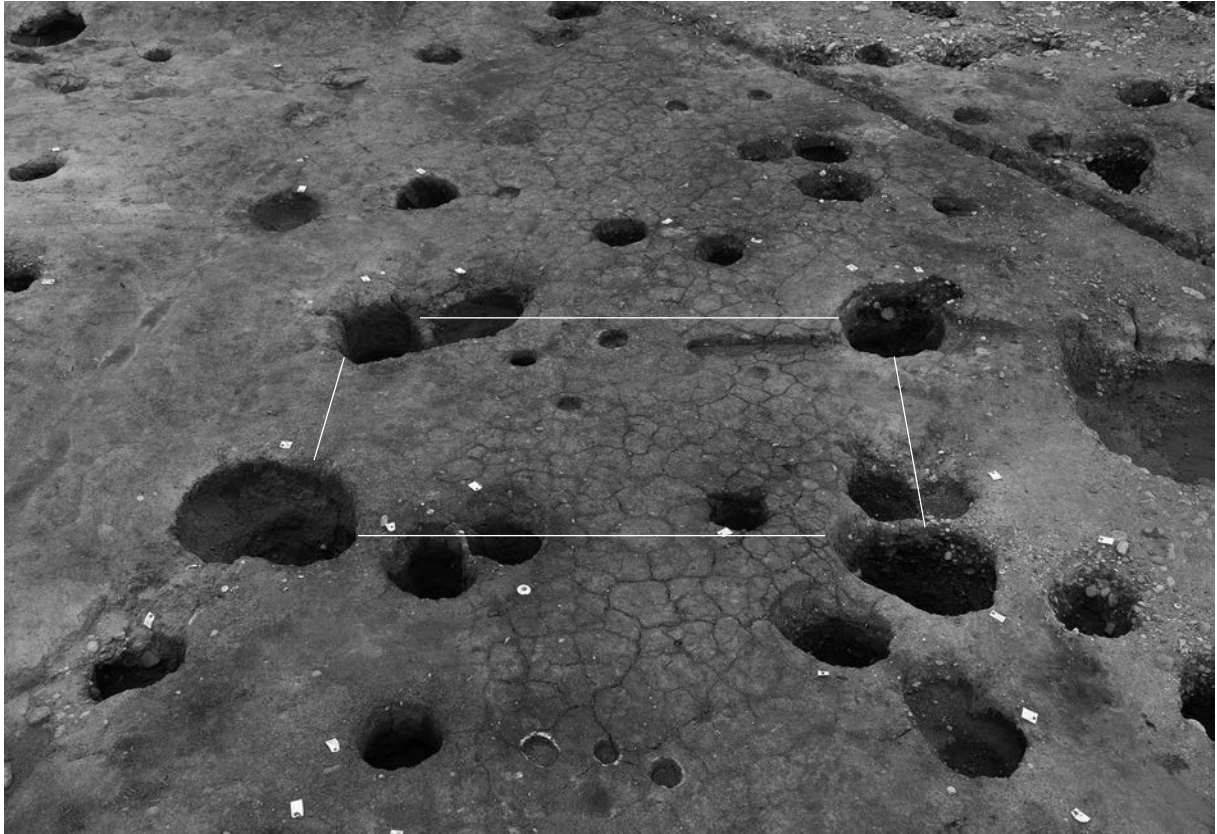
SBC19 全景 (南から)



SBC20 全景 (南から)



SBC22 全景 (南から)



SBC9 全景 (南から)



SBC9・PPC857 全景 (北西から)



SBC15・PPC621 全景 (南から)



SBC15・PPD86 全景 (南から)



SBC19・PPC193 全景 (北から)

写真図版 84 居館跡 1 (7) SBC9 門跡・柱穴



SKB2 全景 (西から)



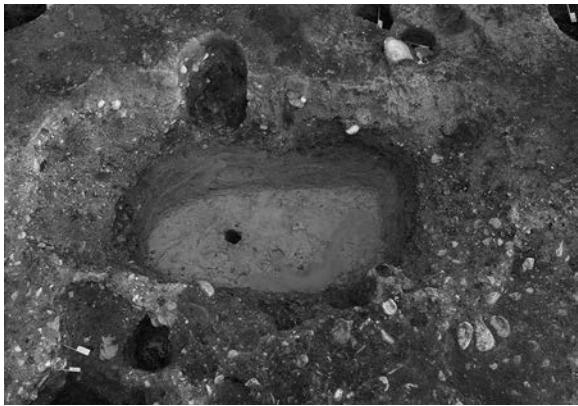
SKB2 断面 (東から)



SKB3 完掘 (北から)



SKC11 全景 (南から)



SKC2 完掘 (南から)



SKC2 断面 (南から)



SKC1 (PPC77・78) 断面 (東から)



SKC9 断面 (南から)



SDB1・B3 全景（北から）



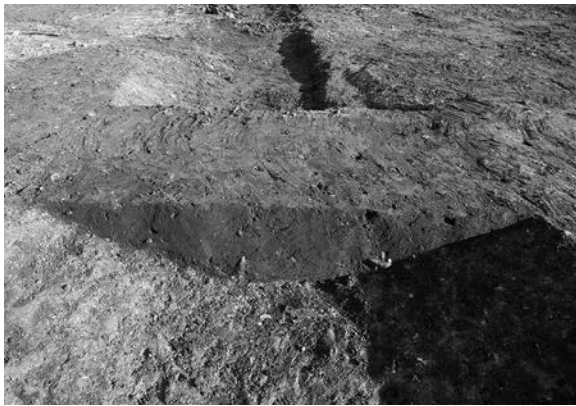
SDB1(II B12k付近) 全景（東から）



SDB1 断面 A（南から）



SDB1 断面 D（南から）



SDB1 断面 I（南から）



SDB1 礫集中全景（西から）



SDB1（II B4h付近）木・礫出土状況（東から）



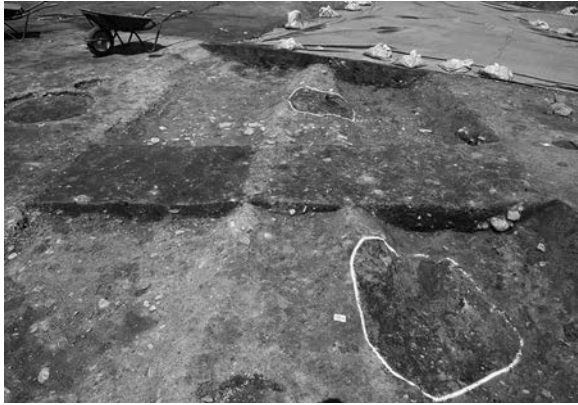
SDB1 間仕切骨組全景（南東から）



SDB2・SDC7・9 全景 (西から)



SDB2・SDC7・13 全景 (南西から)



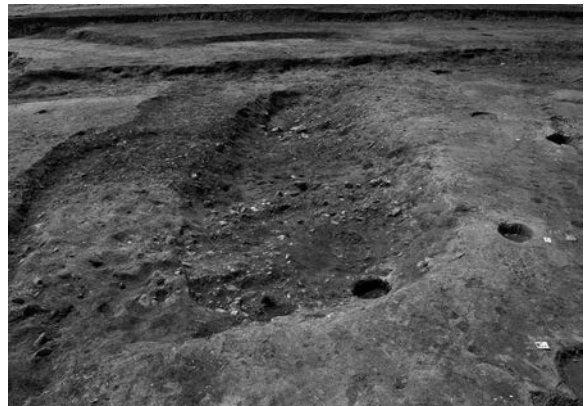
SDB2・SDC7・9 断面 (東から)



SDB2・SDC7・13 断面 B (北西から)



SDB2・SDC7・13 断面 C (南東から)



旧 SDB2・SDC1b・2 全景 (東から)



SDB2 断面 (南から)



旧 SDB2・SDC1b・2 断面 B (東から)



SDB3 礫出土 (南から)



SDB3 断面 L (東から)



SDB3 断面 M (南から)



SDB3 断面 N (南から)



SDC7・13 全景 (東から)



SDC7・13 西端断面 (西から)



SDD1・D2 全景 (東から)



SDD1 西端断面 (東から)



SDC7 中央付近断面 CC (東から)



SDC7 東側全景 (東から)



SDD1 断面 W (南から)



SDD2 東側全景 (西から)



SDD2 西側全景 (東から)



SDD2 断面 X (北東から)



SDD2 (II B8p) 断面 Y (西から)



SDD2 西側断面 AA (東から)



SDC1・C3 全景 (南から)



SDC1a 全景 (南から)



SDC1b 全景 (東から)



SDD2 (II B7j) 埋土下位下駄出土 (東から)



SDD2 (II B8h) 埋土中位弓か出土



SDD2 (II B8o) 埋土中位樹皮製籠 (北東から)



SDD2 埋土中～下位下駄出土 (南から)



SDD2 埋土中～下位木錘出土 (北から)



SDB4 全景 (東から)



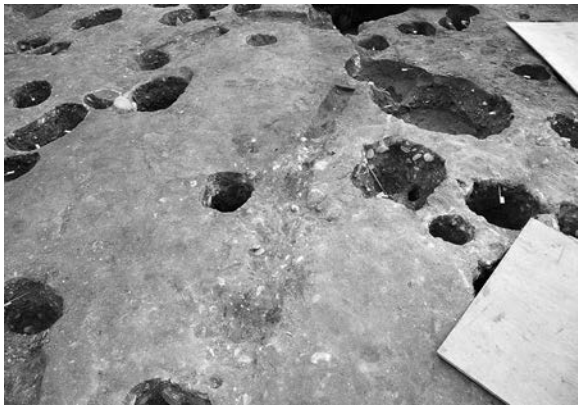
SDB4 断面 (東から)



SDB5 検出 (南から)



SDB6 全景 (北から)



SDB7 全景 (西から)



SDB8 全景 (南から)



SDC1a・b 中央断面 (南から)



SDC2 全景 (東から)



SDC2 断面 (西から)



SDC4 全景 (南から)



SDC4 全景 2 (南から)



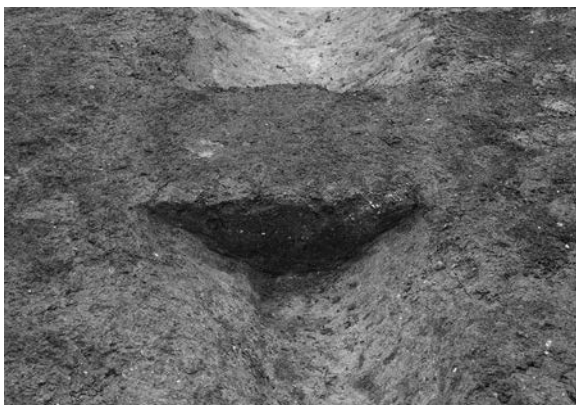
SDC4 断面 TT (南から)



SDC10・11 全景 (北から)



SDC10・11 断面 XX (南から)



SDC10 断面 YY (東から)



SDC10 北端全景 (南から)



SDC12 全景 (南から)



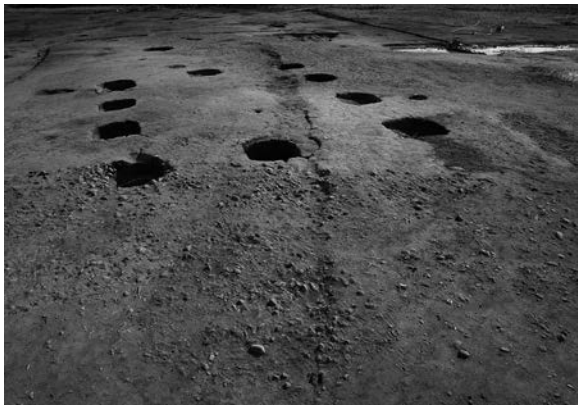
SDC12 断面 AAA (西から)



SDC14 全景 (西から)



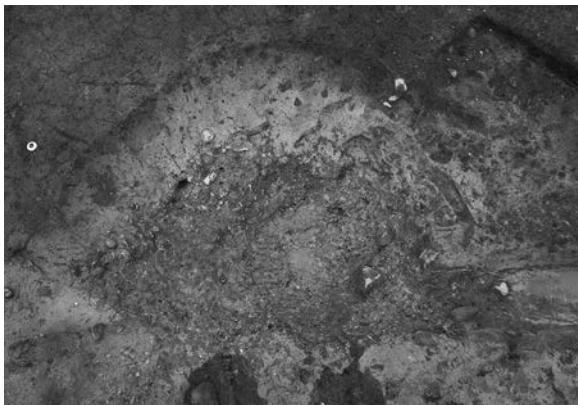
SDC14 断面 BBB (南西から)



SDC15 全景 (北から)



SDC15 断面 CCC (南から)



SXB2 全景 (南から)



SXB2 礫出土 (南から)



SXB3 全景 (南から)



SXB3 礫出土 (南から)



SXB4 全景 (南から)



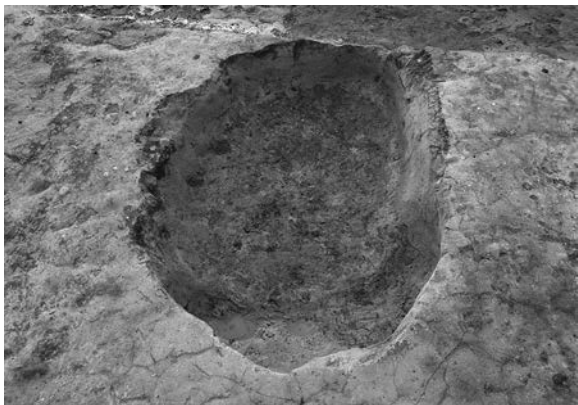
SXB4 礫出土 (南から)



SXB5 全景 (南から)



SXB5 礫出土 (南から)



SXB6 全景 (東から)



SXB6 断面 (東から)



全景（南から）



断面（東から）



溝全景（東から）



銭出土（東から）



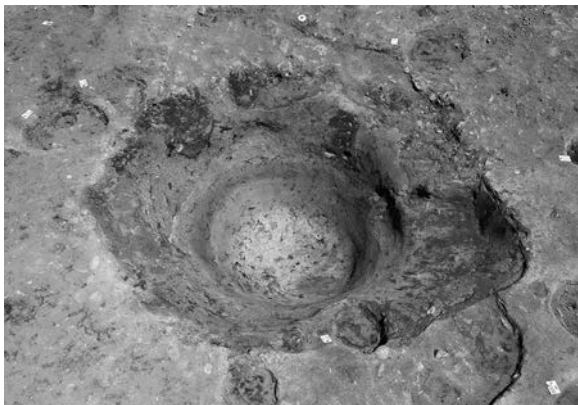
SBE12 全景 (南から)



SKE3 完掘 (南から)



SKE3 断面 (南西から)



SKE4 完掘 (南西から)



SKE4 断面 (南西から)



SKE5 完掘 (南西から)



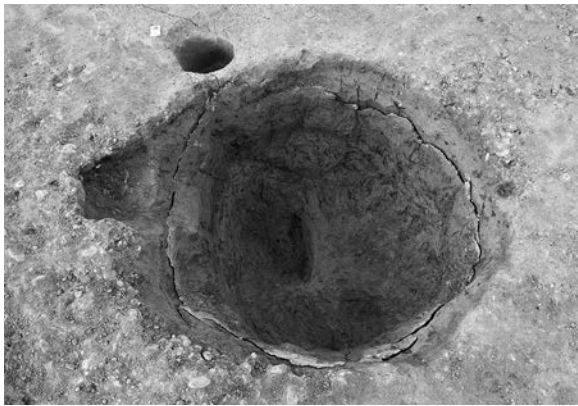
SKE5 断面 (西から)



SKE6 完掘 (南から)



SKE6 断面 (南から)



SKE8 完掘 (南から)



SKE8 断面 (南から)



SKE8 樹皮出土 (南西から)



夏の作業風景



全景（南から）



断面（北から）



断面（西から）



全景（北から）



作業風景（南から）

写真図版 98 居館跡 2 (3) SXE1 池状遺構



SXE2 全景（北西から）



SXE2 断面（西から）



SXE2 溝 1 全景（北から）



SXE3 全景（南西から）



SDE1・2全景（南から）



SDE1・2・3断面（南西から）



SDE1・2・3交点断面（北東から）



SDE1・2断面A（南から）



SDE1 東側断面B（南東から）



SDE1・2 全景 (南から)



SDE1 南端全景 (東から)



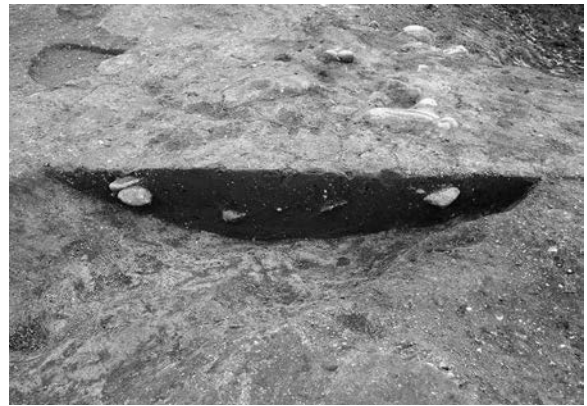
SDE2 間仕切り遺構全景 (南から)



SDE7 全景・断面 (北東から)



SDE3 全景 (北から)



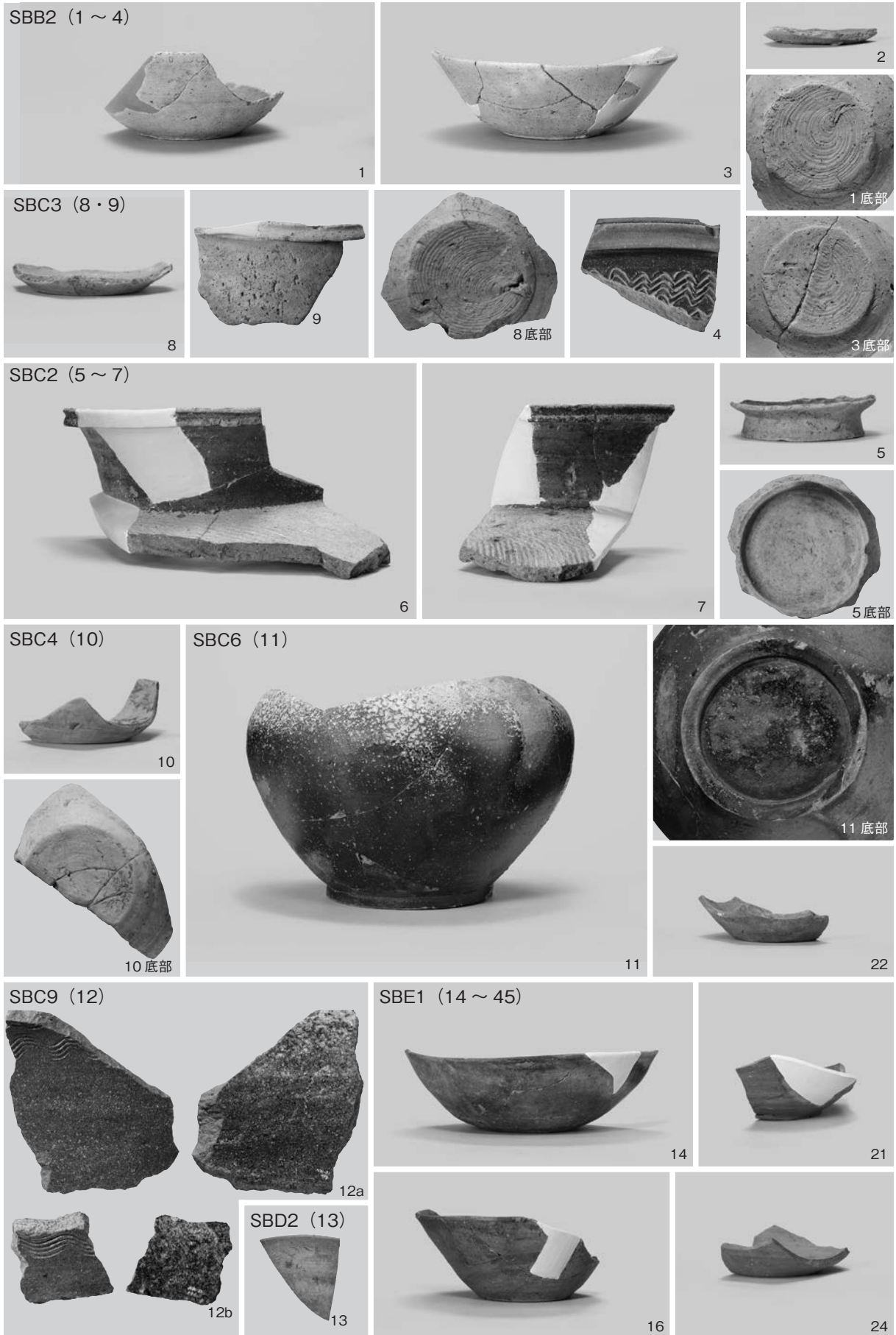
SDE3 断面 H (西から)



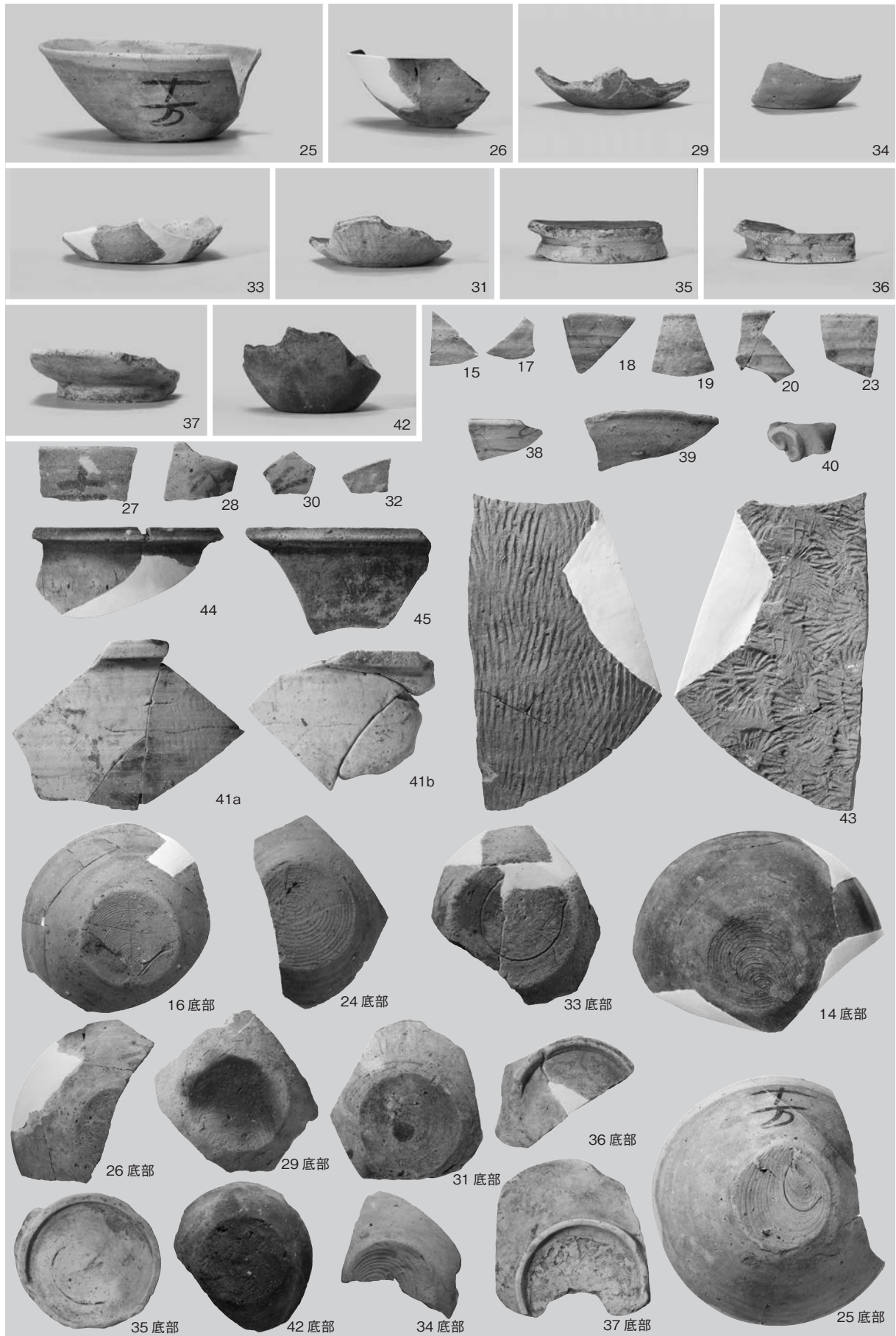
SDE4 全景 (東から)



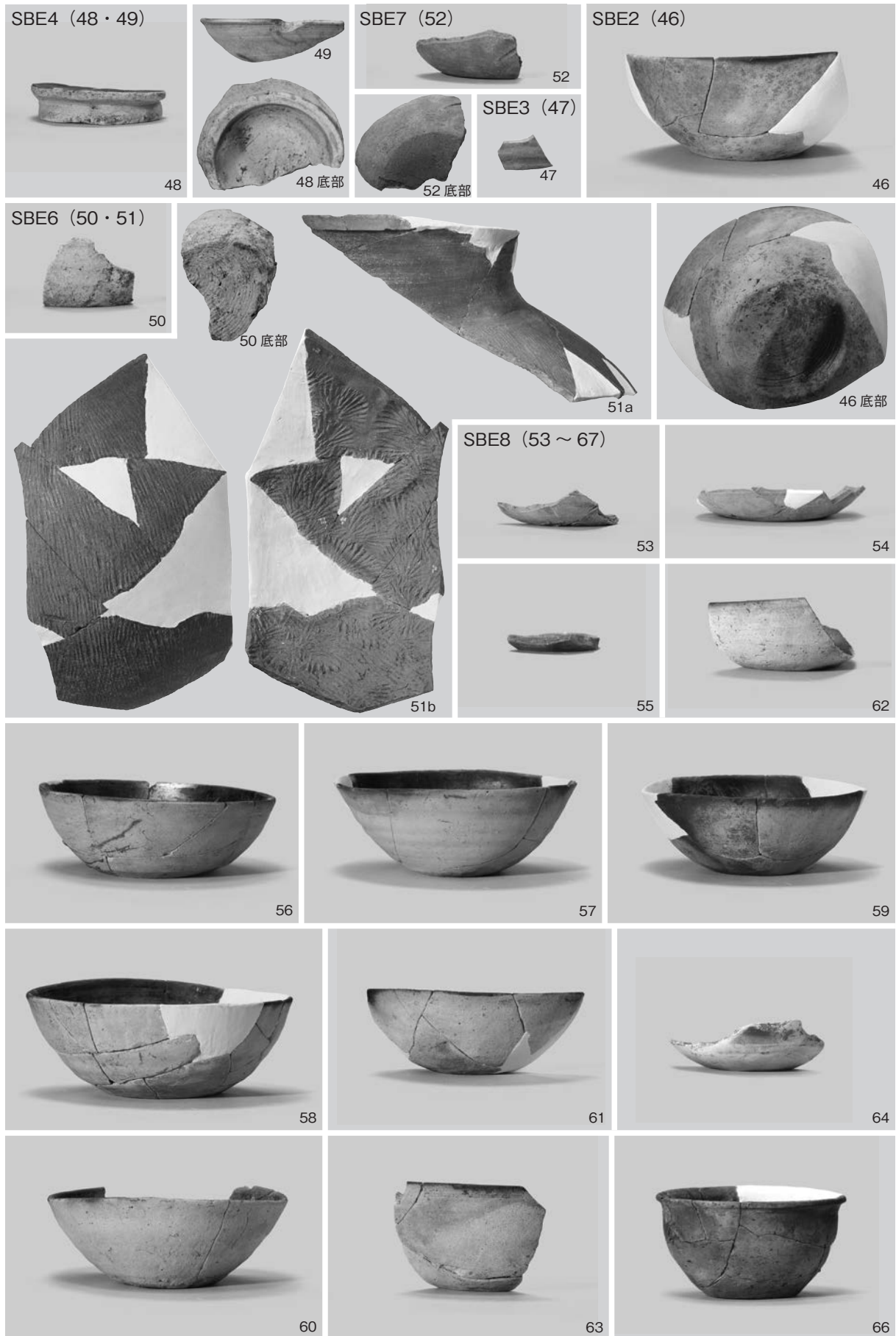
SDE4 断面 (南西から)



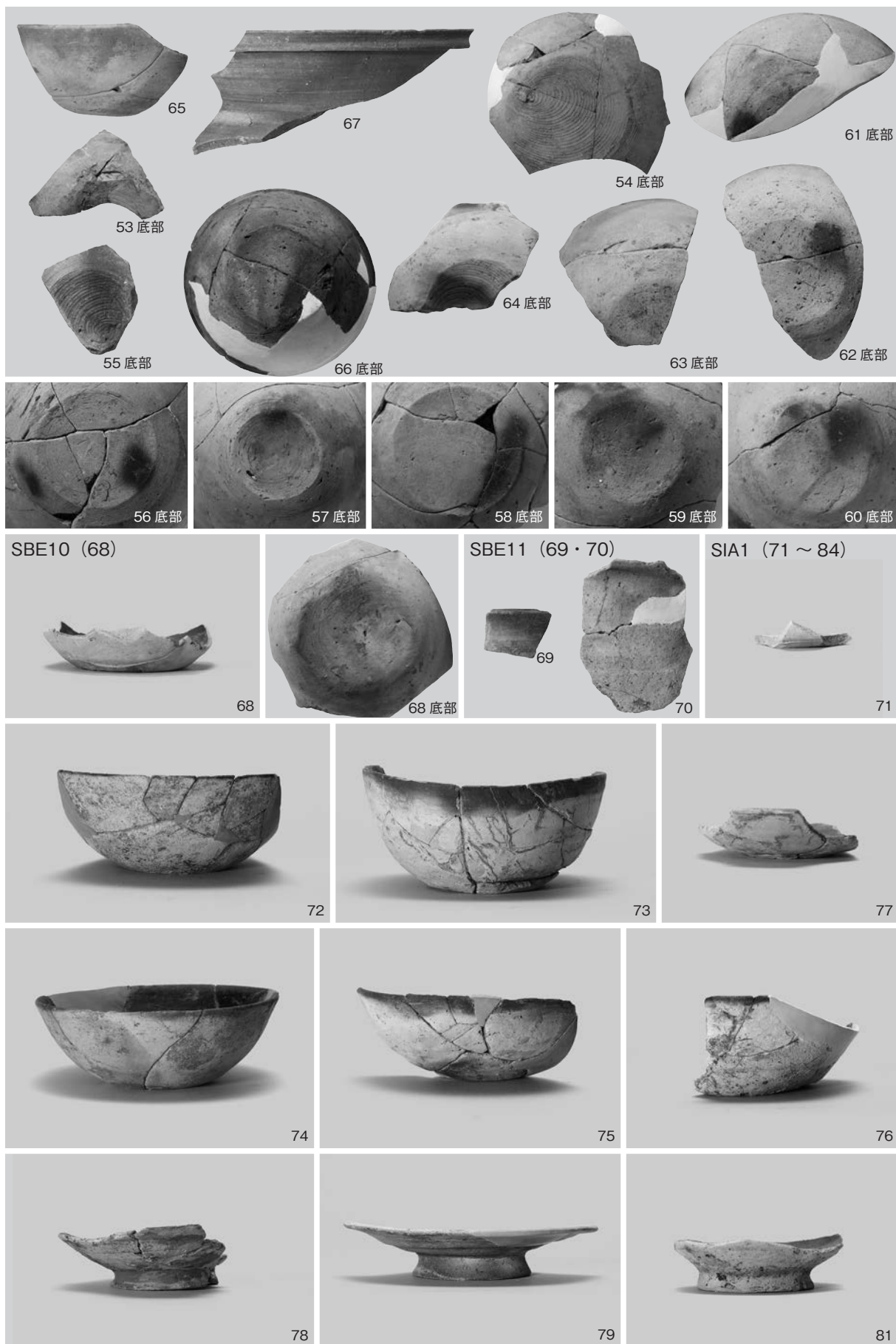
写真図版 102 土師器・須恵器 (1)



写真図版 103 土師器・須恵器 (2)



写真図版 104 土師器・須恵器 (3)



写真図版 105 土師器・須恵器 (4)



写真図版 106 土師器・須恵器 (5)



95



96



99



100



102

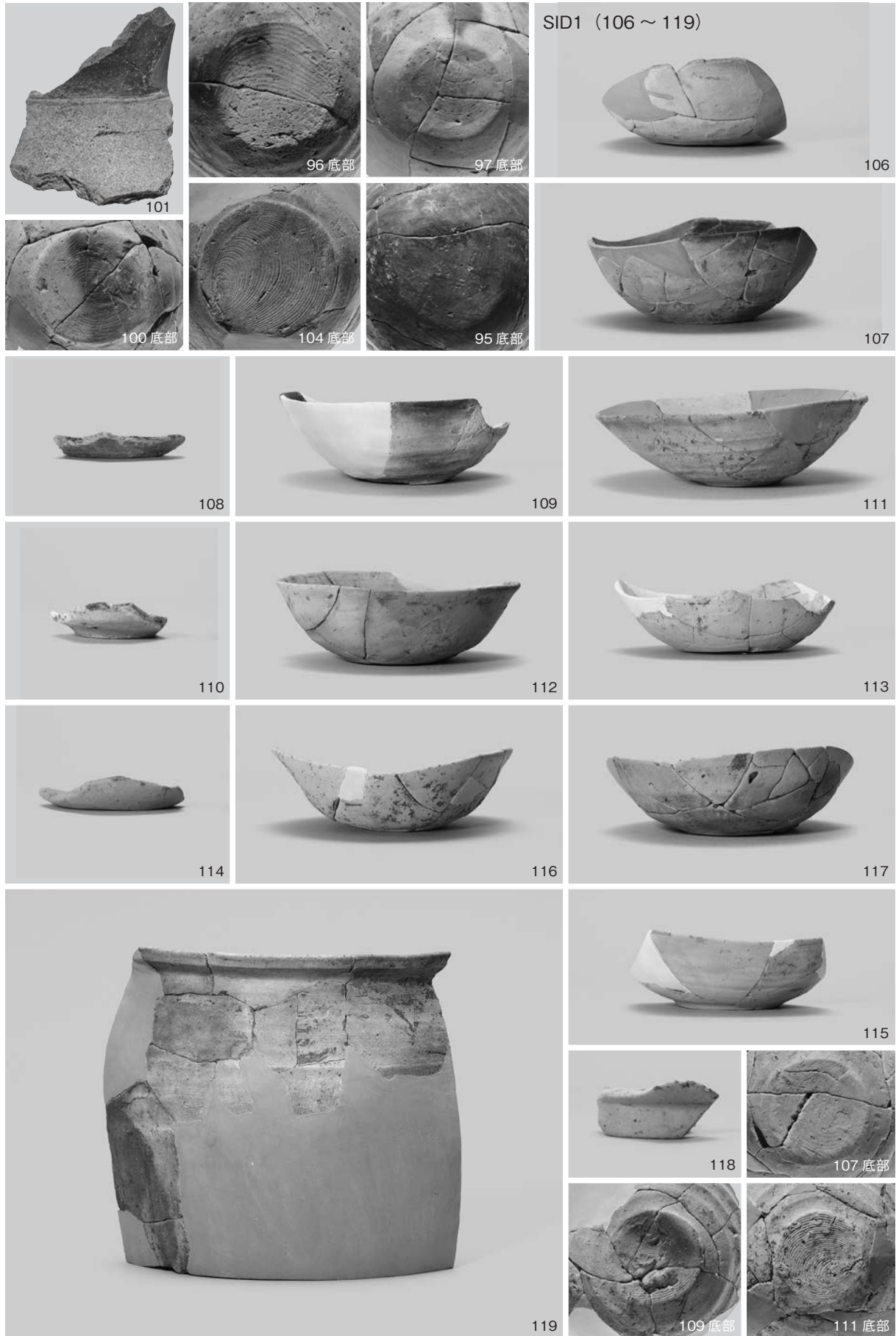


104



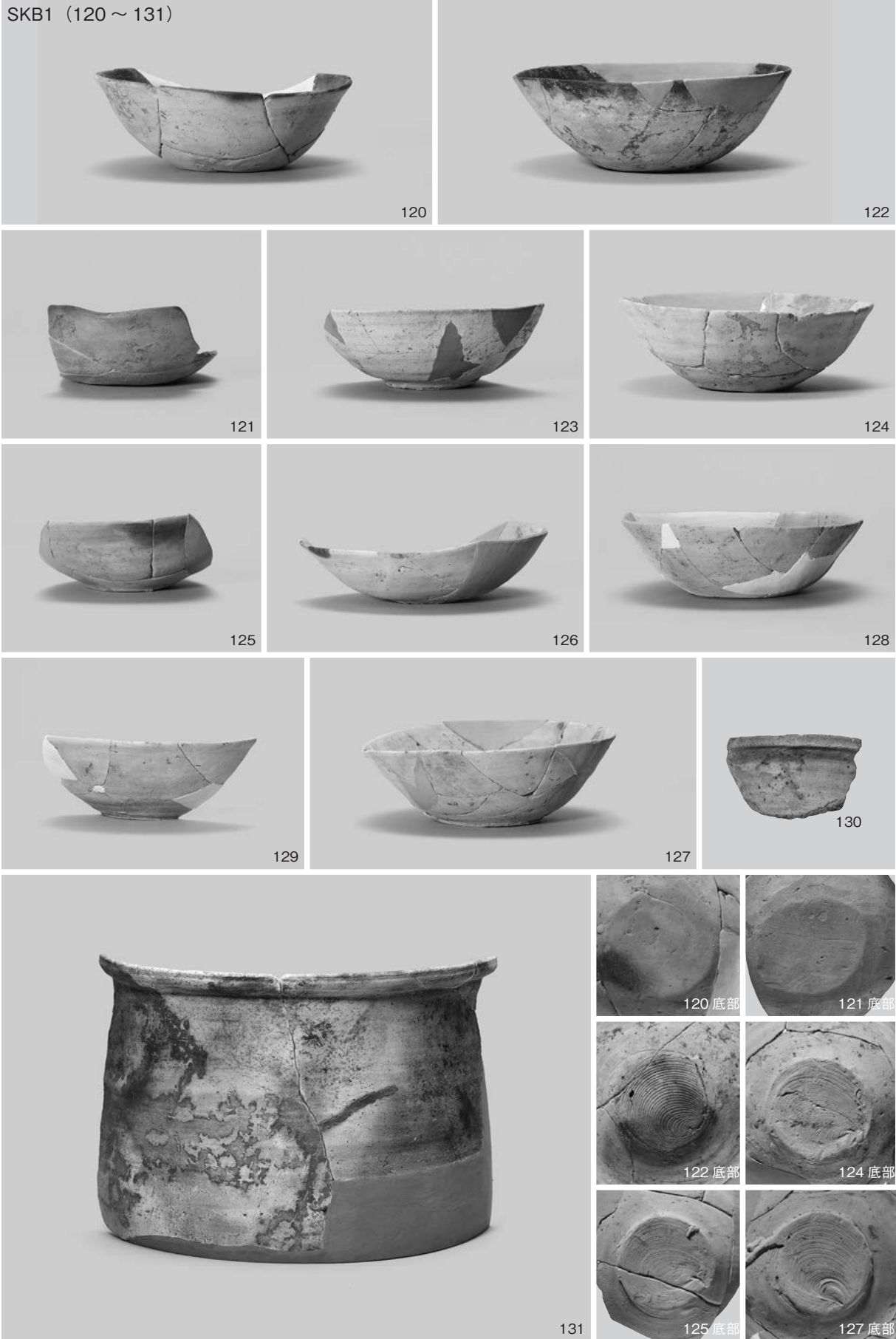
105

写真図版 107 土師器・須恵器 (6)



写真図版 108 土師器・須恵器 (7)

SKB1 (120 ~ 131)



写真図版 109 土師器・須恵器 (8)



写真図版 110 土師器・須恵器 (9)

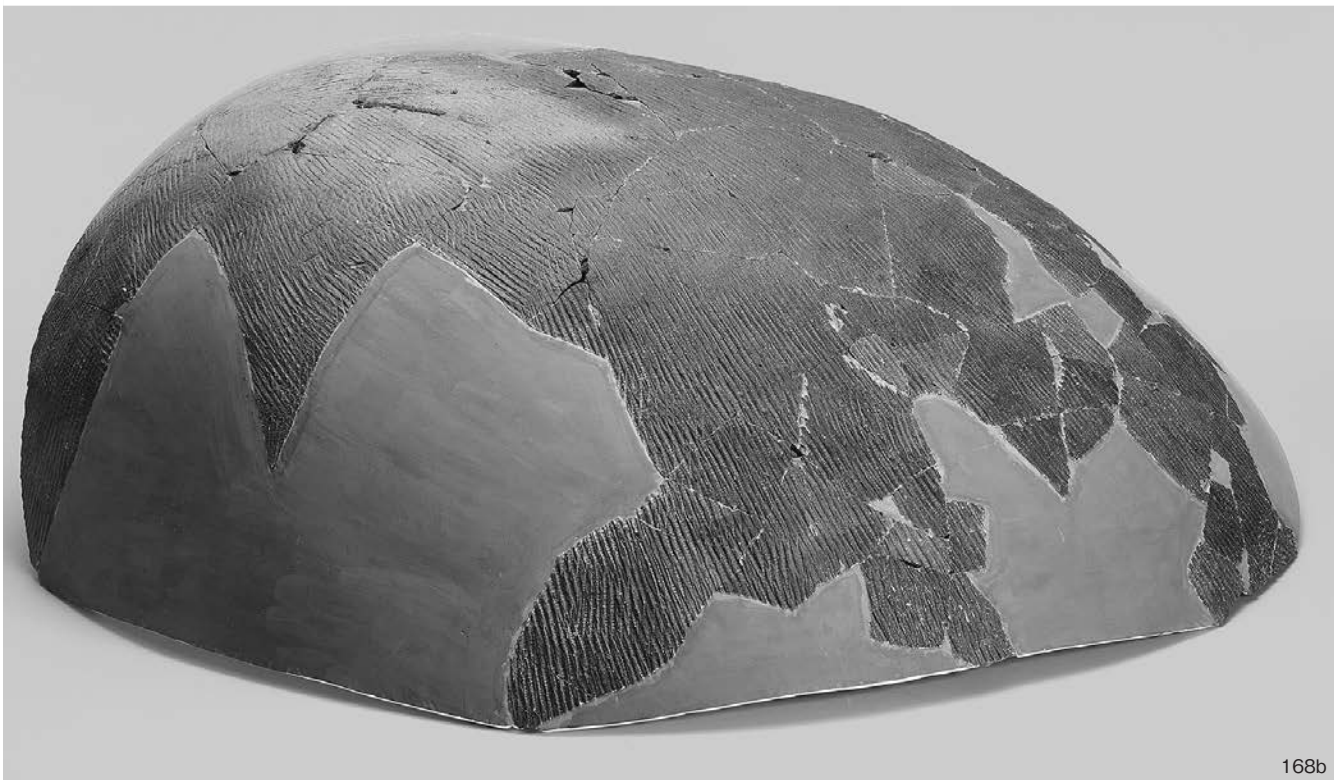


写真図版 111 土師器・須恵器 (10)

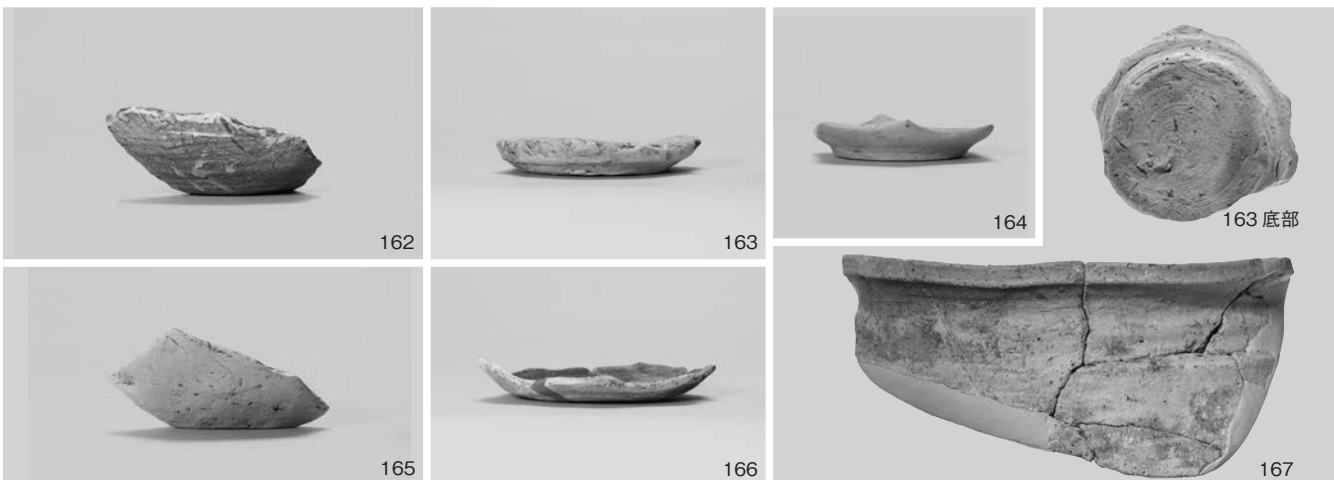
SXB1 (162 ~ 168)



168a

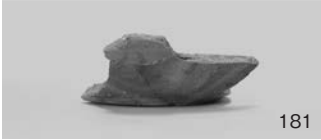


168b



写真図版 112 土師器・須恵器 (11)

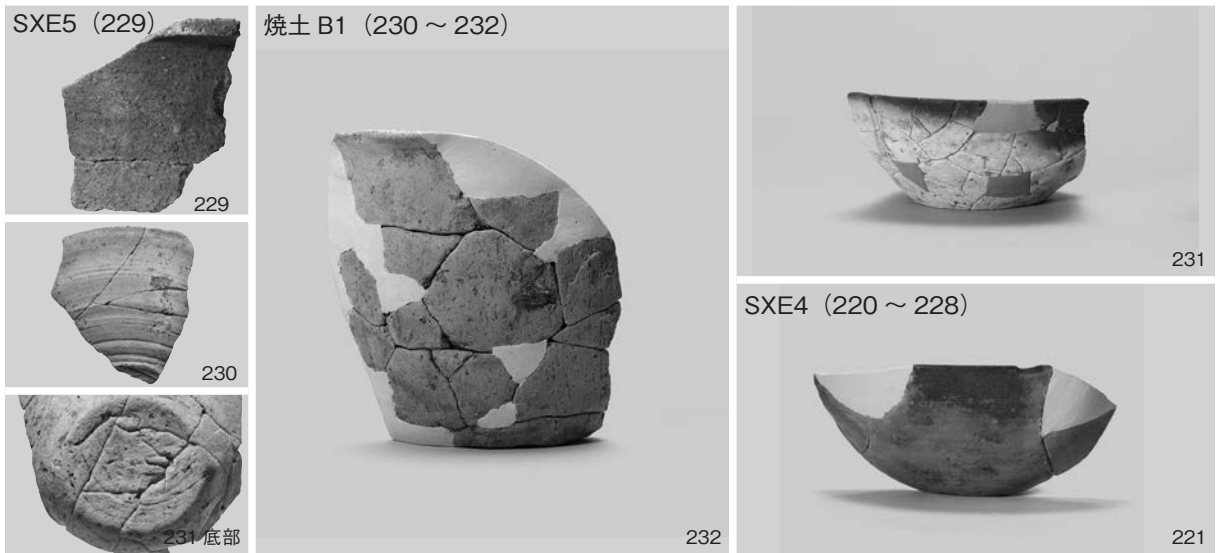
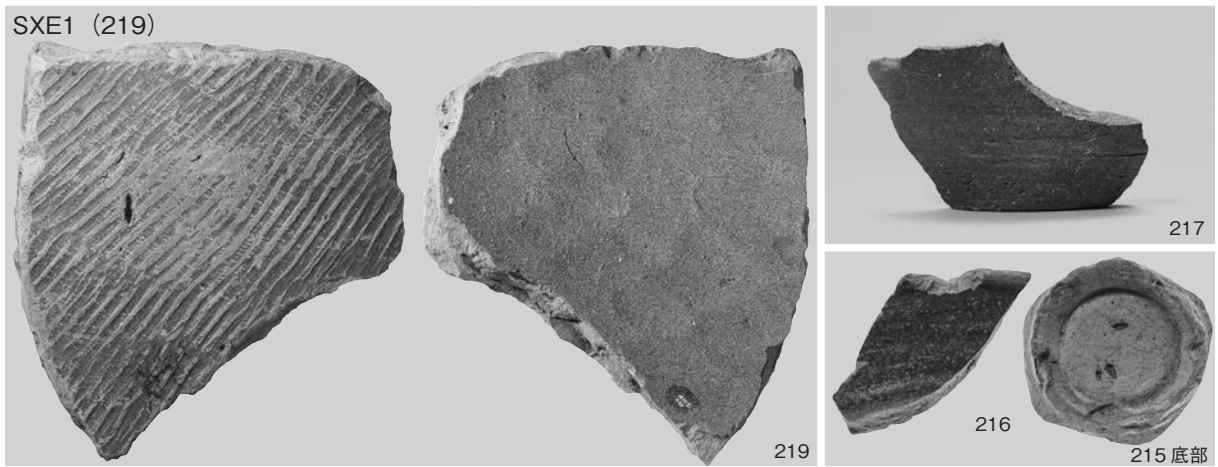
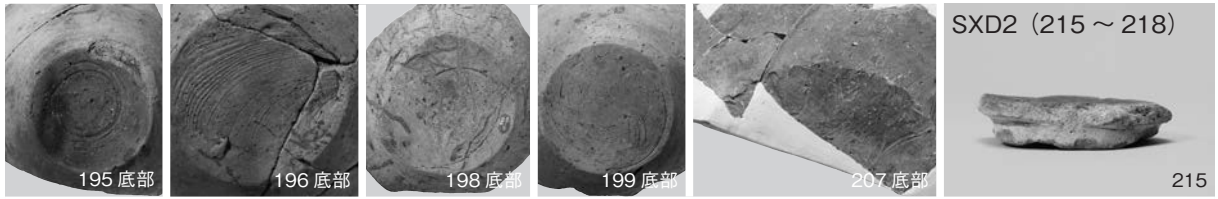
SXC2 (179 ~ 212)

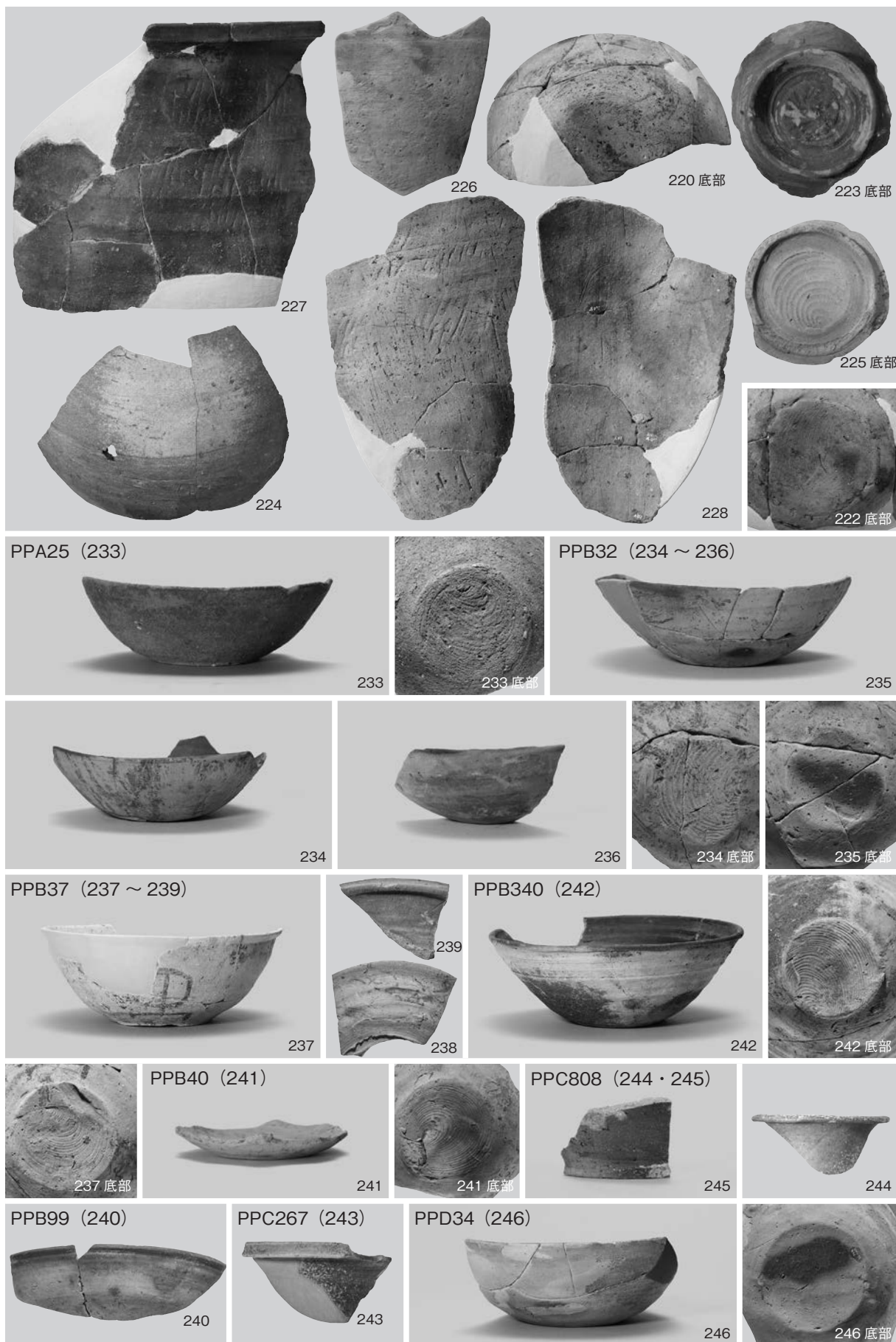


写真図版 113 土師器・須恵器 (12)



写真図版 114 土師器・須恵器 (13)



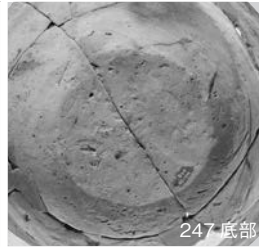


写真図版 116 土師器・須恵器 (15)

PPD111 (247・248)



247

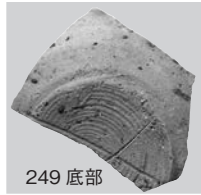


247 底部

PPE725 (249)



249

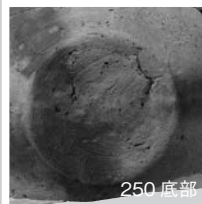


249 底部

PPE776 (250)



250

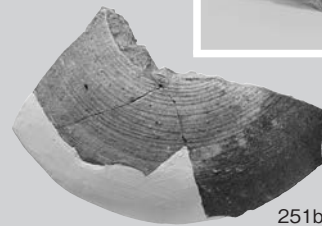


250 底部

PPE779 (251)



251a



251b



248

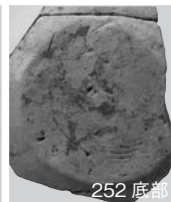
PPC790 (252・253)



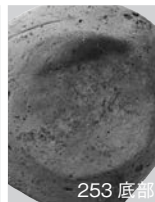
252



253



252 底部



253 底部

B区遺物集中2 (254～264)



258



256



255



254



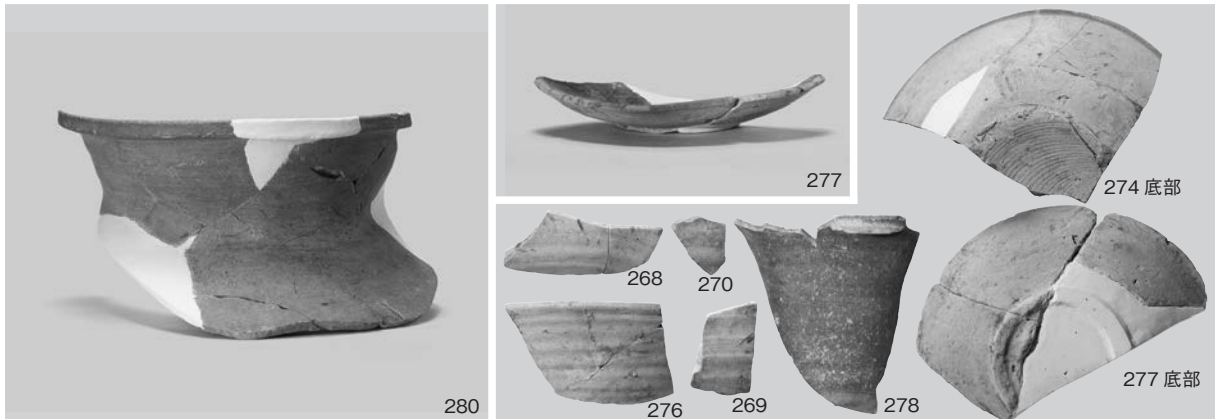
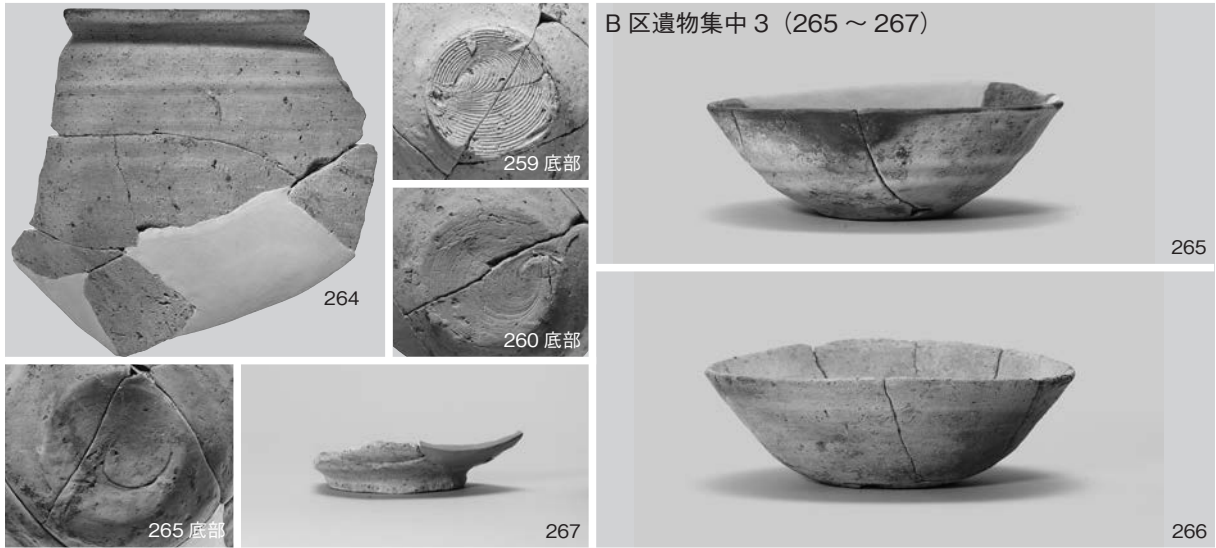
257



260



259



写真図版 118 土師器・須恵器 (17)



B区遺物集中 1-2 (281)

281

281 底部

B区遺物集中 1-3 (282~297)

282

283

284

290

287

288

292

291

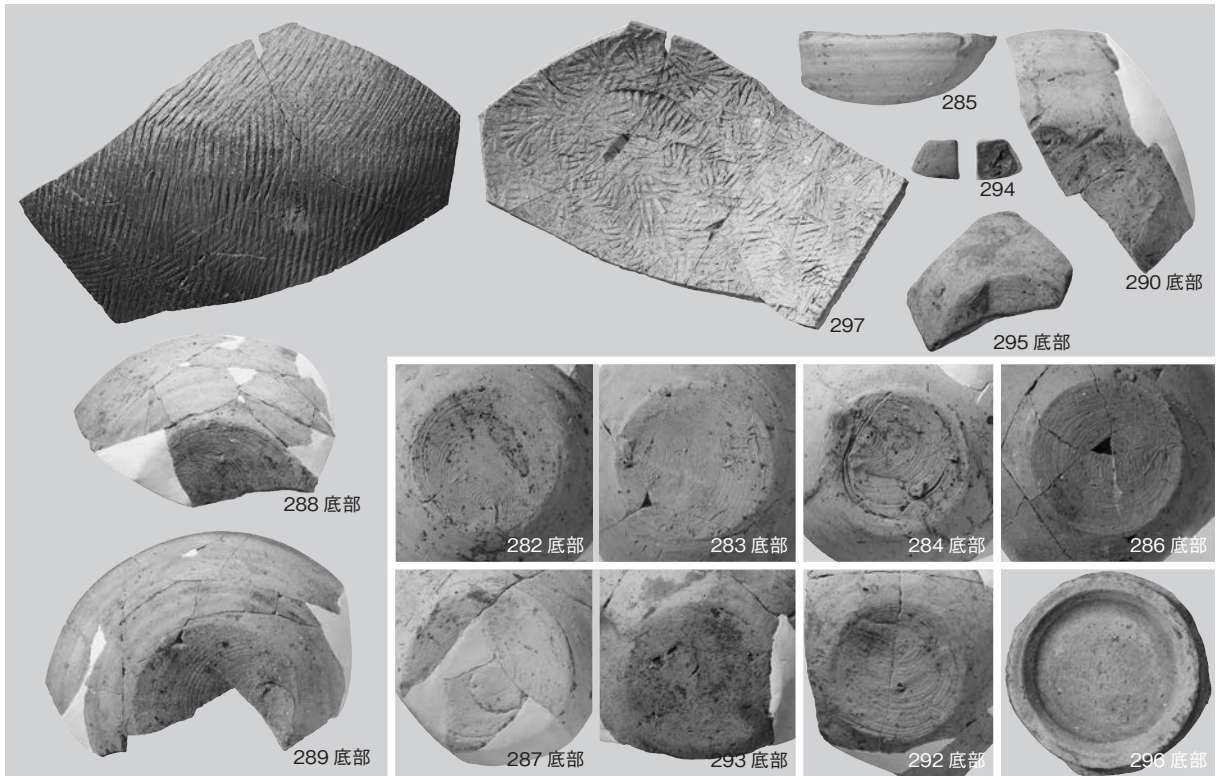
293

286

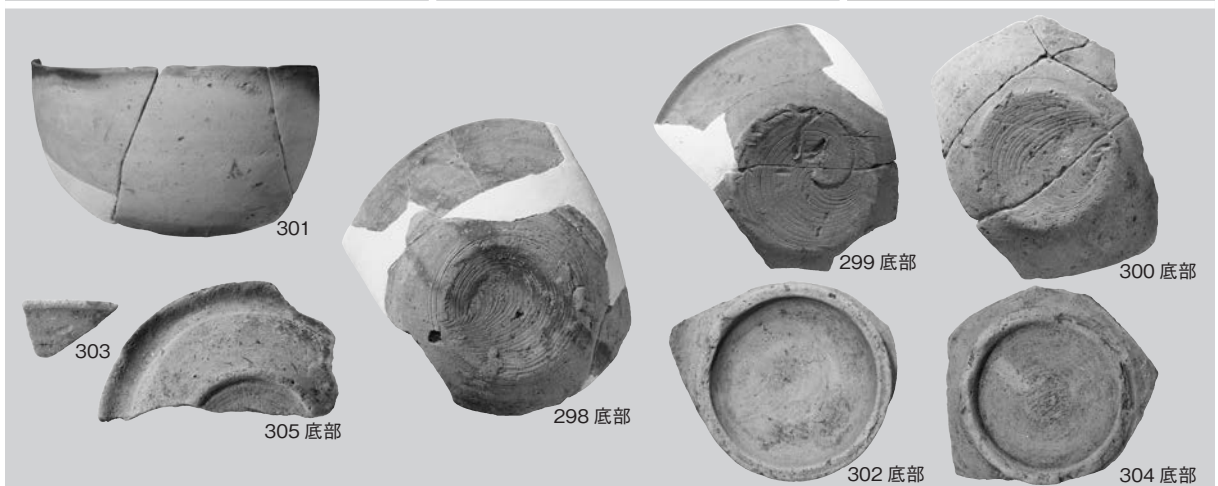
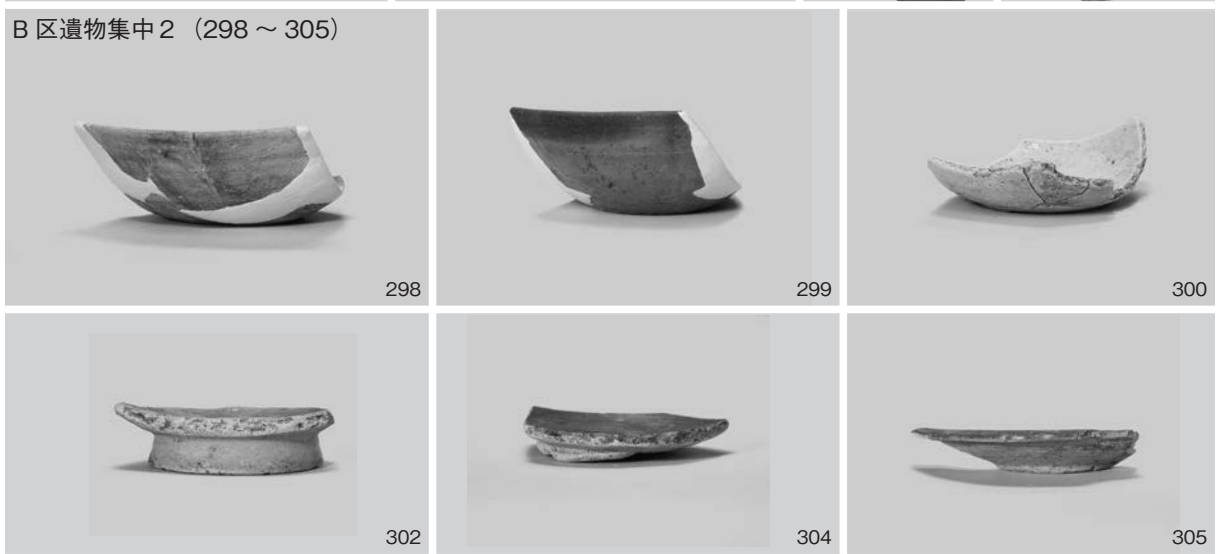
289

295

296

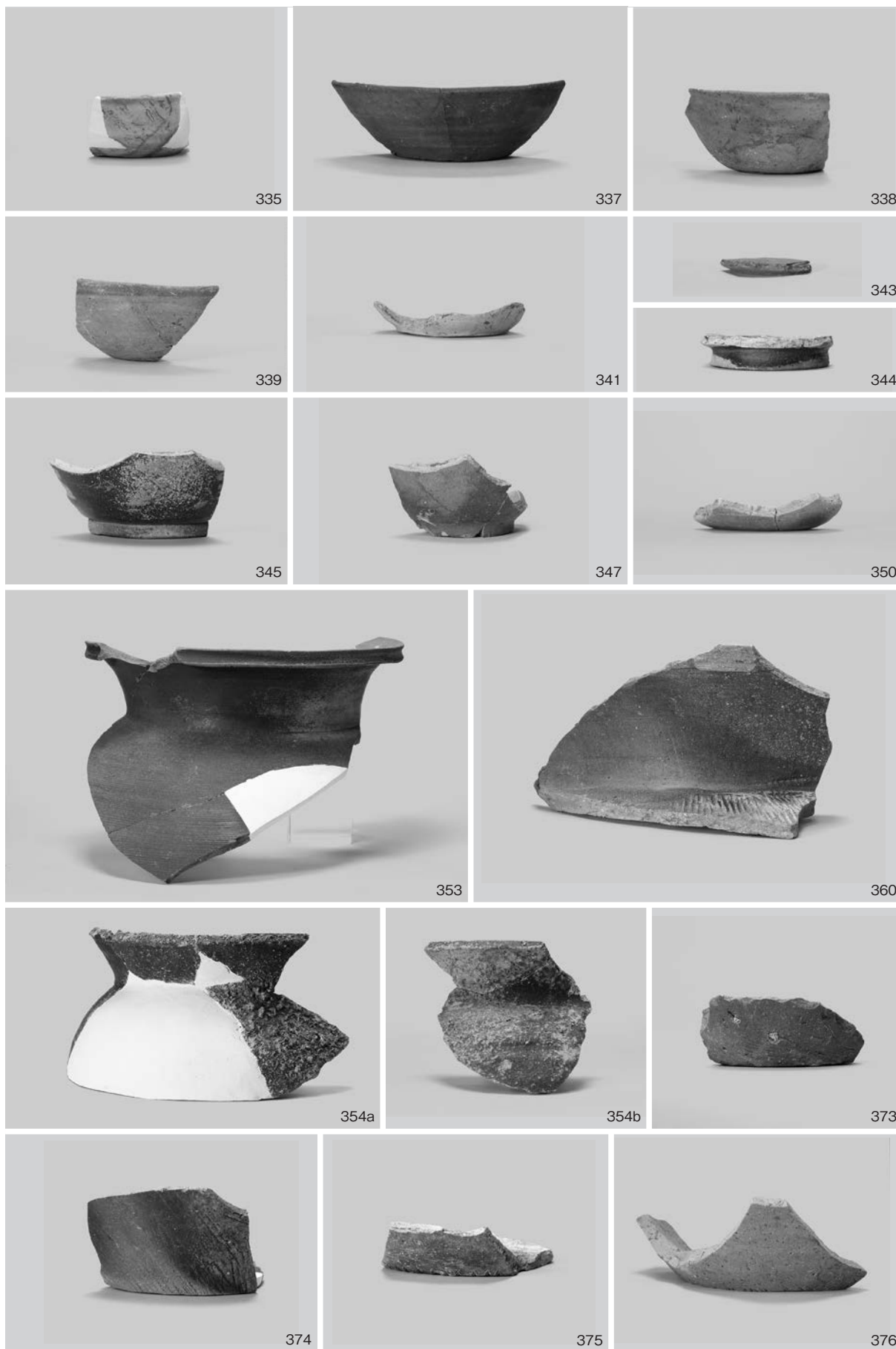


B 区遺物集中 2 (298 ~ 305)

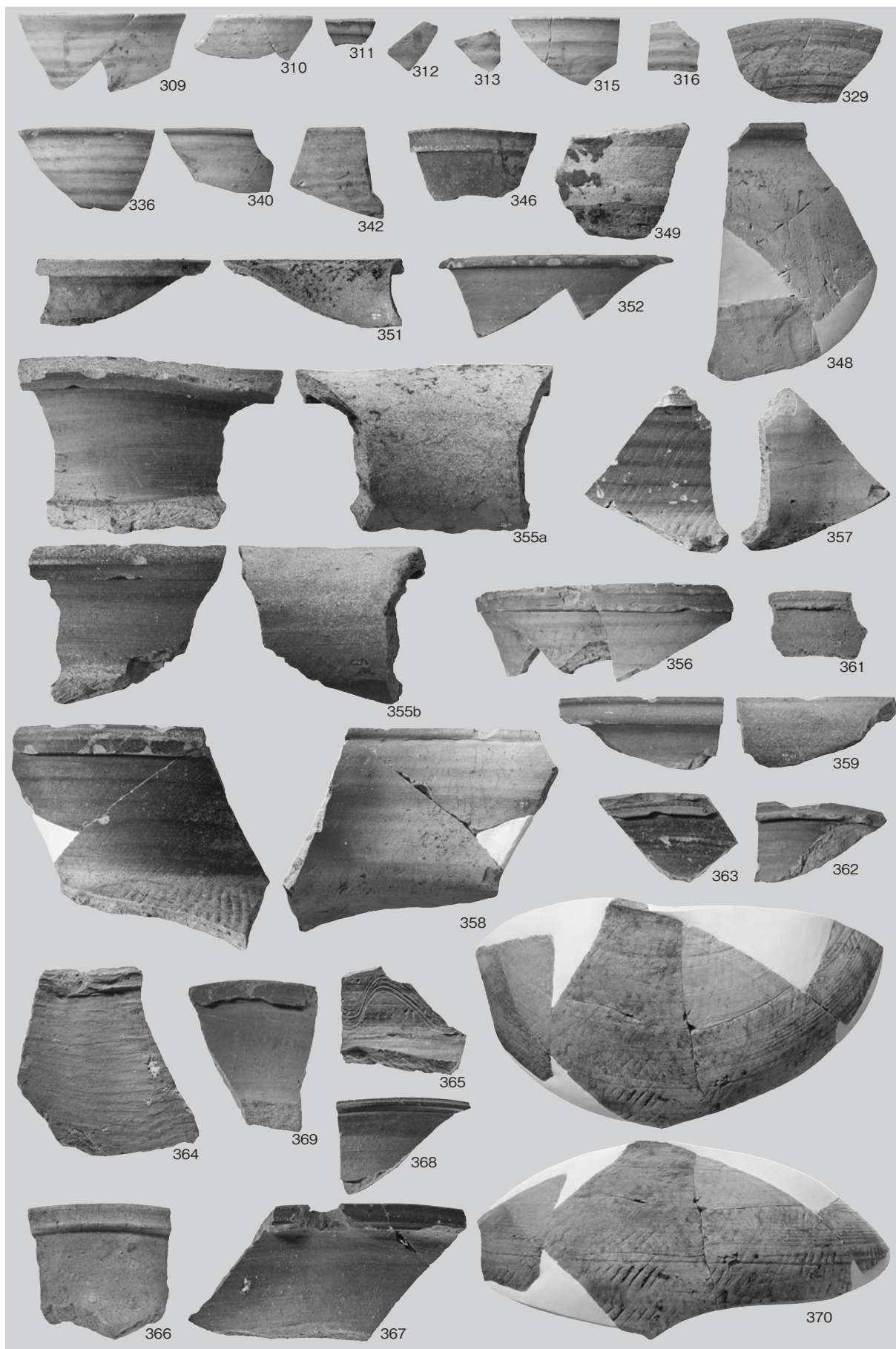


須恵器 (306 ~ 383)





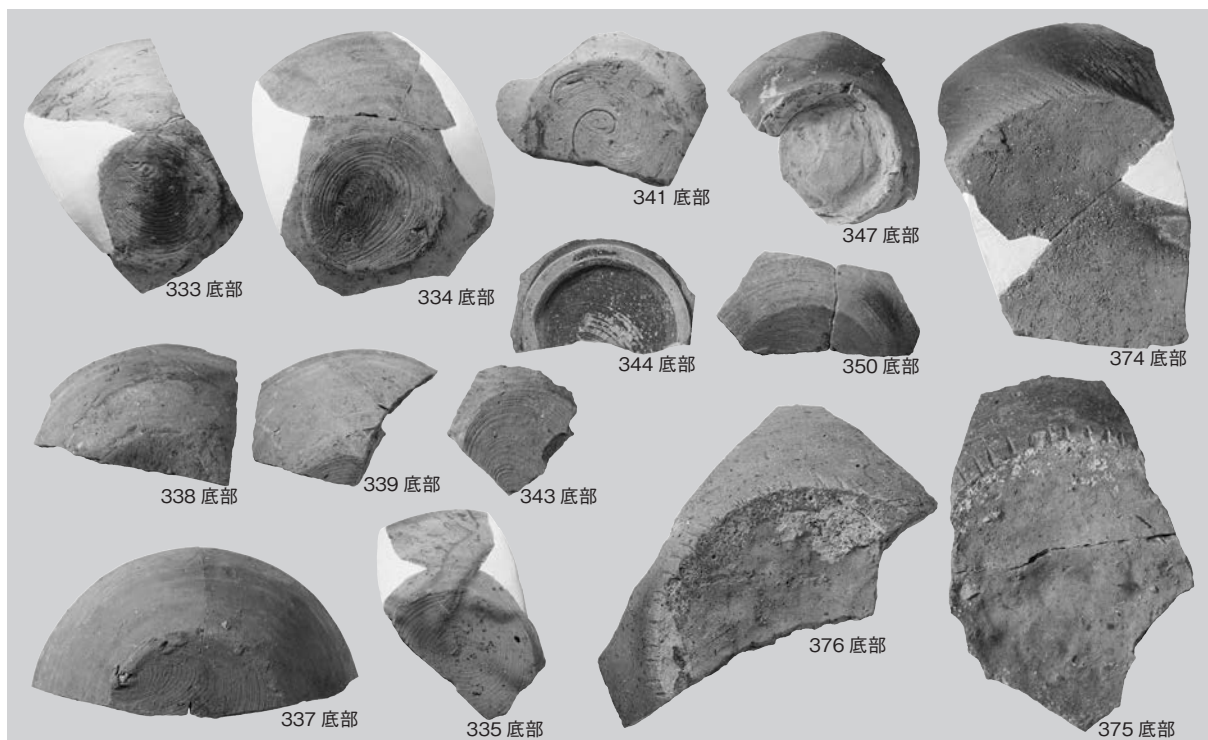
写真図版 122 土師器・須恵器 (21)



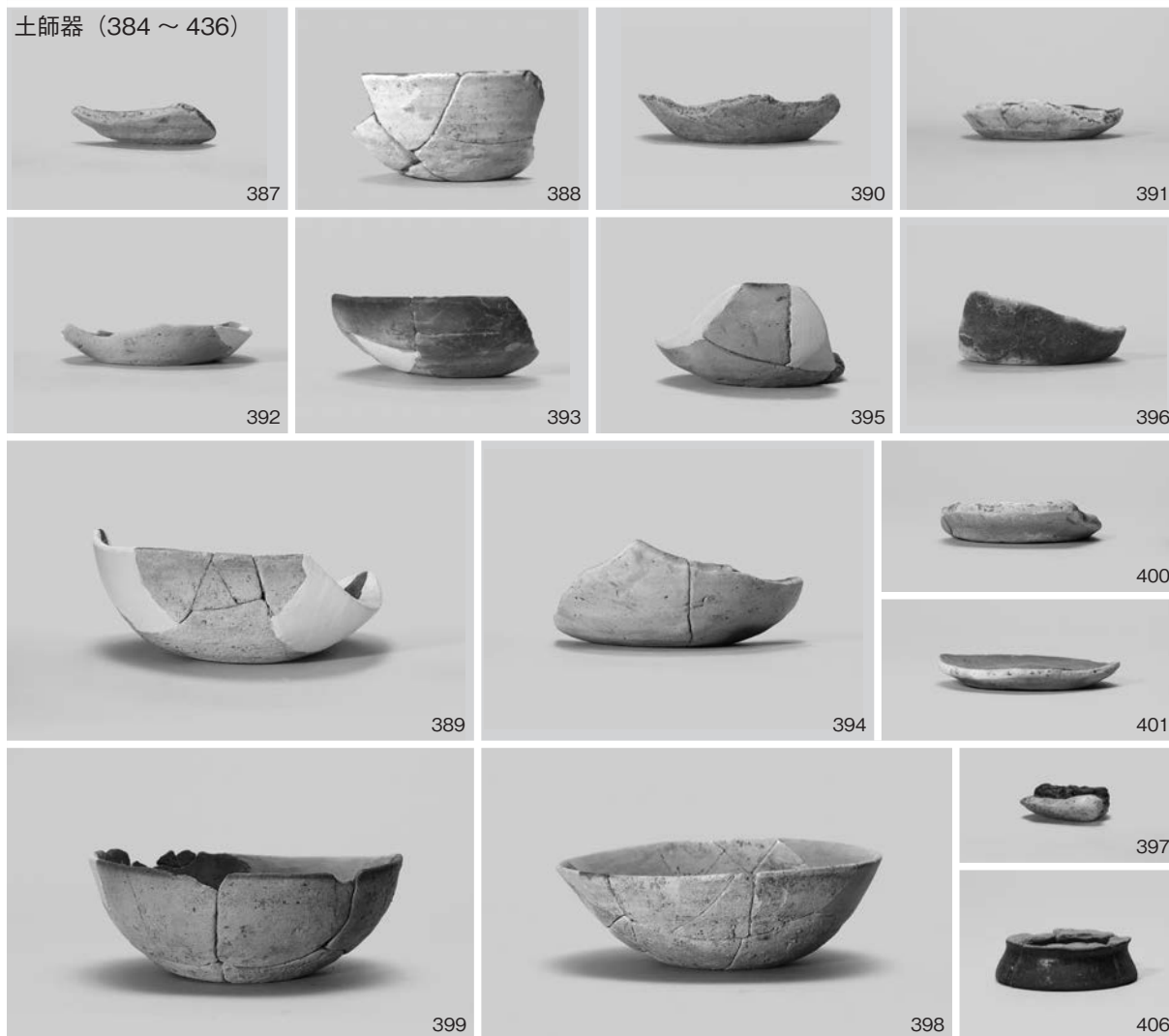
写真図版 123 土師器・須恵器 (22)

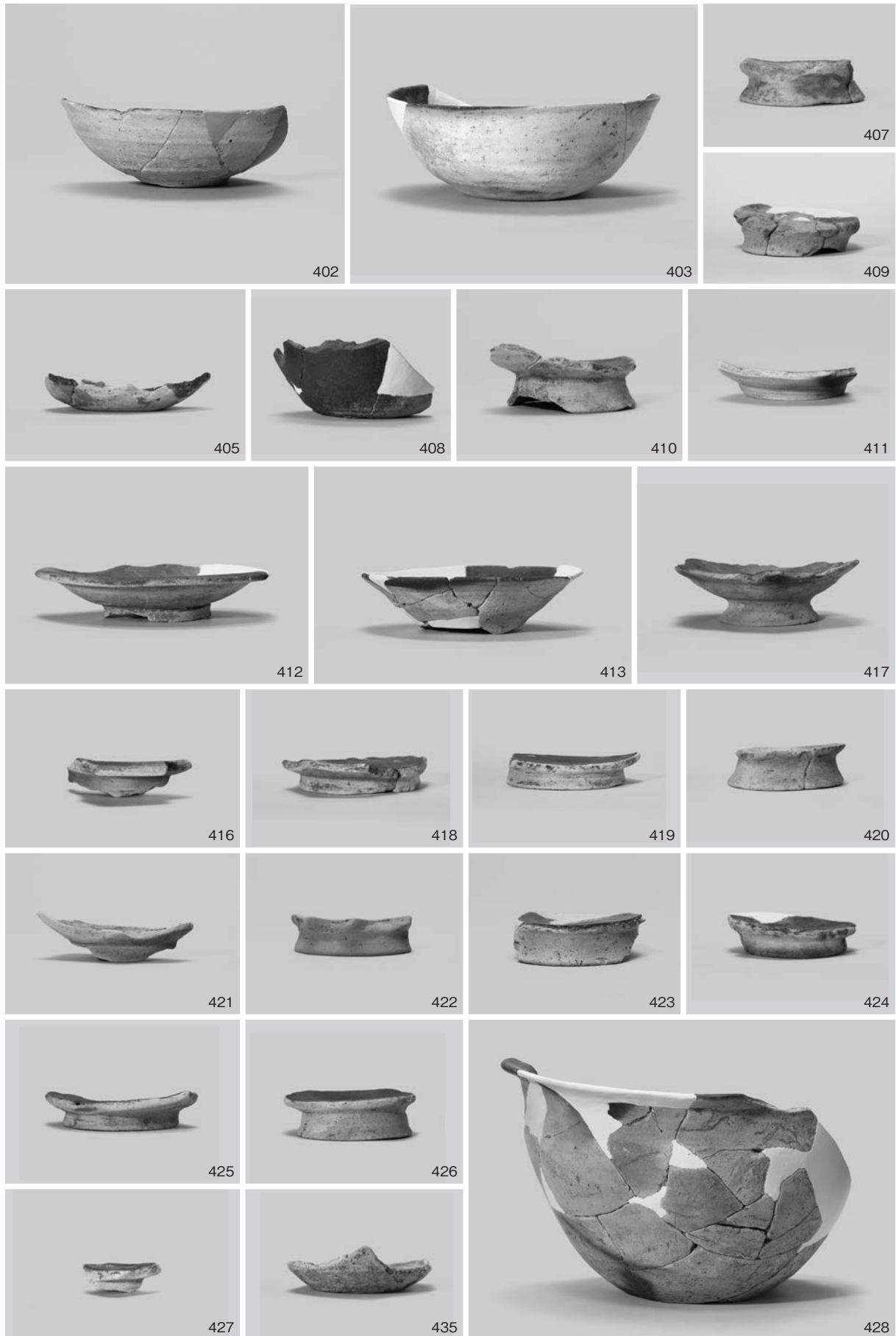


写真図版 124 土師器・須恵器 (23)

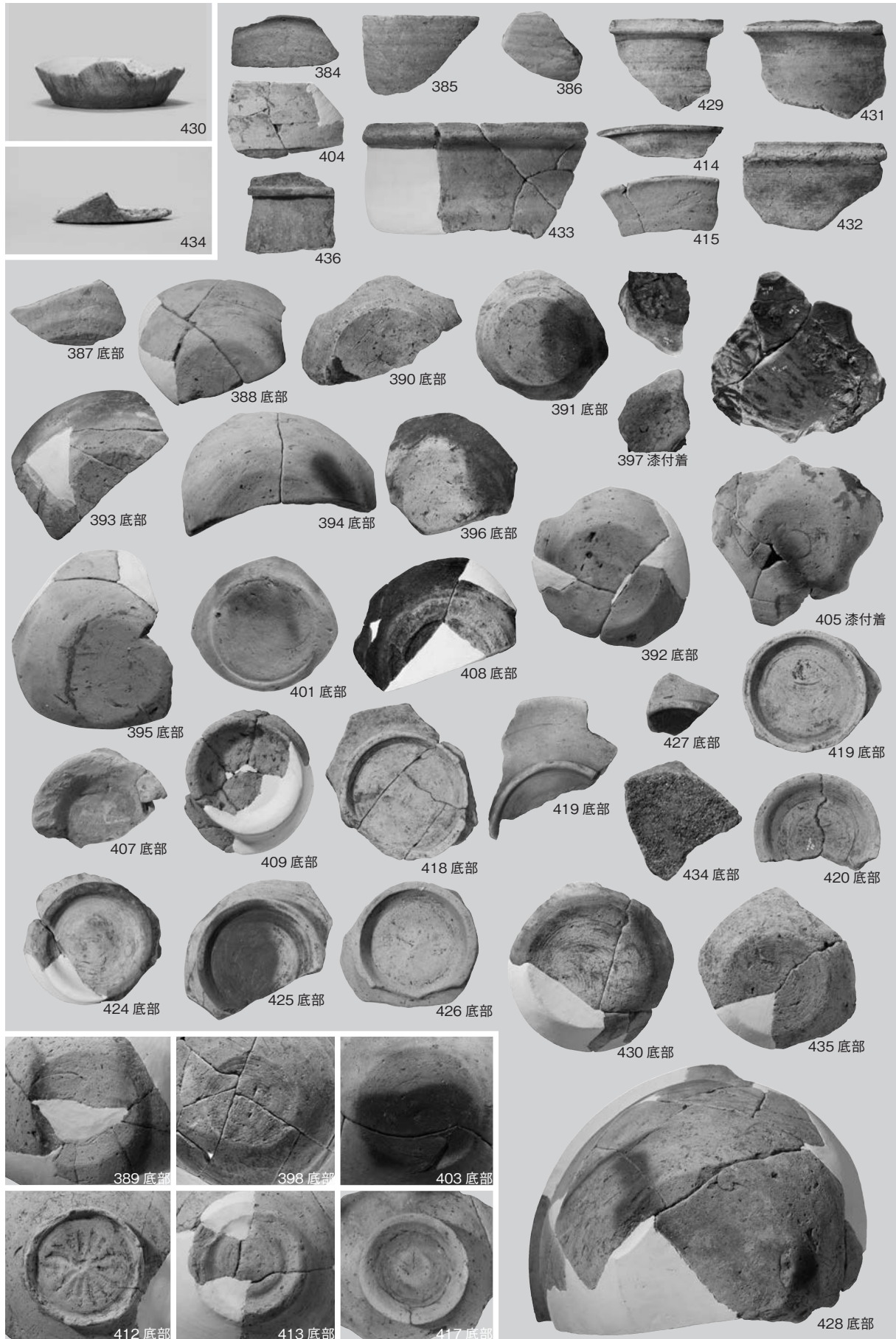


土師器 (384 ~ 436)



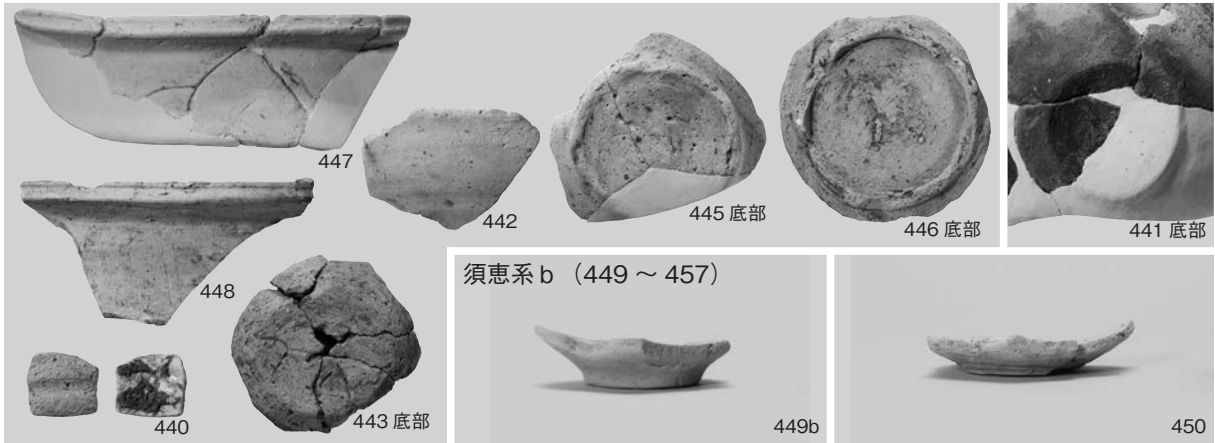


写真図版 126 土師器・須恵器 (25)

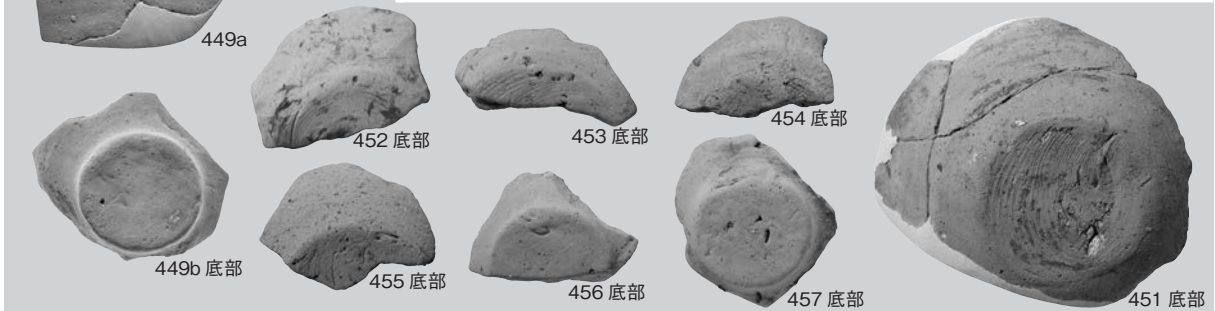


写真図版 127 土師器・須恵器 (26)

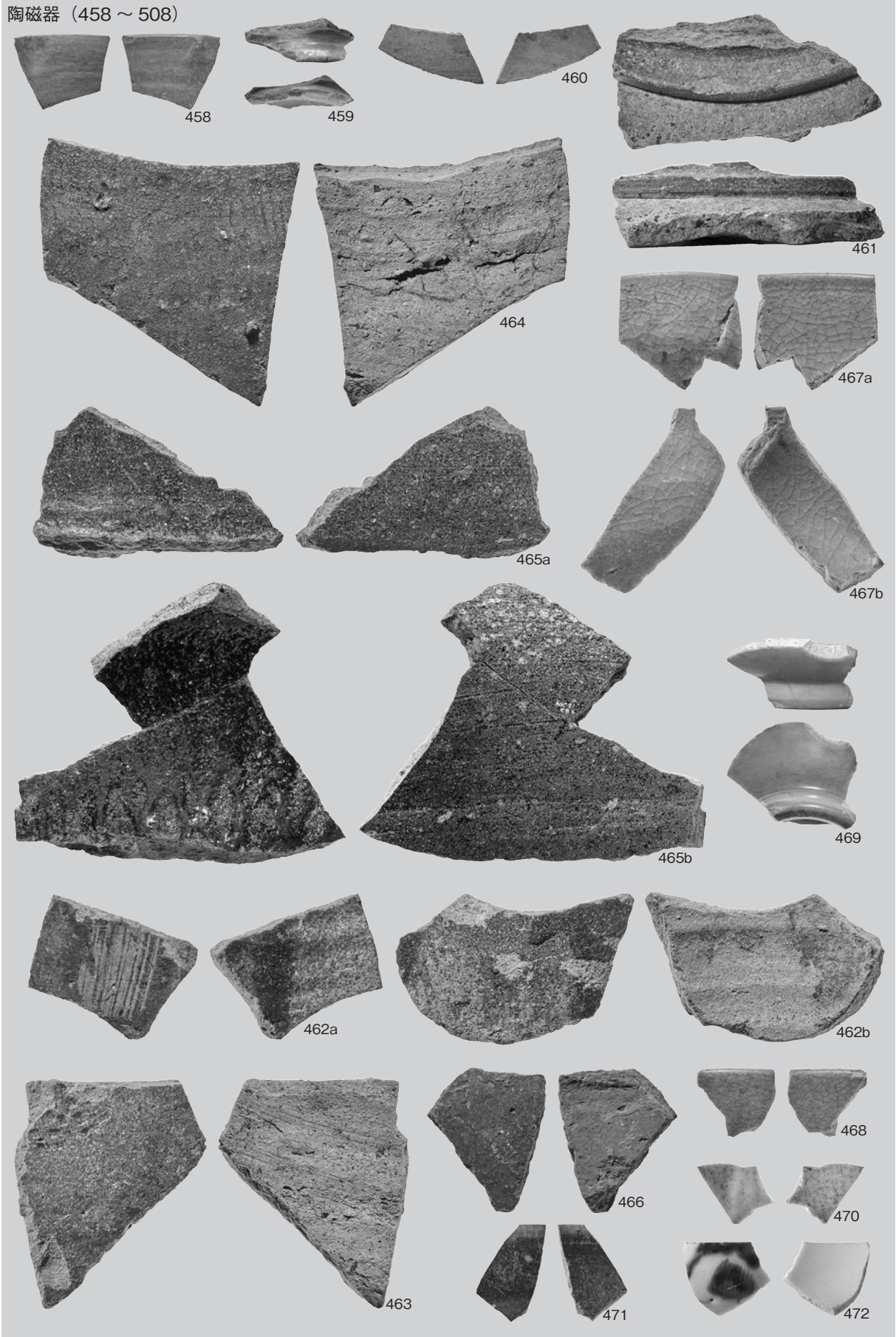
須恵系 a (437 ~ 448)



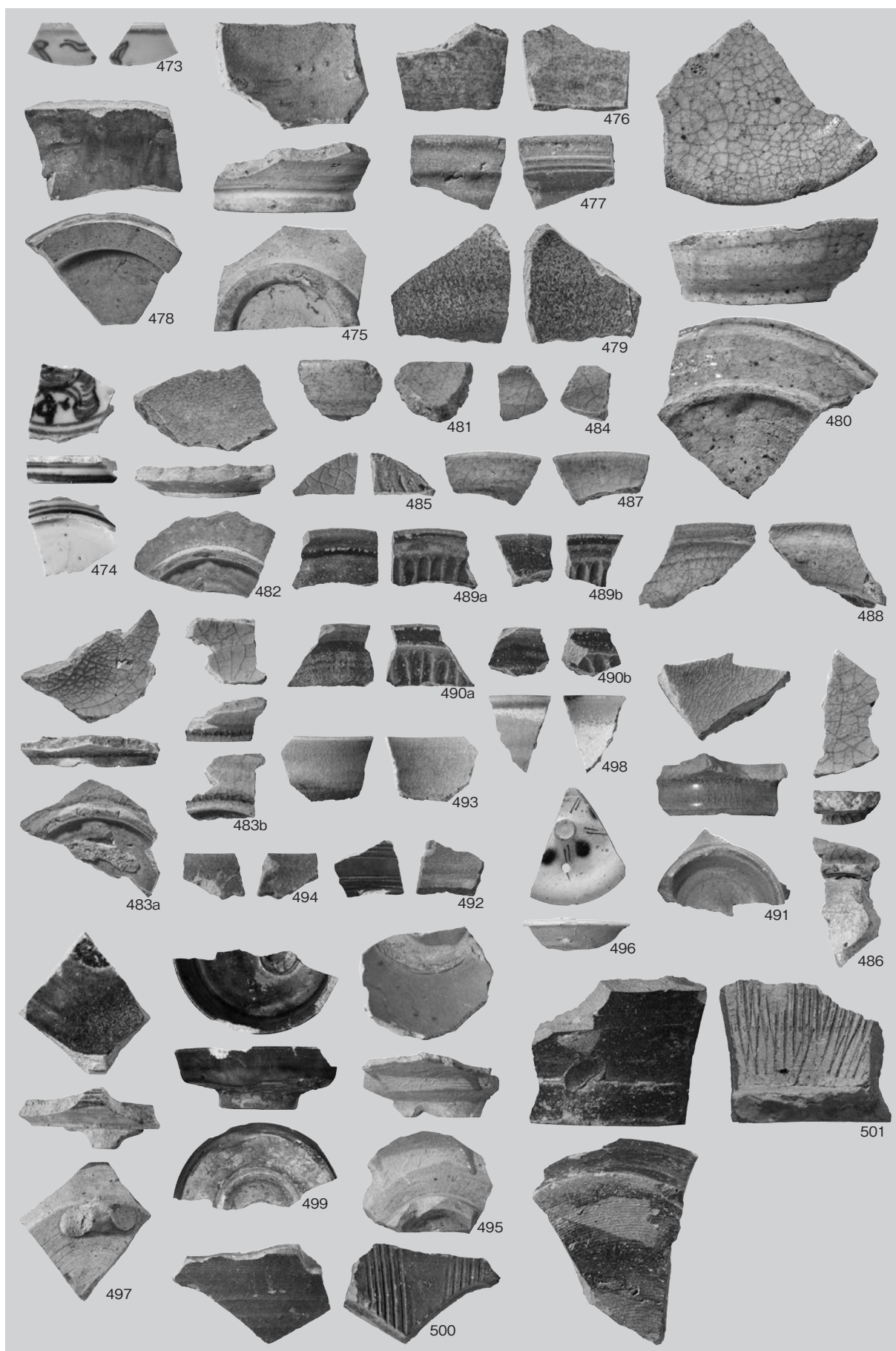
須恵系 b (449 ~ 457)



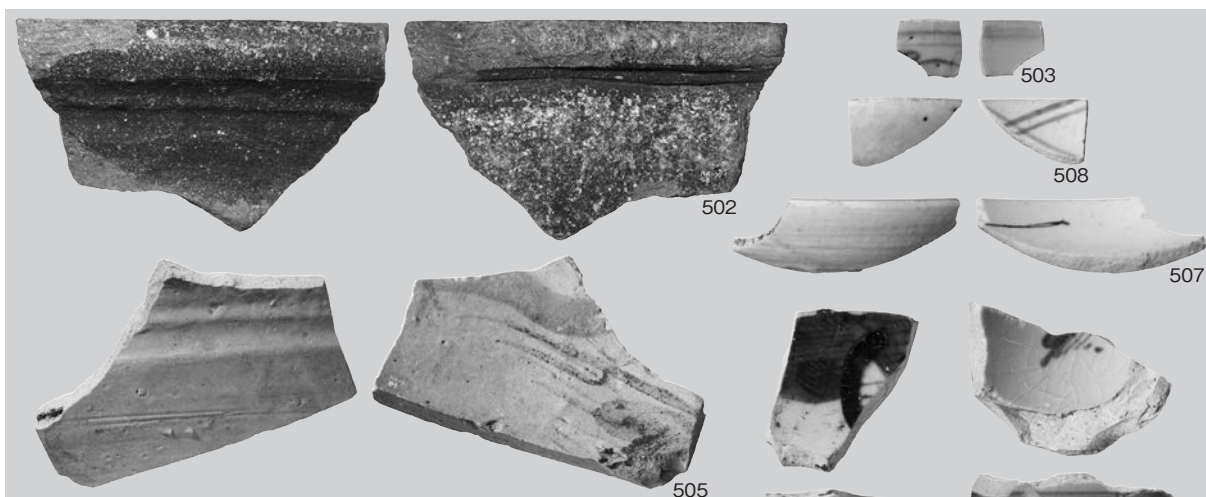
陶磁器 (458 ~ 508)



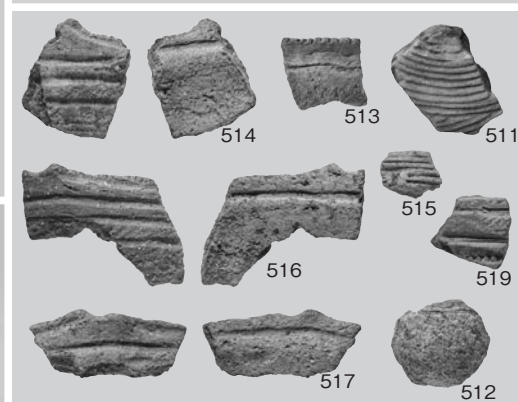
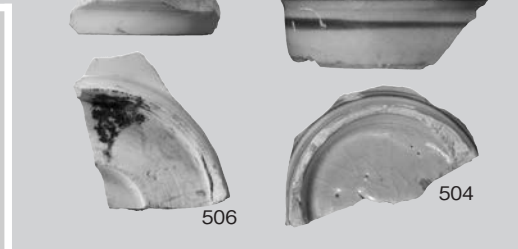
写真図版 129 陶磁器 (1)



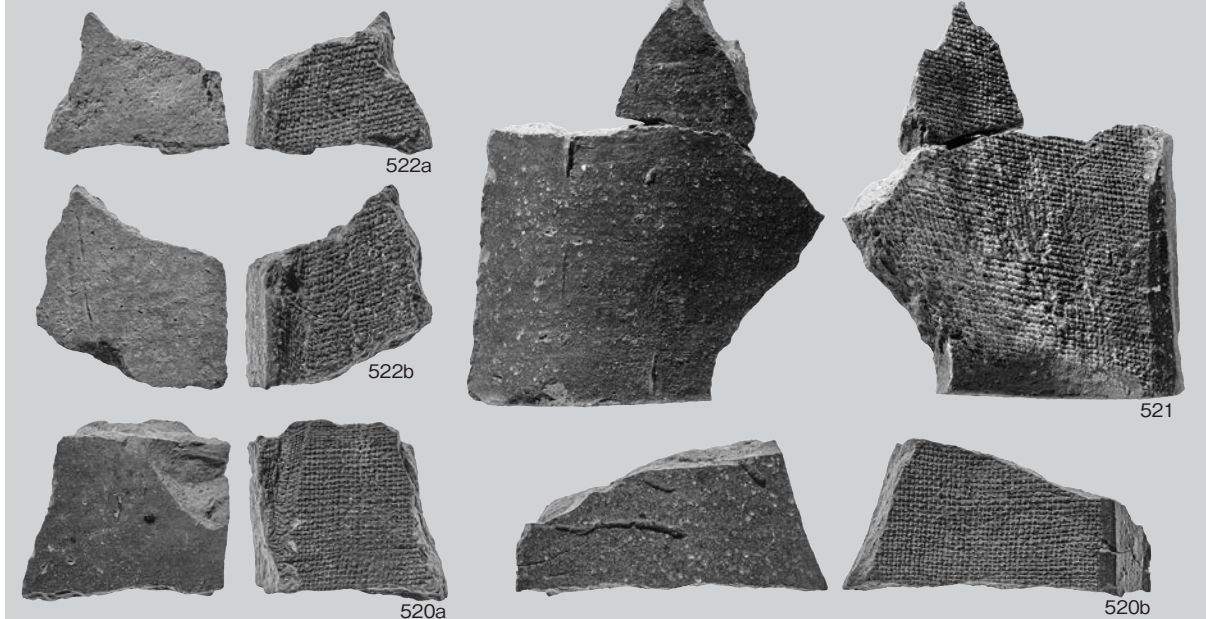
写真图版 130 陶磁器 (2)



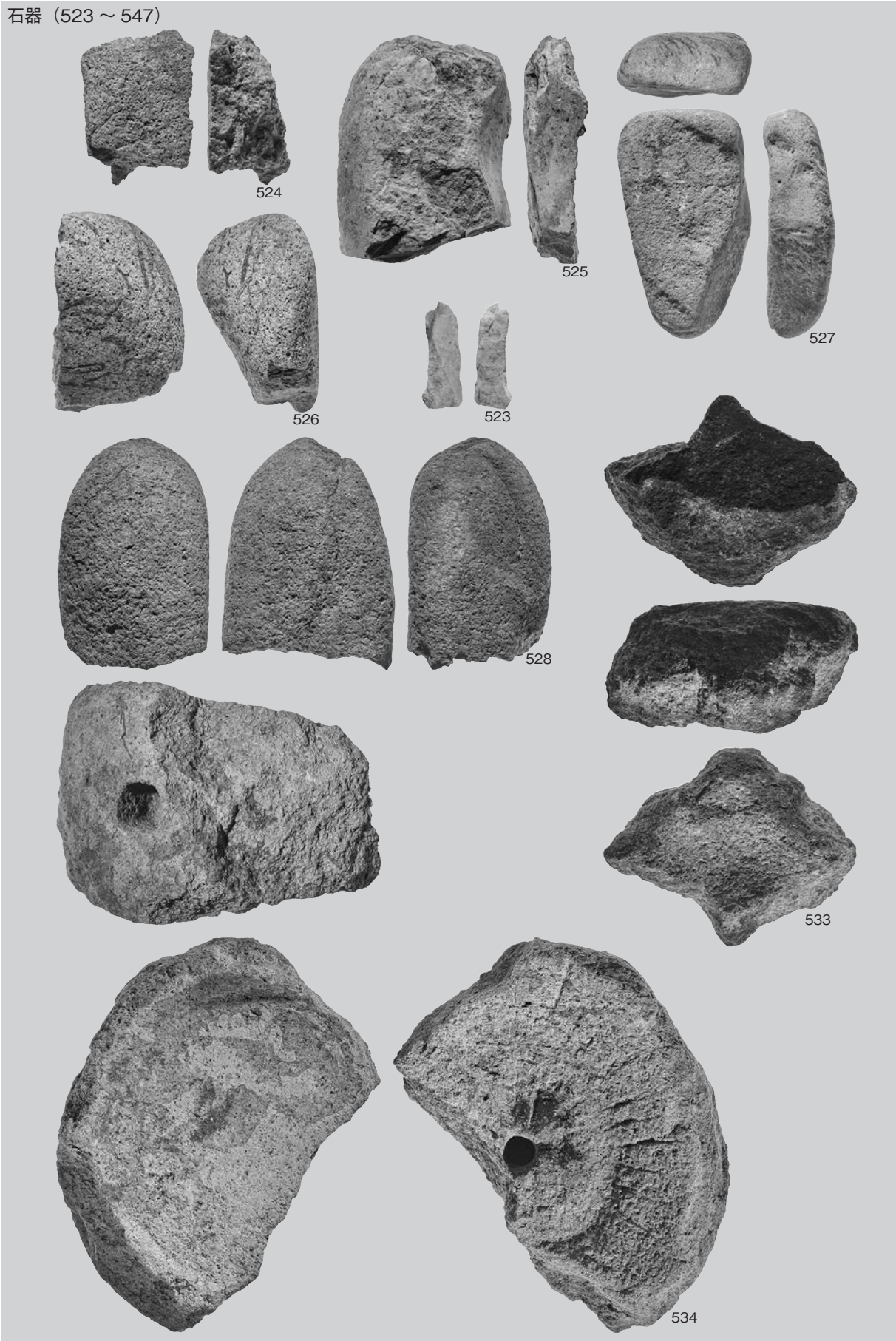
縄文土器 (509 ~ 519)



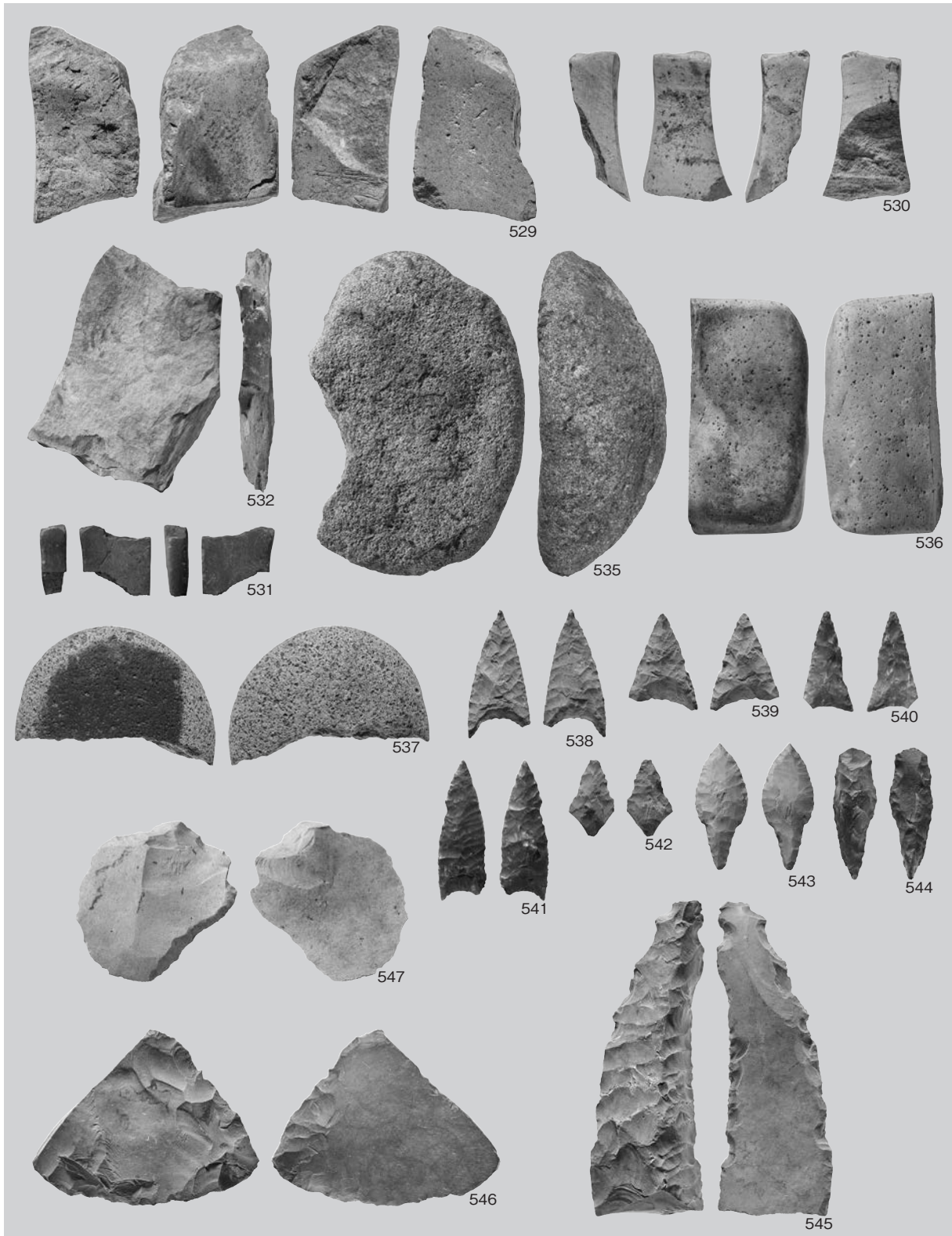
土製品 (520 ~ 522)



石器 (523 ~ 547)



写真図版 132 石器 (1)

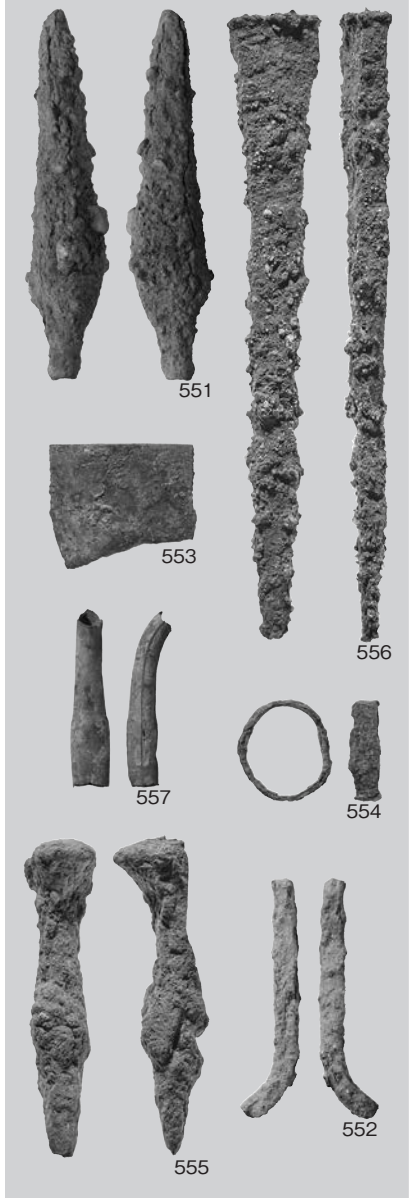


石製品 (548 ~ 550)

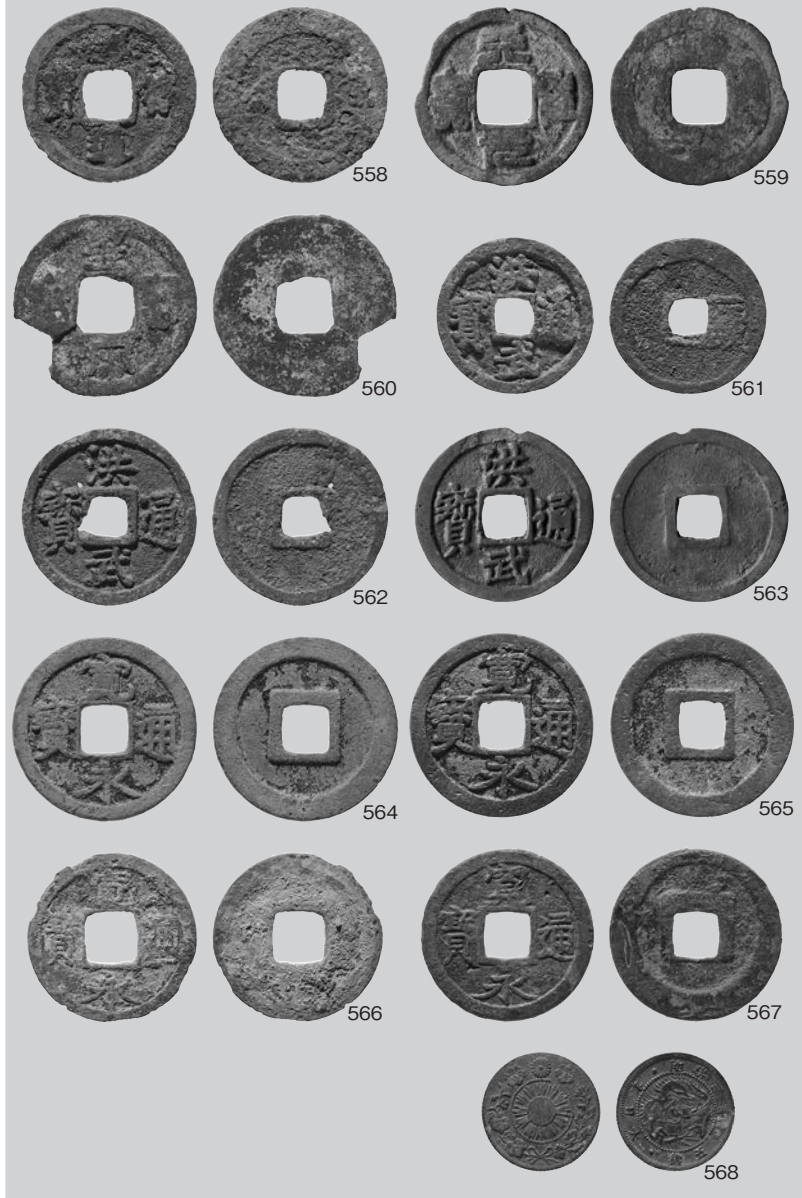




金属製品 (551 ~ 557)



銭貨 (558 ~ 568)



写真図版 134 石製品 (2)・金属製品・銭貨

平安時代の木質遺物 (569 ~ 583)



569

棒状木製品



579

樹皮



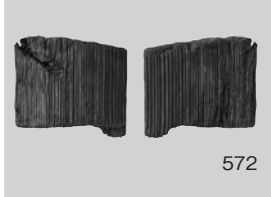
583

曲物側板



571

桶側板



572

下駄の一部か



573

農具の柄か



574

部材 (机の支脚か)



576

柄穴部分拡大

577

木錘



575

挟りのある板材



578

曲物底板か



581

中世の木質遺物 (584・585)

木簡 (塔婆一部か)



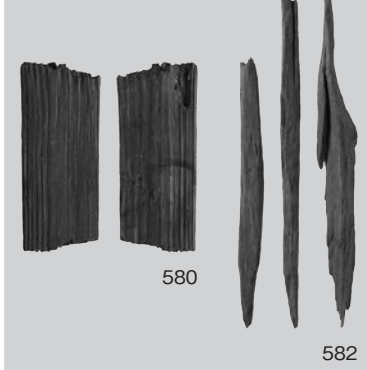
585

木簡 (笹塔婆)



584

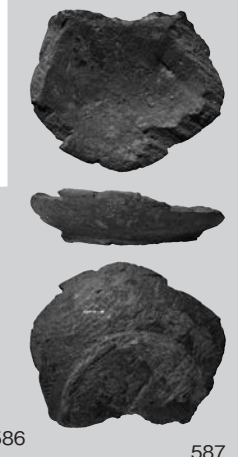
板状木製品



580

582

漆器椀



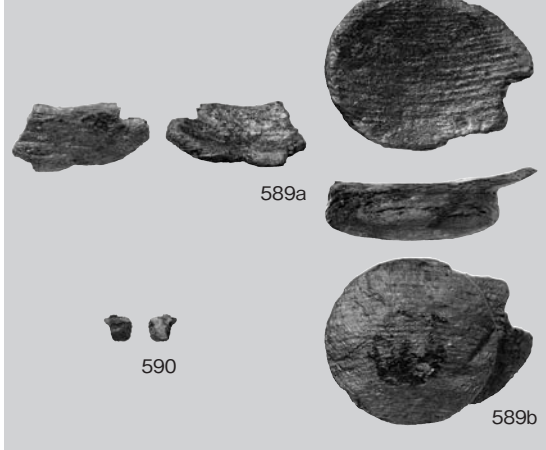
587



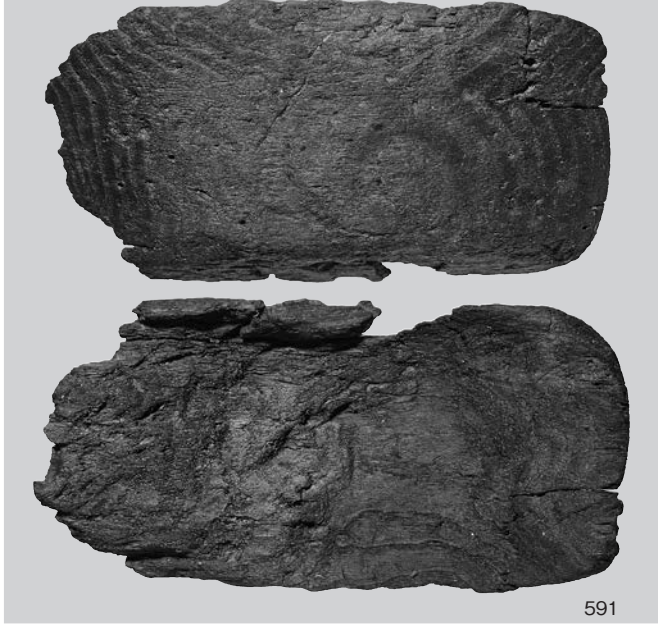
588

586

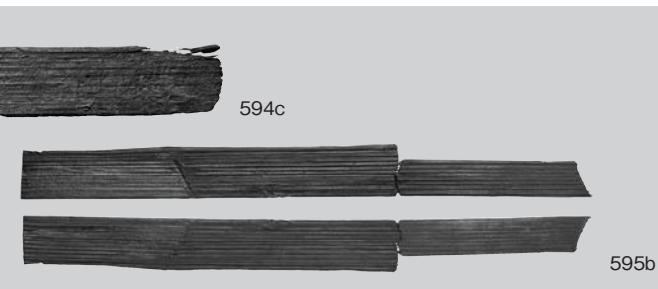
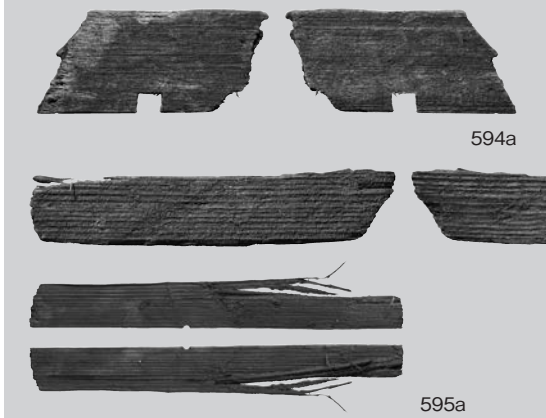
漆器椀



割物



曲物側板



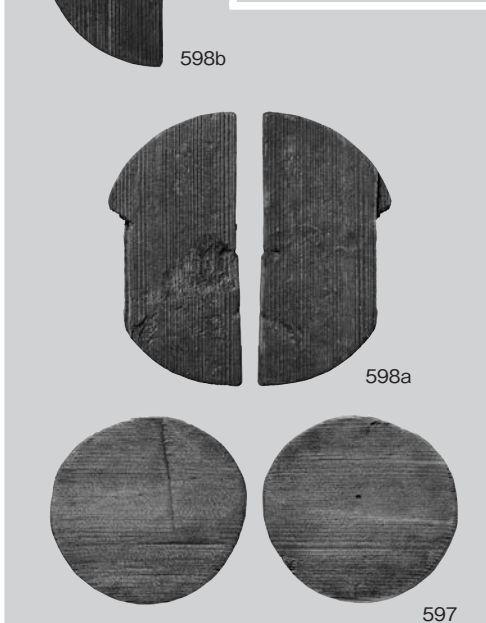
曲物側板



曲物底板



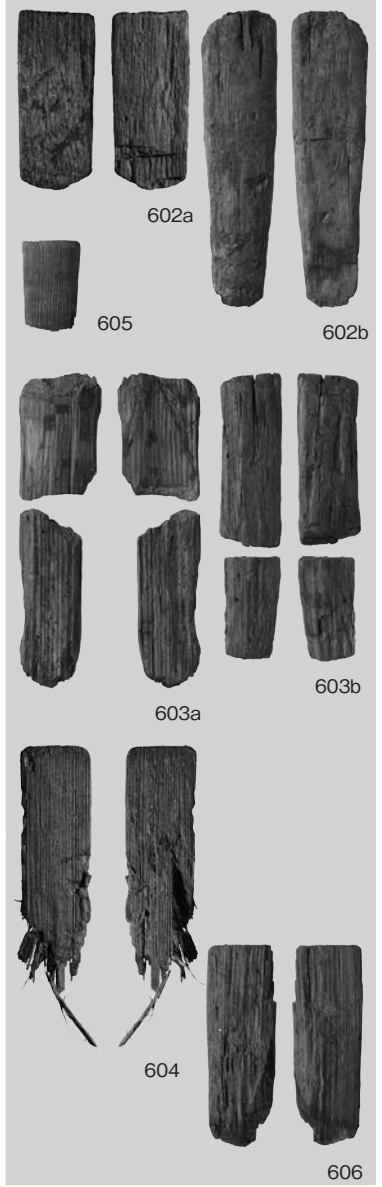
曲物側板



曲物底板



桶側板か



杓子



板状木製品



木栓



篋か



連齒下駄



写真図版 137 木質遺物 (3)

連歯下駄



611



614



612



616



613



615

木錘



622

車輪か



618

荷札か



619

農具の柄か



621



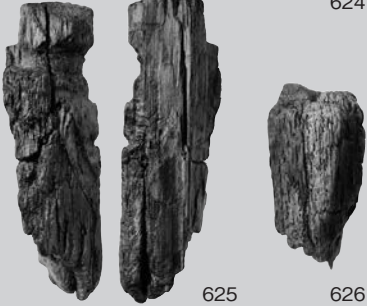
623

写真図版 138 木質遺物 (4)

木錘



624



625

626



627



628



629

折敷



617 上面



617

鋤先



620

写真図版 139 木質遺物 (5)

樹皮製籠



630

竹製品の一部



633

弓か



632

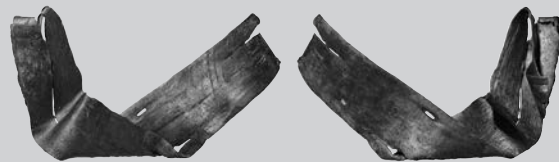
樹皮



635



631



634

板状木製品



636a



636b



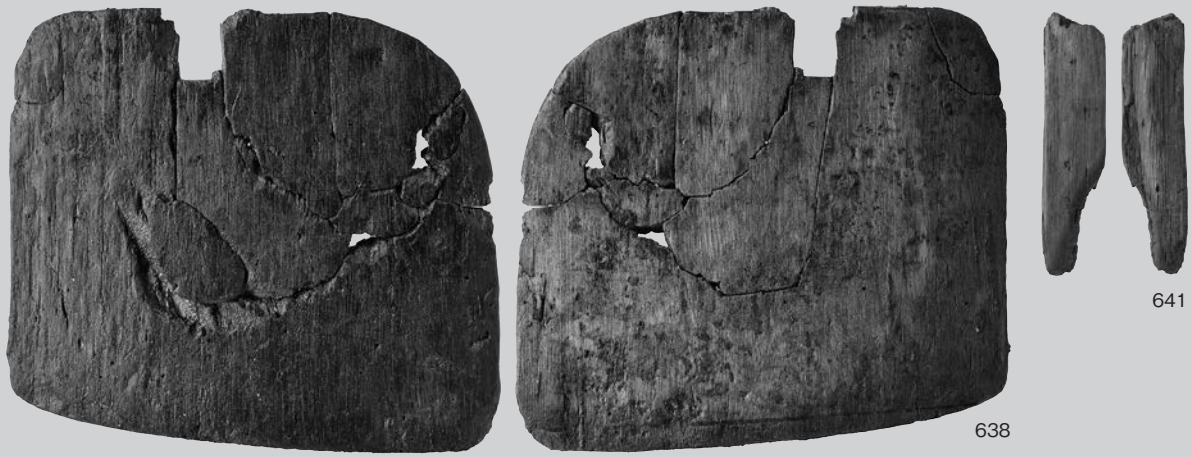
637



639

写真図版 140 木質遺物 (6)

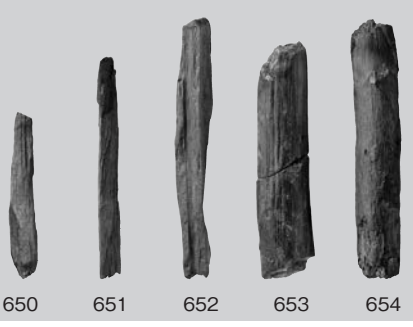
板状木製品



刀形か



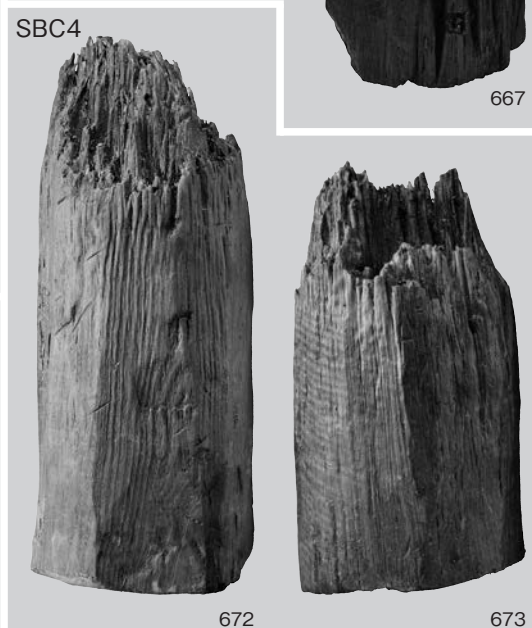
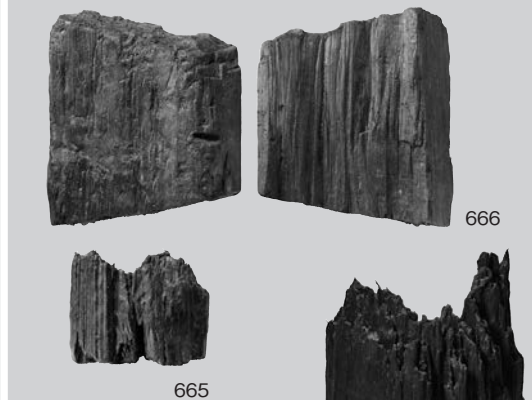
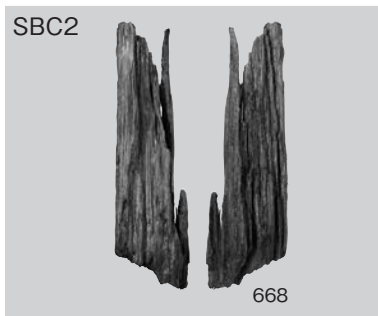
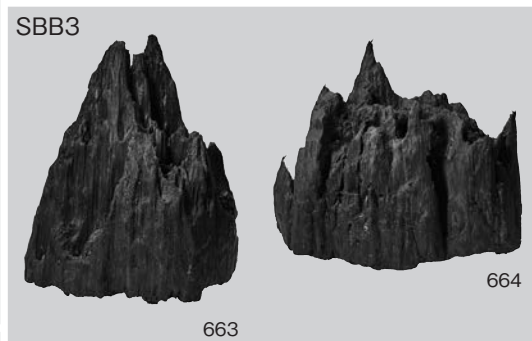
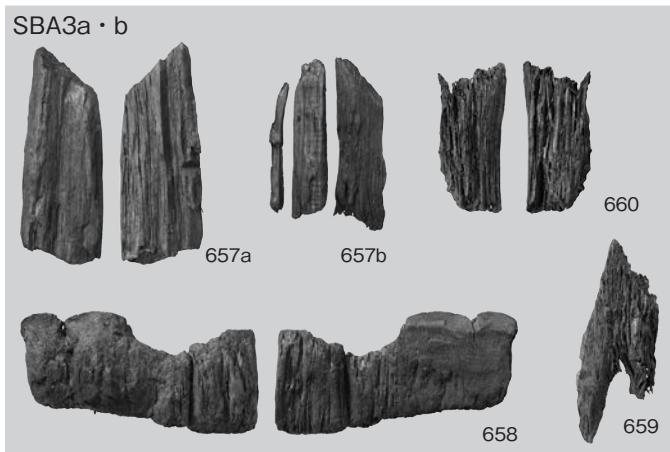
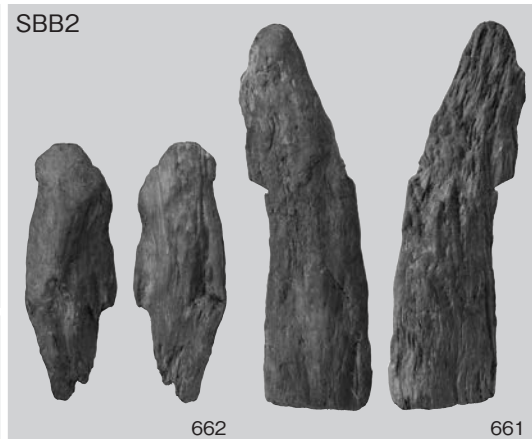
付け木



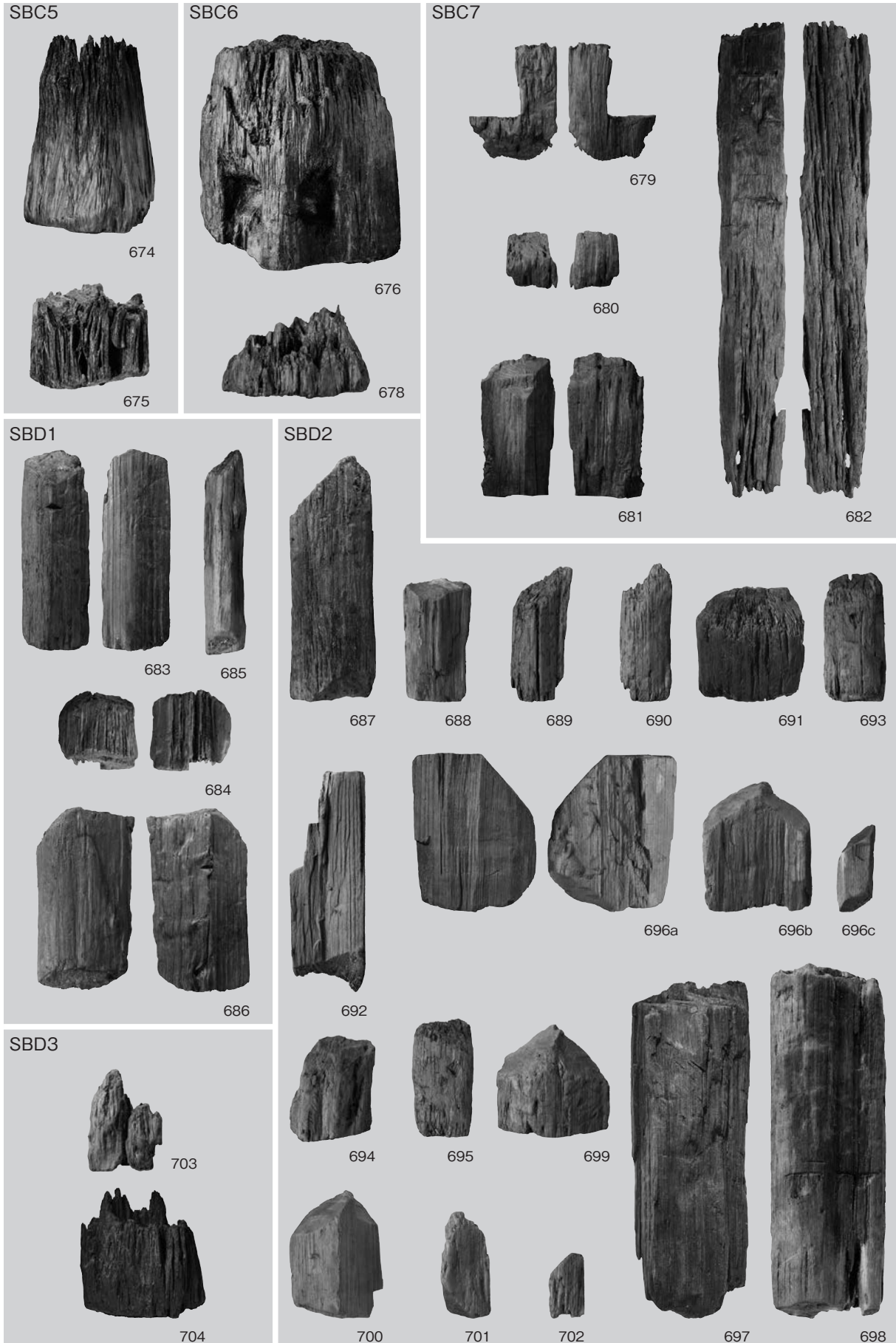
差歯下駄か



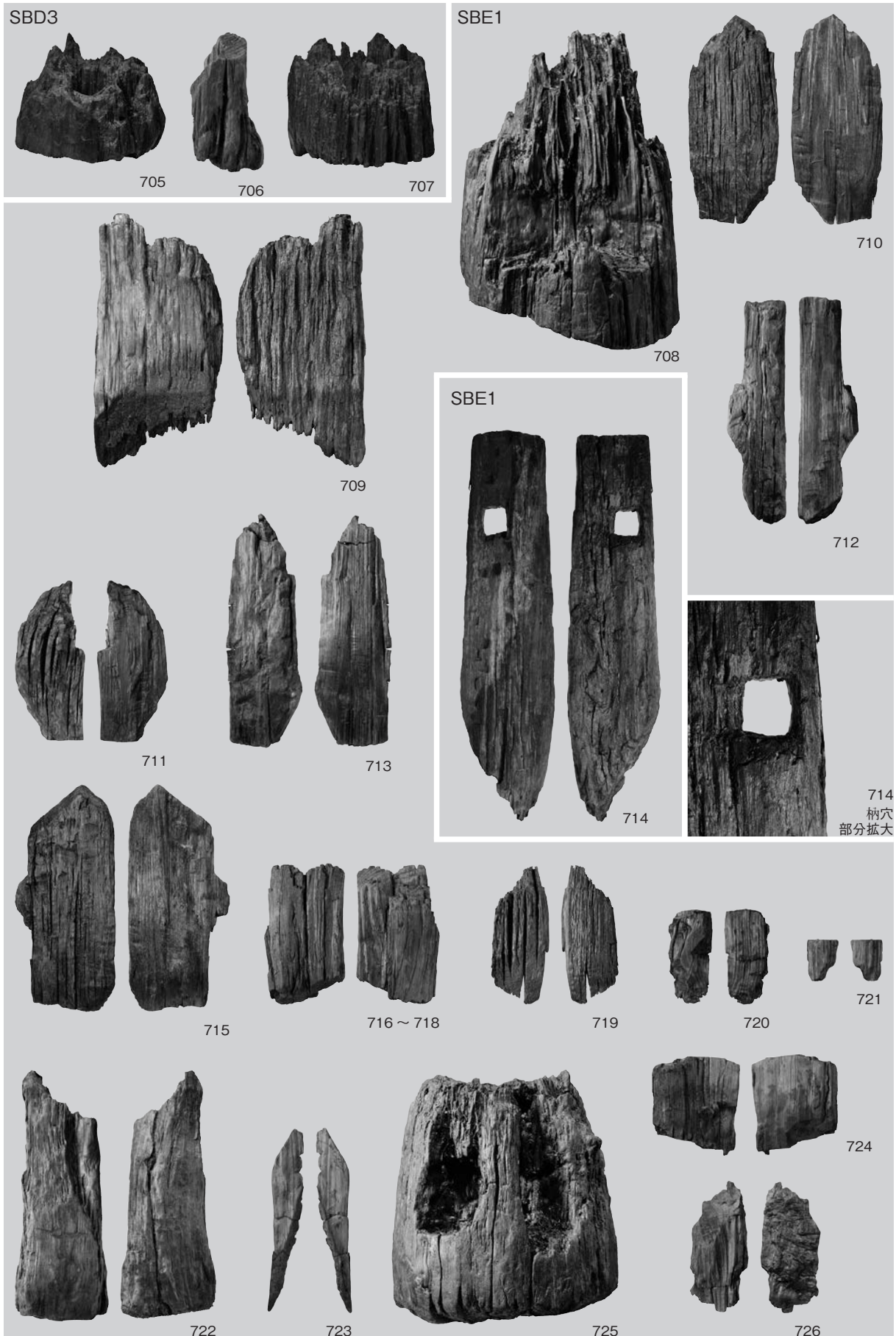
写真図版 141 木質遺物 (7)



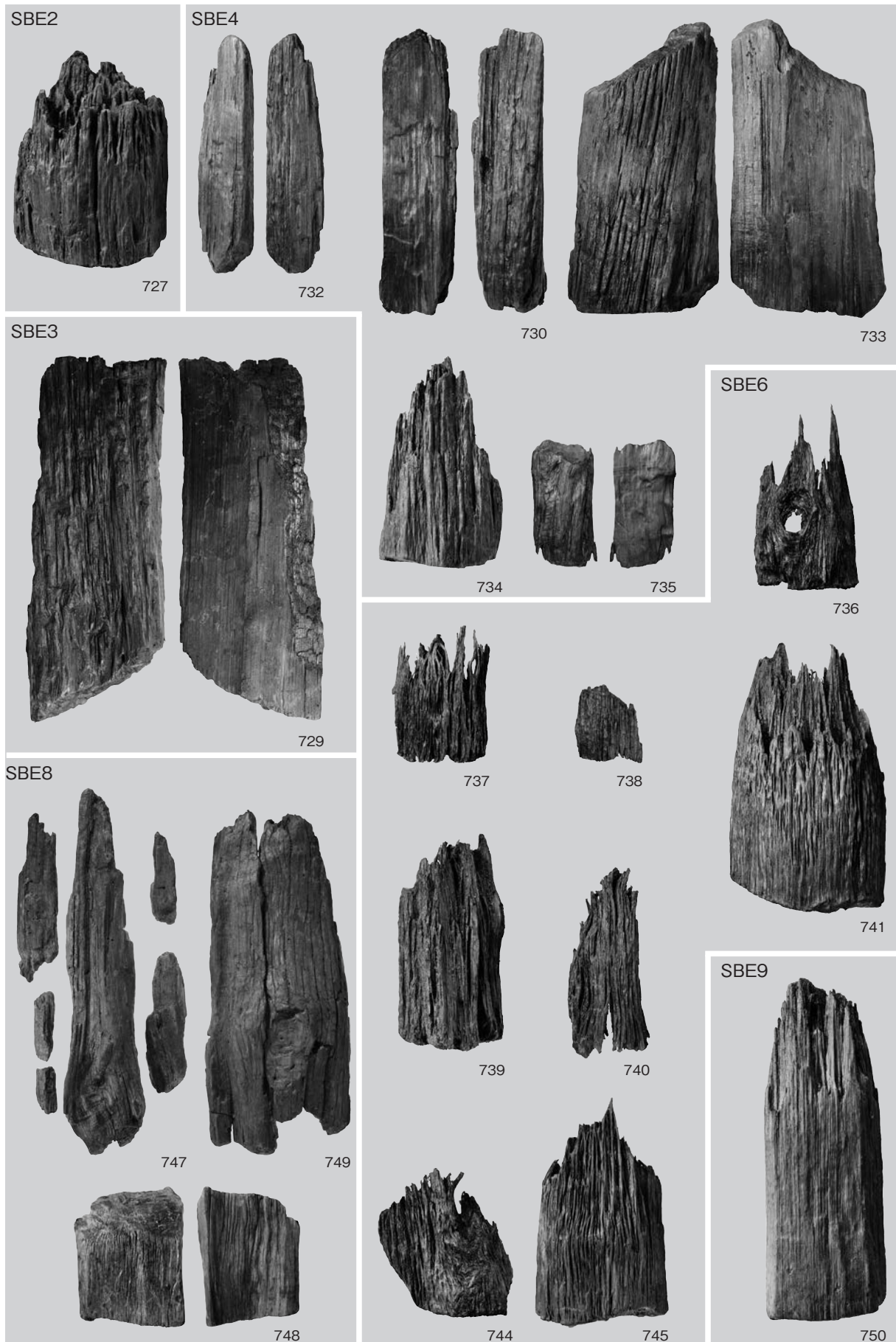
写真図版 142 木質遺物 (8)



写真図版 143 木質遺物 (9)

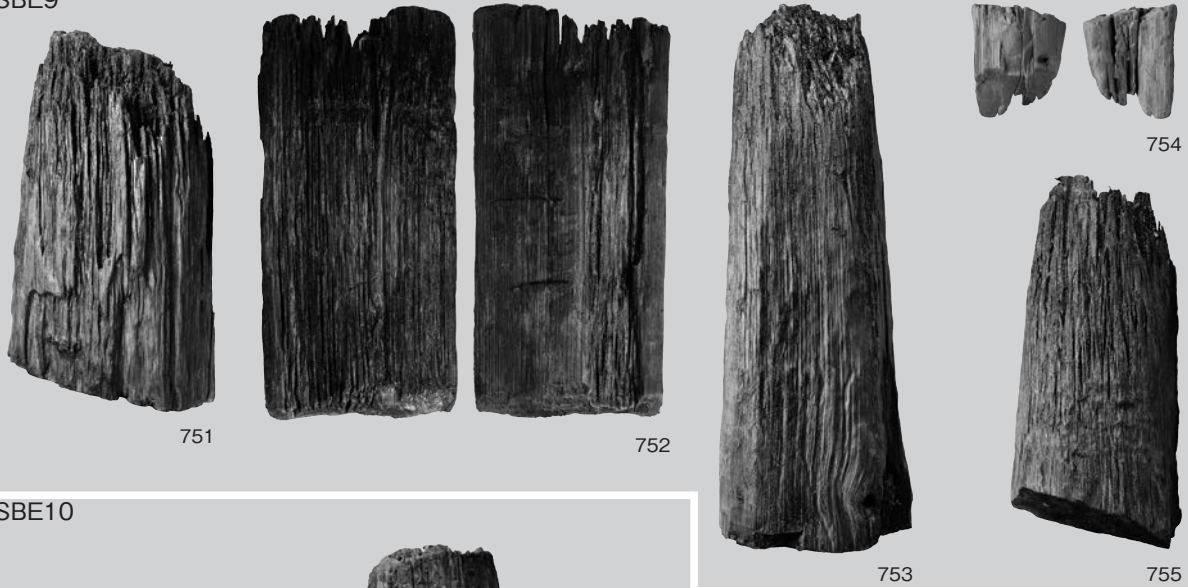


写真図版 144 木質遺物 (10)

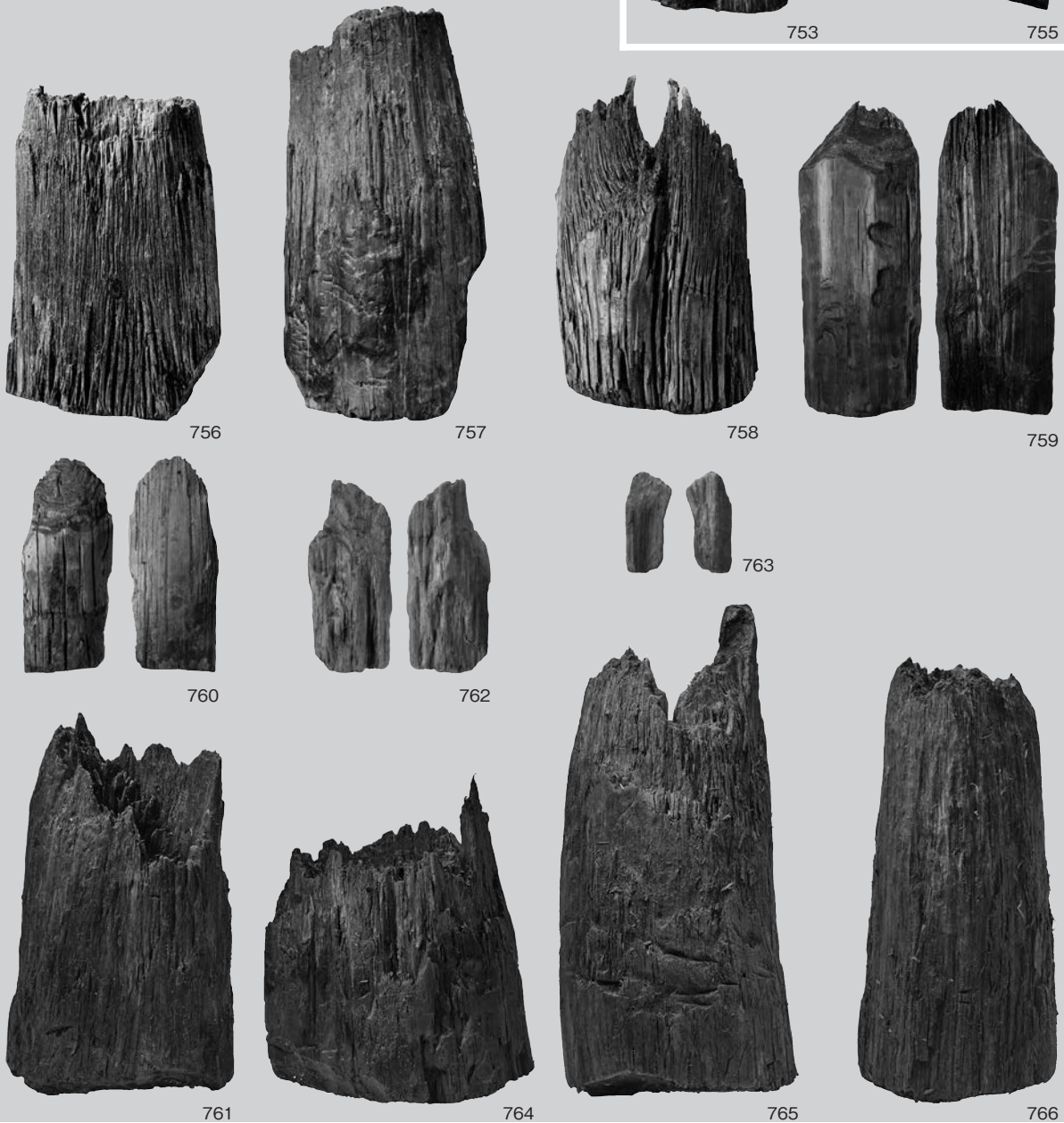


写真図版 145 木質遺物 (11)

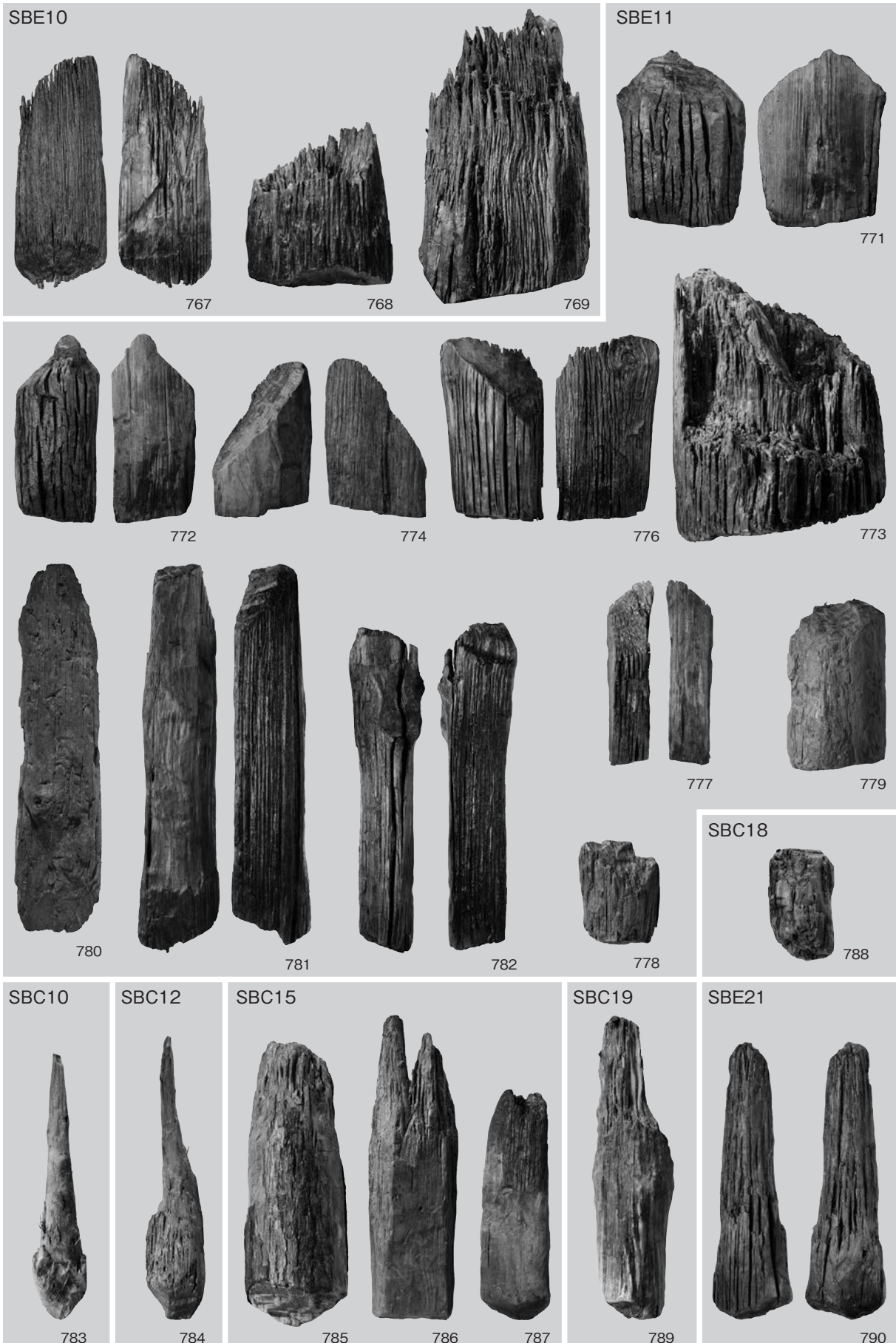
SBE9



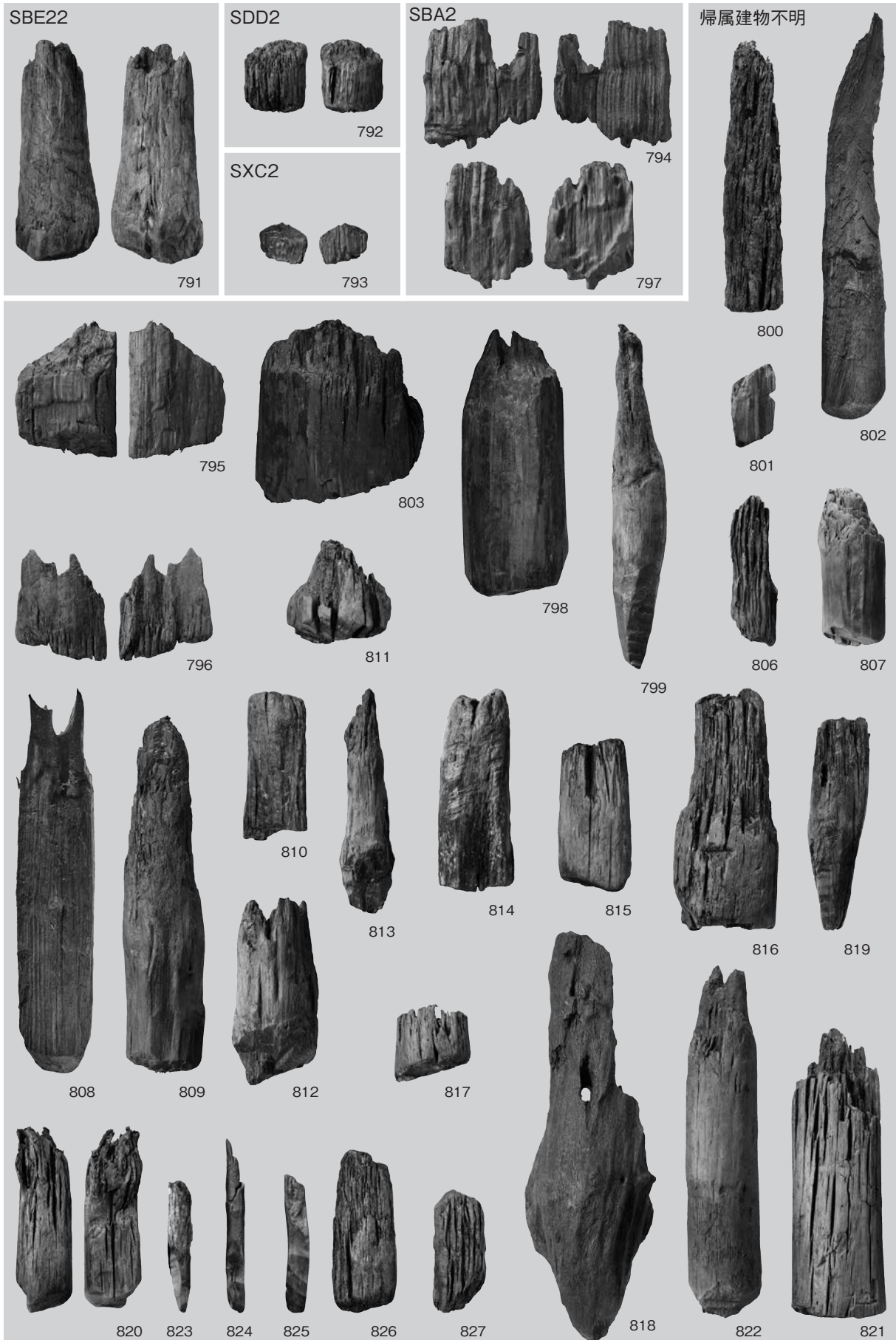
SBE10



写真図版 146 木質遺物 (12)

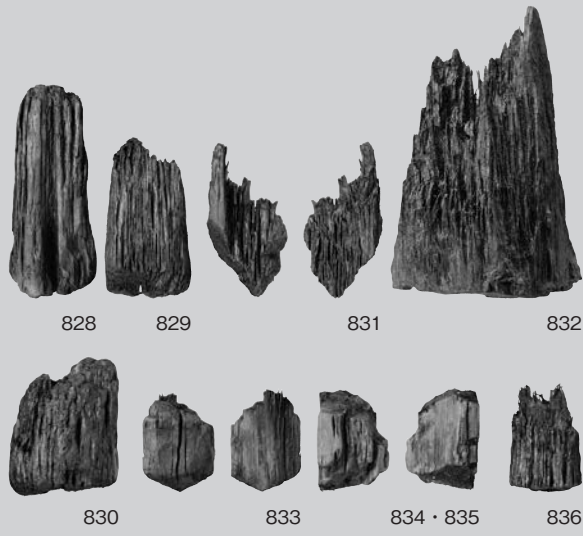


写真図版 147 木質遺物 (13)



写真図版 148 木質遺物 (14)

帰属建物不明



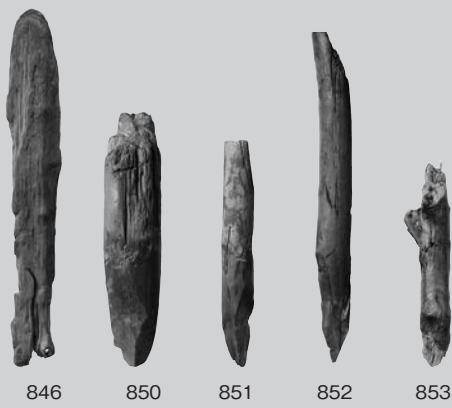
SKB2



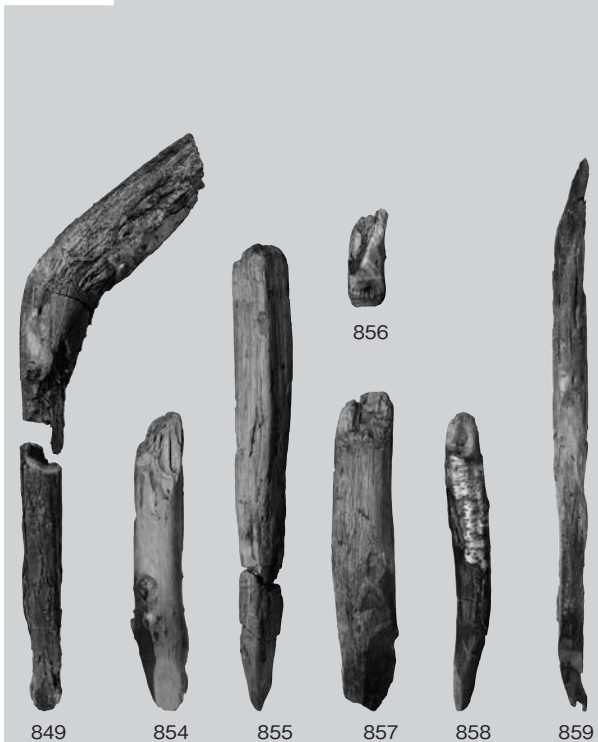
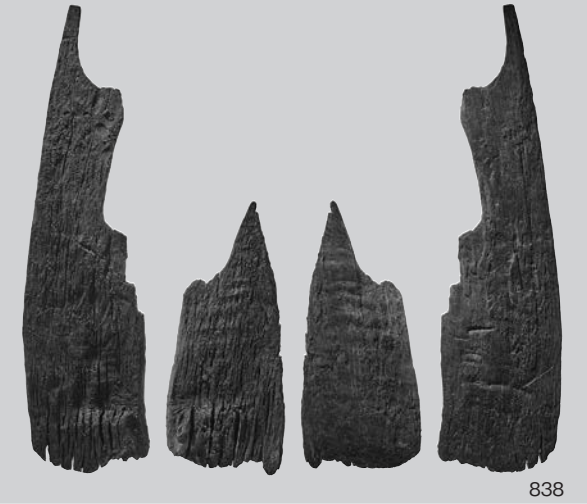
SKE6



SDB1



SKB2

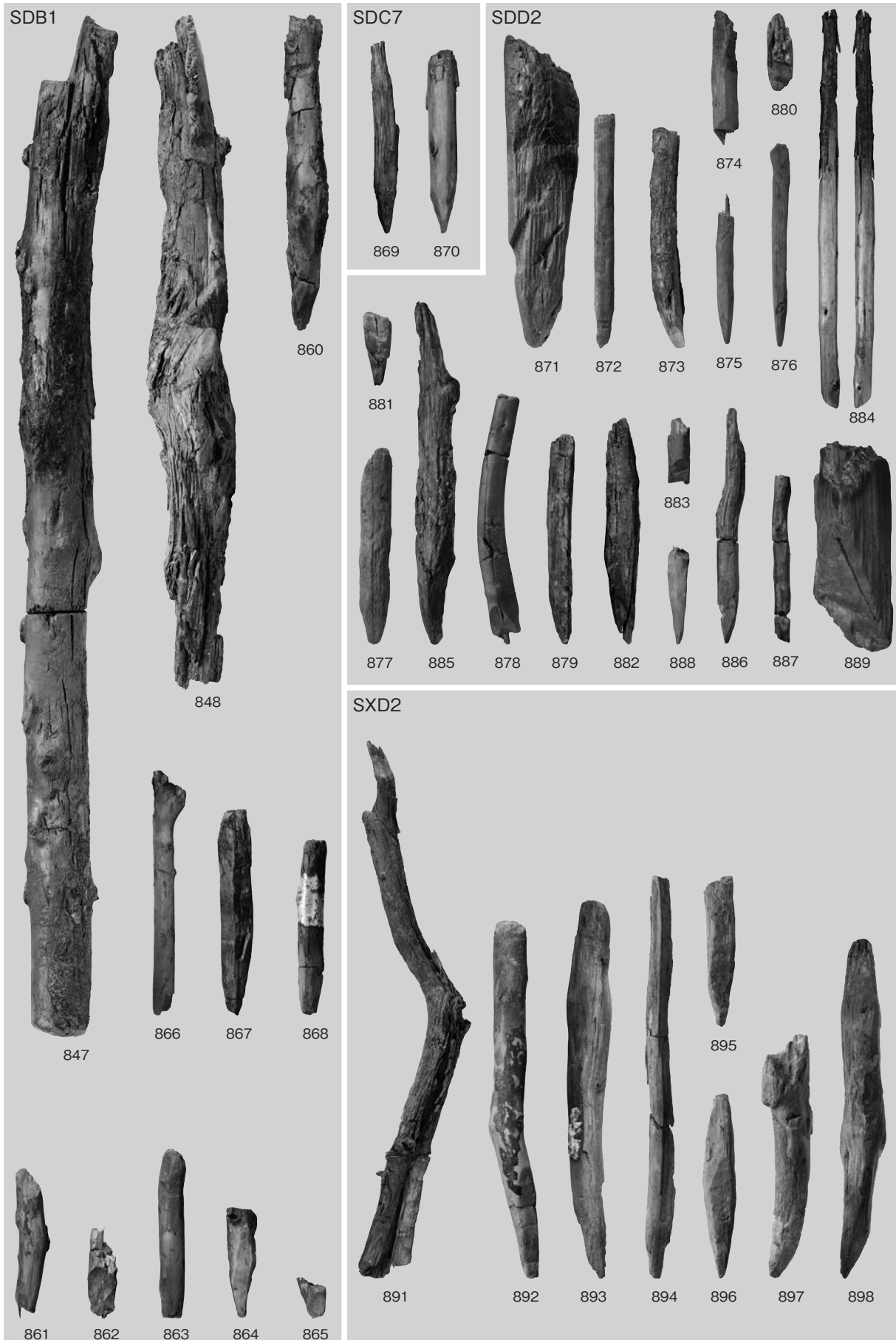


SKB2



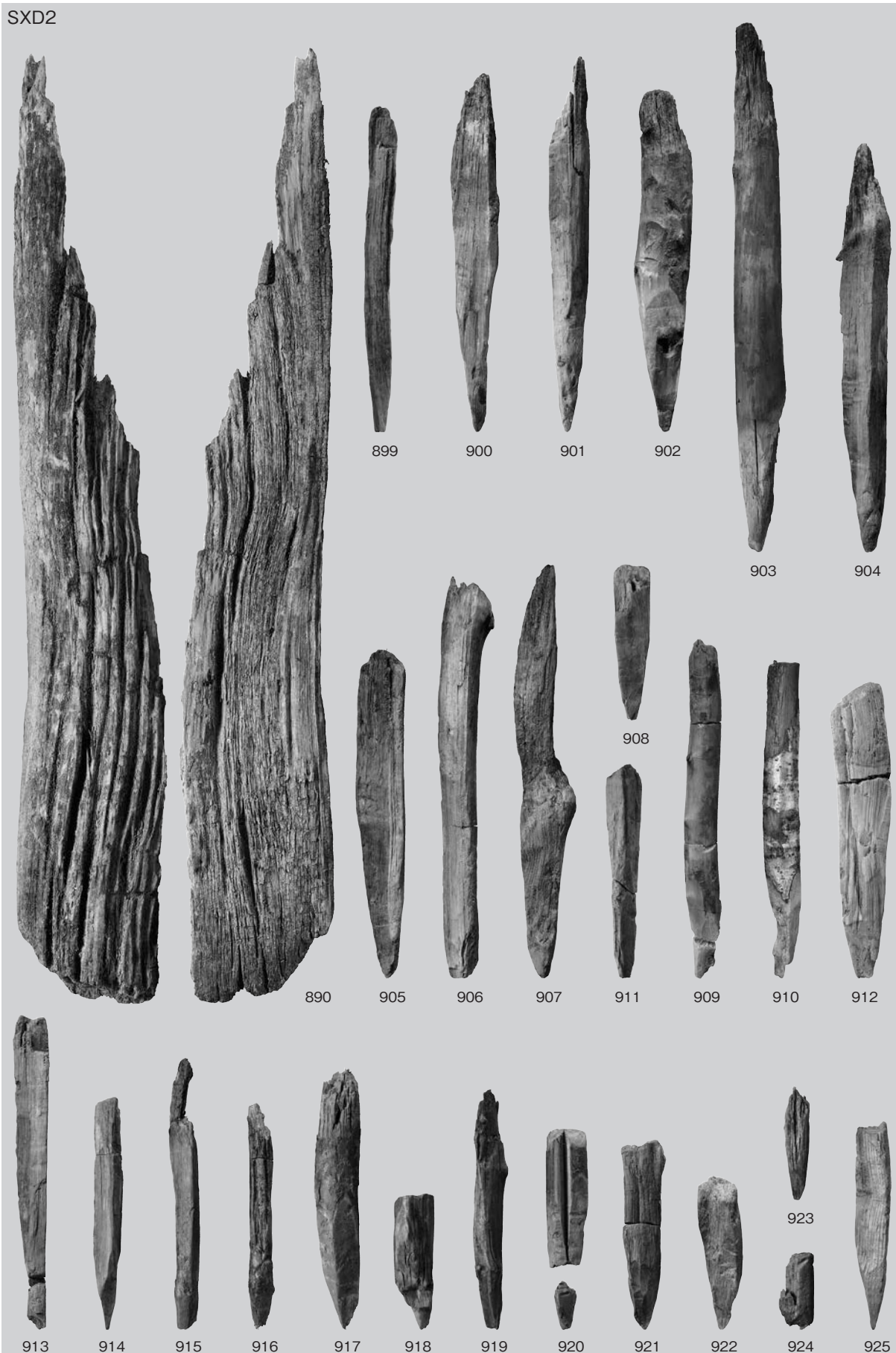
838 組み合わせ状態

写真図版 149 木質遺物 (15)



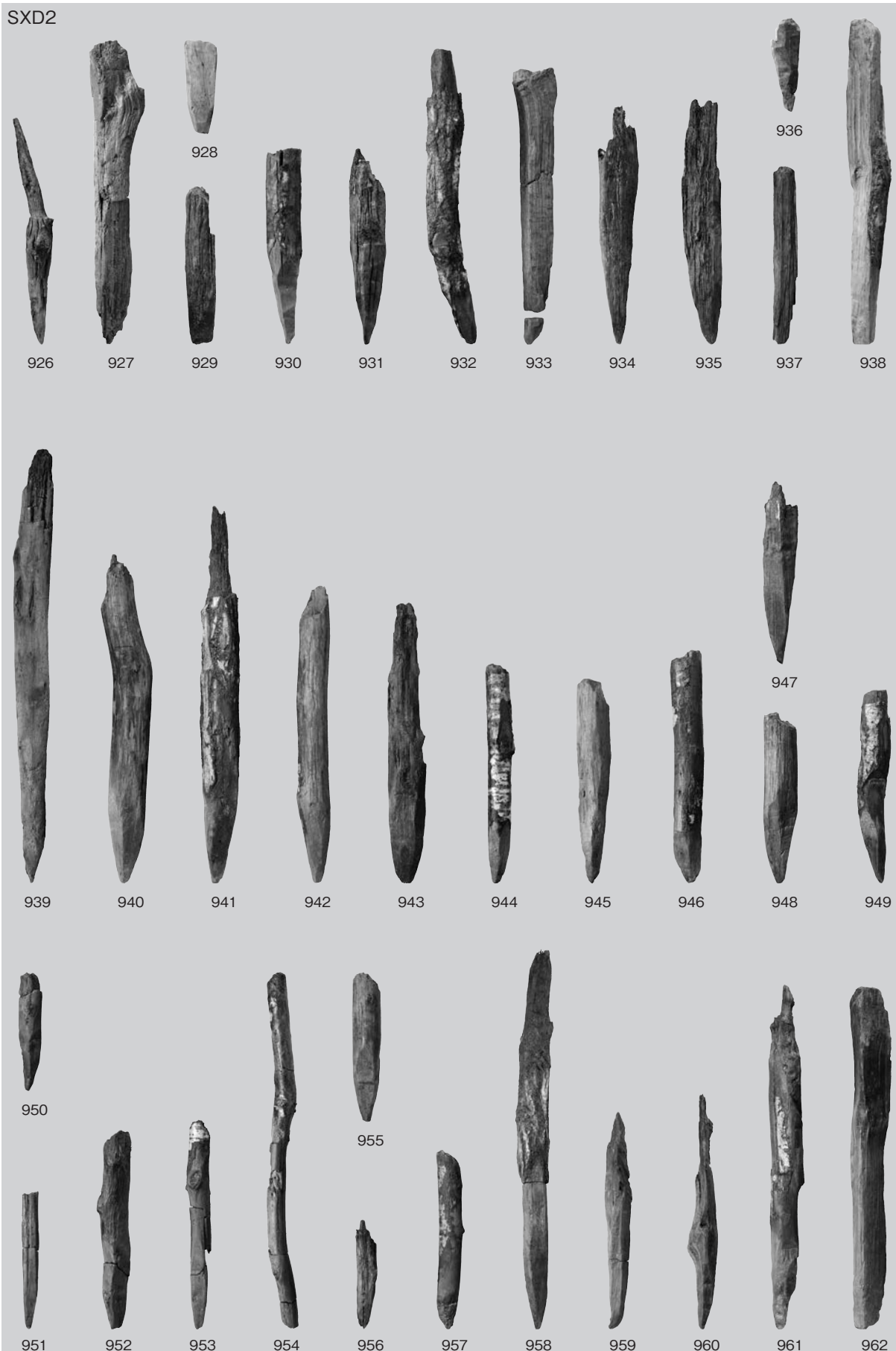
写真図版 150 木質遺物 (16)

SXD2



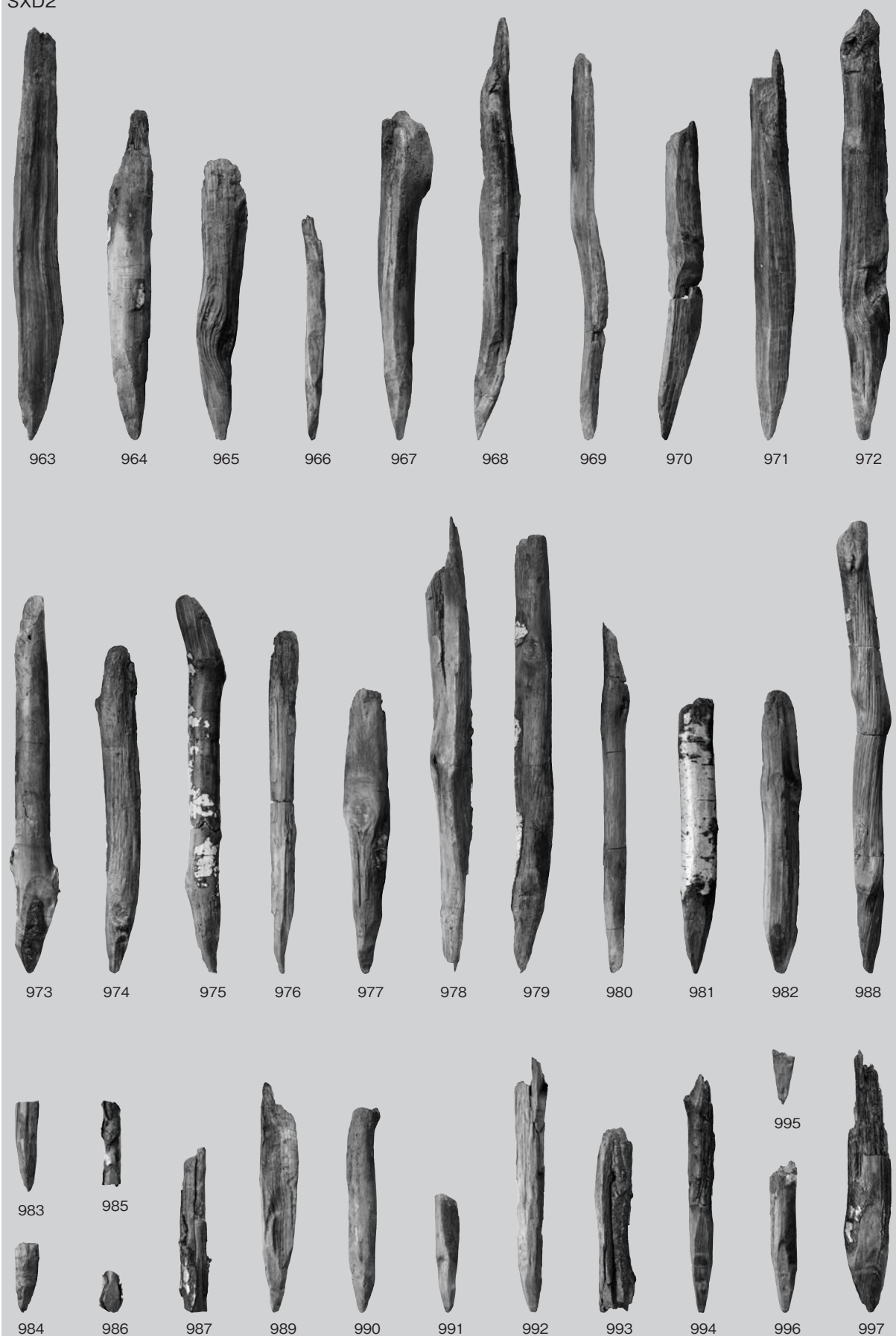
写真図版 151 木質遺物 (17)

SXD2



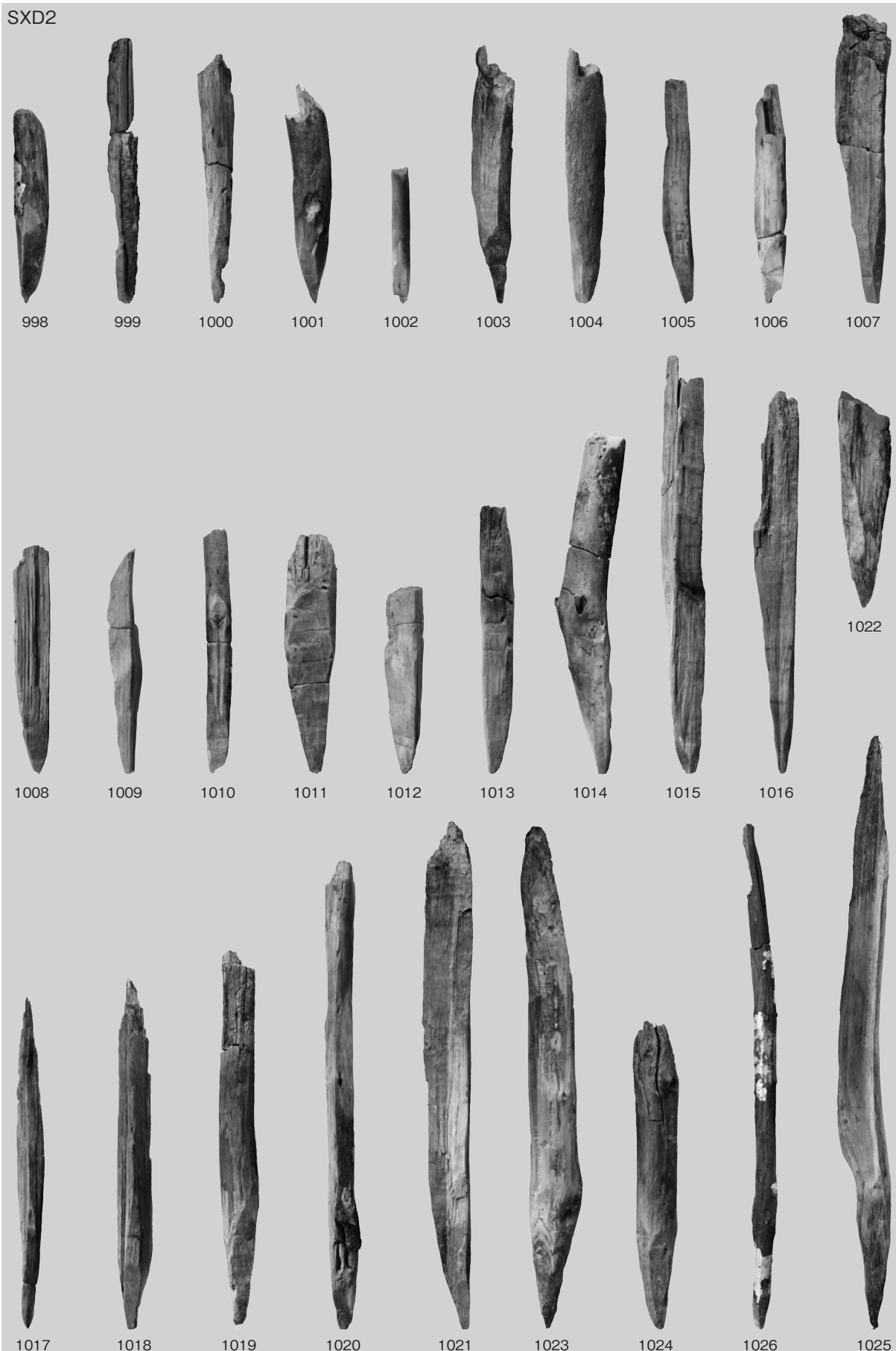
写真図版 152 木質遺物 (18)

SXD2



写真図版 153 木質遺物 (19)

SXD2



写真図版 154 木質遺物 (20)

SXD2



1027



1028



1029



1030



1031



1032



1033



1034



1035



1036



1037



1038



1039



1040



1041



1042



1043



1044



1045



1046



1047



1048



1049



1050



1051



1052



1053



1054



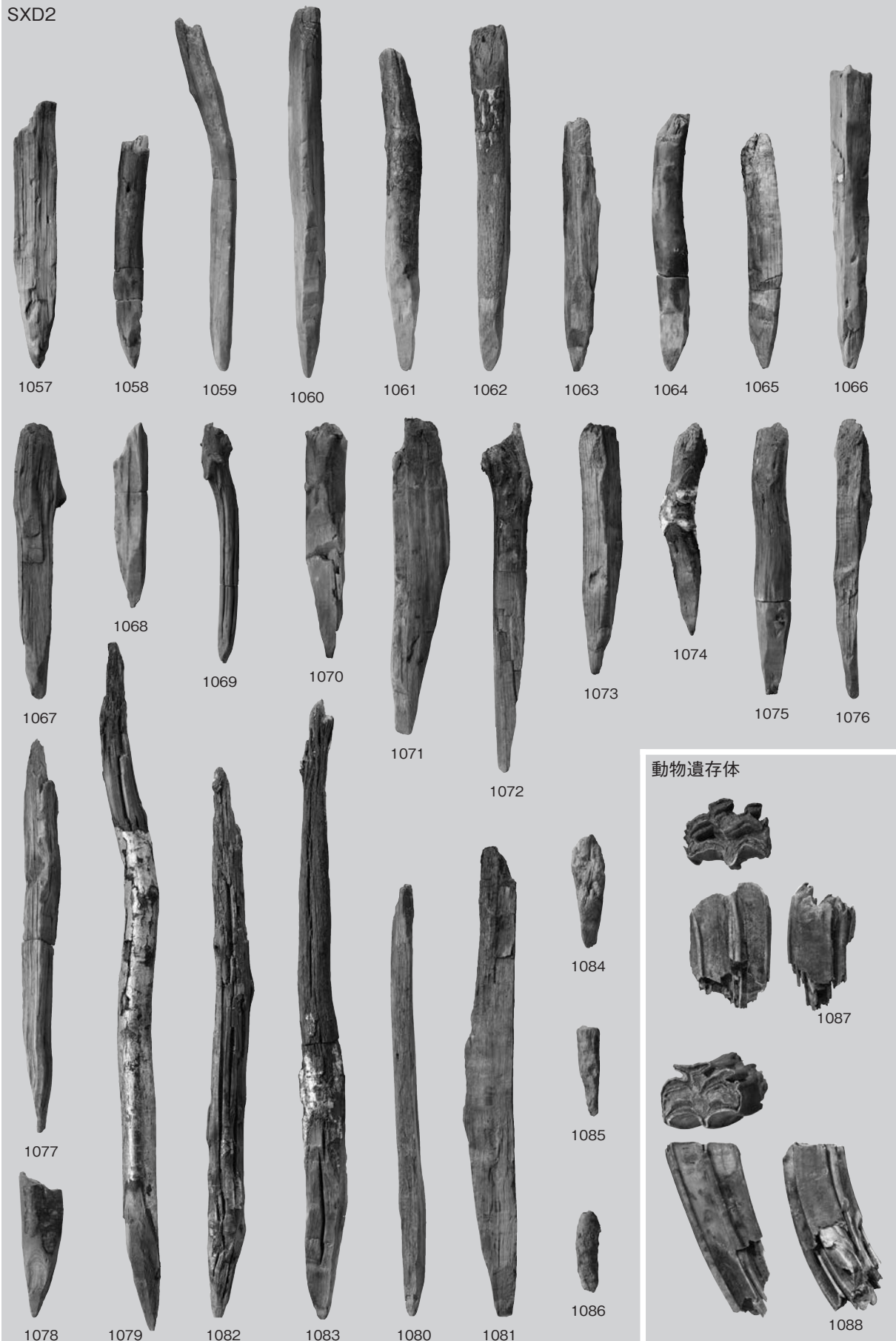
1055



1056

写真図版 155 木質遺物 (21)

SXD2



写真図版 156 木質遺物 (22)・動物遺存体

報告書抄録

ふりがな	なかばやししたいせきはつつちょうさほうこくしょ
書名	中林下遺跡発掘調査報告書
副書名	経営体育成基盤整備事業（真城南地区）関連遺跡発掘調査
巻次	
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第744集
編著者名	北田 勲・村上 拓・川又 晋・野中裕貴
編集機関	(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地 TEL (019) 638-9001
発行年月日	2024年3月8日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 〃	東経 〃	調査期間	調査対象面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
なかばやししたいせき 中林下遺跡	いわてけんおうしゅうし 岩手県奥州市 みずさわしんじょうあざ 水沢真城字 なかばやしした ばんち 中林下95番地 ほか	03215	NE36-0247	39° 6' 11"	141° 8' 35"	2020.4.7 ~ 2020.11.30	10,300㎡	経営体育成 基盤整備事業 (真城南地区)
						2021.4.7 ~ 2021.9.30	8,220㎡	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中林下遺跡	集落跡	縄文時代	土器埋設遺構 1 基	縄文土器 石器 石製品 (石冠)	平安時代の掘立柱建物群と戦国時代末の2つの居館跡を確認した。
		平安時代	掘立柱建物 32 棟 竪穴建物 6 棟 土坑 16 基 性格不明遺構 6 基 遺物集中 2 箇所 池状遺構 4 基 整地層約 900㎡ 柱穴 320 個	土師器 須恵器 緑釉陶器 (猿投窯) 国産陶器 (渥美・常滑産) 丸瓦 砥石 木質遺物	
		戦国時代	掘立柱建物 33 棟 門 1 棟 土坑 11 基 土橋 4 基 堀 6 条 溝 23 条 池状遺構 3 基 性格不明遺構 5 基 柱穴 2,123 個	陶磁器 砥石 石臼 台石 硯 金属製品 (鉄鎌・椀か・釘・鉄鋌) 木質遺物 (柱材・礎板含む)	
		近世	土坑 1 基	陶磁器 金属製品 銭貨 木製品	

要約	<p>2カ年に亘る調査から、主に縄文時代、平安時代、戦国時代末～近世初頭の遺構・遺物を確認した。なかでも、平安時代の掘立柱建物群と戦国時代末に位置付けられる2つの居館跡が検出されている。平安時代の掘立柱建物は32棟が確認されており、掘立柱建物を主体とする特徴は一般集落には見られないことから、本遺跡は朝廷による公的な性格を持った施設群と考えられる。また、戦国時代末の2つの居館跡は本地域を治めた在地領主の居館と推定される。</p>
----	---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第744集

中林下遺跡発掘調査報告書

経営体育成基盤整備事業(真城南地区)関連遺跡発掘調査

印刷 令和6年3月1日

発行 令和6年3月8日

編集 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地
電話 (019)638-9001

発行 岩手県県南広域振興局農政部農村整備室
〒023-1111 岩手県奥州市江刺大通り7-13
電話 (0197)35-8443

(公財)岩手県文化振興事業団
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13番1号
電話 (019)654-2235

印刷 あべ印刷株式会社
〒023-1131 岩手県奥州市水沢佐倉河字東広町60
電話 (0197)24-8303